

令和5年度
「和歌山県結婚・子育て意識調査」
調査報告書

令和6年3月

和歌山県 福祉保健部
福祉保健政策局 子ども未来課

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の概要	2
3. 調査項目	2
4. 地域別分析における地域分類の定義	3
5. 報告書における表及び図の見方	3
6. 全国調査との比較について	4
II 調査結果	5
1. 結婚に関する意識調査	
(1)～(9) 属性	6
(10)～(17) 結婚に対する考えについて	23
(18)～(22) 子供に関する意向について	42
(23)～(31) 今後の結婚意向と結婚後の生活について	51
(32)～(36) 未婚者の結婚についての意向について	88
(37)～(39) 結婚支援について	99
2. 子育てに関する意識調査	
(1)～(16) 属性	104
(17)～(21) 出産に伴う働き方について	123
(22)～(23) 夫婦における家事・育児の配分時間について	132
(24)～(26) 育児支援環境について	136
(27)～(32) 子供に関する意向について	140
(33)～(38) 育児に関する意見・育児サービス利用状況について	150
(39)～(41) 子育て支援について	161
III 調査票	164
1. 結婚に関する意識調査	165
2. 子育てに関する意識調査	177

I 調査概要

1. 調査の目的

結婚や子育てに関する県民の意見やニーズを把握し、今後のこども関連施策をより効果的に推進する。
また、和歌山県が策定する「和歌山県こども計画」の基礎資料とする。

2. 調査の概要

(1) 調査の種類及び概要

	調査の種類	調査対象	対象抽出方法	調査方法
ア	結婚に関する調査	20歳～39歳の県内在住者 3,000人	市町村別、年齢層別、男女別に住民基本台帳から無作為抽出※	郵送により調査票を配布し、郵送又はインターネットで回答
イ	子育てに関する調査	・ 県内在住の保育所等に通所する年少児の保護者 5,739人 ・ 県内在住の小学3年生の保護者 7,251人	全数調査	保育所等や小学校を通じて配布し、郵送又はインターネットで回答

※令和4年1月1日現在の住民基本台帳の人口比率により市町村別・年齢別に按分

(2) 調査期間

ア 結婚に関する調査	令和5年10月2日～10月31日
イ 子育てに関する調査	令和5年10月13日～11月6日

(3) 回収数（率）

ア 結婚に関する調査	イ 子育てに関する調査
・ 回収数：966人 （郵送 359人、Web 607人）	・ 回収数：5,454人 （郵送 2,809人、Web 2,645人）
・ 回収率：32.2%	・ 回収率：42.0%

3. 調査項目

1. 結婚に関する意識調査

- (1)～(9) 属性
- (10)～(17) 結婚に対する考えについて
- (18)～(22) 子供に関する意向について
- (23)～(31) 今後の結婚意向と結婚後の生活について
- (32)～(36) 未婚者の結婚についての意向について
- (37)～(39) 結婚支援について

2. 子育てに関する意識調査

- (1)～(16) 属性
- (17)～(21) 出産に伴う働き方について
- (22)～(23) 夫婦における家事・育児の配分時間について
- (24)～(26) 育児支援環境について
- (27)～(32) 子供に関する意向について
- (33)～(38) 育児に関する意見・育児サービス利用状況について
- (39)～(41) 子育て支援について

4. 地域別分析における地域分類の定義

調査結果は地域別に分析を行っており、結婚に関する意識調査、子育てに関する意識調査いずれも回答者の居住市町村の回答をもとに、下記の通り地域を分類した（結婚：問1、子育て：問2）。

地域	市・郡	市町村
紀北	和歌山市	和歌山市
	海南市	海南市
	橋本市	橋本市
	紀の川市	紀の川市
	岩出市	岩出市
	海草郡・伊都郡	紀美野町、かつらぎ町、九度山町、高野町
紀中	有田市	有田市
	御坊市	御坊市
	有田郡	湯浅町、広川町、有田川町
	日高郡	美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町
田辺・西牟婁	田辺市	田辺市
	西牟婁郡	白浜町、上富田町、すさみ町
新宮・東牟婁	新宮市	新宮市
	東牟婁郡	那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町

5. 報告書における表及び図の見方

- 図表の中で「N」とは、集計対象総数（集計対象を限定する場合はその該当対象数）を表している。比率は原則、各項目の無回答・不明を含む集計対象総数に対する百分比（%）で表している。（例外は図表外に注意書きで記載）
- 集計対象総数が10に満たない項目については、原則としてコメントを省略している。
- 百分比（%）は、原則として小数点第2位を四捨五入し小数点第1位までを表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。また、回答の百分比（%）は、その質問の回答者数（N [Number of case の略]）を基数として算出しているため、複数回答の設問は百分率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 百分比（%）どうしの比較における差は、原則として「…ポイント」という表現とした。
- グラフのスペースの都合上、0%を表示していない場合がある。
- 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している場合がある。

6. 全国調査との比較について

本調査結果は、適宜全国を対象にした調査結果と比較することで、県の特徴の分析を目指した。ただし、各調査では調査対象者の属性が異なり（※1）、また設問・選択肢の文言も完全に一致しているわけではない（※2）ケースが多く、単純比較は難しい。あくまで傾向の違いを示すものと理解されたい。

また、文中において、各調査の選択肢文を引用する際は、本調査と表記ゆれが生じていても当該調査の表記を優先する（例：本調査では「子供」表記だが、全国調査では「子ども」表記のケースが多い）。

具体的に、比較対象となる全国調査の名称、出典元 URL、各調査の調査対象の属性を以下に示す。

調査名	調査対象
国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」(R3.6調査) https://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou16/doukou16_gaiyo.asp	独身者調査：18歳～55歳未満 夫婦調査：妻の年齢が55歳未満の夫婦（回答者は妻）
内閣府「少子化社会対策に関する意識調査」(H30.12調査) https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/13024511/www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/h30/zentai-pdf/index.html	① 全体サンプル：20～59歳のインターネット登録モニター ② 3年以内出産サンプル：回答者もしくは配偶者が3年以内に妊娠・出産をした20～49歳のインターネット登録モニター（①との間での重複はない） ③ 3年以内結婚サンプル：3年以内に結婚をした20～49歳のインターネット登録モニター（①と一部重複。②、③の間での重複はない） ④ 未婚サンプル：未婚（結婚経験のない）20～49歳のインターネット登録モニター（①と一部重複）
厚生労働省「仕事と育児等の両立に関する実態把握のための調査研究事業」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000200711_00003.html	離職者調査：妊娠・出産・育児を機に離職した経験があり、現在就労していない20～40代の女性で、3歳未満の子供を持つ、①離職前の就労形態が正社員・職員（150人）、②離職前の就労形態が有期契約社員・職員（フルタイム）（150人） 労働者調査：20～40代で3歳未満の子供を持つ、①男性正社員（1,000人）、②女性正社員（1,000人）、③女性非正社員（1,000人）
内閣府 男女共同参画局「R3人生100年時代における結婚・仕事・収入に関する調査」 https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/hyakunen_r03.html	国内在住のインターネット・モニター（20歳以上70歳未満）20,000人
厚生労働省「21世紀出生時縦断調査（平成22年出生児）(R4.5調査)」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/syusseiji/21/index.html	全国の平成22年（2010年）5月10日から同月24日の間に出生した子供の保護者 R4.5調査（第11回）は対象者数25,362人

※1 調査対象者の属性が異なると、属性の違いによる影響を考慮できないという問題がある。例えば、本県の「結婚に関する意識調査（20～30代が対象）」と「第16回出生動向基本調査（55歳未満まで対象）」を比較する場合、世代間の差が結果の違いに影響を与えている可能性がある。

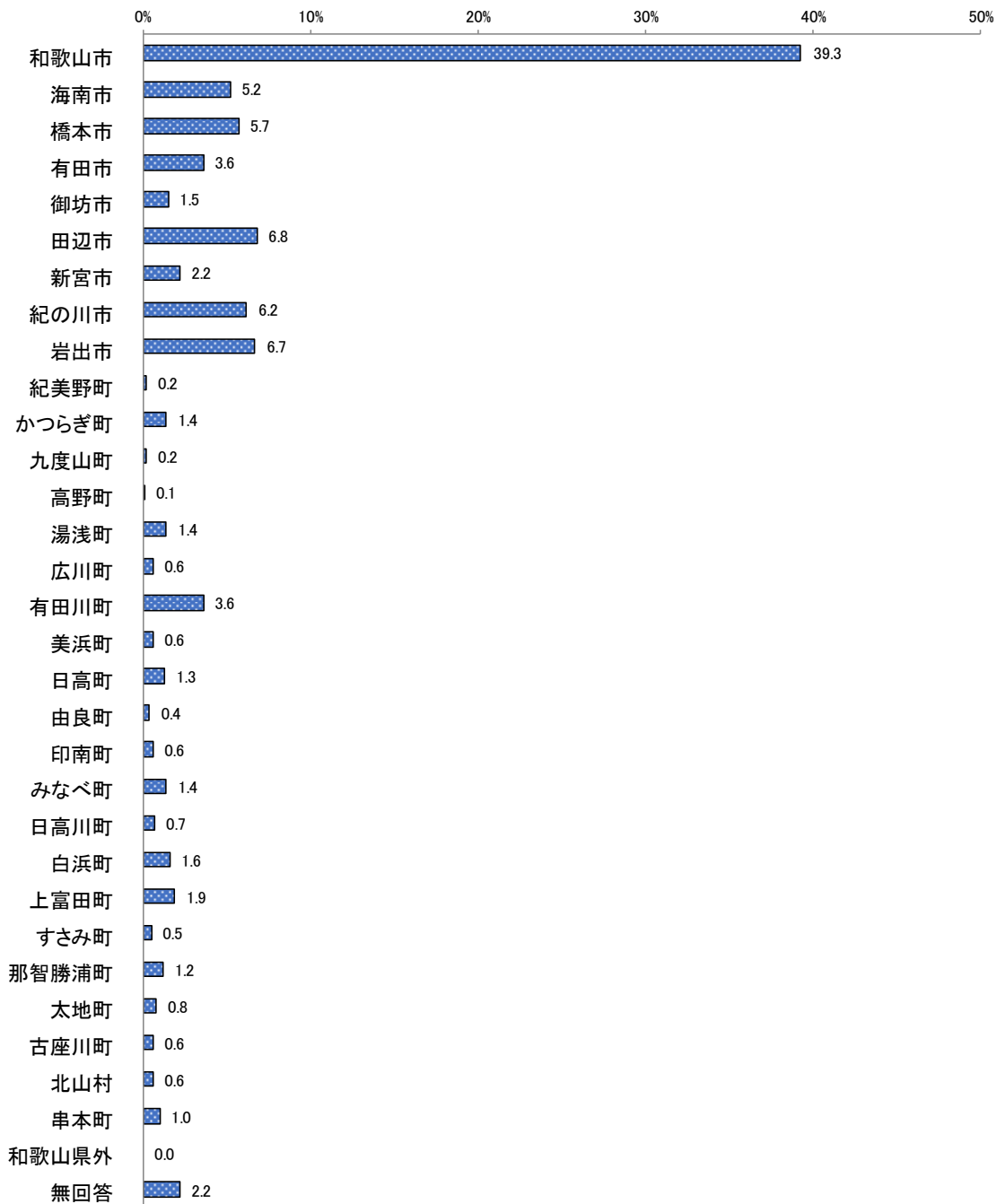
※2 設問・選択肢の文言が異なると、回答者の解釈が変わってくる。そのため、仮に表面上は同じような選択肢だとしても、実際には異なる内容を測定してしまっている可能性が生じる。

II 調査結果

1. 結婚に関する意識調査

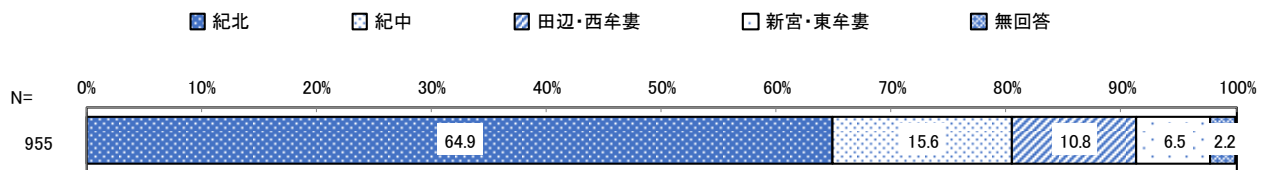
(1) お住まいの市町村名をお答えください。【○は1つ】

お住まいの市町村名について、「和歌山市」が39.3%で最も高く、次いで「田辺市」が6.8%、「岩出市」が6.7%となった。



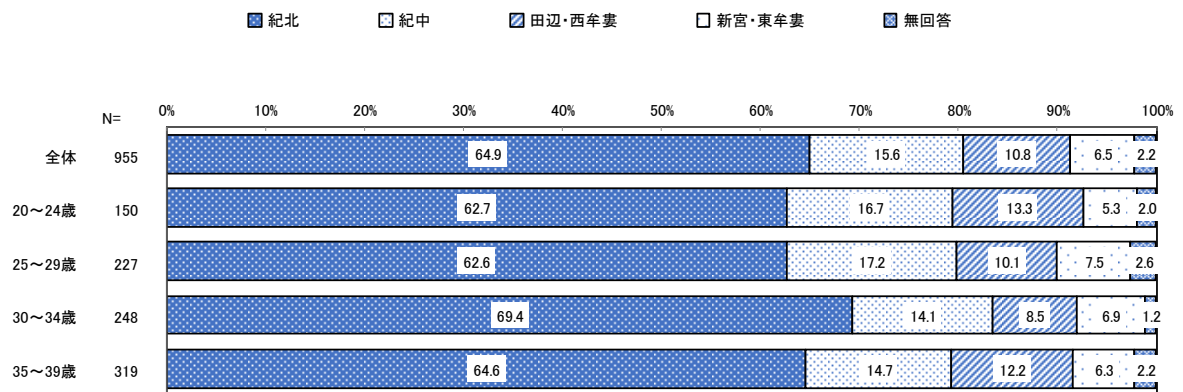
【地域別】

お住まいの市町村について地域別に集計したところ、「紀北」が 64.9%で最も高く、次いで「紀中」が 15.6%、「田辺・西牟婁」が 10.8%となった。



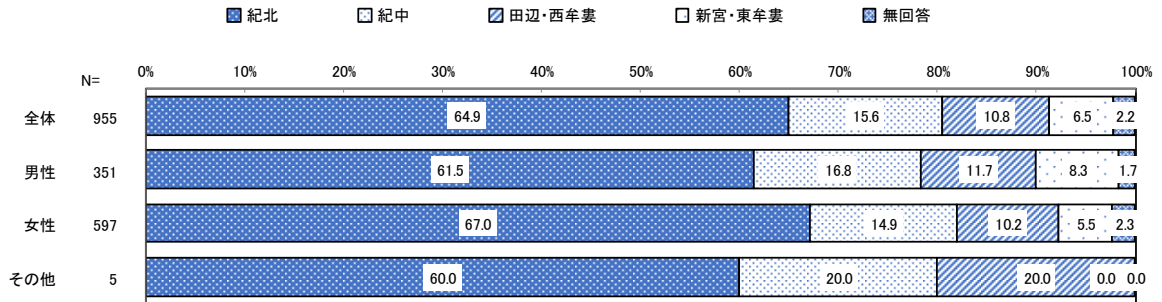
【年代別】

年代別にみると、全体との比較では、いずれも 5 ポイント未満の差にとどまっている。



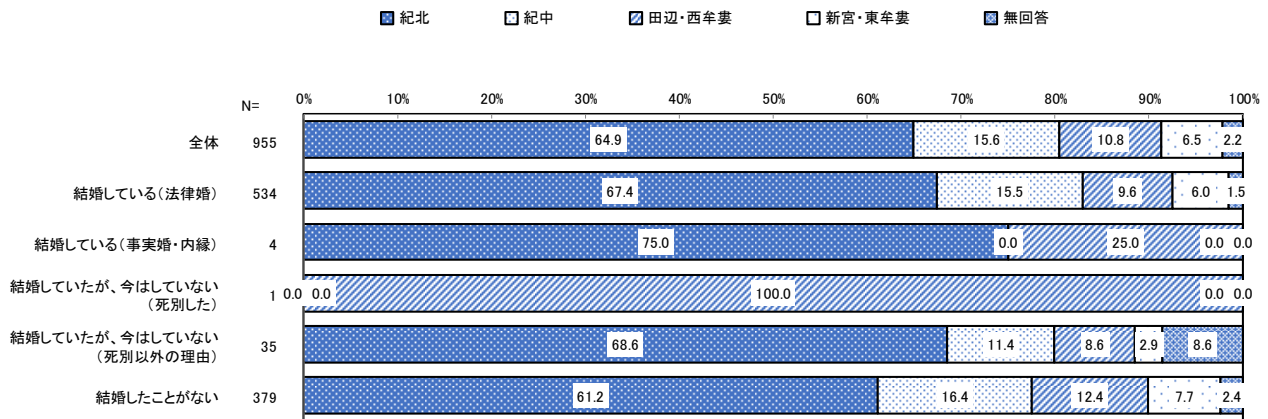
【性別】

性別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



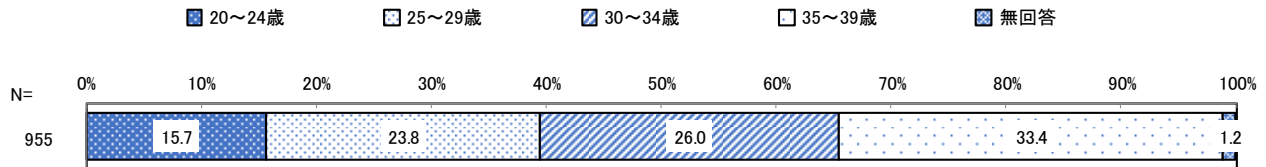
【結婚経験の有無別】

結婚経験の有無別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



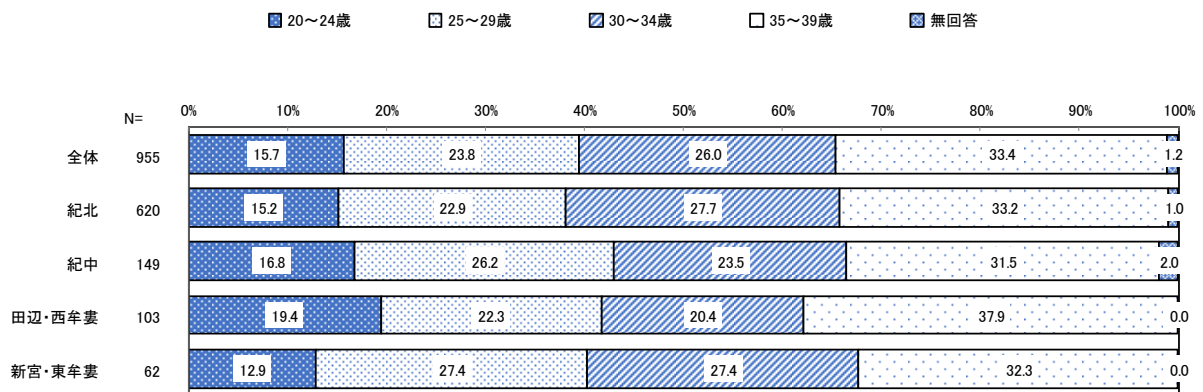
(2) あなたの年齢をお答えください。(令和5年7月1日 現在)

年代について、「35～39歳」が33.4%で最も高く、次いで「30～34歳」が26.0%、「25～29歳」が23.8%となった。



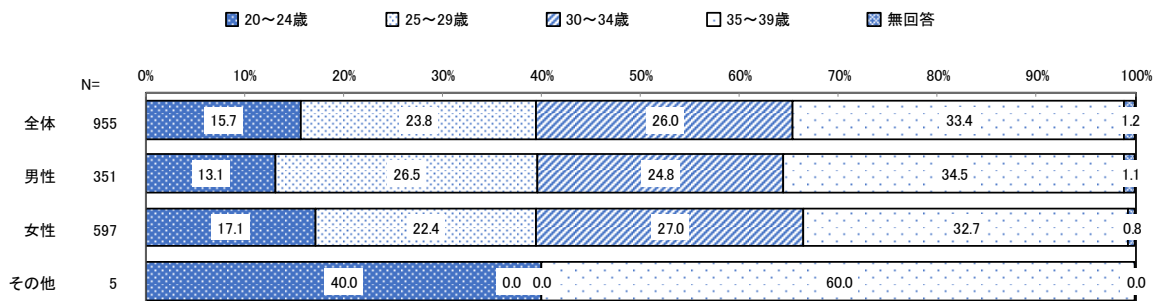
【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「30～34歳」が全体よりも5.6ポイント低くなっている。



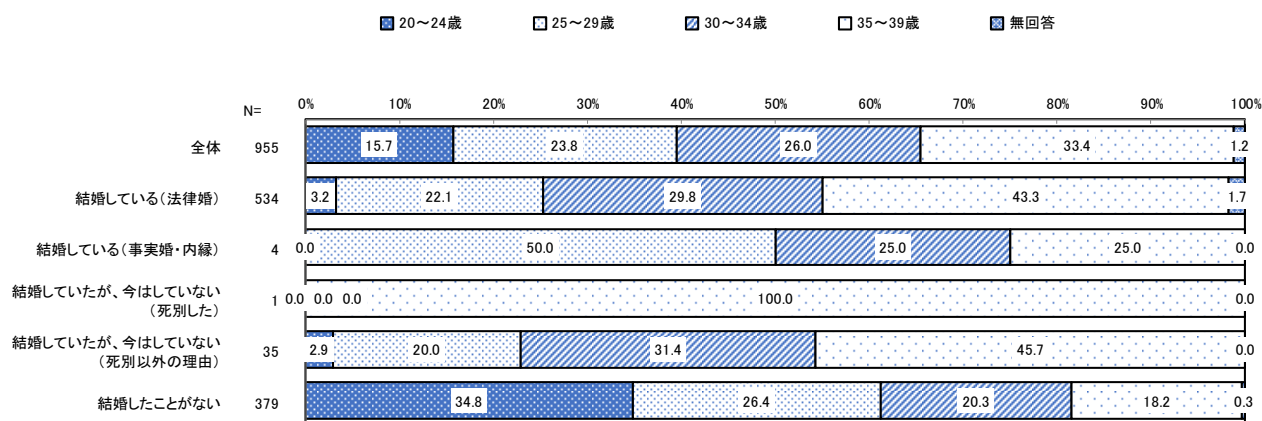
【性別】

性別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



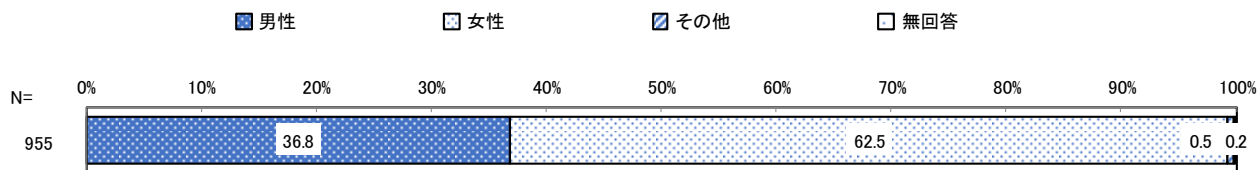
【結婚経験の有無別】

結婚経験の有無別にみると、〈結婚している（法律婚）〉では「20～24歳」が全体よりも12.5ポイント低く、「35～39歳」が全体よりも9.9ポイント高くなっている。〈結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由）〉では「20～24歳」が全体よりも12.8ポイント低くなっている。一方、「30～34歳」が全体よりも5.4ポイント、「35～39歳」が全体よりも12.3ポイント高くなっている。〈結婚したことがない〉では「20～24歳」が全体よりも19.1ポイント高くなっている。一方、「30～34歳」が全体よりも5.7ポイント、「35～39歳」が全体よりも15.2ポイント低くなっている。



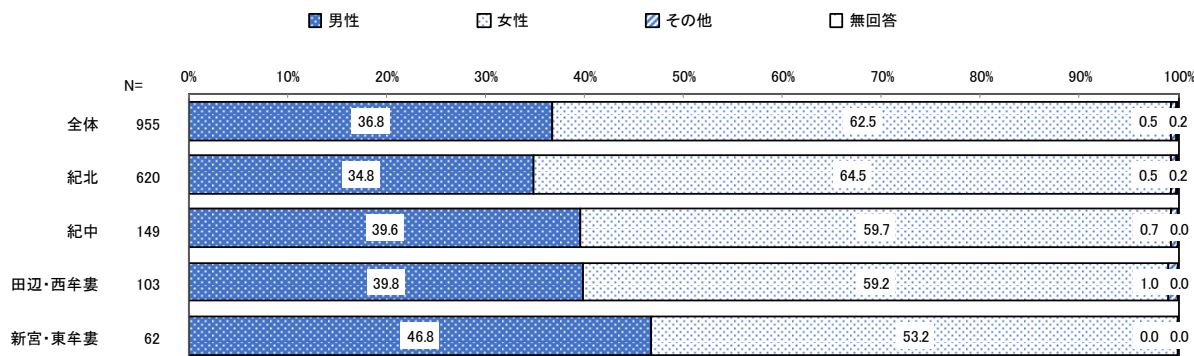
(3) あなたの性別をお答えください。【〇は1つ】

性別について、「男性」が36.8%、「女性」が62.5%となった。



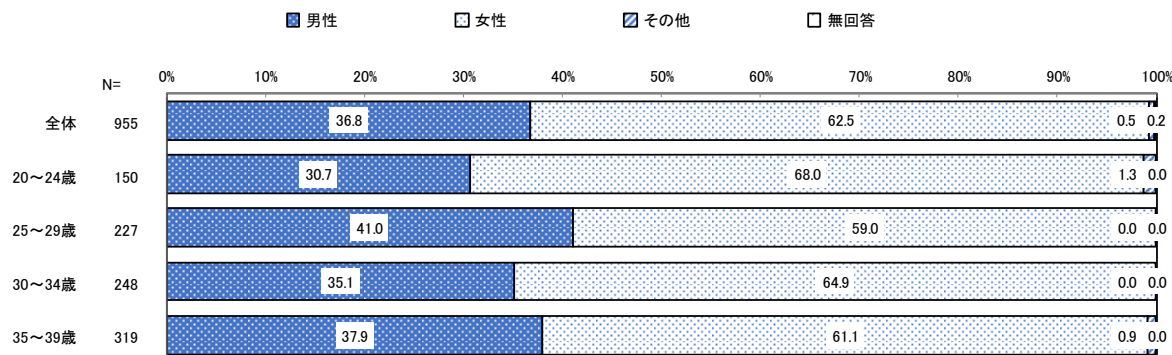
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「男性」が46.8%、「女性」が53.2%で、他の地域よりも男性の割合が高くなっている。



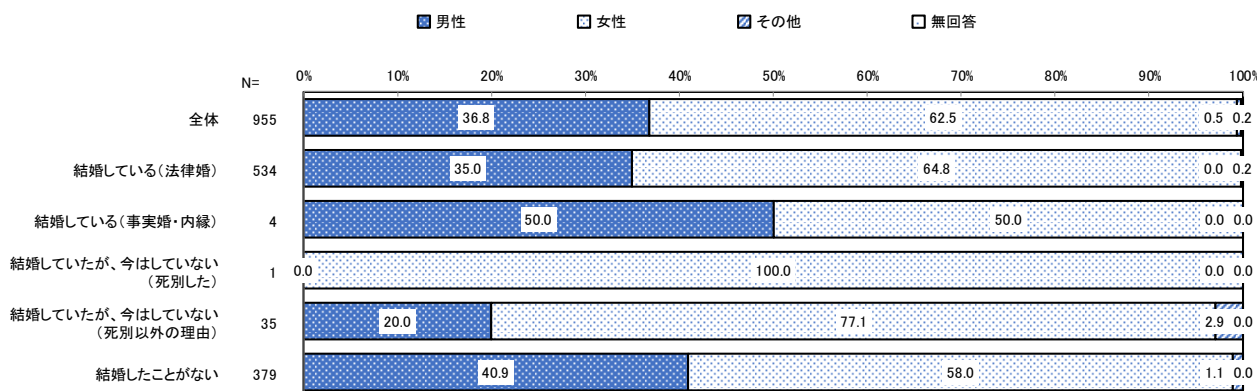
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「男性」が30.7%、「女性」が68.0%で、他の年代に比べて女性の割合が高くなっている。



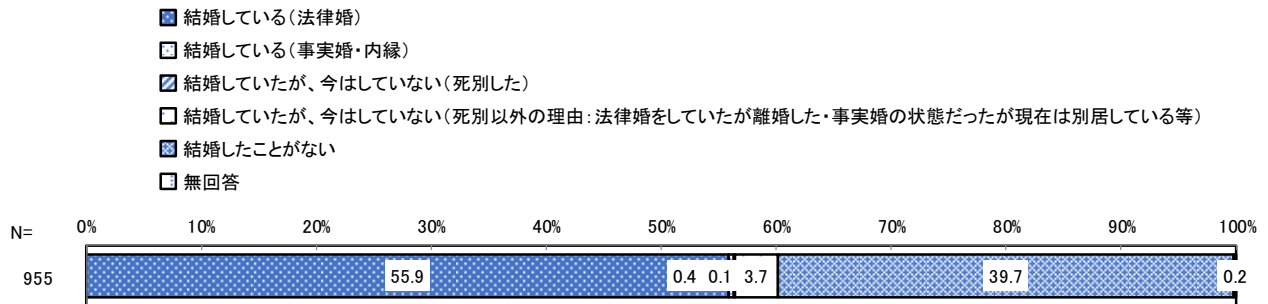
【結婚経験の有無別】

結婚経験の有無別にみると、〈結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由）〉では「男性」が20.0%、「女性」が77.1%で、他の結婚経験に比べて女性の割合が高くなっている。



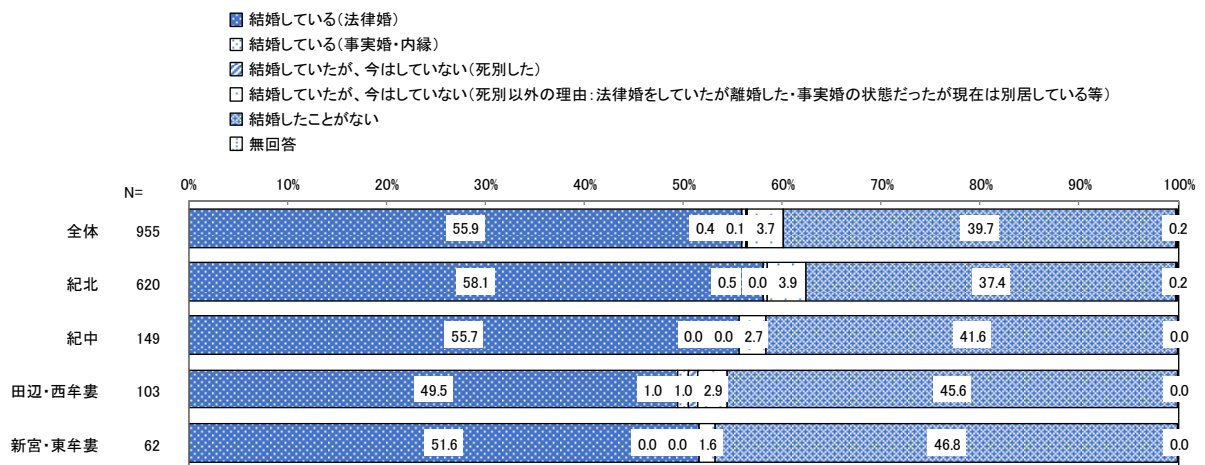
(4) 結婚されていますか。【〇は1つ】

結婚について、「結婚している（法律婚）」が 55.9%で最も高く、次いで「結婚したことがない」が 39.7%、「結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由：法律婚をしていたが離婚した・事実婚の状態だったが現在は別居している等）」が 3.7%となった。



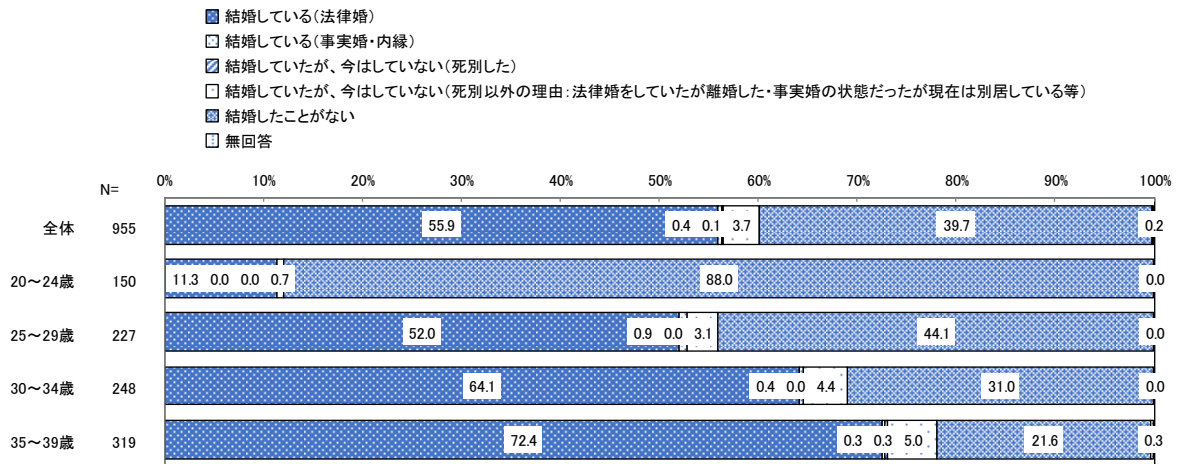
【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「結婚している（法律婚）」が全体よりも 6.4 ポイント低く、「結婚したことがない」が全体よりも 5.9 ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「結婚したことがない」が全体よりも 7.1 ポイント高くなっている。



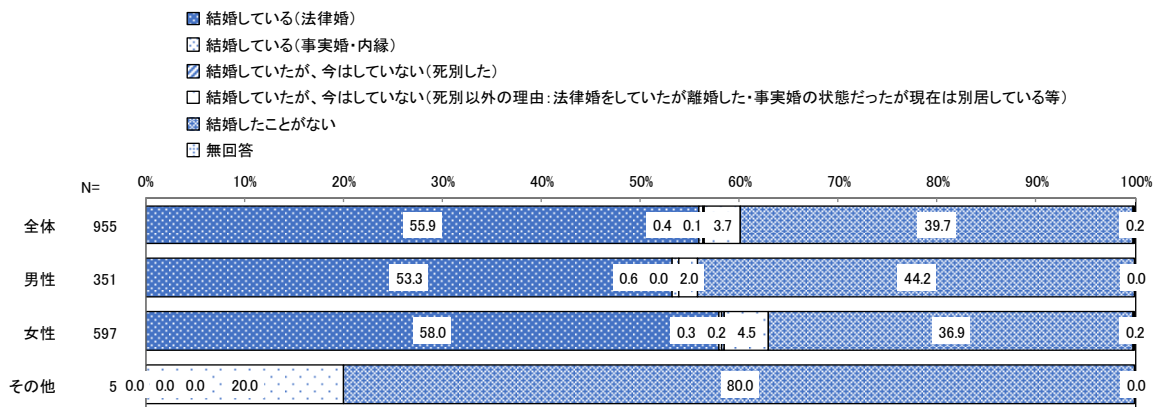
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「結婚している（法律婚）」が全体よりも44.6ポイント低く、「結婚したことがない」が全体よりも48.3ポイント高くなっている。〈30～34歳〉では「結婚している（法律婚）」が全体よりも8.2ポイント高く、「結婚したことがない」が全体よりも8.7ポイント低くなっている。〈35～39歳〉では「結婚している（法律婚）」が全体よりも16.5ポイント高く、「結婚したことがない」が全体よりも18.1ポイント低くなっている。



【性別】

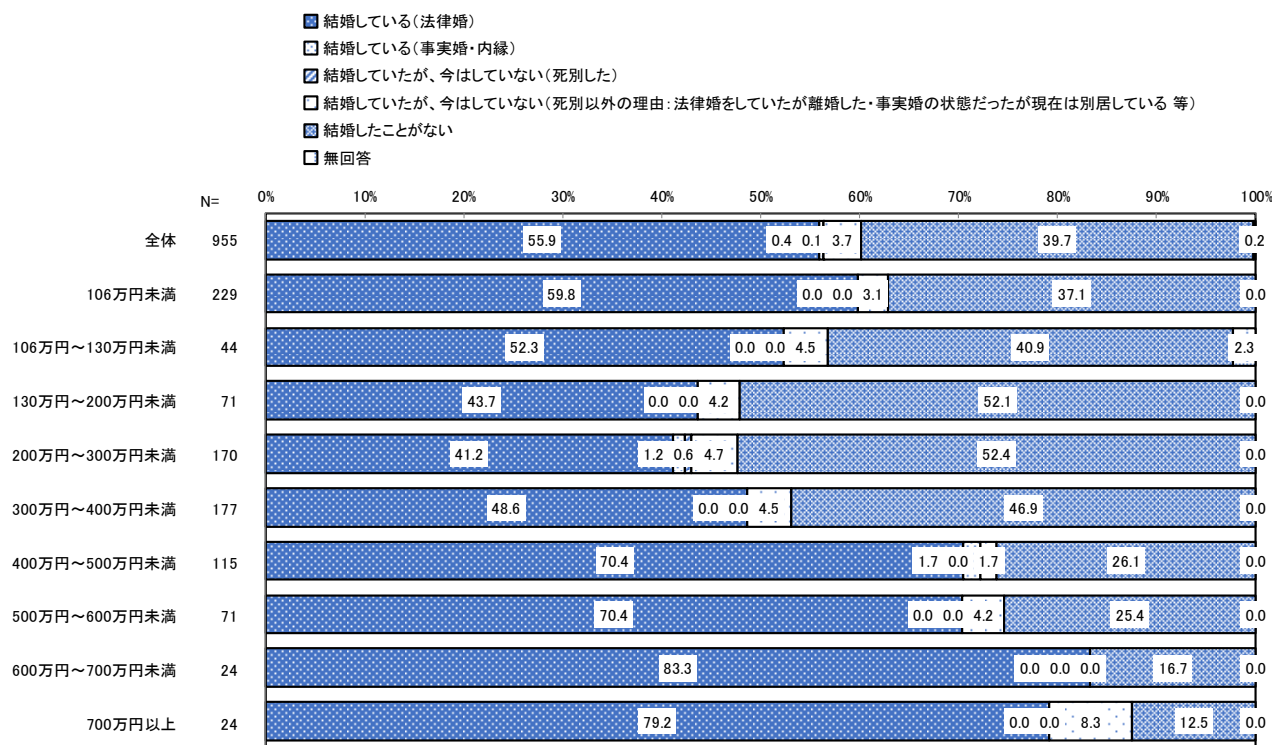
性別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



【前年年収】

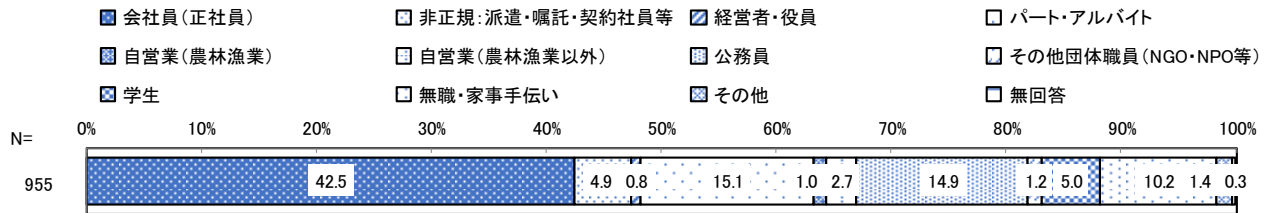
前年年収別にみると、年収 400 万円以上では、「結婚している（法律婚）」割合が 7 割を超えて高くなっており、年収が高ければ婚姻率も高くなる傾向がみられた。また、年収 400 万円前後で婚姻率が大きく変化していることから、年収 400 万円が、結婚を決意する年収のひとつの基準になっている可能性がある。一方、年収 130 万円以下においても婚姻率が過半数を占めて高くなっていることから、結婚後、扶養範囲内の収入に抑えている方が少なくない状況もうかがえた。

〈130 万円～200 万円未満〉では「結婚している（法律婚）」が全体よりも 12.2 ポイント低く、「結婚したことがない」が全体よりも 12.4 ポイント高くなっている。〈200 万円～300 万円未満〉では「結婚している（法律婚）」が全体よりも 14.7 ポイント低く、「結婚したことがない」が全体よりも 12.7 ポイント高くなっている。〈400 万円～500 万円未満〉では「結婚している（法律婚）」が全体よりも 14.5 ポイント高く、「結婚したことがない」が全体よりも 13.6 ポイント低くなっている。〈500 万円～600 万円未満〉では「結婚している（法律婚）」が全体よりも 14.5 ポイント高く、「結婚したことがない」が全体よりも 14.3 ポイント低くなっている。〈600 万円～700 万円未満〉では「結婚している（法律婚）」が全体よりも 27.4 ポイント高く、「結婚したことがない」が全体よりも 23.0 ポイント低くなっている。〈700 万円以上〉では「結婚している（法律婚）」が全体よりも 23.3 ポイント高く、「結婚したことがない」が全体よりも 27.2 ポイント低くなっている。



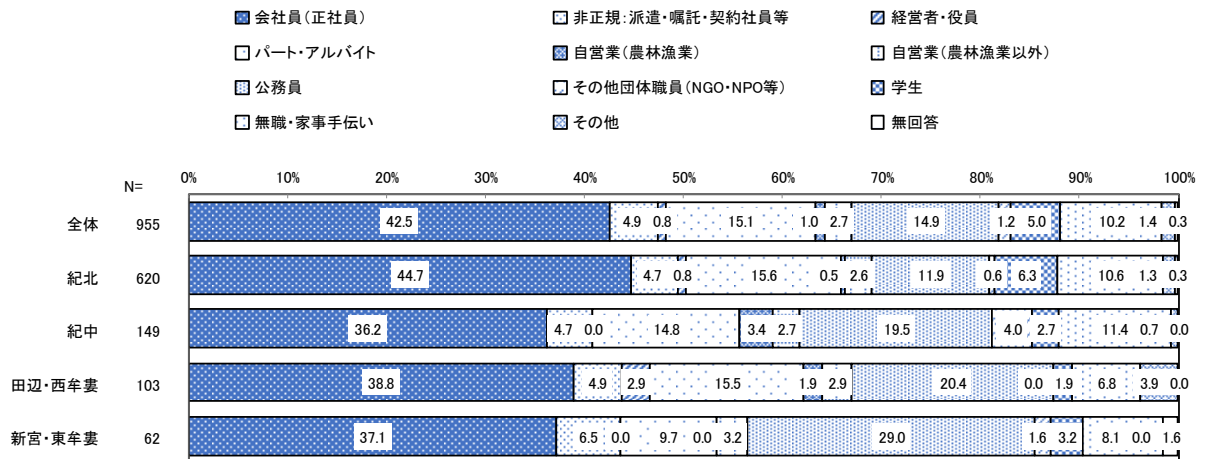
(5) 現在の就労状況をお答えください。【○は1つ】

現在の就労状況について、「会社員（正社員）」が42.5%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が15.1%、「公務員」が14.9%となった。



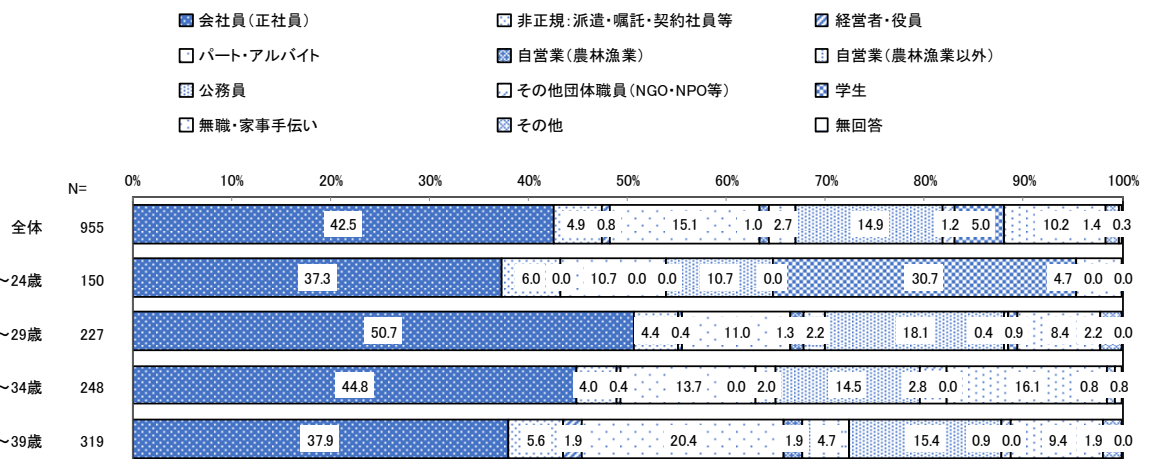
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「会社員（正社員）」が全体よりも6.3ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「公務員」が全体よりも5.5ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「会社員（正社員）」が全体よりも5.4ポイント、「パート・アルバイト」が全体よりも5.4ポイント低くなっている。一方、「公務員」が全体よりも14.1ポイント高くなっている。



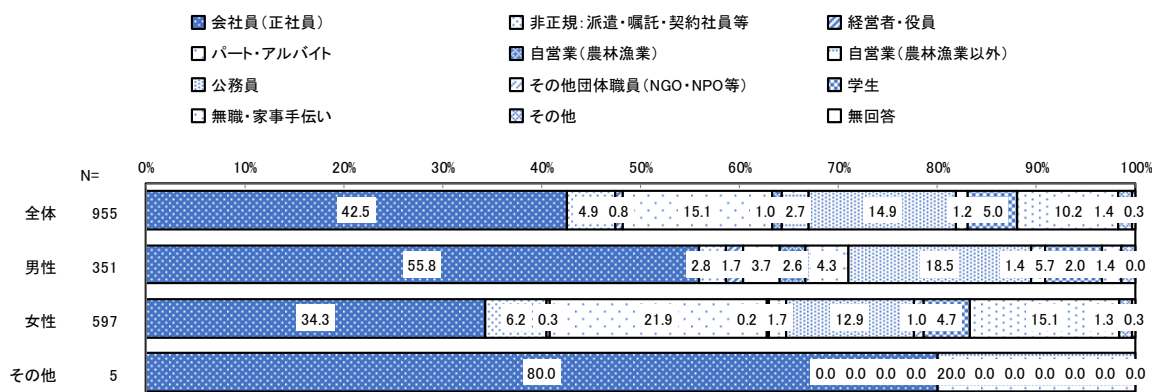
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「会社員（正社員）」が全体よりも5.2ポイント、「無職・家事手伝い」が全体よりも5.5ポイント低くなっている。一方、「学生」が全体よりも25.7ポイント高くなっている。〈25～29歳〉では「会社員（正社員）」が全体よりも8.2ポイント高くなっている。〈30～34歳〉では「学生」が全体よりも5.0ポイント低く、「無職・家事手伝い」が全体よりも5.9ポイント高くなっている。〈35～39歳〉では「パート・アルバイト」が全体よりも5.3ポイント高く、「学生」が全体よりも5.0ポイント低くなっている。



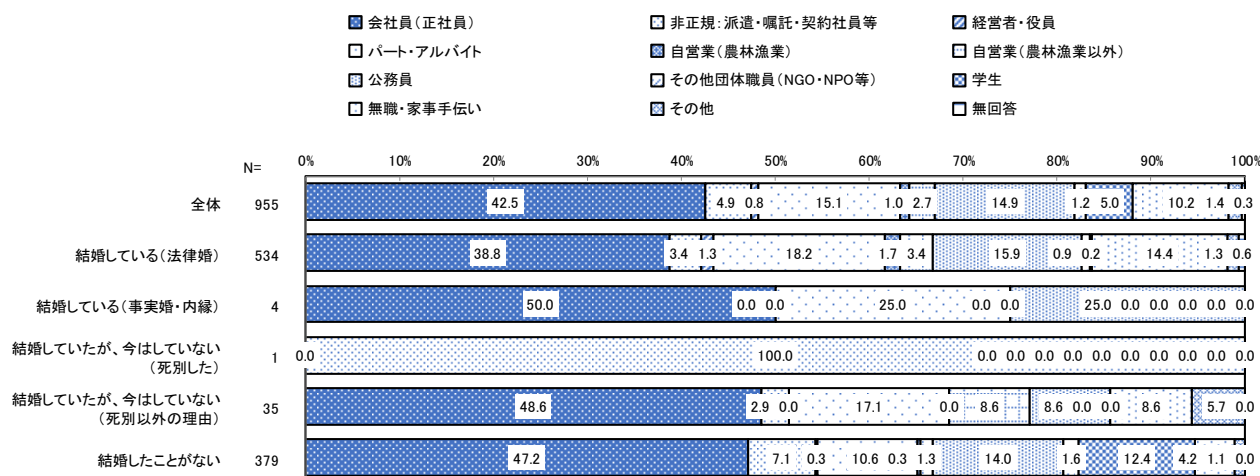
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「会社員（正社員）」が全体よりも13.3ポイント高くなっている。一方、「パート・アルバイト」が全体よりも11.4ポイント、「無職・家事手伝い」が全体よりも8.2ポイント低くなっている。〈女性〉では「会社員（正社員）」が全体よりも8.2ポイント低く、「パート・アルバイト」が全体よりも6.8ポイント高くなっている。



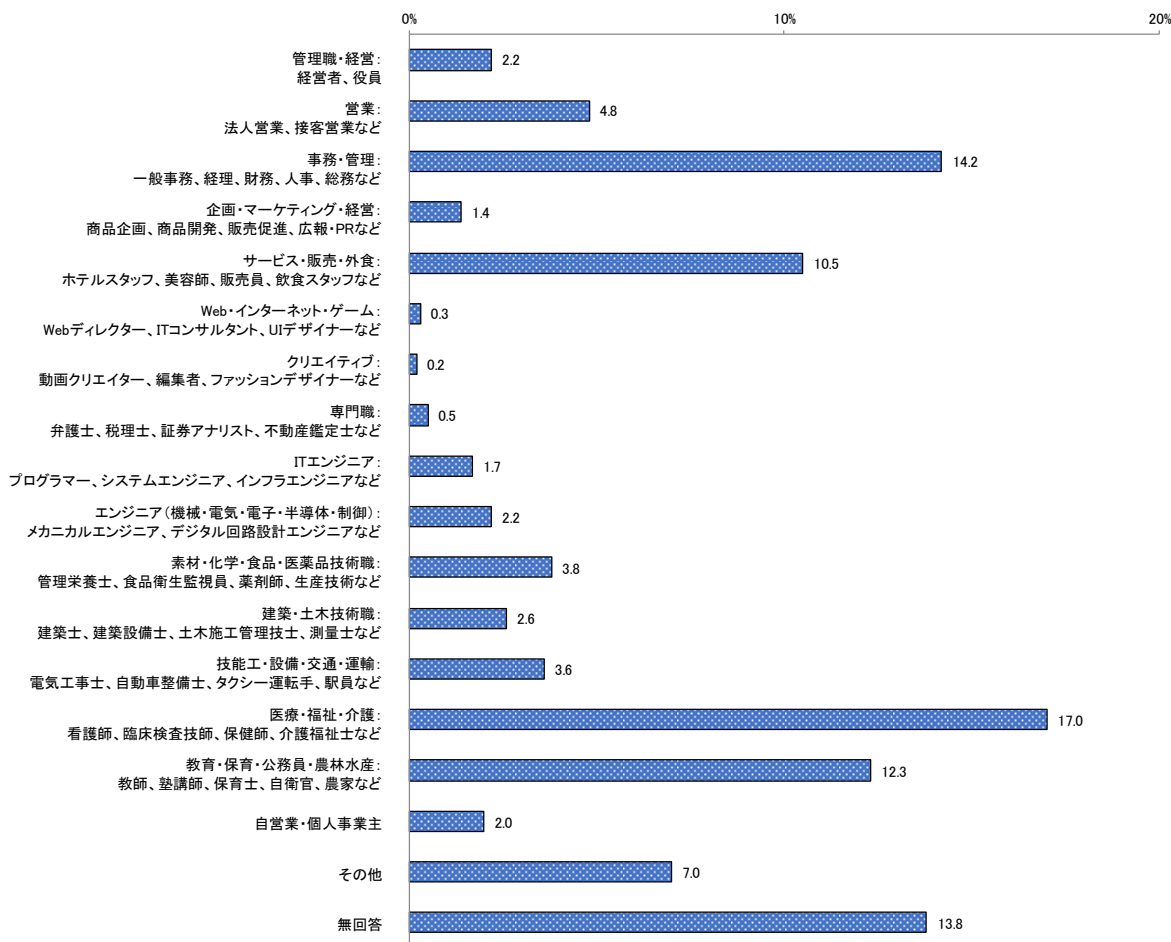
【結婚経験の有無別】

結婚経験の有無別にみると、〈結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由）〉では「会社員（正社員）」が全体よりも6.1ポイント、「自営業（農林漁業以外）」が全体よりも5.9ポイント高くなっている。一方、「公務員」が全体よりも6.3ポイント、「学生」が全体よりも5.0ポイント低くなっている。〈結婚したことがない〉では「学生」が全体よりも7.4ポイント高く、「無職・家事手伝い」が全体よりも6.0ポイント低くなっている。



(6) 現在のご職業での職種をお答えください。【○は1つ】

職種について、「医療・福祉・介護：看護師、臨床検査技師、保健師、介護福祉士など」が17.0%で最も高く、次いで「事務・管理：一般事務、経理、財務、人事、総務など」が14.2%、「教育・保育・公務員・農林水産：教師、塾講師、保育士、自衛官、農家など」が12.3%となった。



【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉を除くすべての地域で「医療・福祉・介護：看護師、臨床検査技師、保健師、介護福祉士など」が最も高くなっている。一方、〈新宮・東牟婁〉では「教育・保育・公務員・農林水産：教師、塾講師、保育士、自衛官、農家など」が最も高くなっている。

【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉及び〈30～34歳〉では「事務・管理：一般事務、経理、財務、人事、総務など」が最も高くなっている。一方、〈25～29歳〉及び〈35～39歳〉では「医療・福祉・介護：看護師、臨床検査技師、保健師、介護福祉士など」が最も高くなっている。

【性別】

性別にみると、〈男性〉では「教育・保育・公務員・農林水産：教師、塾講師、保育士、自衛官、農家など」が最も高くなっている。一方、〈女性〉では「医療・福祉・介護：看護師、臨床検査技師、保健師、介護福祉士など」が最も高くなっている。

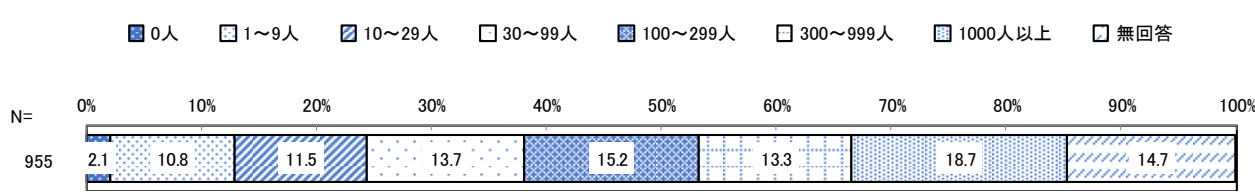
【結婚経験の有無別】

結婚経験の有無別にみると、〈結婚している（法律婚）〉及び〈結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由）〉では「医療・福祉・介護：看護師、臨床検査技師、保健師、介護福祉士など」が最も高くなっている。一方、〈結婚したことがない〉では「事務・管理：一般事務、経理、財務、人事、総務など」が最も高くなっている。

	全体	現在のご職業での職種をお答えください																			
		管理職・経営：経営者、役員	営業：法人営業、接客営業など	人事・総務：一般事務、経理、財務、営業など	企画・マーケティング：商品開発、販売促進、広報、PRなど	企業・メーカー：営業、販売、接客、美容師、販売員、飲食スタッフなど	フリーランス・個人事業主：デザイナー、ライター、翻訳者、編集者、動画クリエイター、Webデザイナー、プログラマー、ITコンサルタント、UIデザイナーなど	クリエイティブ：動画クリエイター、編集者、ファッションデザイナーなど	専門職：弁護士、税理士、証券アナリスト、不動産鑑定士など	その他	無回答										
全体	955 100.0	21 2.2	46 4.8	136 14.2	13 1.4	100 10.5	3 0.3	2 0.2	5 0.5	16 1.7	21 2.2	36 3.8	25 2.6	34 3.6	162 17.0	117 12.3	19 2.0	67 7.0	132 13.8		
地域別	紀北	620 100.0	11 1.8	32 5.2	87 14.0	10 1.6	65 10.5	3 0.5	2 0.3	5 0.8	13 2.1	22 3.5	16 2.6	25 4.0	104 16.8	61 9.8	12 1.9	40 6.5	97 15.6		
	紀中	149 100.0	4 2.7	4 2.7	25 16.8	-	10 6.7	-	-	-	3 2.0	1 0.7	8 5.4	6 4.0	3 2.0	26 17.4	23 15.4	4 2.7	14 9.4	18 12.1	
	田辺・西牟婁	103 100.0	6 5.8	4 3.9	12 11.7	-	16 15.5	-	-	-	-	-	2 1.9	2 1.9	2 3.9	4 17.5	18 16.5	17 1.9	9 8.7	9 8.7	
	新宮・東牟婁	62 100.0	-	4 6.5	12 19.4	3 4.8	6 9.7	-	-	-	-	-	3 3.2	2 1.6	1 1.6	8 12.9	14 22.6	-	2 3.2	6 9.7	
	20～24歳	150 100.0	-	5 3.3	24 16.0	-	21 14.0	-	-	-	1 0.7	2 1.3	8 5.3	1 0.7	5 3.3	19 12.7	8 5.3	1 0.7	9 6.0	46 30.7	
25～29歳	227 100.0	4 1.8	14 6.2	24 10.6	6 2.6	17 7.5	-	1 0.4	1 0.4	3 1.3	5 2.2	12 5.3	13 5.7	13 5.7	42 18.5	30 13.2	3 1.3	22 9.7	17 7.5		
30～34歳	248 100.0	3 1.2	10 4.0	43 17.3	5 2.0	32 12.9	2 0.8	-	3 1.2	3 2.0	5 2.0	5 2.0	8 3.2	8 14.1	35 10.9	27 0.8	2 7.3	18 15.7	39 29.1		
35～39歳	319 100.0	13 4.1	17 5.3	43 13.5	2 0.6	28 8.8	1 0.3	1 0.3	1 0.3	9 2.8	9 2.8	11 3.4	3 0.9	8 2.5	64 20.1	52 16.3	11 3.4	17 5.3	29 9.1		
性別	男性	351 100.0	16 4.6	25 7.1	40 11.4	4 1.1	26 7.4	1 0.3	1 0.3	2 0.6	12 3.4	17 4.8	19 5.4	24 6.8	32 9.1	33 12.3	43 3.1	11 6.3	22 6.6	23 6.6	
	女性	597 100.0	5 0.8	21 3.5	94 15.7	9 1.5	72 12.1	2 0.3	1 0.2	3 0.5	3 0.5	4 0.7	17 2.8	1 0.2	2 0.3	128 21.4	74 12.4	8 1.3	45 7.5	108 18.1	
	その他	5 100.0	-	-	2 40.0	-	2 40.0	-	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
結婚経験の有無別	結婚している(法律婚)	534 100.0	15 2.8	27 5.1	69 12.9	6 1.1	54 10.1	-	3 0.6	4 0.7	13 2.4	17 3.2	13 2.4	18 3.4	98 18.4	74 13.9	15 2.8	36 6.7	72 13.5		
	結婚している(事実婚・内縁)	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	結婚していたが、今はしていない(死別)	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-		
	結婚していたが、今はしていない(死別以外の理由)	35 100.0	2 5.7	4 11.4	3 8.6	-	3 8.6	1 2.9	-	-	-	-	1 2.9	2 5.7	7 20.0	3 8.6	-	2 5.7	5 14.3		
	結婚したことがない	379 100.0	4 1.1	14 3.7	63 16.6	6 1.6	42 11.1	2 0.5	2 0.5	2 0.5	12 3.2	8 2.1	18 4.7	10 2.6	14 3.7	55 14.5	40 10.6	4 1.1	29 7.7	54 14.2	

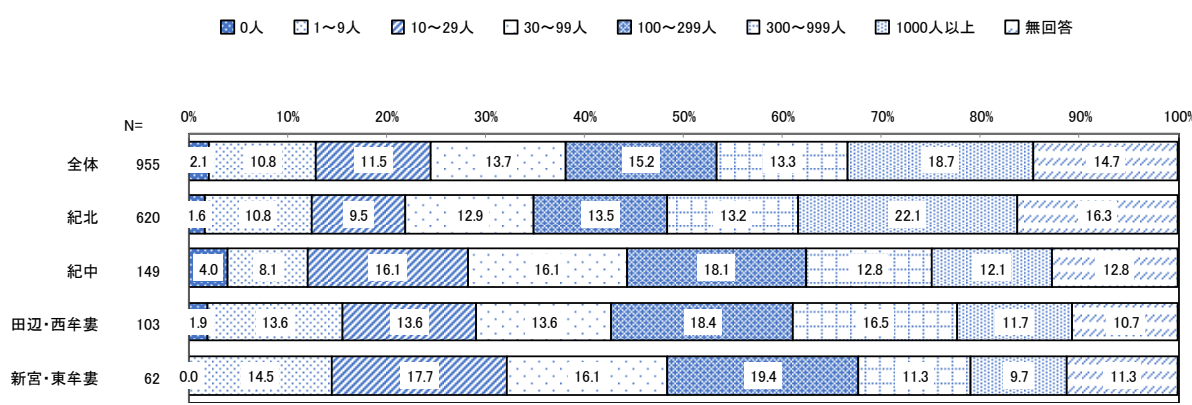
(7) 勤務先の従業員数をお答えください。本社・支社を合計した数で回答をお願いいたします。【○は1つ】※正規雇用者および非正規雇用者（パート・アルバイト等）の合計値を回答ください。※経営者・取締役等の役員は除いてください。

従業員数について、「1000人以上」が18.7%で最も高く、次いで「100～299人」が15.2%、「30～99人」が13.7%となった。



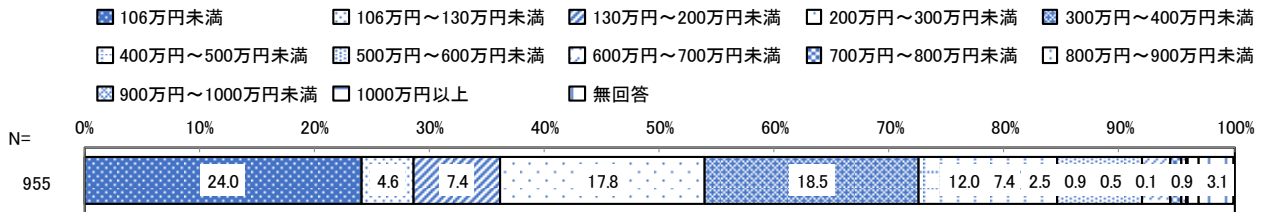
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「1000人以上」が全体よりも6.6ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「1000人以上」が全体よりも7.0ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「10～29人」が全体よりも6.2ポイント高く、「1000人以上」が全体よりも9.0ポイント低くなっている。



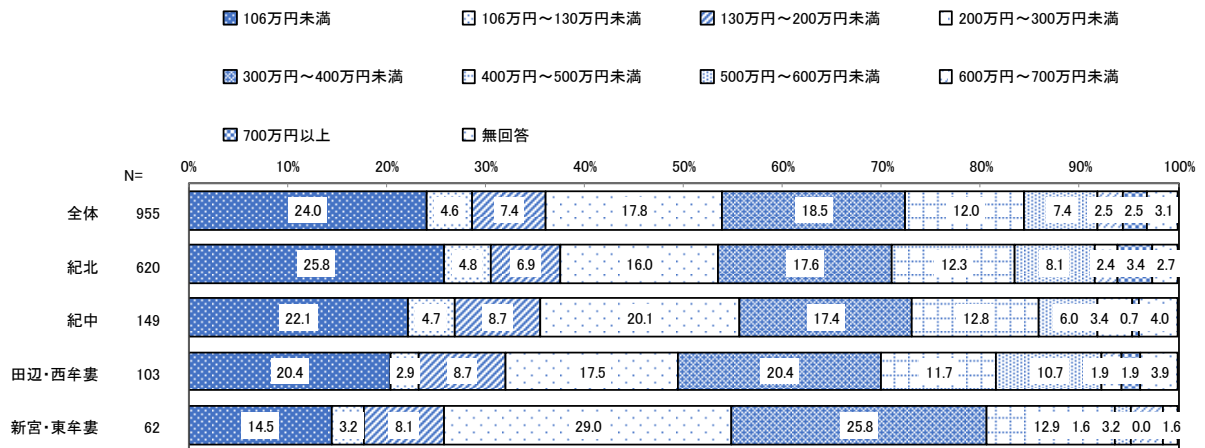
(8) 前年（令和4年1月～12月）の年収をお答えください。【〇は1つ】

前年（令和4年1月～12月）の年収について、「106万円未満」が24.0%で最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が18.5%、「200万円～300万円未満」が17.8%となった。



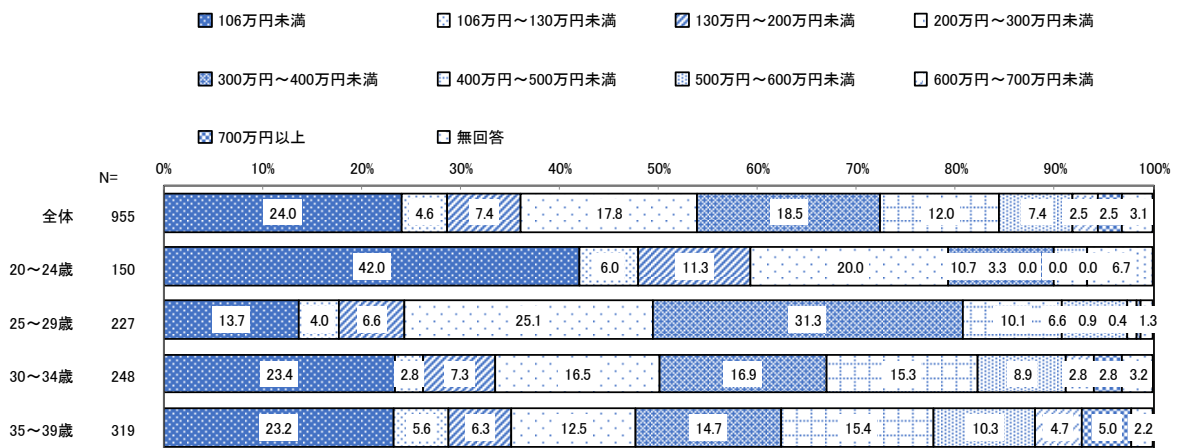
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「106万円未満」が全体よりも9.5ポイント、「500万円～600万円未満」が全体よりも5.8ポイント低くなっている。一方、「200万円～300万円未満」が全体よりも11.2ポイント、「300万円～400万円未満」が全体よりも7.3ポイント高くなっている。



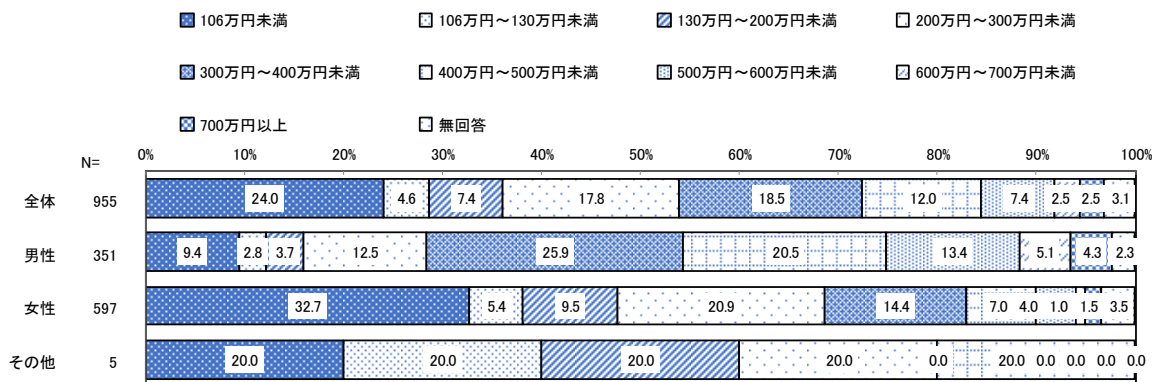
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「106万円未満」が全体よりも18.0ポイント高くなっている。一方、「300万円～400万円未満」が全体よりも7.8ポイント、「400万円～500万円未満」が全体よりも8.7ポイント、「500万円～600万円未満」が全体よりも7.4ポイント低くなっている。〈25～29歳〉では「106万円未満」が全体よりも10.3ポイント低くなっている。一方、「200万円～300万円未満」が全体よりも7.3ポイント、「300万円～400万円未満」が全体よりも12.8ポイント高くなっている。〈35～39歳〉では「200万円～300万円未満」が全体よりも5.3ポイント低くなっている。



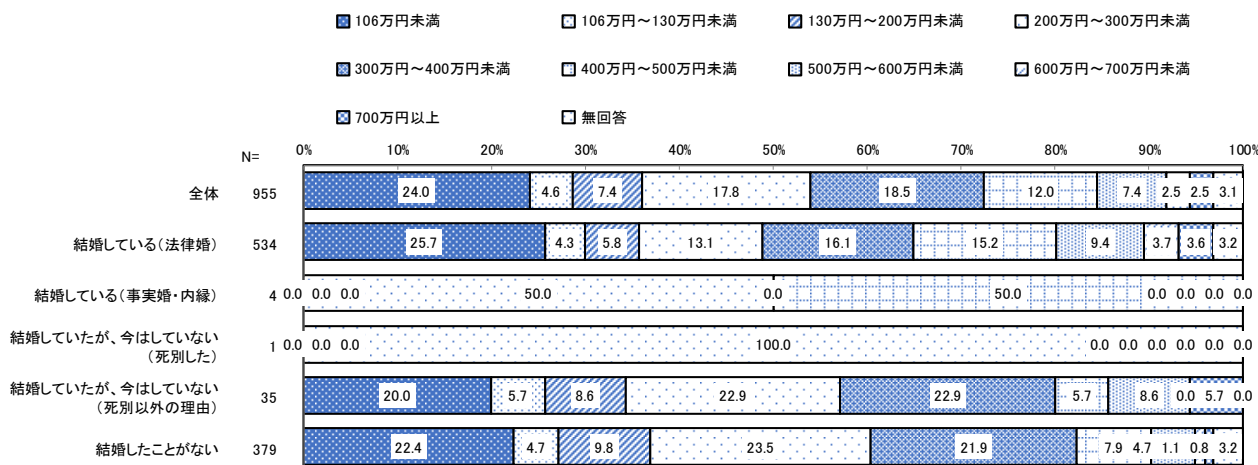
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「106万円未満」が全体よりも14.6ポイント、「200万円～300万円未満」が全体よりも5.3ポイント低くなっている。一方、「300万円～400万円未満」が全体よりも7.4ポイント、「400万円～500万円未満」が全体よりも8.5ポイント、「500万円～600万円未満」が全体よりも6.0ポイント高くなっている。〈女性〉では「106万円未満」が全体よりも8.7ポイント高く、「400万円～500万円未満」が全体よりも5.0ポイント低くなっている。



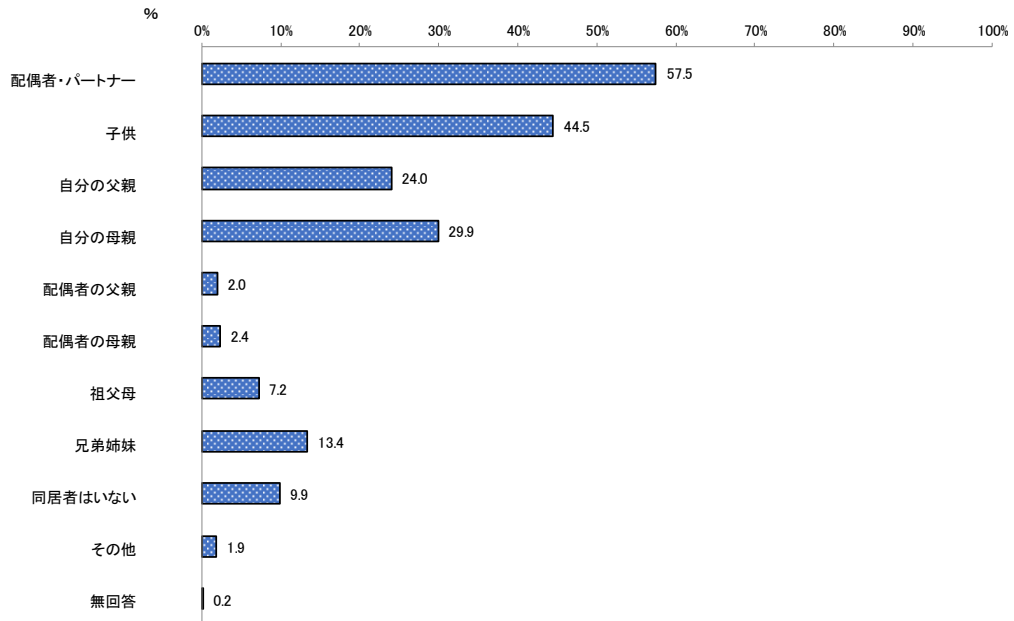
【結婚経験の有無別】

結婚経験の有無別にみると、〈結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由）〉では「200万円～300万円未満」が全体よりも5.1ポイント高く、「400万円～500万円未満」が全体よりも6.3ポイント低くなっている。〈結婚したことがない〉では「200万円～300万円未満」が全体よりも5.7ポイント高くなっている。



(9) あなたと同居されている方をお答えください。【該当する方、全てに○】

同居されている方について、「配偶者・パートナー」が57.5%で最も高く、次いで「子供」が44.5%、「自分の母親」が29.9%となった。



【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「配偶者・パートナー」が最も高くなっている。

【年代別】

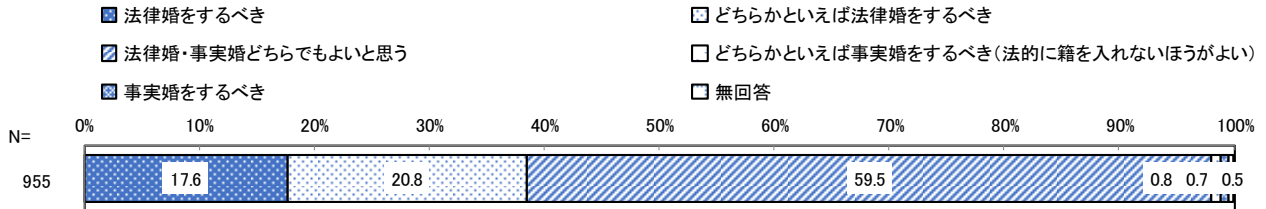
年代別にみると、〈20～24歳〉を除くすべての年代で「配偶者・パートナー」が最も高くなっている。一方、〈20～24歳〉では「自分の母親」が最も高くなっている。

	全体	あなたと同居されている方をお答えください										
		配偶者・パートナー	子供	自分の父親	自分の母親	配偶者の父親	配偶者の母親	祖父母	兄弟姉妹	同居者はいない	その他	無回答
全体	955	54.9	42.5	22.9	28.6	1.9	2.3	6.9	12.8	9.5	1.8	0.2
地域別	紀北	620	57.5	44.5	24.0	29.9	2.0	2.4	7.2	13.4	9.9	1.9
	紀中	149	59.8	45.5	22.3	27.7	1.6	2.1	5.6	11.8	9.7	1.8
	田辺・西牟婁	103	84	67	50	55	5	6	23	28	11	1
	新宮・東牟婁	62	56.4	45.0	33.6	36.9	3.4	4.0	15.4	18.8	7.4	0.7
	その他	103	53	40	24	34	3	3	6	16	12	4
年代別	20～24歳	150	19	7	85	98	-	1	27	65	27	1
	25～29歳	227	12.7	4.7	56.7	65.3	-	0.7	18.0	43.3	18.0	0.7
	30～34歳	248	12.9	6.4	47	64	7	7	12	23	29	5
	35～39歳	319	56.8	28.2	20.7	28.2	3.1	3.1	5.3	10.1	12.8	2.2
	その他	248	160	126	43	59	6	6	18	19	19	6
性別	男性	351	64.5	50.8	17.3	23.8	2.4	2.4	7.3	7.7	7.7	2.4
	女性	597	23.3	22.1	53	64	6	8	12	21	20	5
	その他	5	73.0	69.3	16.6	20.1	1.9	2.5	3.8	6.6	6.3	1.6
	無回答	100.0	-	20.0	80.0	80.0	-	-	-	60.0	-	-

(10) あなたの結婚観について、法律婚と事実婚・内縁(※)に対する考えをお答えください。

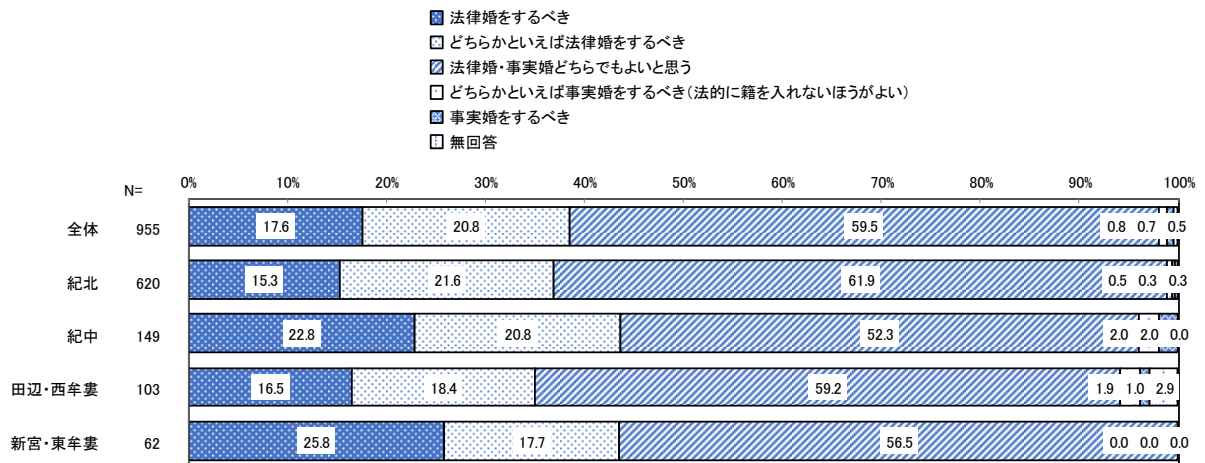
【○は1つ】 ※事実婚・内縁：婚姻の意思があり、共同生活の事実があるが、婚姻届けを役所に提出していないカップル

法律婚と事実婚・内縁に対する考えについて、「法律婚・事実婚どちらもよいと思う」が59.5%で最も高く、次いで「どちらかといえば法律婚をするべき」が20.8%、「法律婚をするべき」が17.6%となった。



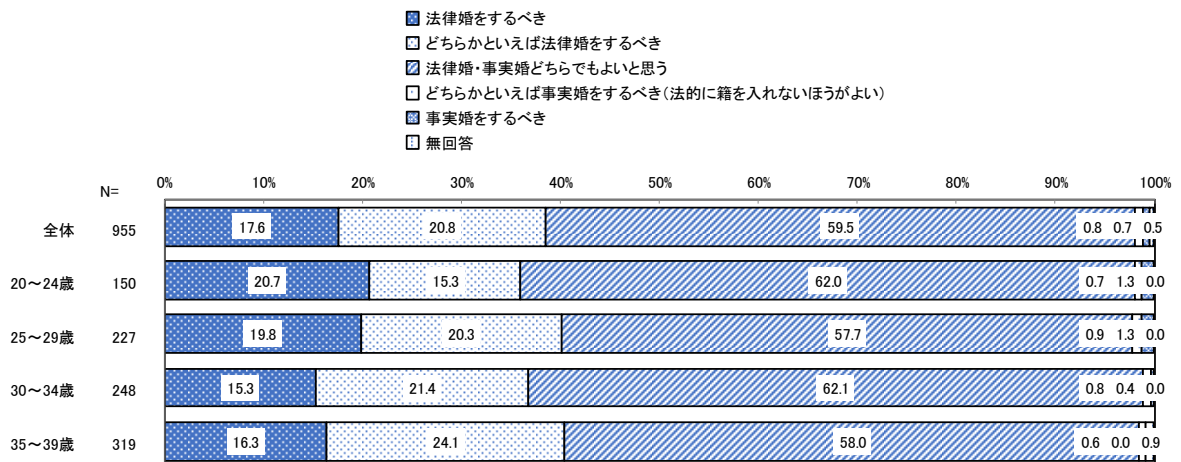
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「法律婚をするべき」が全体よりも5.2ポイント高く、「法律婚・事実婚どちらもよいと思う」が全体よりも7.2ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「法律婚をするべき」が全体よりも8.2ポイント高くなっている。



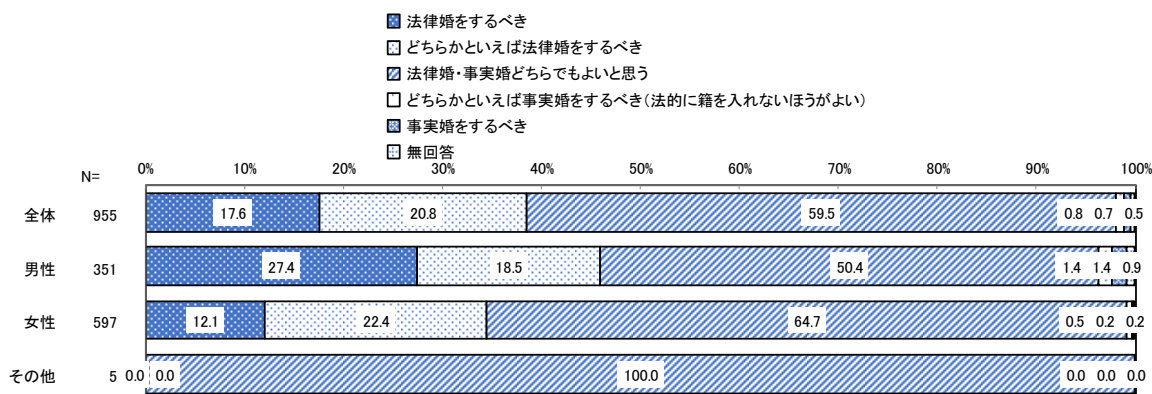
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「どちらかといえば法律婚をするべき」が全体よりも5.5ポイント低くなっている。



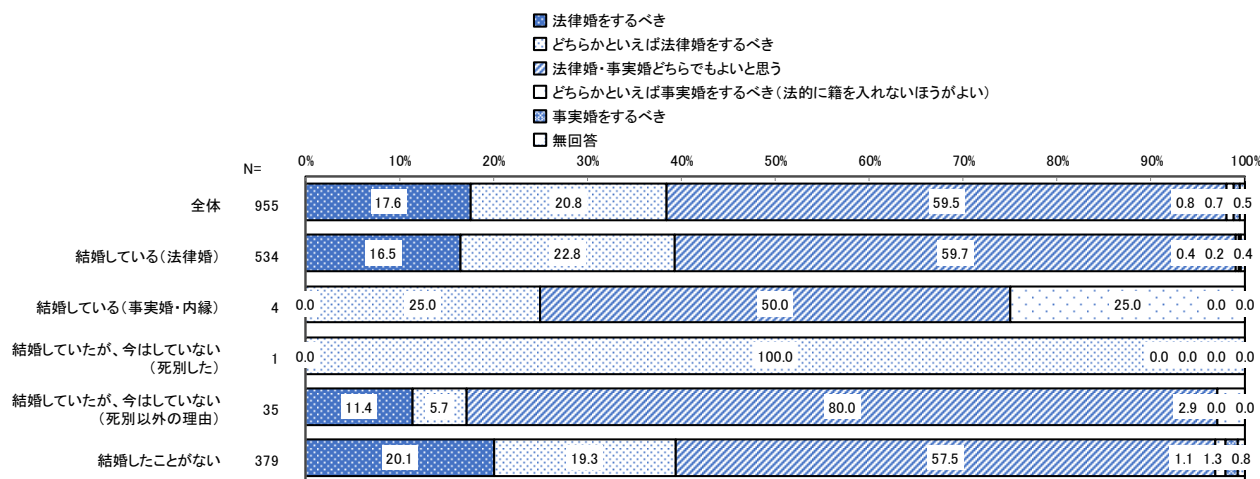
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「法律婚をするべき」が全体よりも9.8ポイント高く、「法律婚・事実婚どちらでもよいと思う」が全体よりも9.1ポイント低くなっている。〈女性〉では「法律婚をするべき」が全体よりも5.5ポイント低く、「法律婚・事実婚どちらでもよいと思う」が全体よりも5.2ポイント高くなっている。



【結婚経験の有無別】

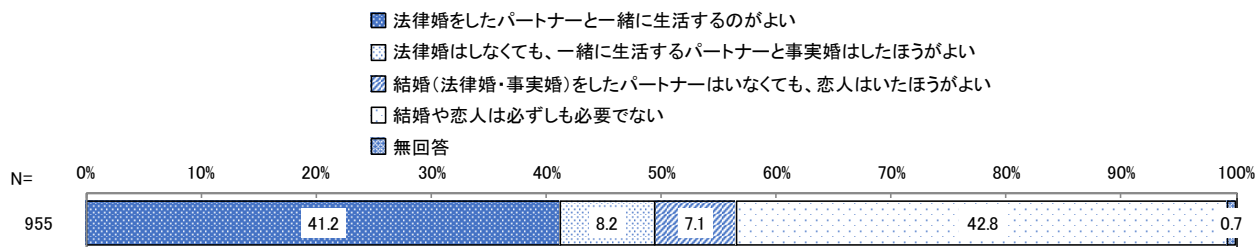
結婚経験の有無別にみると、〈結婚していたが、今はしていない(死別以外の理由)〉では「法律婚をするべき」が全体よりも6.2ポイント、「どちらかといえば法律婚をするべき」が全体よりも15.1ポイント低くなっている。一方、「法律婚・事実婚どちらでもよいと思う」が全体よりも20.5ポイント高くなっている。



(11) あなたの結婚観について、一緒に生活するパートナーに対する考えをお答えください。

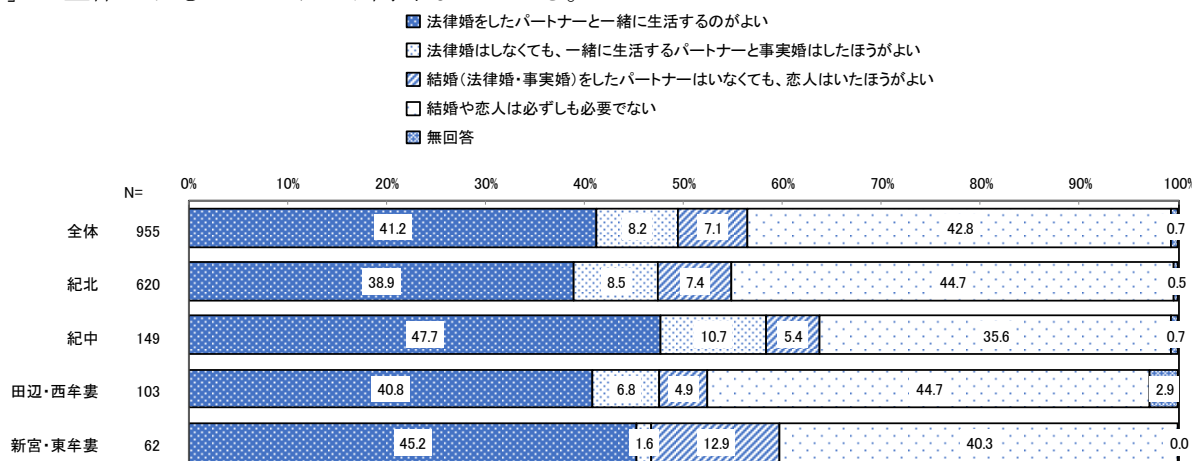
【〇は1つ】

一緒に生活するパートナーに対する考えについて、「結婚や恋人は必ずしも必要でない」が42.8%で最も高く、次いで「法律婚をしたパートナーと一緒に生活するのがよい」が41.2%、「法律婚はしなくても、一緒に生活するパートナーと事実婚はしたほうがよい」が8.2%、「結婚(法律婚・事実婚)をしたパートナーはいなくても、恋人はいたほうがよい」が7.1%、「結婚や恋人は必ずしも必要でない」が42.8%となった。



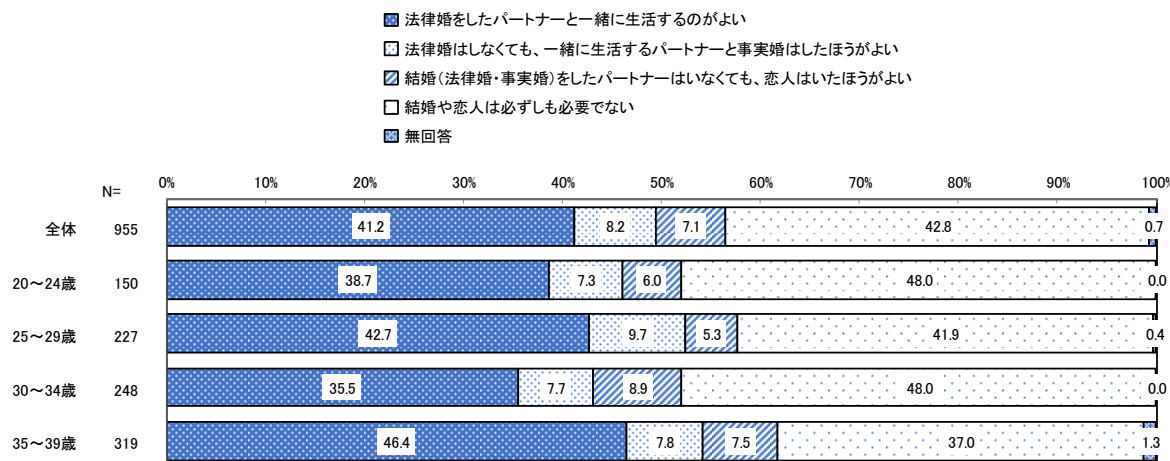
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「法律婚をしたパートナーと一緒に生活するのがよい」が全体よりも6.5ポイント高く、「結婚や恋人は必ずしも必要でない」が全体よりも7.2ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「法律婚はしなくても、一緒に生活するパートナーと事実婚はしたほうがよい」が全体よりも6.6ポイント低く、「結婚(法律婚・事実婚)をしたパートナーはいなくても、恋人はいたほうがよい」が全体よりも5.8ポイント高くなっている。



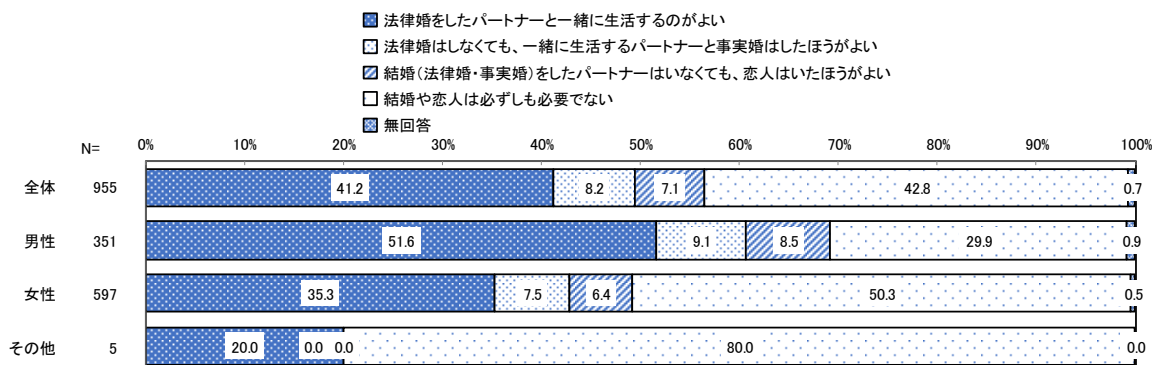
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「結婚や恋人は必ずしも必要でない」が全体よりも5.2ポイント高くなっている。〈30～34歳〉では「法律婚をしたパートナーと一緒に生活するのがよい」が全体よりも5.7ポイント低く、「結婚や恋人は必ずしも必要でない」が全体よりも5.2ポイント高くなっている。〈35～39歳〉では「法律婚をしたパートナーと一緒に生活するのがよい」が全体よりも5.2ポイント高く、「結婚や恋人は必ずしも必要でない」が全体よりも5.8ポイント低くなっている。



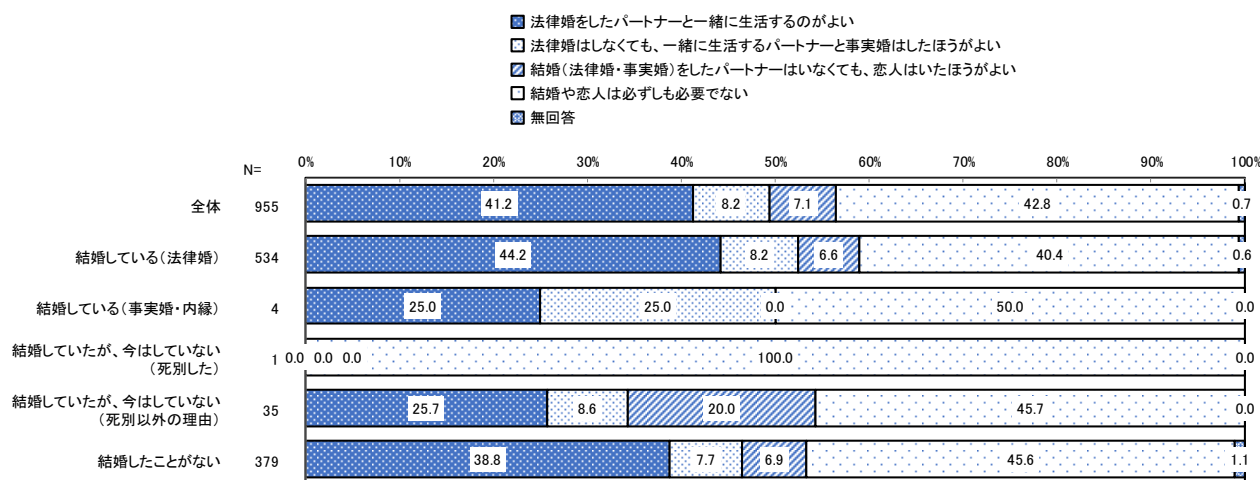
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「法律婚をしたパートナーと一緒に生活するのがよい」が全体よりも 10.4 ポイント高く、「結婚や恋人は必ずしも必要でない」が全体よりも 12.9 ポイント低くなっている。〈女性〉では「法律婚をしたパートナーと一緒に生活するのがよい」が全体よりも 5.9 ポイント低く、「結婚や恋人は必ずしも必要でない」が全体よりも 7.5 ポイント高くなっている。



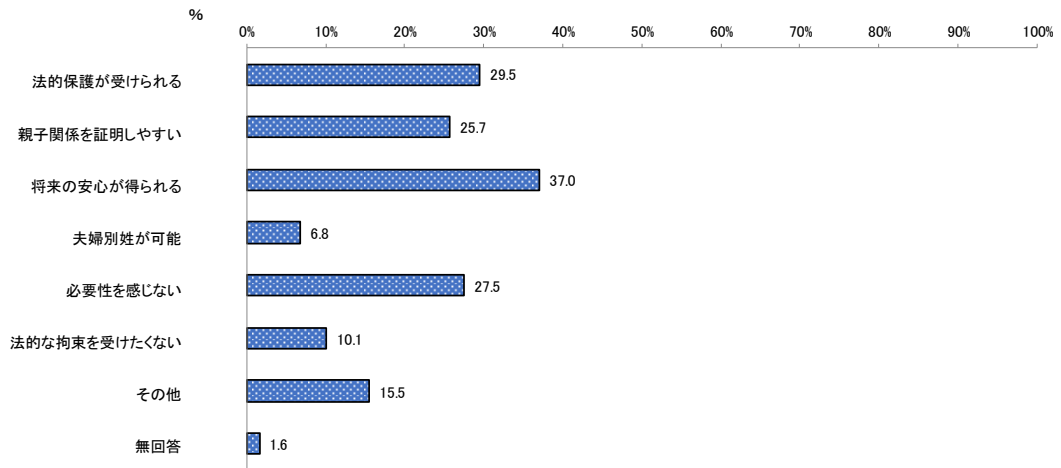
【結婚経験の有無別】

結婚経験の有無別にみると、〈結婚していたが、今はしていない(死別以外の理由)〉では「法律婚をしたパートナーと一緒に生活するのがよい」が全体よりも 15.5 ポイント低く、「結婚(法律婚・事実婚)をしたパートナーはいなくても、恋人はいたほうがよい」が全体よりも 12.9 ポイント高くなっている。



(12) (11) で回答した理由をお答えください。【当てはまるものすべてに○】

(11) で回答した結婚観をもっている理由について、「将来の安心が得られる」が 37.0%で最も高く、次いで「法的保護が受けられる」が 29.5%、「必要性を感じない」が 27.5%となった。



【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「将来の安心が得られる」が最も高くなっている。

【年代別】

年代別にみると、すべての年代で「将来の安心が得られる」が最も高くなっている。

【性別】

性別にみると、男女ともに「将来の安心が得られる」が最も高くなっている。

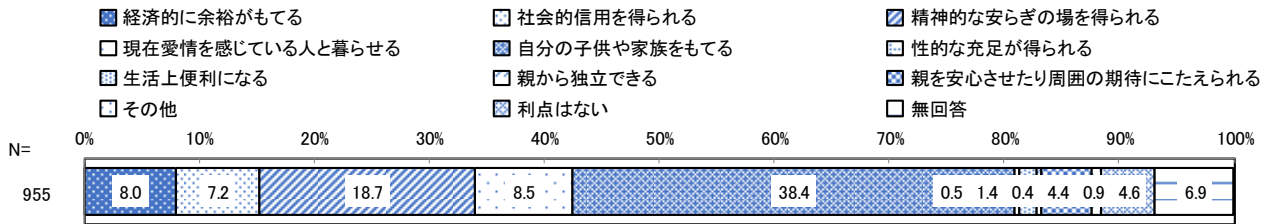
【結婚経験の有無別】

結婚経験の有無別にみると、〈結婚している（法律婚）〉では「将来の安心が得られる」が最も高くなっている。一方、〈結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由）〉及び〈結婚したことがない〉では「必要性を感じない」が最も高くなっている。

		全 体	問11で回答した理由をお答えください							無回答
			法的保護が 受けられる	親子関係を 証明しやすい	将来の安心 が得られる	夫婦別姓が 可能	必要性を感じ ない	法的な拘束 を受けたくない	その他	
全 体		955 100.0	282 29.5	245 25.7	353 37.0	65 6.8	263 27.5	96 10.1	148 15.5	15 1.6
地域 別	紀北	620 100.0	178 28.7	148 23.9	227 36.6	47 7.6	176 28.4	57 9.2	98 15.8	9 1.5
	紀中	149 100.0	44 29.5	46 30.9	60 40.3	8 5.4	37 24.8	16 10.7	20 13.4	2 1.3
	田辺・西牟婁	103 100.0	30 29.1	30 29.1	31 30.1	6 5.8	28 27.2	12 11.7	20 19.4	3 2.9
	新宮・東牟婁	62 100.0	20 32.3	16 25.8	27 43.5	4 6.5	17 27.4	9 14.5	7 11.3	1 1.6
	20～24歳	150 100.0	41 27.3	32 21.3	51 34.0	8 5.3	47 31.3	19 12.7	17 11.3	-
年代 別	25～29歳	227 100.0	58 25.6	53 23.3	85 37.4	20 8.8	68 30.0	15 6.6	41 18.1	3 1.3
	30～34歳	248 100.0	68 27.4	60 24.2	84 33.9	19 7.7	80 32.3	31 12.5	37 14.9	3 1.2
	35～39歳	319 100.0	114 35.7	99 31.0	129 40.4	18 5.6	67 21.0	28 8.8	52 16.3	7 2.2
	男性	351 100.0	133 37.9	109 31.1	149 42.5	16 4.6	75 21.4	32 9.1	34 9.7	8 2.3
性別	女性	597 100.0	147 24.6	136 22.8	204 34.2	49 8.2	185 31.0	63 10.6	113 18.9	6 1.0
	その他	5 100.0	2 40.0	-	-	-	3 60.0	-	1 20.0	-
	結婚している（法律婚）	534 100.0	162 30.3	154 28.8	208 39.0	33 6.2	109 20.4	51 9.6	105 19.7	9 1.7
結婚 経験 の 有 無 別	結婚している （事実婚・内縁）	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-
	結婚していたが、今はし ていない（死別）	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	結婚していたが、今はし ていない （死別以外の理由）	35 100.0	9 25.7	4 11.4	12 34.3	6 17.1	14 40.0	6 17.1	1 2.9	-
	結婚したことがない	379 100.0	109 28.8	86 22.7	131 34.6	25 6.6	138 36.4	38 10.0	41 10.8	6 1.6

(13) 結婚（事実婚・内縁を含む）することの利点は何かと教えてください。【○は1つ】 ※事実婚・内縁：婚姻の意思があり、共同生活の事実があるが、婚姻届けを役所に提出していないカップル

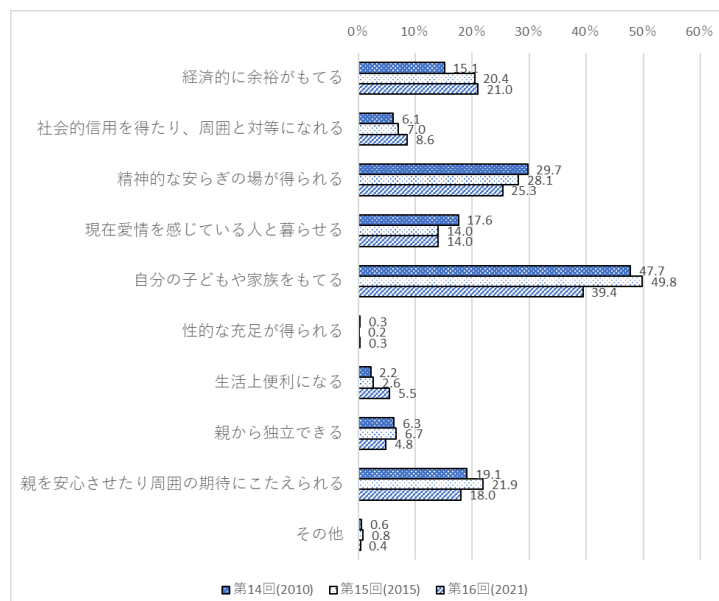
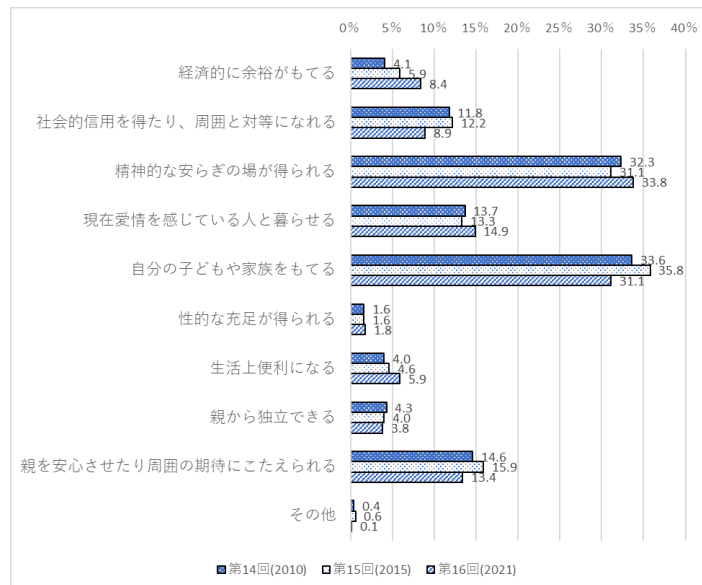
結婚（事実婚・内縁を含む）することの利点について、「自分の子供や家族をもてる」が38.4%で最も高く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」が18.7%、「現在愛情を感じている人と暮らせる」が8.5%となった。



【全国値】

出生動向基本調査の結果をみると、結婚の利点は、「精神的な安らぎの場が得られる」「自分の子どもや家族をもてる」が上位を占めており、和歌山県・全国いずれも類似した傾向がみられた。ただし、出生動向基本調査では「自分の子どもや家族をもてる」は減少傾向にあり、特に女性（39.4%）は前回調査から10ポイント以上減少していることから、和歌山県も減少傾向にある可能性はある。

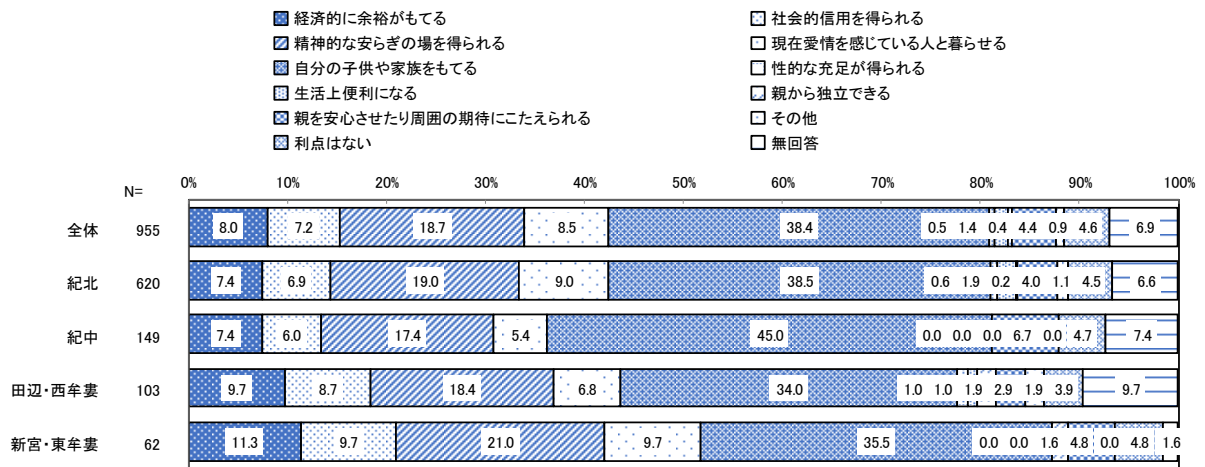
※出生動向基本調査では2つまで選択、本調査では1つ選択と回答形式が異なる点には留意が必要



出典：第16回出生動向基本調査（上：男性、下：女性）

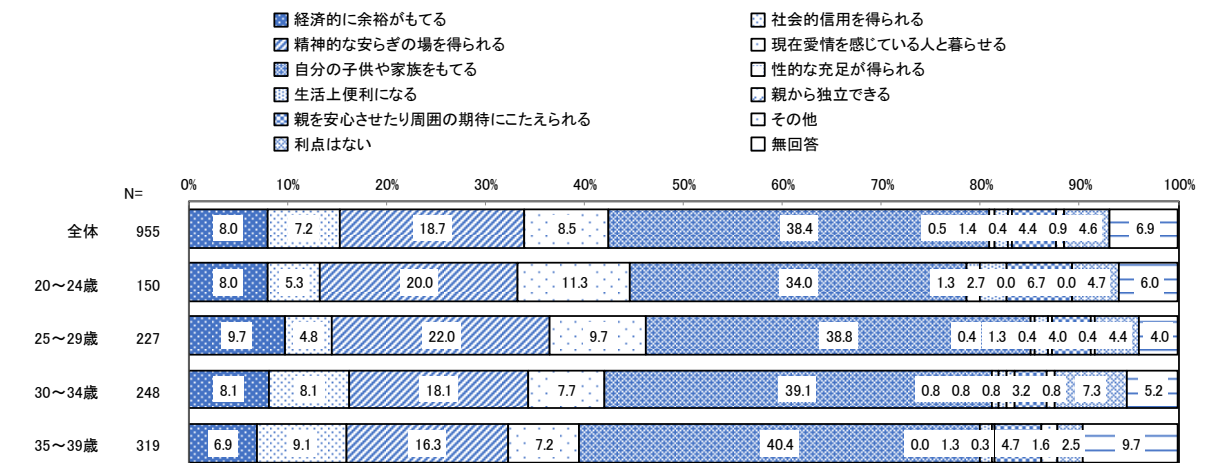
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「自分の子供や家族をもてる」が全体よりも6.6ポイント高くなっている。



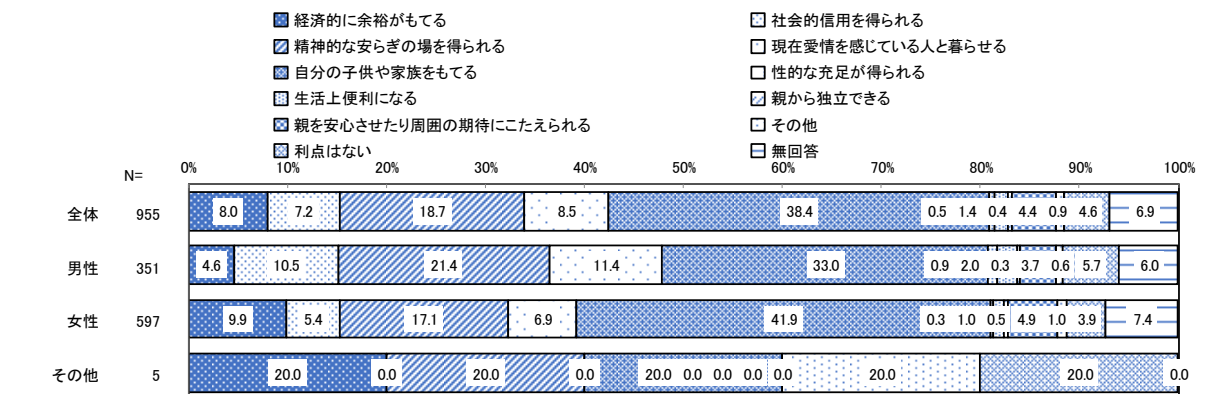
【年代別】

年代別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



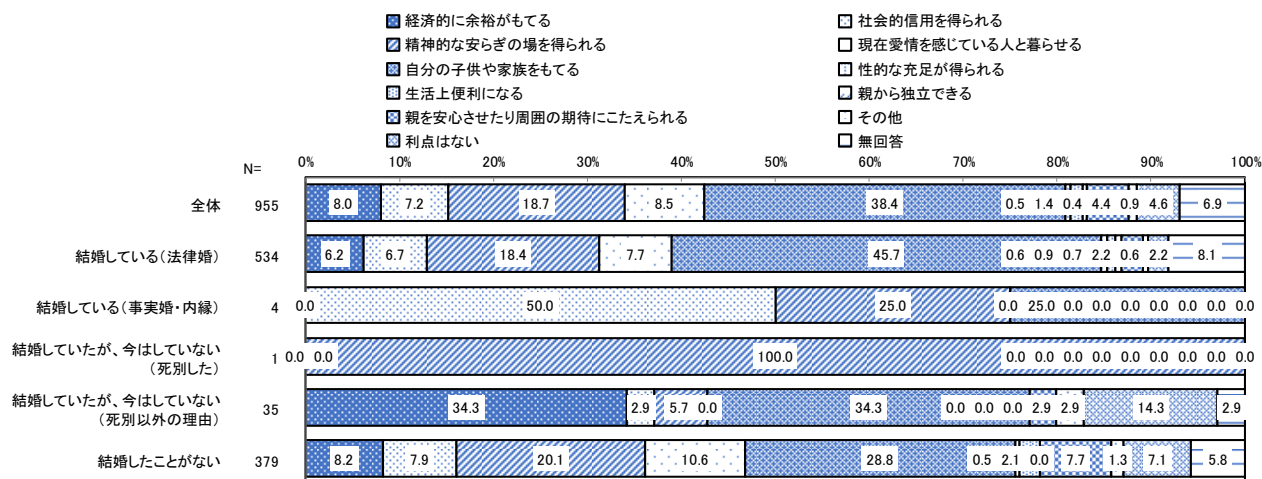
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「自分の子供や家族をもてる」が全体よりも5.4ポイント低くなっている。



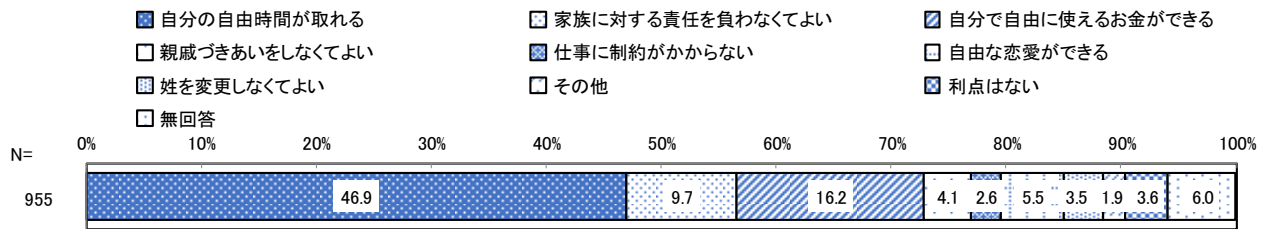
【結婚経験の有無別】

結婚経験の有無別にみると、〈結婚している（法律婚）〉では「自分の子供や家族をもてる」が全体よりも7.3ポイント高くなっている。〈結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由）〉では「経済的に余裕がもてる」が全体よりも26.3ポイント、「利点はない」が全体よりも9.7ポイント高くなっている。一方、「精神的な安らぎの場を得られる」が全体よりも13.0ポイント、「現在愛情を感じている人と暮らせる」が全体よりも8.5ポイント低くなっている。〈結婚したことがない〉では「自分の子供や家族をもてる」が全体よりも9.6ポイント低くなっている。



(14) 結婚（事実婚・内縁を含む）しないことの利点は何だと考えますか。【○は1つ】

結婚（事実婚・内縁を含む）しないことの利点について、「自分の自由時間が取れる」が46.9%で最も高く、次いで「自分で自由に使えるお金ができる」が16.2%、「家族に対する責任を負わなくてよい」が9.7%となった。

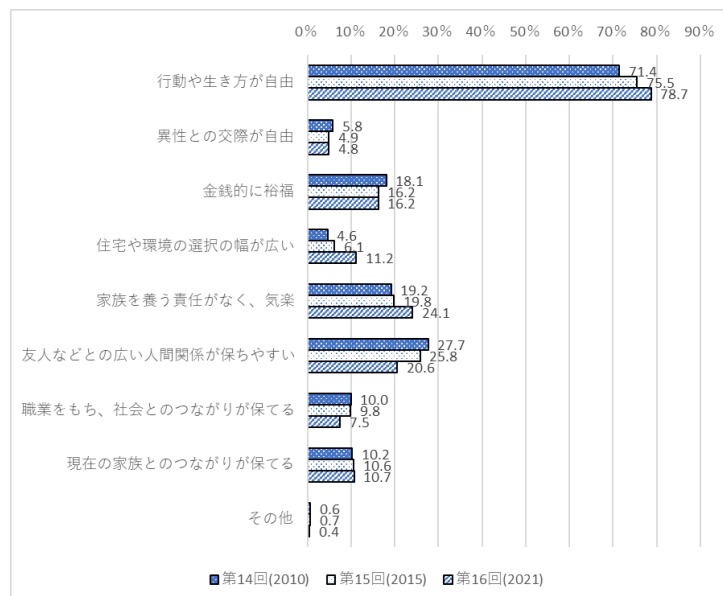
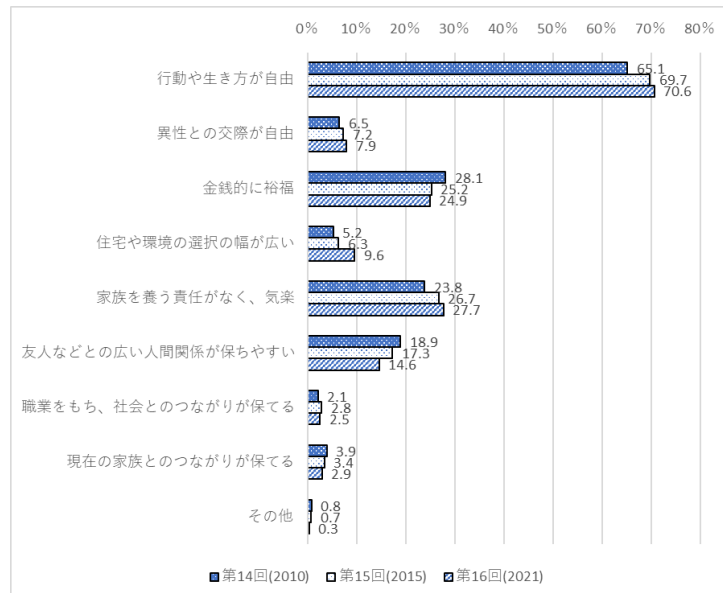


【全国値】

出生動向基本調査での経年結果をみると、独身生活の具体的な利点として挙げる人が最多である「行動や生き方が自由」は増加傾向が続いており、男性で70.6%、女性で78.7%となった。

本調査においても、「自分の自由時間が取れる」が男性52.7%、女性43.6%と、5割前後の大きな支持を集めており、類似した傾向がみられた。

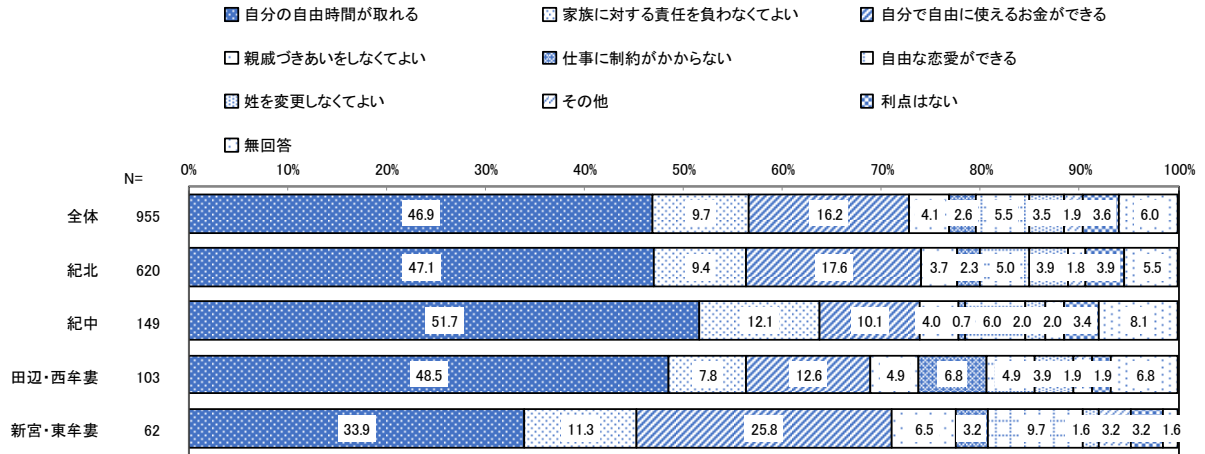
※出生動向基本調査では2つまで選択、本調査では1つ選択と回答形式が異なる点には留意が必要



出典：第16回出生動向基本調査（上：男性、下：女性）

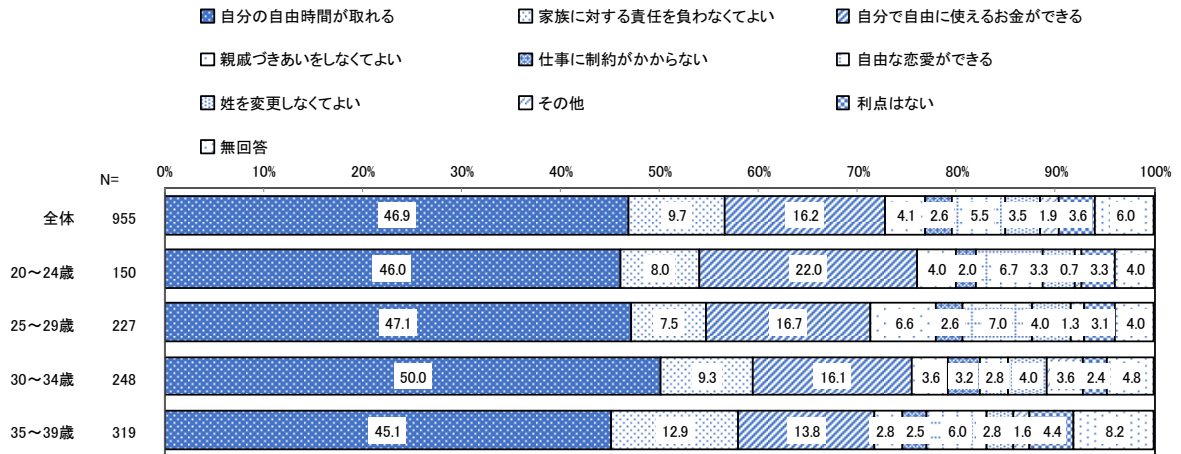
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「自分で自由に使えるお金ができる」が全体よりも6.1ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「自分の自由時間が取れる」が全体よりも13.0ポイント低く、「自分で自由に使えるお金ができる」が全体よりも9.6ポイント高くなっている。



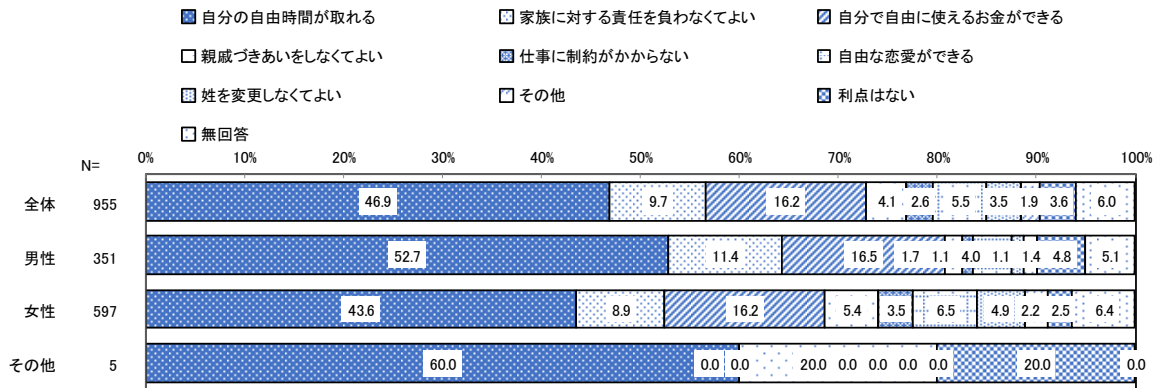
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「自分で自由に使えるお金ができる」が全体よりも5.8ポイント高くなっている。



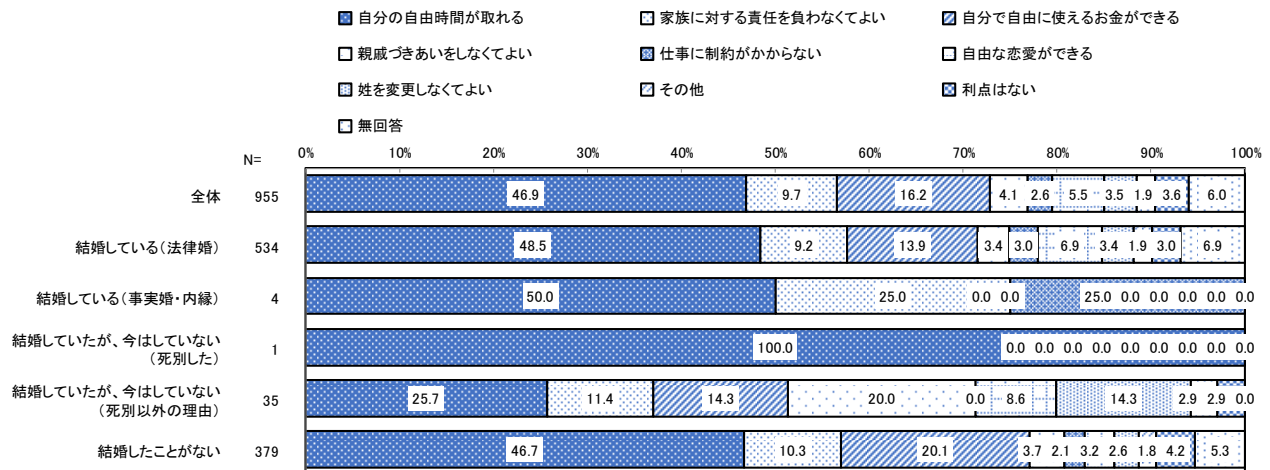
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「自分の自由時間が取れる」が全体よりも 5.8 ポイント高くなっている。



【結婚経験の有無別】

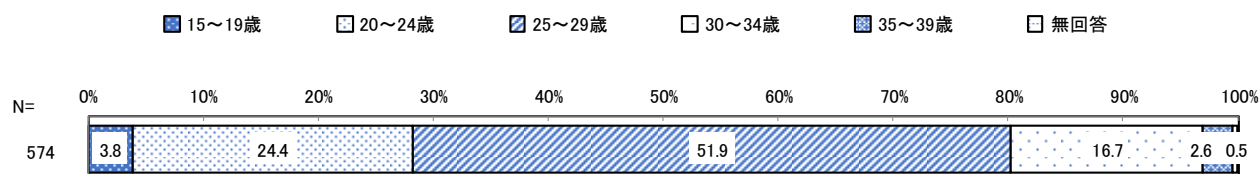
結婚経験の有無別にみると、〈結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由）〉では「自分の自由時間が取れる」が全体よりも 21.2 ポイント低くなっている。一方、「親戚づきあいをしなくてよい」が全体よりも 15.9 ポイント、「姓を変更しなくてよい」が全体よりも 10.8 ポイント高くなっている。



以下、問 15～22 は、結婚している・結婚していたことのある方（事実婚・内縁を含む）のみ回答

(15) あなたが最初に結婚した年齢をお答えください。

最初に結婚した年齢について、「25～29 歳」が 51.9%で最も高く、次いで「20～24 歳」が 24.4%、「30～34 歳」が 16.7%となった。



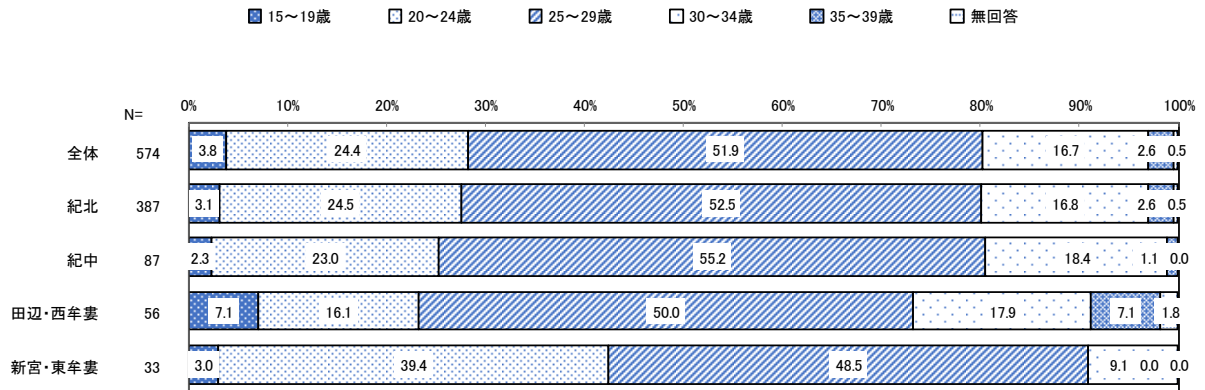
【全国値】

人生 100 年時代における結婚・仕事・収入に関する調査をみると、最初に結婚した年齢の平均値は、「女性（妻）」は 26.6 歳（理想は 26.1 歳）、「男性（夫）」は 28.9 歳（理想は 28.0 歳）となっている。本調査においても、25～29 歳が最も多くなっており、また、男女別では男性の方がやや年齢が高いケースが多い点で傾向が一致している。

※人生 100 年時代における結婚・仕事・収入に関する調査では数値回答の平均値を算出している。

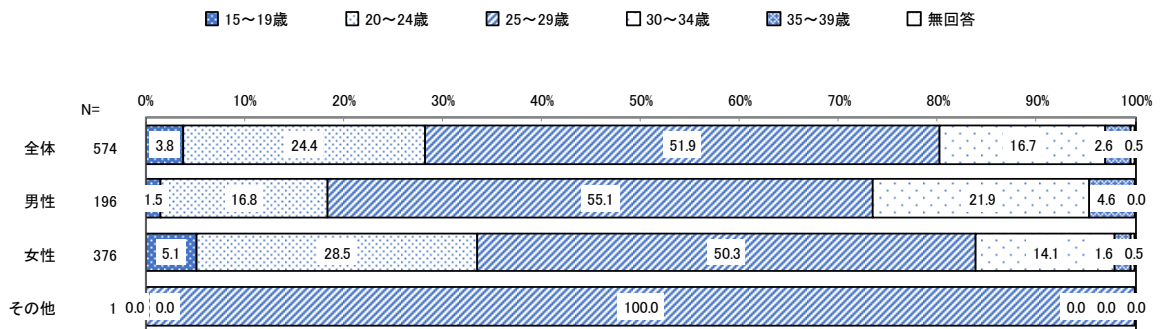
【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「20～24歳」が全体よりも8.3ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「20～24歳」が全体よりも15.0ポイント高く、「30～34歳」が全体よりも7.6ポイント低くなっている。



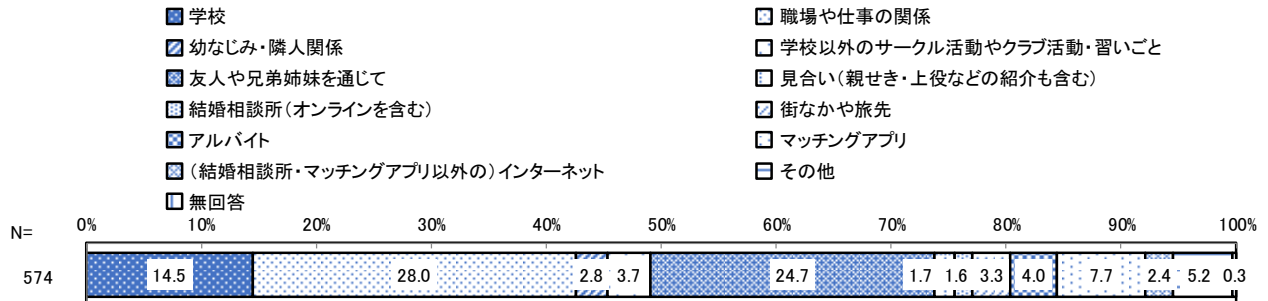
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「20～24歳」が全体よりも7.6ポイント低く、「30～34歳」が全体よりも5.2ポイント高くなっている。



(16) どのようなきっかけで結婚相手と知り合いましたか。【○は1つ】※複数婚姻歴がある場合は直近の婚姻についてお答えください。

どのようなきっかけで結婚相手と知り合いましたかについて、「職場や仕事の関係」が 28.0%で最も高く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」が 24.7%、「学校」が 14.5%となった。



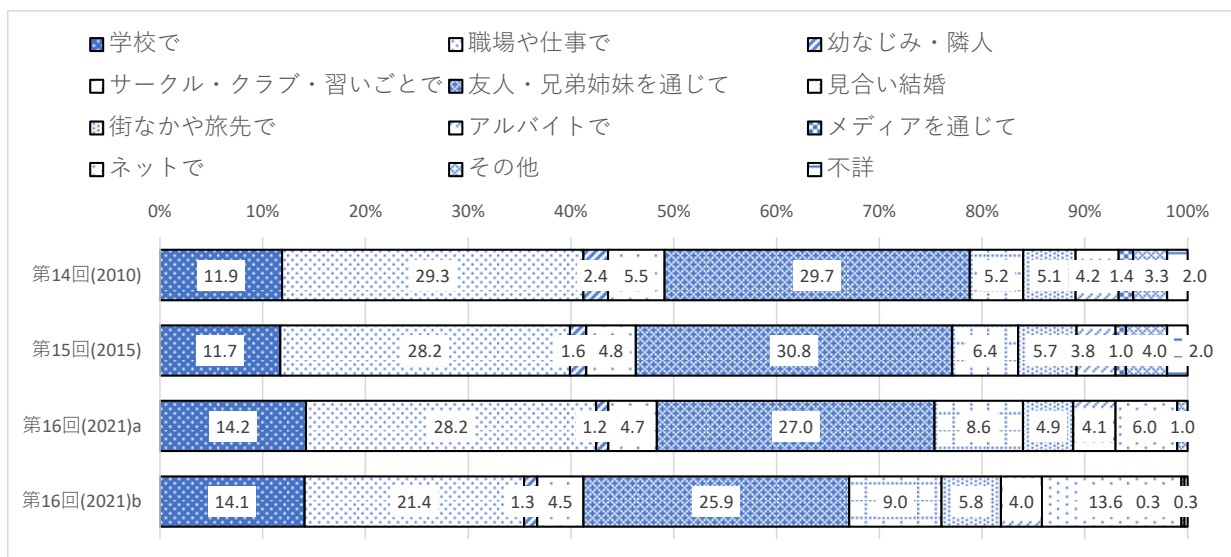
【全国値】

出生動向基本調査で配偶者と知り合ったきっかけをみると、上位を占めている「職場や仕事で」(第14回 29.3%、第16回b 21.4%)「友人・兄弟姉妹を通じて」(第14回 29.7%、第16回b 25.9%)の割合が、直近4回(第16回は2回に分けて実施)を通して減少傾向にある。また、第16回より追加された「ネットで」が 13.6%と増加傾向がみられる点が特徴といえる。

本調査においては、「職場や仕事の関係」が3割弱(結婚 28.0%、子育て 28.3%)で、出生動向基本調査よりも比較的高い数値となっている。また、「友人や兄弟姉妹を通じて」は、結婚調査では 24.7%だが、子育て調査では 34.0%と全国よりも高い。全国に比べ、本県においては従来のお会い方が多い可能性がうかがえる。

また、インターネットを通じての出会い(※)については、結婚に関する意識調査で 10.1%、子育てに関する意識調査で 4.5%となった。子育てに関する意識調査は比較的低くなっているが、結婚に関する意識調査のほうが対象者が若いことを考えると、若い世代ではインターネットを通じての出会いが増えてきている可能性がある。

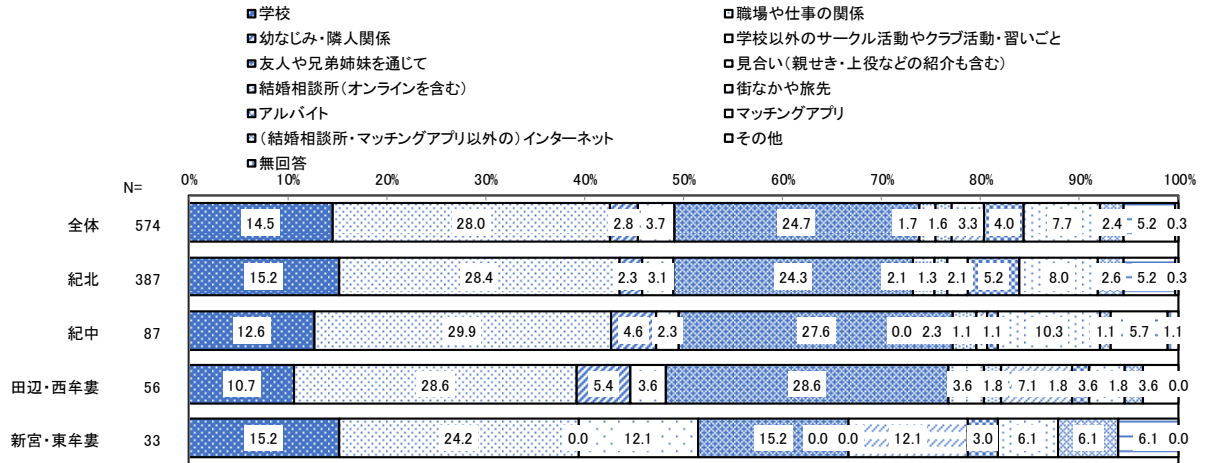
※「マッチングアプリ」「(マッチングアプリ・結婚相談所以外の)インターネット」の合計値



出典：第16回出生動向基本調査

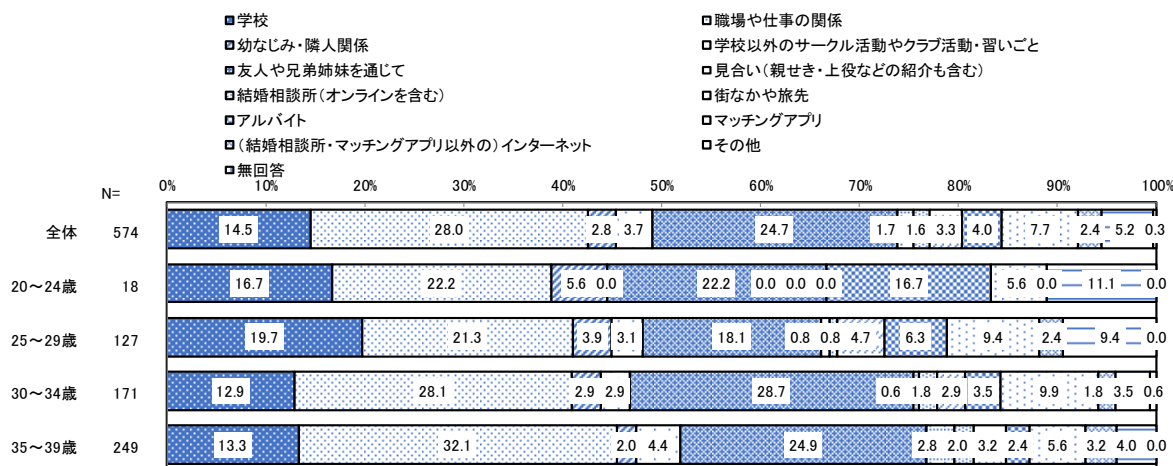
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごと」が全体よりも8.4ポイント、「街なかや旅先」が全体よりも8.8ポイント高くなっている。一方、「友人や兄弟姉妹を通じて」が全体よりも9.5ポイント低くなっている。



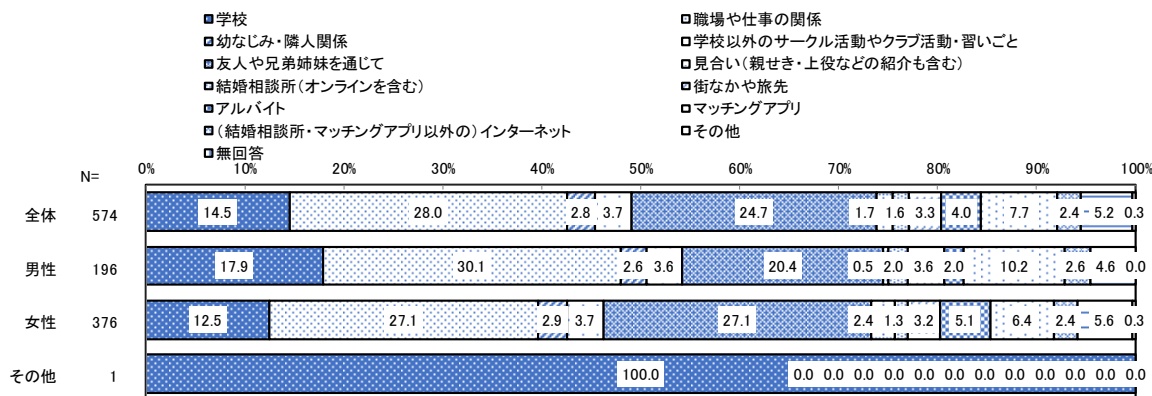
【年代別】

年代別にみると、〈20～24 歳〉では「職場や仕事の関係」が全体よりも 5.8 ポイント低くなっている。一方、「アルバイト」が全体よりも 12.7 ポイント高くなっている。〈25～29 歳〉では「学校」が全体よりも 5.2 ポイント高くなっている。一方、「職場や仕事の関係」が全体よりも 6.7 ポイント、「友人や兄弟姉妹を通じて」が全体よりも 6.6 ポイント低くなっている。



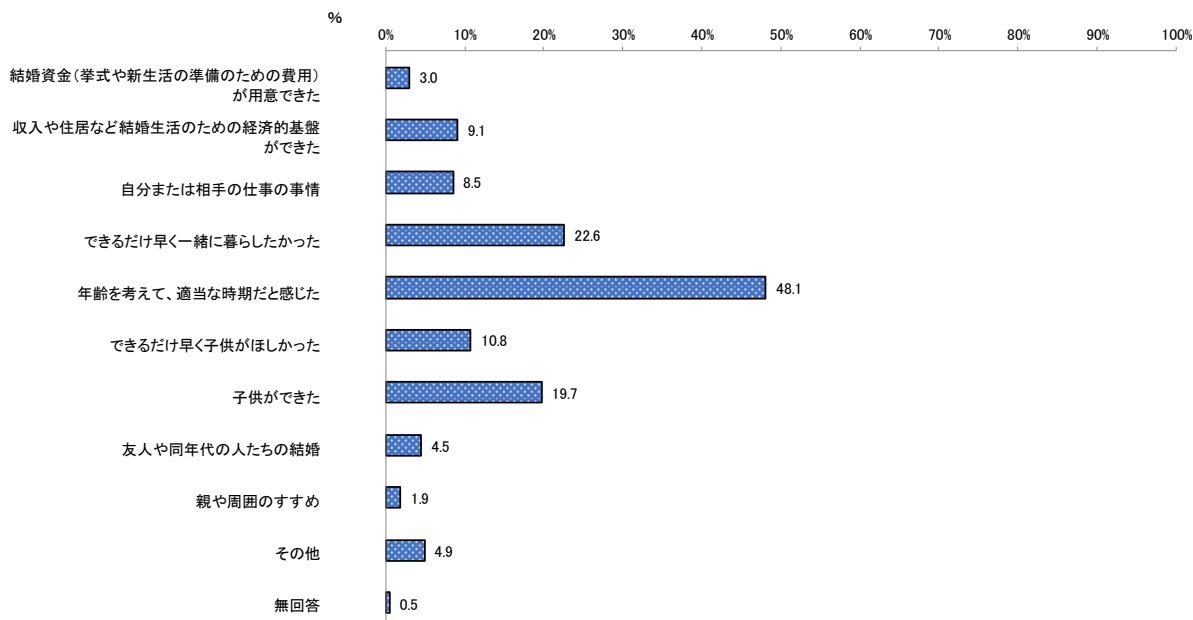
【性別】

性別にみると、全体との比較では、いずれも 5 ポイント未満の差にとどまっている。



(17) 最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。【〇は2つまで】

最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけについて、「年齢を考えて、適当な時期だと感じた」が48.1%で最も高く、次いで「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が22.6%、「子供ができた」が19.7%となった。



【全国値】

第16回出生動向基本調査の結果をみると、「年齢的に適当な時期だと感じた」が55.7%で最も高く、次いで「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が20.0%、「子どもができた」が14.3%となった。

本調査と上位3項目は同様だが、最も高い割合を占めた年齢面に関する回答は、全国が55.7%、本調査が48.1%とやや本調査のほうが低くなっており、本県では年齢がきっかけになるケースがやや低い傾向がうかがえた。

【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「年齢を考慮して、適切な時期だと感じた」が最も高くなっている。

【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉を除くすべての年代で「年齢を考慮して、適切な時期だと感じた」が最も高くなっている。一方、〈20～24歳〉では「子供ができた」が最も高くなっている。

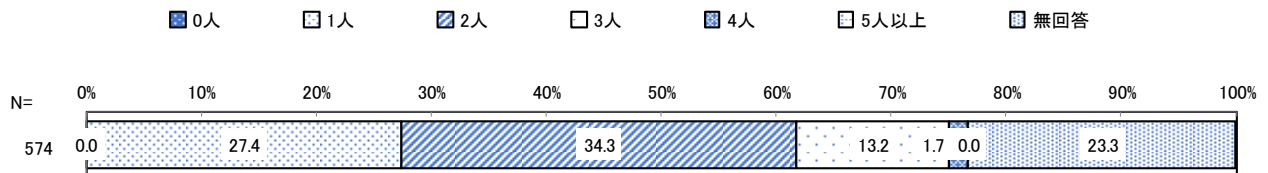
【性別】

性別にみると、男女ともに「年齢を考慮して、適切な時期だと感じた」が最も高くなっている。

	全体	最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何か											
		結婚資金 (挙式や新生活の準備のための費用)が用意できた	収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた	自分または相手の仕事の事情	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	年齢を考慮して、適切な時期だと感じた	できるだけ早く子供がほしかった	子供ができた	友人や同年代の人たちの結婚	親や周囲のすすめ	その他	無回答	
全体	574 100.0	17 3.0	52 9.1	49 8.5	130 22.6	276 48.1	62 10.8	113 19.7	26 4.5	11 1.9	28 4.9	3 0.5	
地域別	紀北	387 100.0	12 3.1	35 9.0	36 9.3	91 23.5	180 46.5	49 12.7	71 18.3	17 4.4	4 1.0	22 5.7	2 0.5
	紀中	87 100.0	3 3.4	10 11.5	5 5.7	14 16.1	47 54.0	6 6.9	13 14.9	8 9.2	4 4.6	3 3.4	-
	田辺・西牟婁	56 100.0	1 1.8	3 5.4	7 12.5	13 23.2	27 48.2	6 10.7	15 26.8	1 1.8	3 5.4	1 1.8	1 1.8
	新宮・東牟婁	33 100.0	1 3.0	2 6.1	1 3.0	11 33.3	16 48.5	1 3.0	10 30.3	-	-	2 6.1	-
	その他	18 100.0	1 5.6	1 5.6	2 11.1	3 16.7	4 22.2	3 16.7	8 44.4	-	-	3 16.7	-
年代別	20～24歳	127 100.0	4 3.1	11 8.7	12 9.4	26 20.5	60 47.2	13 10.2	24 18.9	5 3.9	5 3.9	7 5.5	2 1.6
	25～29歳	171 100.0	5 2.9	18 10.5	15 8.8	52 30.4	88 51.5	20 11.7	30 17.5	4 2.3	1 0.6	6 3.5	-
	30～34歳	249 100.0	7 2.8	20 8.0	20 8.0	48 19.3	123 49.4	26 10.4	49 19.7	17 6.8	4 1.6	10 4.0	-
	35～39歳	196 100.0	8 4.1	16 8.2	17 8.7	46 23.5	107 54.6	17 8.7	29 14.8	7 3.6	3 1.5	9 4.6	-
	その他	376 100.0	9 2.4	36 9.6	32 8.5	84 22.3	168 44.7	45 12.0	84 22.3	19 5.1	8 2.1	19 5.1	2 0.5
性別	男性	1 100.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女性	1 100.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

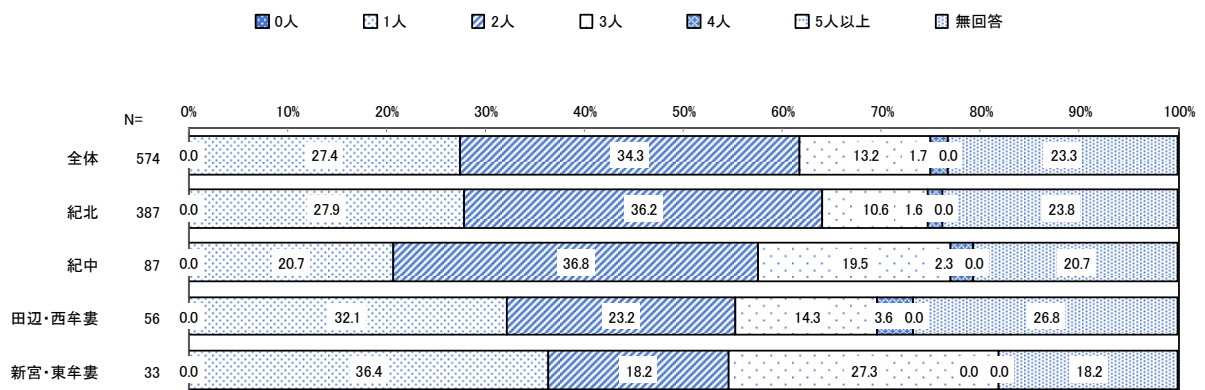
(18) あなた方ご夫婦の子供について、これまでに生まれた子供は何人ですか。(死産は含みません。)

これまでに生まれた子供の人数について、「2人」が34.3%で最も高く、次いで「1人」が27.4%、「3人」が13.2%となった。



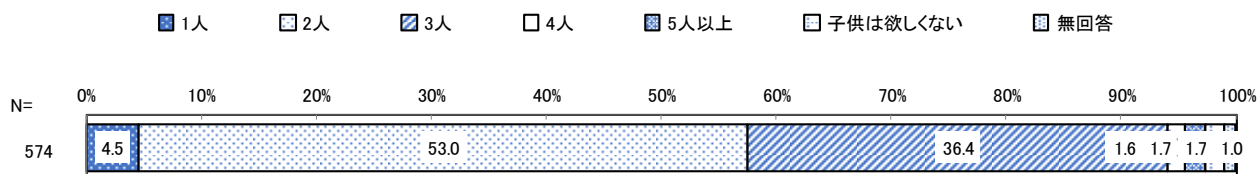
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「1人」が全体よりも6.7ポイント低く、「3人」が全体よりも6.3ポイント高くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「2人」が全体よりも11.1ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「1人」が全体よりも9.0ポイント、「3人」が全体よりも14.1ポイント高くなっている。一方、「2人」が全体よりも16.1ポイント低くなっている。



(19) 理想的だと思う子供の数は何人ですか。【〇は1つ】

理想的だと思う子供の数について、「2人」が53.0%で最も高く、次いで「3人」が36.4%、「1人」が4.5%となった。

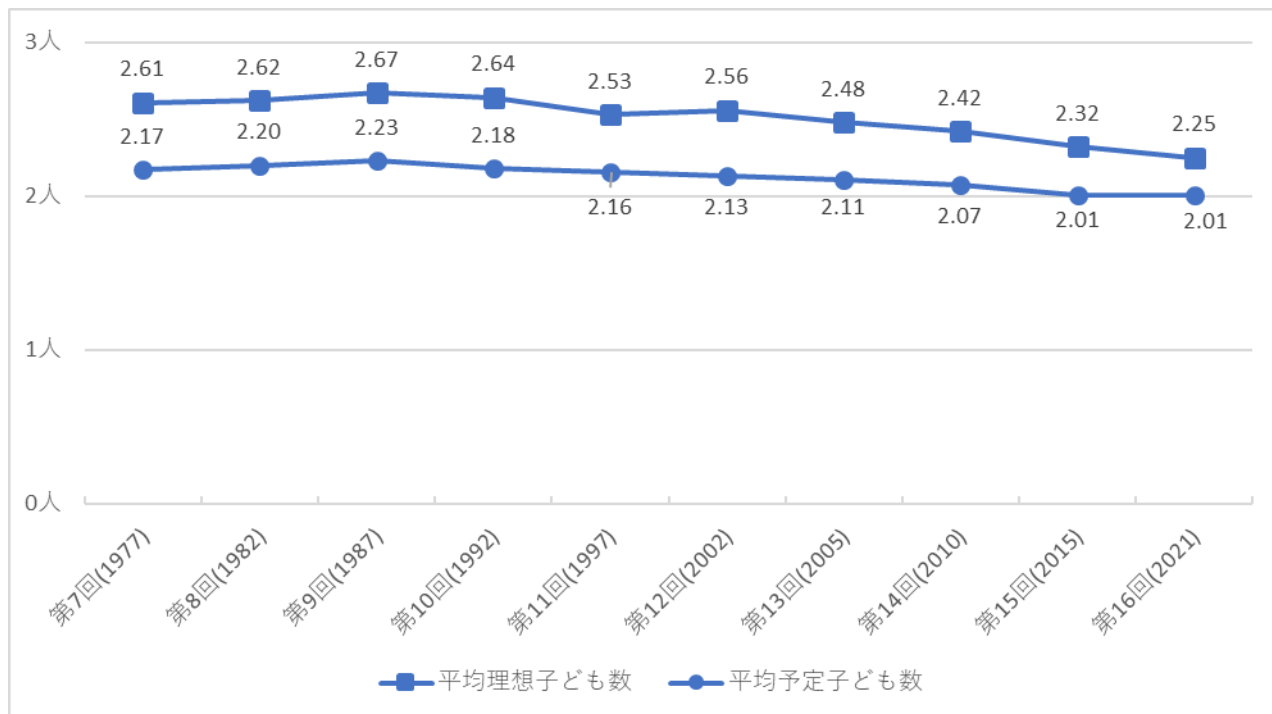


【全国値】

出生動向基本調査において、夫婦の平均理想子供数は2000年代以降、ゆるやかに低下してきている。前回調査との比較でも、平均理想子供数は前回調査の2.32人から2.25人へと小幅な低下がみられた。一方、1990年代以降、漸減傾向が続いてきた平均予定子供数については、今回調査は前回と同じ2.01人であった。

本調査においては、結婚に関する意識調査／子育てに関する意識調査いずれも、理想的だと思う子供の数は「2人」が最も高い(※)。また、「3人」との回答も比較的高いことから、本県においては、全国調査に比べてより多くの子供をもちたいと考えている人が多い可能性がある。

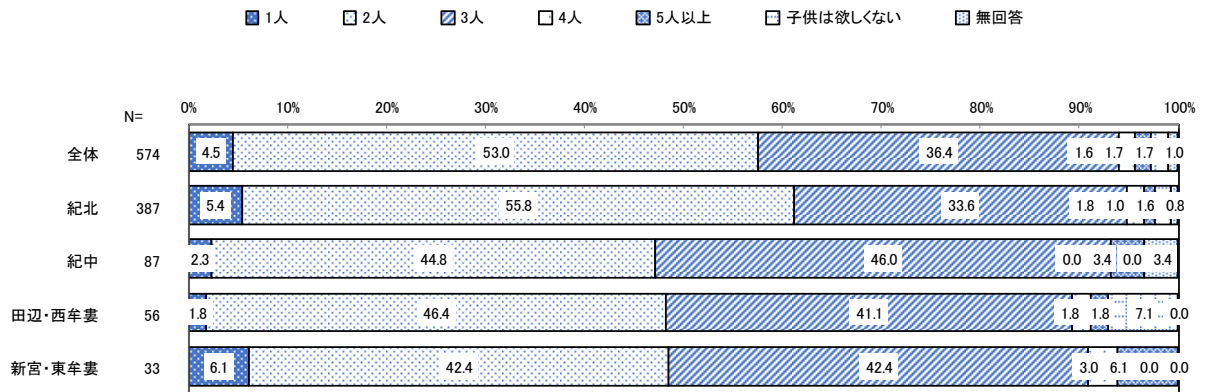
※: 出生動向基本調査と異なり、本調査は選択式の設問



出典：第16回出生動向基本調査

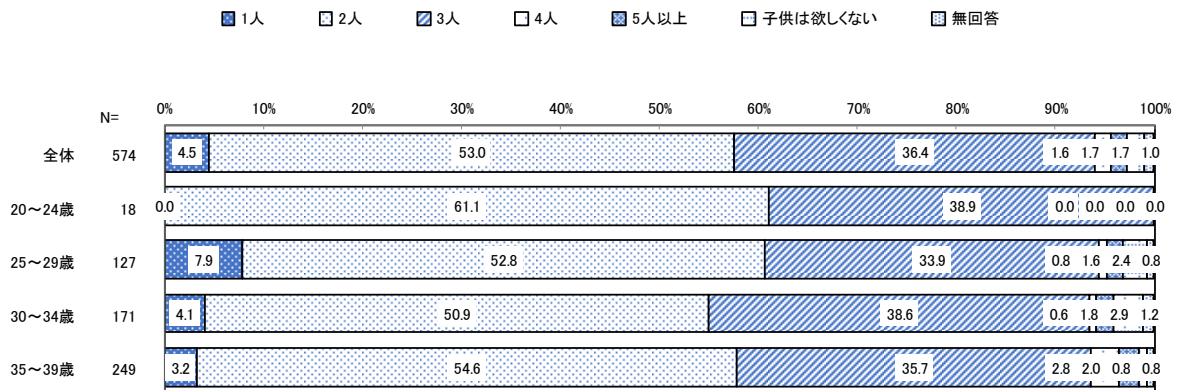
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「2人」が全体よりも8.2ポイント低く、「3人」が全体よりも9.6ポイント高くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「2人」が全体よりも6.6ポイント低く、「子供は欲しくない」が全体よりも5.4ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「2人」が全体よりも10.6ポイント低く、「3人」が全体よりも6.0ポイント高くなっている。



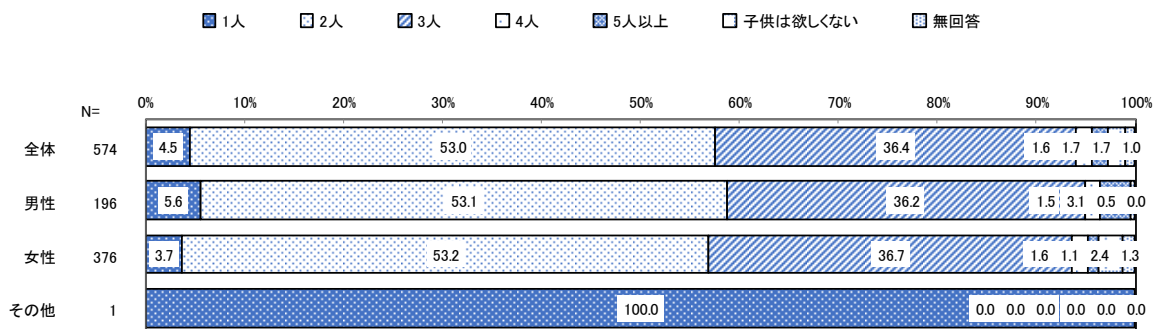
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「2人」が全体よりも8.1ポイント高くなっている。



【性別】

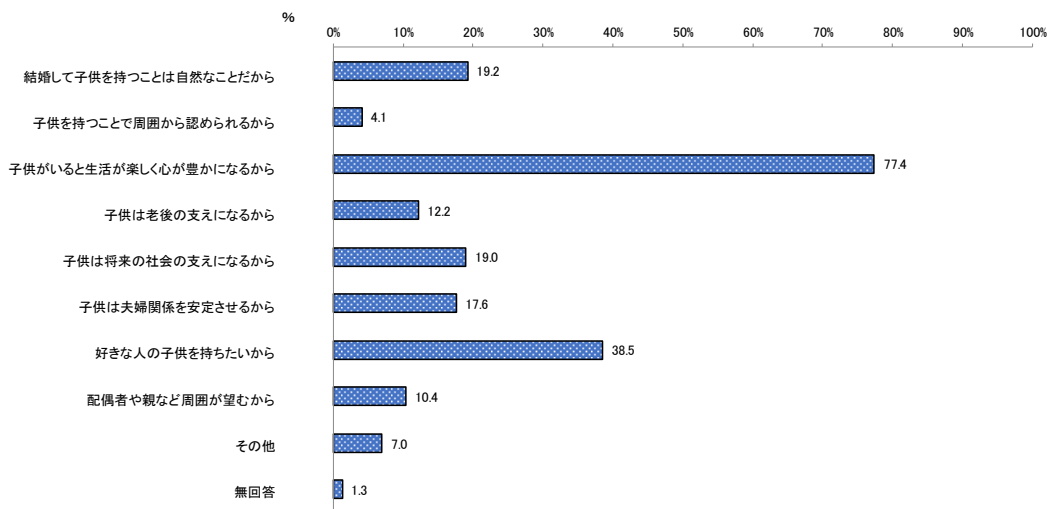
性別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



(20) (19) で、理想的な子供の数が1人以上と答えた場合、そう考える理由は何ですか。

【該当するものすべてに○】

理想的な子供の数が1人以上と考える理由について、「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が77.4%で最も高く、次いで「好きな人の子供を持ちたいから」が38.5%、「結婚して子供を持つことは自然なことだから」が19.2%となった。

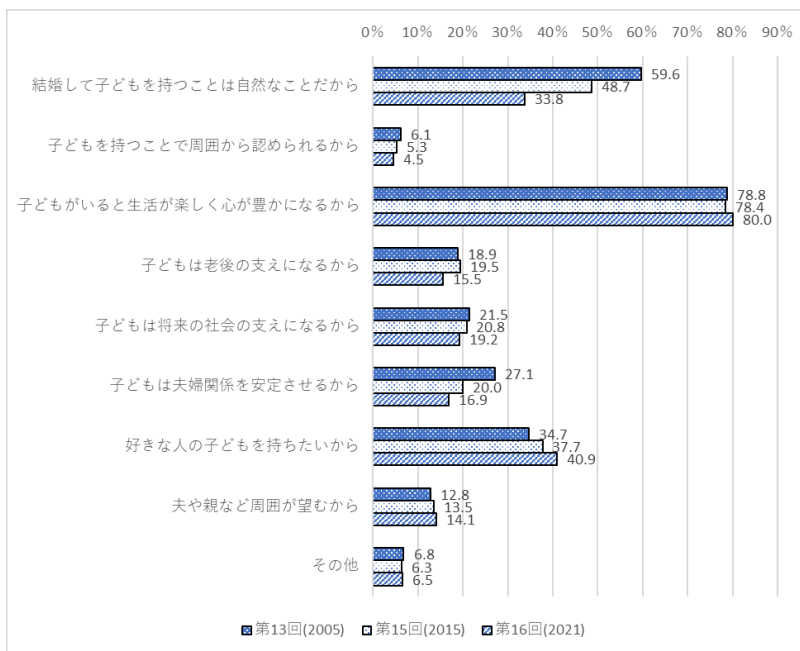


【全国値】

出生動向基本調査において子供を持つ理由の結果をみると、一貫して最も選択されているのは「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」であり、どの調査回でも8割程度の夫婦が選択している。一方、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」「子どもは夫婦関係を安定させるから」といった考え方については、近年ほど選択率が下がっている。

本調査でも同様に「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が最も高く、結婚に関する意識調査では77.4%、子育てに関する意識調査では77.1%となった。

また、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」は、第16回出生動向基本調査が33.8%に対し、結婚に関する意識調査が19.2%、子育てに関する意識調査が20.4%と、和歌山県のほうがより顕著に低い結果が出ている。こうした考え方の変化は、本県においてより進んでいる可能性がある。(ただし、第16回出生動向基本調査は2021年実施、本調査が2023年実施と、年度の違いによる要因にも留意が必要と思われる)



出典：第16回出生動向基本調査

【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が最も高くなっている。

【年代別】

年代別にみると、すべての年代で「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が最も高くなっている。また、〈20～24歳〉では「好きな人の子供を持ちたいから」も同率で最も高くなっている。

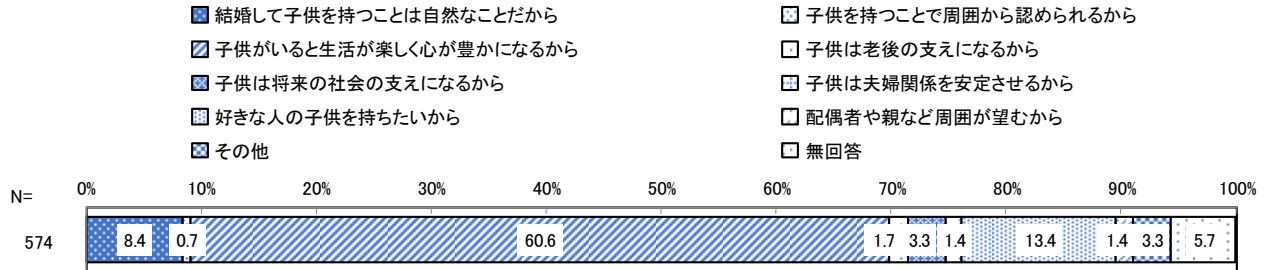
【性別】

性別にみると、男女ともに「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が最も高くなっている。

	全 体	問19で、理想的な子供の数が1人以上と答えた場合、そう考える理由は何ですか										
		結婚して子供を持つことは自然なことだから	子供を持つことで周囲から認められるから	子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから	子供は老後の支えになるから	子供は将来の社会の支えになるから	子供は夫婦関係を安定させるから	好きな人の子供を持ちたいから	配偶者や親など周囲が望むから	その他	無回答	
全 体	558	107	23	432	68	106	98	215	58	39	7	
	100.0	19.2	4.1	77.4	12.2	19.0	17.6	38.5	10.4	7.0	1.3	
地域別	紀北	378	65	16	292	41	68	67	146	37	27	6
	100.0	17.2	4.2	77.2	10.8	18.0	17.7	38.6	9.8	7.1	1.6	
	紀中	84	21	3	65	11	21	13	29	12	4	-
	100.0	25.0	3.6	77.4	13.1	25.0	15.5	34.5	14.3	4.8	-	
	田辺・西牟婁	52	11	2	41	7	8	11	20	2	3	-
100.0	21.2	3.8	78.8	13.5	15.4	21.2	38.5	3.8	5.8	-		
新宮・東牟婁	33	7	2	24	8	8	5	16	6	5	1	
100.0	21.2	6.1	72.7	24.2	24.2	15.2	48.5	18.2	15.2	3.0		
年代別	20～24歳	18	1	1	12	3	2	7	12	5	-	-
	100.0	5.6	5.6	66.7	16.7	11.1	38.9	66.7	27.8	-	-	
	25～29歳	123	20	1	92	18	24	13	57	14	13	3
	100.0	16.3	0.8	74.8	14.6	19.5	10.6	46.3	11.4	10.6	2.4	
	30～34歳	164	30	7	138	19	32	29	59	17	8	1
100.0	18.3	4.3	84.1	11.6	19.5	17.7	36.0	10.4	4.9	0.6		
35～39歳	245	53	14	184	26	45	48	86	22	18	3	
100.0	21.6	5.7	75.1	10.6	18.4	19.6	35.1	9.0	7.3	1.2		
性別	男性	195	39	9	142	24	41	33	65	12	15	2
	100.0	20.0	4.6	72.8	12.3	21.0	16.9	33.3	6.2	7.7	1.0	
	女性	362	67	14	289	44	65	64	149	46	24	5
	100.0	18.5	3.9	79.8	12.2	18.0	17.7	41.2	12.7	6.6	1.4	
その他	1	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	
100.0	100.0	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-		

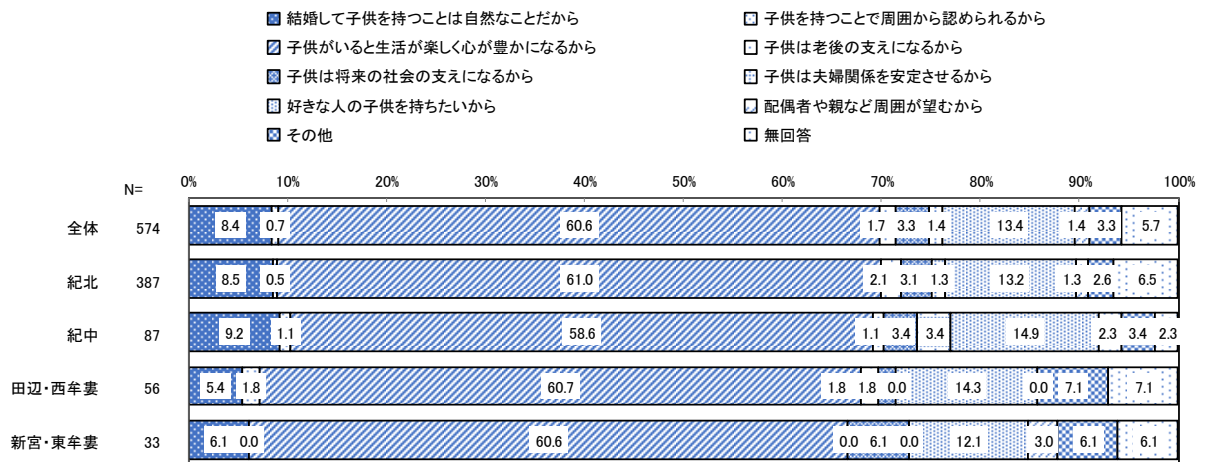
(21) (20) について、子供を持ちたいと思う最も重要な理由は何ですか。【〇は1つ】

子供を持ちたいと思う最も重要な理由について、「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が60.6%で最も高く、次いで「好きな人の子供を持ちたいから」が13.4%、「結婚して子供を持つことは自然なことだから」が8.4%となった。



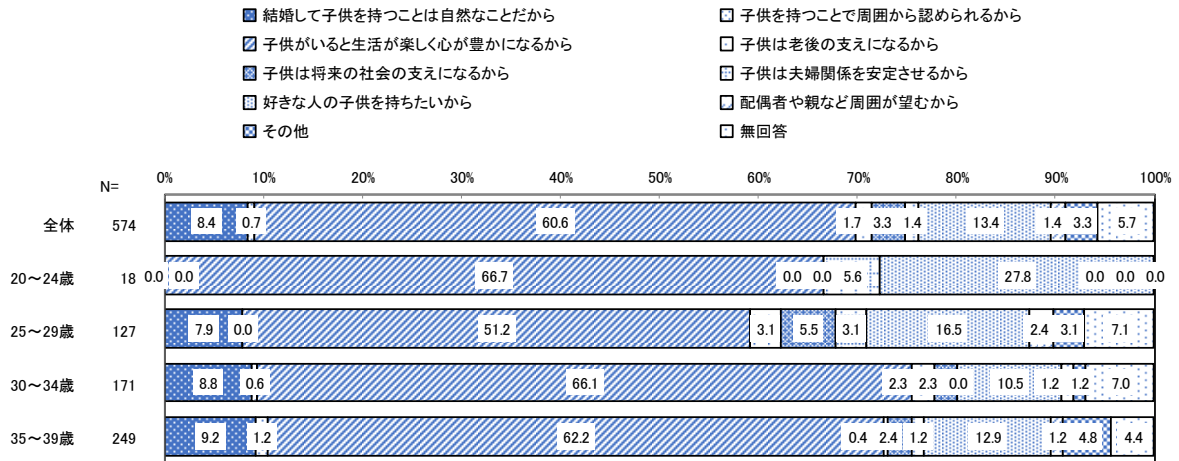
【地域別】

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



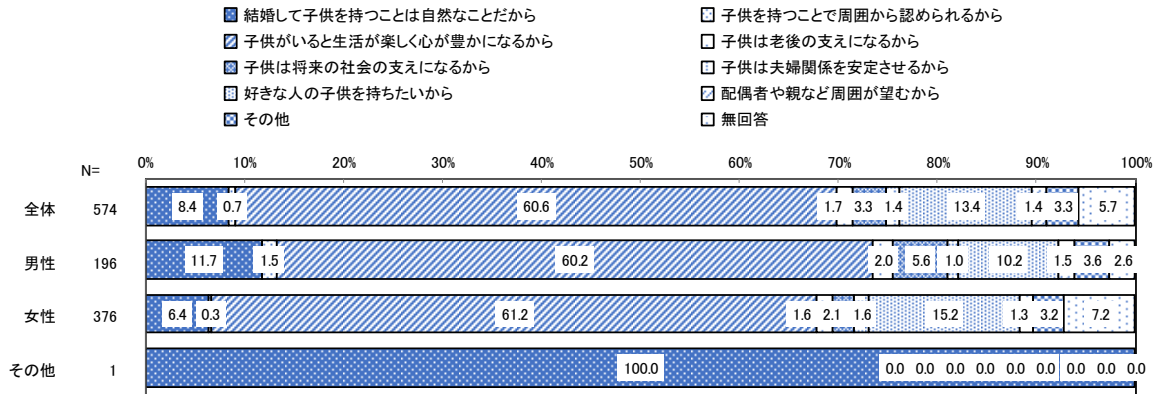
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「結婚して子供を持つことは自然なことだから」が全体よりも8.4ポイント低くなっている。一方、「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が全体よりも6.1ポイント、「好きな人の子供を持ちたいから」が全体よりも14.4ポイント高くなっている。〈25～29歳〉では「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が全体よりも9.4ポイント低くなっている。〈30～34歳〉では「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が全体よりも5.5ポイント高くなっている。



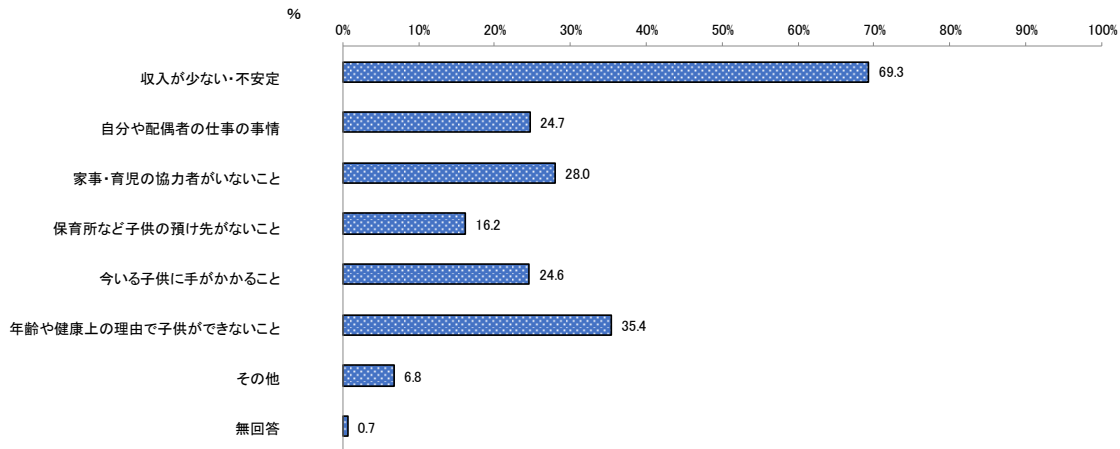
【性別】

性別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



(22) 今後、1人以上の子供を生むつもりの場合、理想とする子供の数が、結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか。【該当するものすべてに○】

今後、1人以上の子供を生む場合、理想とする子供の数が、結果的に持てない時の原因について、「収入が少ない・不安定」が69.3%で最も高く、次いで「年齢や健康上の理由で子供ができないこと」が35.4%、「家事・育児の協力者がいないこと」が28.0%となった。



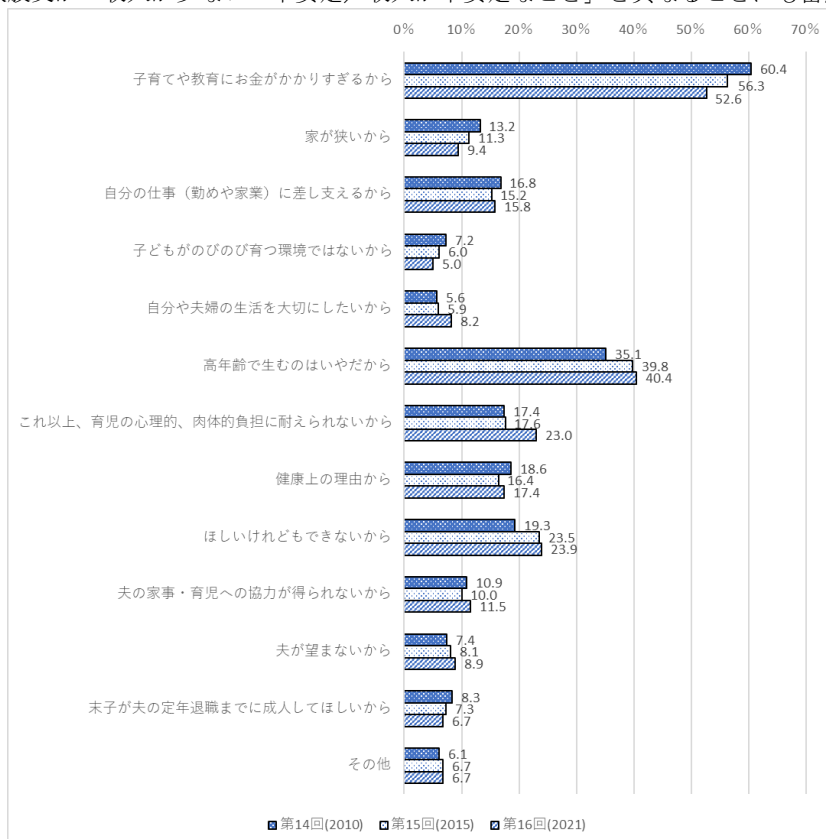
【全国値】

出生動向基本調査において、理想の数の子供を実際には持たない理由として最も選択率が高いのは「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」という経済的理由で、選択率は52.6%であった。

本調査も経済的な理由が最も割合が高いという点が共通しており（※）、全国・和歌山県いずれも子育てにおける大きな課題となっていることがわかる。ただし、和歌山県の子育て調査では38.2%と比較的低い数値のため、実際の子育て家庭では経済的な課題は比較的小さい可能性がある。

また、結婚調査は、調査対象者が比較的若いことからか、69.3%と全国値より高い結果になっている。

※和歌山県では、選択肢文が「収入が少ない・不安定/収入が不安定なこと」と異なることにも留意が必要



出典：第16回出生動向基本調査

【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「収入が少ない・不安定」が最も高くなっている。

【年代別】

年代別にみると、すべての年代で「収入が少ない・不安定」が最も高くなっている。

【性別】

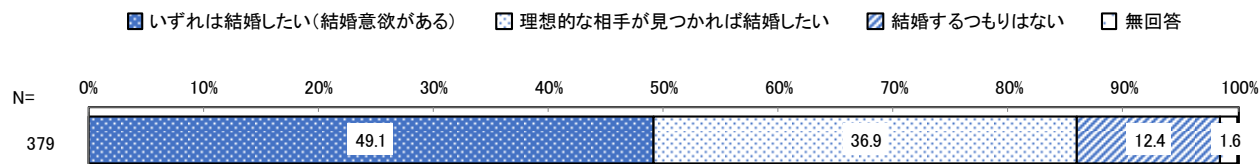
性別にみると、男女ともに「収入が少ない・不安定」が最も高くなっている。

		全 体	今後、1人以上の子供を生む場合、理想とする子供の数が、結果的に持てない時の原因							
			収入が少ない・不安定	自分や配偶者の仕事の事情	家事・育児の協力者がいないこと	保育所など子供の預け先がないこと	今いる子供に手がかかること	年齢や健康上の理由で子供ができないこと	その他	無回答
全 体		574	398	142	161	93	141	203	39	4
		100.0	69.3	24.7	28.0	16.2	24.6	35.4	6.8	0.7
地域別	紀北	387	273	94	115	72	96	140	32	1
		100.0	70.5	24.3	29.7	18.6	24.8	36.2	8.3	0.3
	紀中	87	53	28	21	8	21	29	2	1
		100.0	60.9	32.2	24.1	9.2	24.1	33.3	2.3	1.1
	田辺・西牟婁	56	37	10	11	6	15	20	4	2
	100.0	66.1	17.9	19.6	10.7	26.8	35.7	7.1	3.6	
年代別	新宮・東牟婁	33	26	7	11	5	4	11	1	-
		100.0	78.8	21.2	33.3	15.2	12.1	33.3	3.0	-
	20～24歳	18	10	2	2	3	4	3	2	-
		100.0	55.6	11.1	11.1	16.7	22.2	16.7	11.1	-
性別	25～29歳	127	90	29	20	22	20	34	6	1
		100.0	70.9	22.8	15.7	17.3	15.7	26.8	4.7	0.8
	30～34歳	171	122	46	53	31	48	55	11	2
		100.0	71.3	26.9	31.0	18.1	28.1	32.2	6.4	1.2
性別	35～39歳	249	170	65	83	36	68	108	20	-
		100.0	68.3	26.1	33.3	14.5	27.3	43.4	8.0	-
	男性	196	141	55	44	26	44	56	9	-
性別		100.0	71.9	28.1	22.4	13.3	22.4	28.6	4.6	-
	女性	376	256	87	117	67	97	147	30	3
		100.0	68.1	23.1	31.1	17.8	25.8	39.1	8.0	0.8
性別	その他	1	1	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-

以下、問 23～36 は、結婚（事実婚・内縁を含む）したことのない方のみ回答

(23) 今後の結婚意向についてお答えください。【〇は1つ】

今後の結婚意向について、「いずれは結婚したい（結婚意欲がある）」が 49.1%で最も高く、次いで「理想的な相手が見つければ結婚したい」が 36.9%、「結婚するつもりはない」が 12.4%となった。

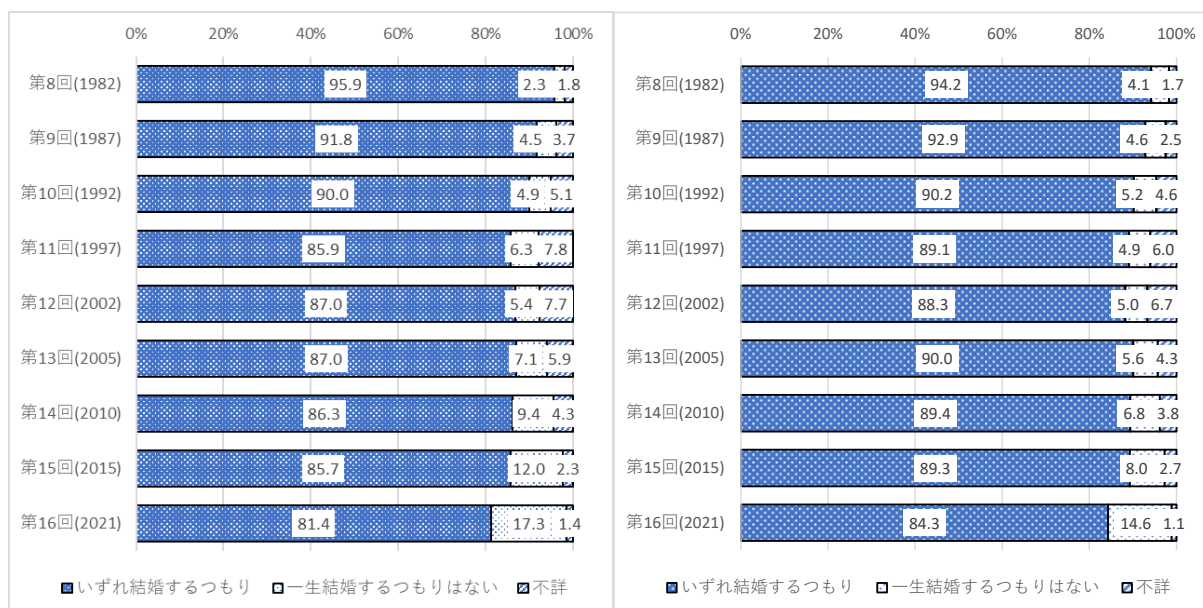


【全国値】

出生動向基本調査において、「いずれ結婚するつもり」と考える 18～34 歳の未婚者は、男女、年齢、生活スタイルの違いを問わず減少傾向（男性 81.4%：前回 85.7%、女性 84.3%：前回 89.3%）。

本調査でも同様に、いずれ結婚するつもりという回答（※）が、男性 87.1%、女性 85.9%となった。割合としては 8 割以上と顕著に大きいものの、出生動向基本調査の結果を踏まえると、今後は下降していく可能性があることは留意が必要である。

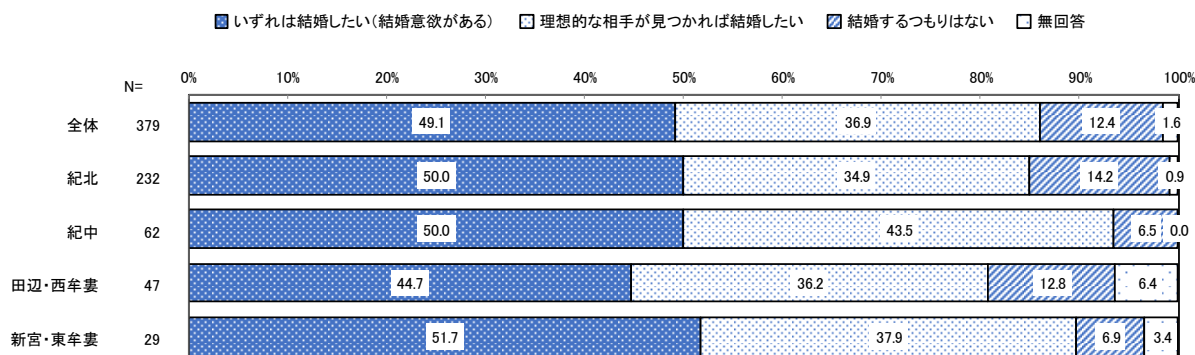
※ 「いずれは結婚したい」と「理想的な相手が見つければ結婚したい」の合計値



出典：第 16 回出生動向基本調査（左：男性、右：女性）

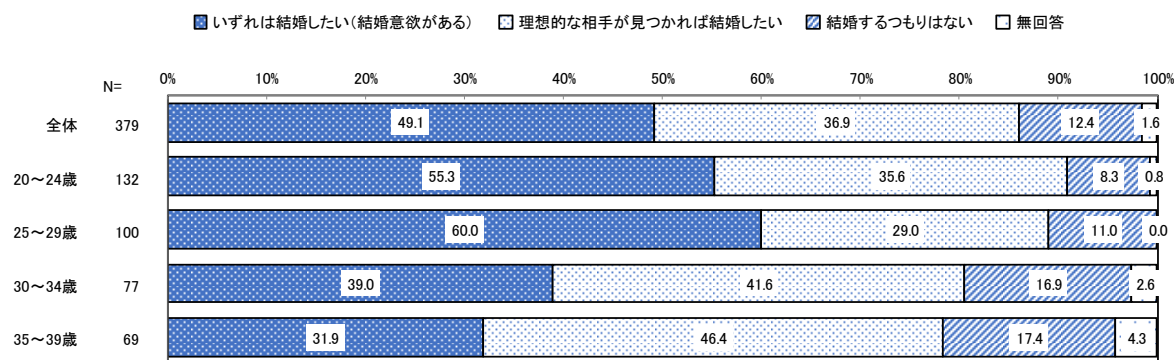
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「理想的な相手が見つければ結婚したい」が全体よりも6.6ポイント高く、「結婚するつもりはない」が全体よりも5.9ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「結婚するつもりはない」が全体よりも5.5ポイント低くなっている。



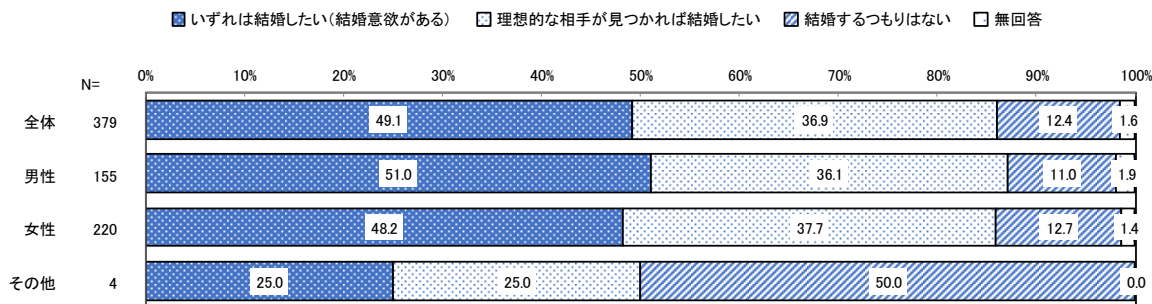
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「いずれは結婚したい(結婚意欲がある)」が全体よりも6.2ポイント高くなっている。〈25～29歳〉では「いずれは結婚したい(結婚意欲がある)」が全体よりも10.9ポイント高く、「理想的な相手が見つければ結婚したい」が全体よりも7.9ポイント低くなっている。〈30～34歳〉では「いずれは結婚したい(結婚意欲がある)」が全体よりも10.1ポイント低くなっている。〈35～39歳〉では「いずれは結婚したい(結婚意欲がある)」が全体よりも17.2ポイント低く、「理想的な相手が見つければ結婚したい」が全体よりも9.5ポイント高くなっている。



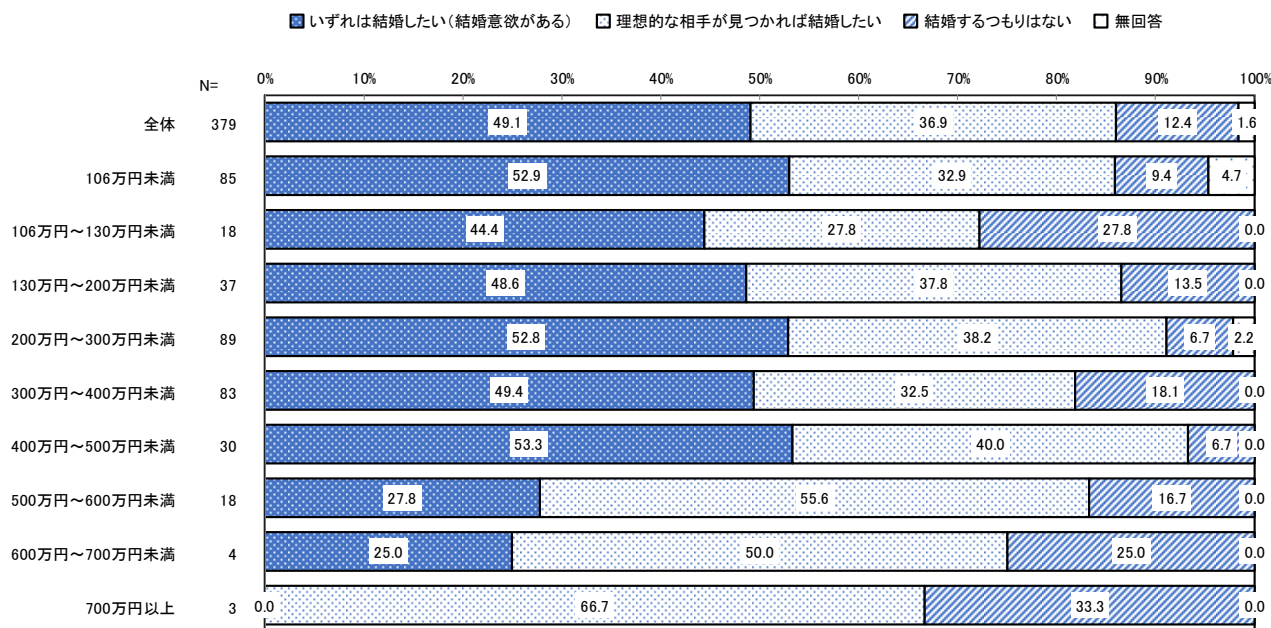
【性別】

性別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



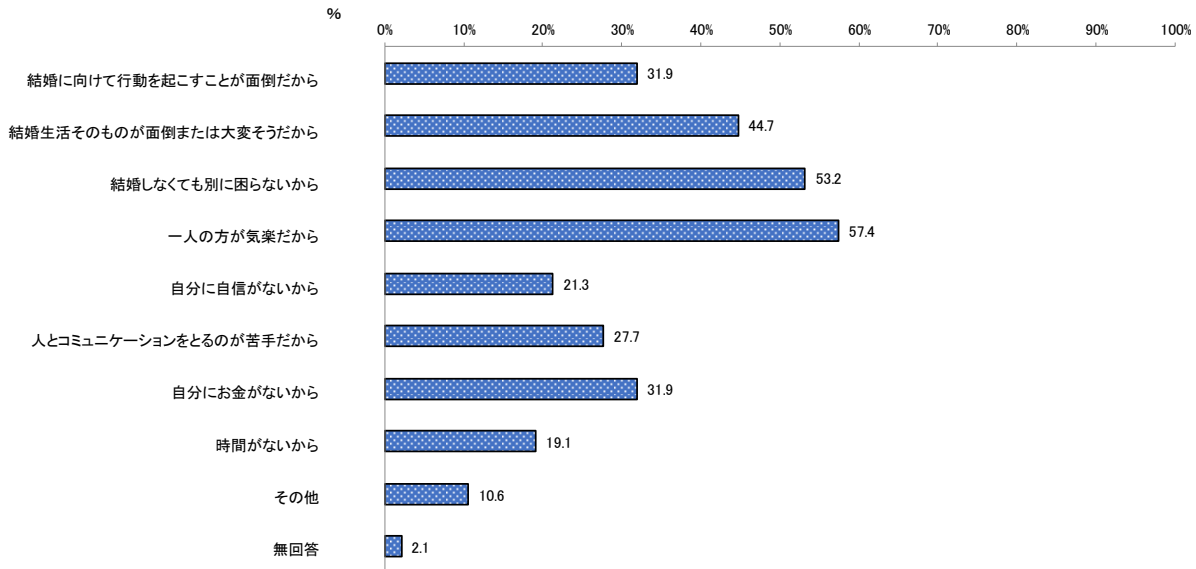
【前年年収】

前年年収別にみると、(106万円～130万円未満)では「結婚するつもりはない」が全体よりも15.4ポイント高くなっている。(500万円～600万円未満)では「いずれは結婚したい(結婚意欲がある)」が全体よりも21.3ポイント低く、「理想的な相手が見つければ結婚したい」が全体よりも18.7ポイント高くなっている。



(24) (23) で「3. 結婚するつもりはない」を選択した方にうかがいます。結婚するつもりがないのはなぜですか。【該当するものすべてに○】

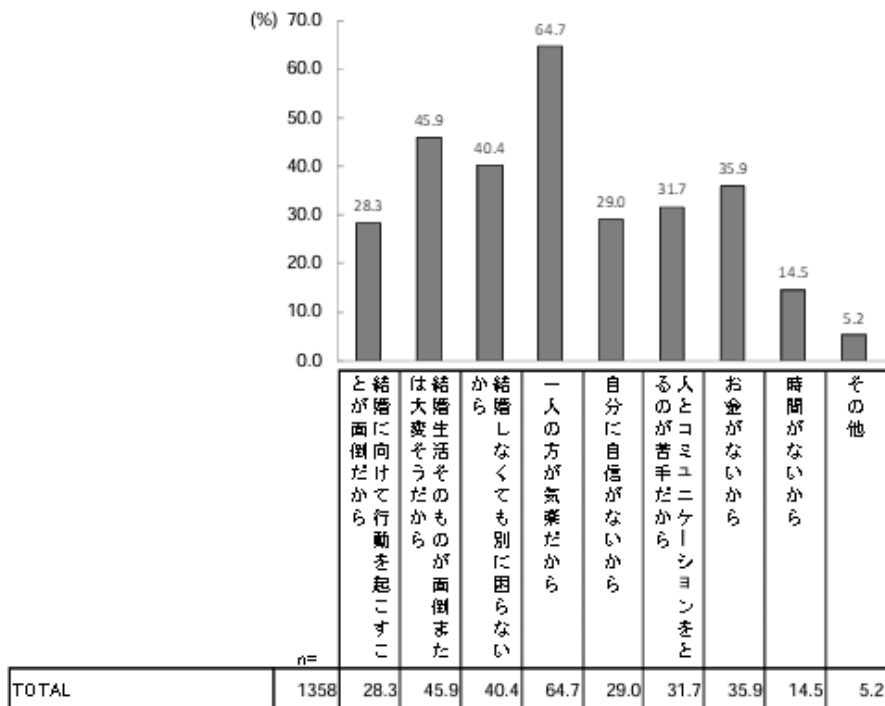
結婚するつもりがない理由について、「一人の方が気楽だから」が 57.4%で最も高く、次いで「結婚しなくても別に困らないから」が 53.2%、「結婚生活そのものが面倒または大変そうだから」が 44.7%となった。



【全国値】

少子化社会対策に関する意識調査を見ると、結婚するつもりがない理由について、「一人の方が気楽だから」が 64.7%で最も高く、次いで「結婚生活そのものが面倒または大変そうだから」が 45.9%、「結婚しなくても別に困らないから」が 40.4%となっている。

和歌山県と全国では、上位3項目は同様だが、「結婚しなくても別に困らないから」の割合は、和歌山県のほうが10ポイント以上高くなっている。



【地域別】

地域別にみると、〈紀北〉では「一人の方が気楽だから」が最も高くなっている。

【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉〈25～29歳〉〈30～34歳〉では「一人の方が気楽だから」が最も高くなっている。また、〈25～29歳〉及び〈30～34歳〉では「結婚しなくても別に困らないから」、〈25～29歳〉では「結婚生活そのものが面倒または大変そうだから」及び「自分にお金がないから」も同率で最も高くなっている。一方、〈35～39歳〉では「結婚しなくても別に困らないから」が最も高くなっている。

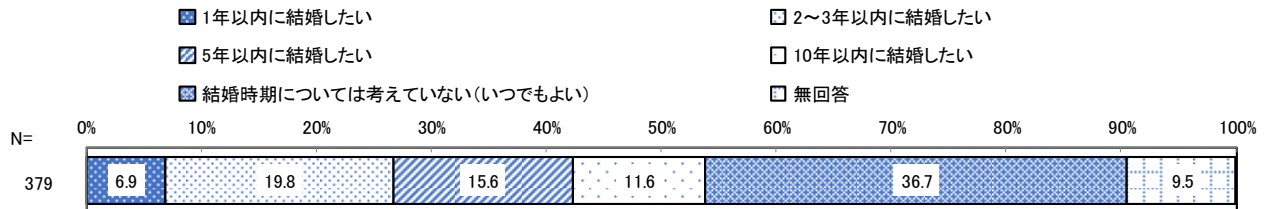
【性別】

性別にみると、男女ともに「一人の方が気楽だから」が最も高くなっている。また、〈男性〉では「結婚しなくても別に困らないから」及び「自分にお金がないから」も同率で最も高くなっている。

	全 体	結婚するつもりがないのはなぜですか									
		結婚に向けて行動を起こすことが面倒だから	結婚生活そのものが面倒または大変そうだから	結婚しなくても別に困らないから	一人の方が気楽だから	自分に自信がないから	人とコミュニケーションをとるのが苦手だから	自分にお金がないから	時間がないから	その他	無回答
全 体	47 100.0	15 31.9	21 44.7	25 53.2	27 57.4	10 21.3	13 27.7	15 31.9	9 19.1	5 10.6	1 2.1
地域別	紀北	33 100.0	12 36.4	14 42.4	18 54.5	21 63.6	7 21.2	8 24.2	12 36.4	8 24.2	4 12.1
	紀中	4 100.0	-	3 75.0	1 25.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	-	-	-
	田辺・西牟婁	6 100.0	1 16.7	2 33.3	4 66.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7
	新宮・東牟婁	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	2 100.0	-	-
年代別	20～24歳	11 100.0	6 54.5	7 63.6	6 54.5	9 81.8	4 36.4	5 45.5	5 45.5	3 27.3	1 9.1
	25～29歳	11 100.0	1 9.1	4 36.4	4 36.4	4 36.4	-	-	4 36.4	-	2 18.2
	30～34歳	13 100.0	3 23.1	5 38.5	7 53.8	7 53.8	3 23.1	4 30.8	2 15.4	3 23.1	2 15.4
	35～39歳	12 100.0	5 41.7	5 41.7	8 66.7	7 58.3	3 25.0	4 33.3	4 33.3	3 25.0	-
性別	男性	17 100.0	5 29.4	5 29.4	8 47.1	8 47.1	4 23.5	3 17.6	8 47.1	2 11.8	-
	女性	28 100.0	8 28.6	15 53.6	16 57.1	18 64.3	5 17.9	10 35.7	6 21.4	6 21.4	4 14.3
	その他	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0

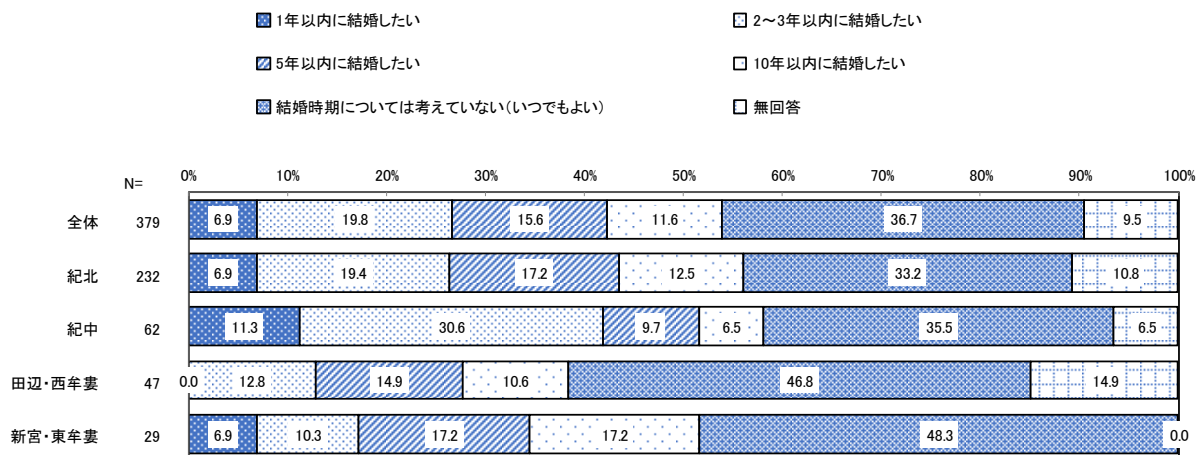
(25) 今後、希望する結婚の時期等をお答えください。【〇は1つ】

今後、希望する結婚の時期等について、「結婚時期については考えていない(いつでもよい)」が36.7%で最も高く、次いで「2～3年以内に結婚したい」が19.8%、「5年以内に結婚したい」が15.6%となった。



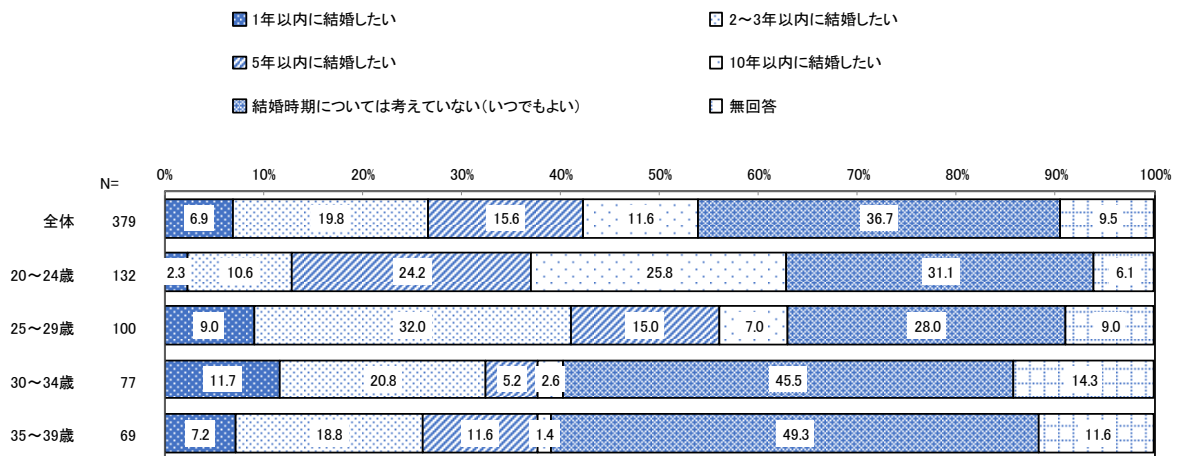
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「2～3年以内に結婚したい」が全体よりも10.8ポイント高くなっている。一方、「5年以内に結婚したい」が全体よりも5.9ポイント、「10年以内に結婚したい」が全体よりも5.1ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「1年以内に結婚したい」が全体よりも6.9ポイント、「2～3年以内に結婚したい」が全体よりも7.0ポイント低くなっている。一方、「結婚時期については考えていない(いつでもよい)」が全体よりも10.1ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「2～3年以内に結婚したい」が全体よりも9.5ポイント低くなっている。一方、「10年以内に結婚したい」が全体よりも5.6ポイント、「結婚時期については考えていない(いつでもよい)」が全体よりも11.6ポイント高くなっている。



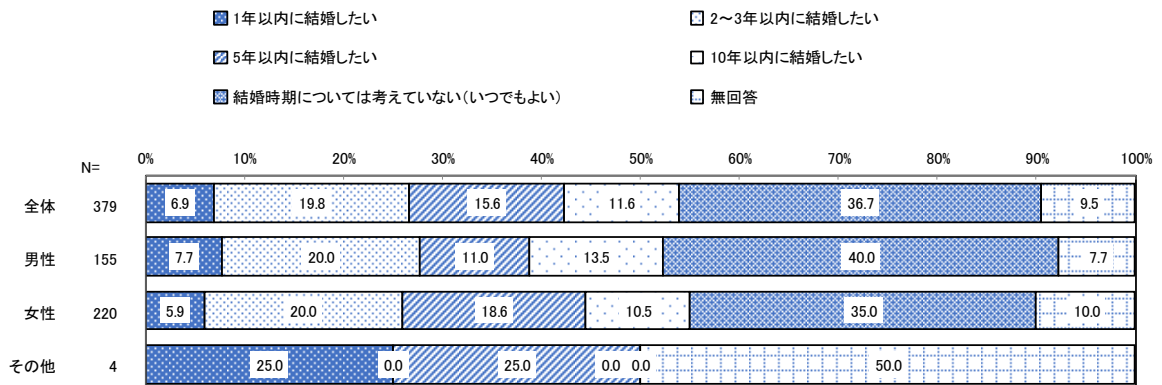
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「2～3年以内に結婚したい」が全体よりも9.2ポイント、「結婚時期については考えていない（いつでもよい）」が全体よりも5.6ポイント低くなっている。一方、「5年以内に結婚したい」が全体よりも8.6ポイント、「10年以内に結婚したい」が全体よりも14.2ポイント高くなっている。〈25～29歳〉では「2～3年以内に結婚したい」が全体よりも12.2ポイント高く、「結婚時期については考えていない（いつでもよい）」が全体よりも8.7ポイント低くなっている。〈30～34歳〉では「5年以内に結婚したい」が全体よりも10.4ポイント、「10年以内に結婚したい」が全体よりも9.0ポイント低くなっている。一方、「結婚時期については考えていない（いつでもよい）」が全体よりも8.8ポイント高くなっている。〈35～39歳〉では「10年以内に結婚したい」が全体よりも10.2ポイント低く、「結婚時期については考えていない（いつでもよい）」が全体よりも12.6ポイント高くなっている。



【性別】

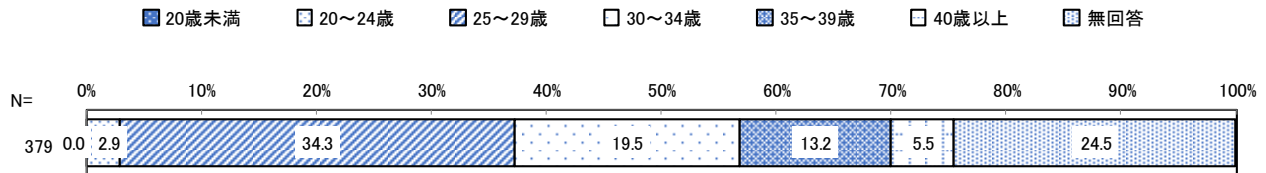
性別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



(26) 結婚を希望する場合、あなたは何歳ぐらいのときに何歳ぐらいの相手と結婚したいと思いますか。希望する年齢を下線の欄に記入してください。

【回答者】

回答者が結婚したい年齢について、「25～29歳」が34.3%で最も高く、次いで「30～34歳」が19.5%、「35～39歳」が13.2%となった。

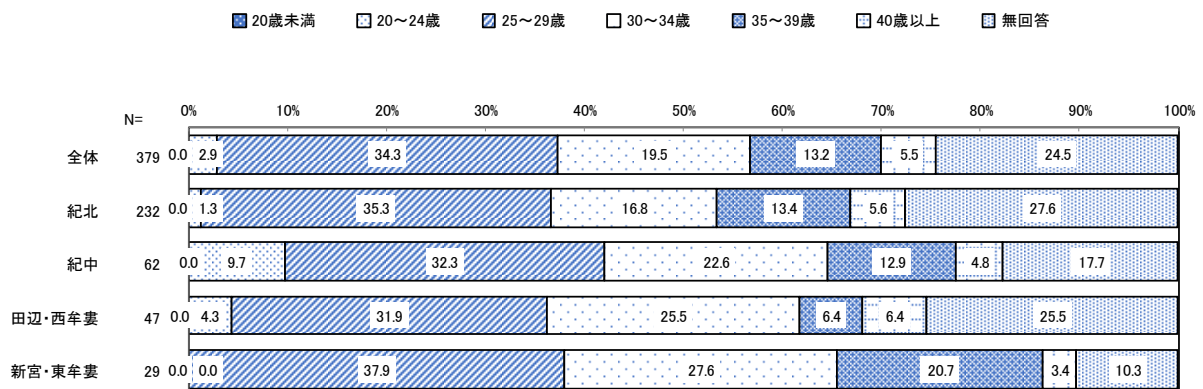


【全国値】

第16回出生動向基本調査をみると、全体では「30～31歳」が21.4%で最も高い。性別では、男性は同じく「30～31歳」が26.2%、女性は「24～25歳」が18.9%で最も高くなっている。

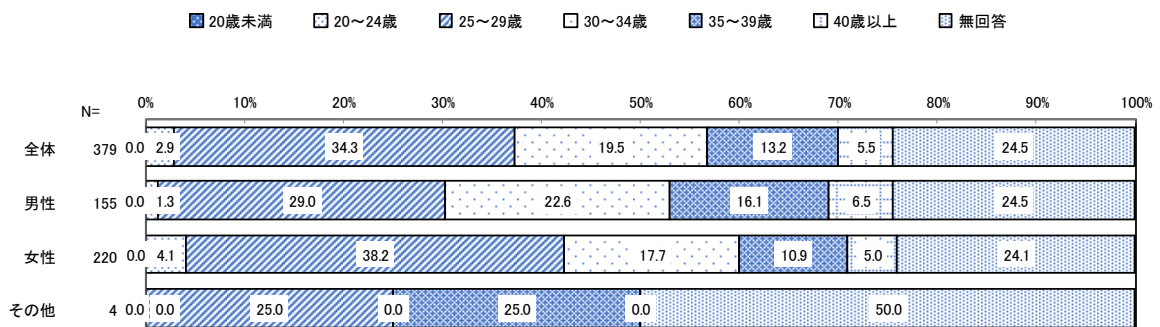
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「20～24歳」が全体よりも6.8ポイント高くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「30～34歳」が全体よりも6.0ポイント高く、「35～39歳」が全体よりも6.8ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「30～34歳」が全体よりも8.1ポイント、「35～39歳」が全体よりも7.5ポイント高くなっている。



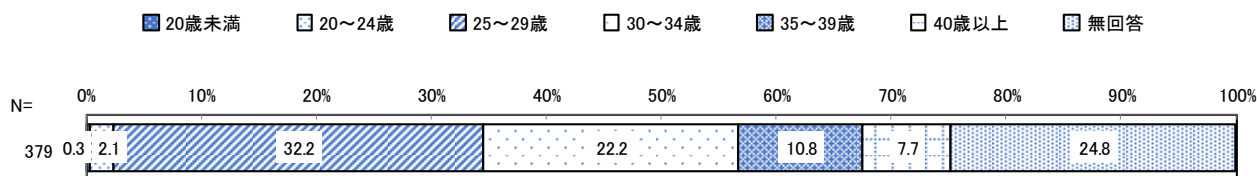
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「25～29歳」が全体よりも5.3ポイント低くなっている。



【相手】

結婚したい相手の年齢について、「25～29歳」が32.2%で最も高く、次いで「30～34歳」が22.2%、「35～39歳」が10.8%となった。

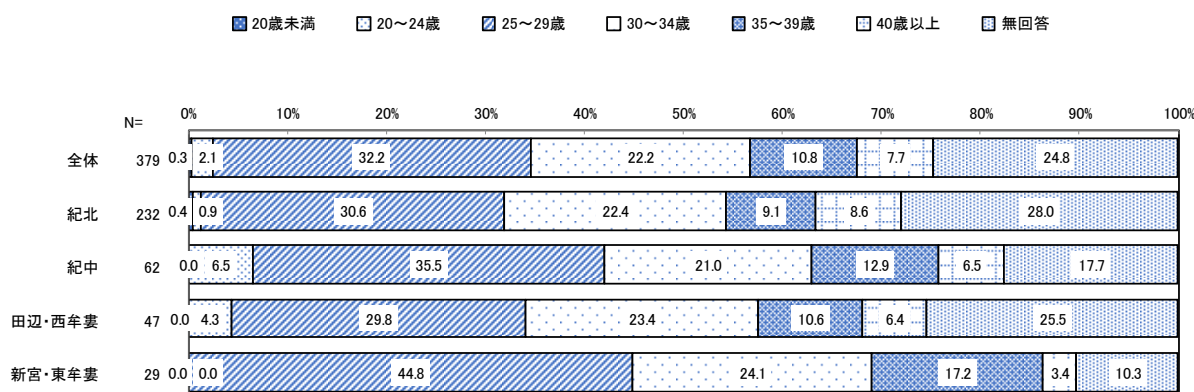


【全国値】

第16回出生動向基本調査をみると、全体では「30～31歳」が22.9%で最も高い。性別にみても男女ともに「30～31歳」が最も高く、男性は24.7%、女性は21.1%となっている。

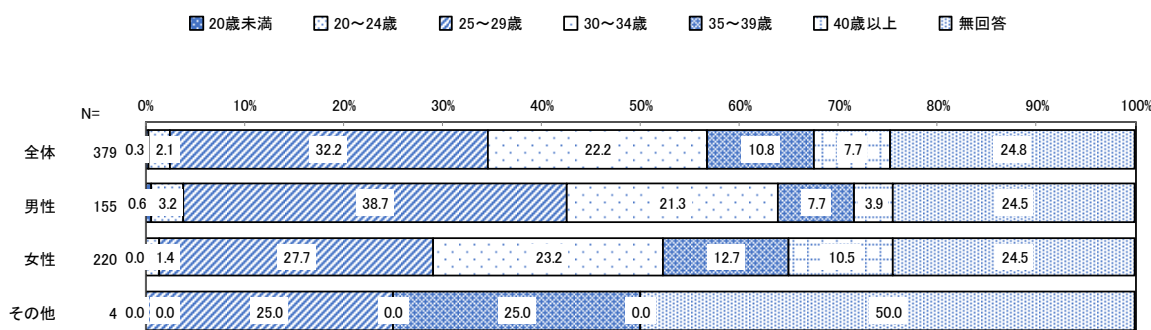
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「25～29歳」が全体よりも12.6ポイント、「35～39歳」が全体よりも6.4ポイント高くなっている。



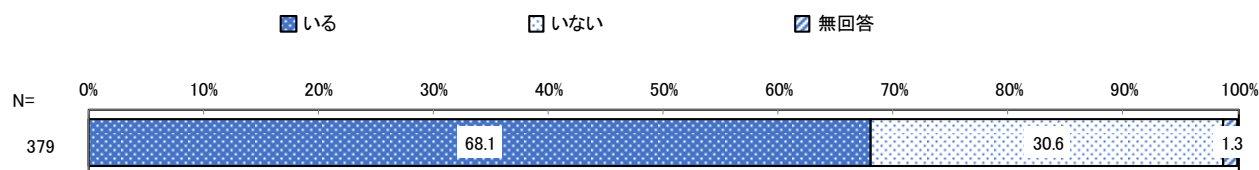
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「25～29歳」が全体よりも6.5ポイント高くなっている。



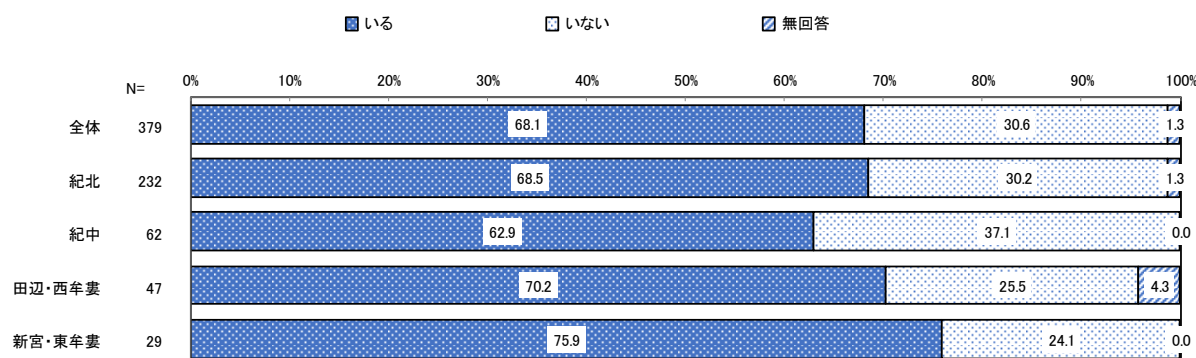
(27) 中学卒業以降、恋人として交際した人数はいますか。【○は1つ】

中学卒業以降、恋人として交際した人について、「いる」が68.1%、「いない」が30.6%、となった。



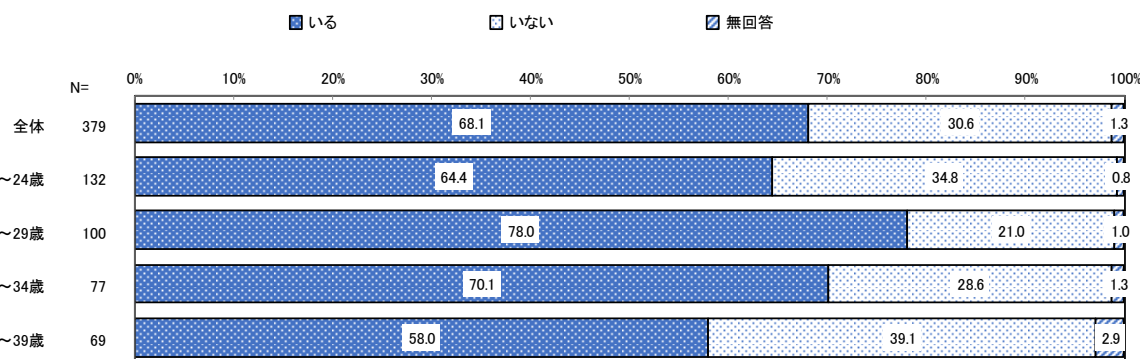
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「いる」が全体よりも5.2ポイント低く、「いない」が全体よりも6.5ポイント高くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「いない」が全体よりも5.1ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「いる」が全体よりも7.8ポイント高く、「いない」が全体よりも6.5ポイント低くなっている。



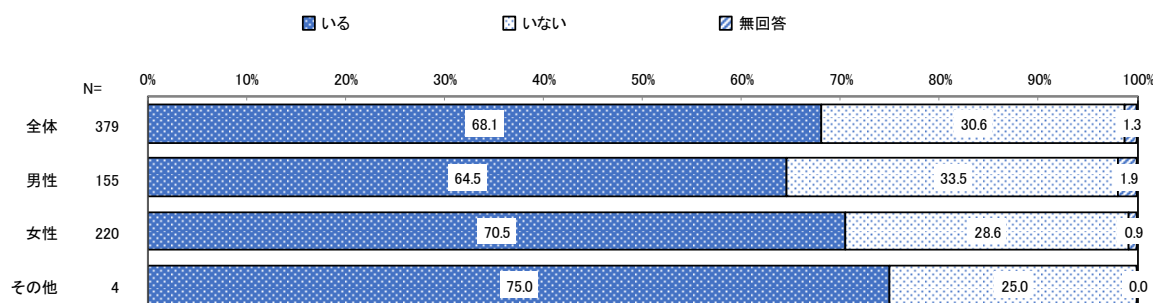
【年代別】

年代別にみると、〈25～29歳〉では「いる」が全体よりも9.9ポイント高く、「いない」が全体よりも9.6ポイント低くなっている。〈35～39歳〉では「いる」が全体よりも10.1ポイント低く、「いない」が全体よりも8.5ポイント高くなっている。



【性別】

性別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。

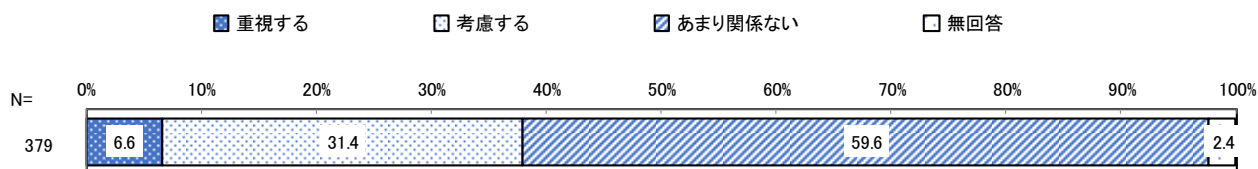


(28) 結婚相手を決めるとき、次の①～⑩の項目について、どの程度重視しますか。

【各項目に○は1つ】

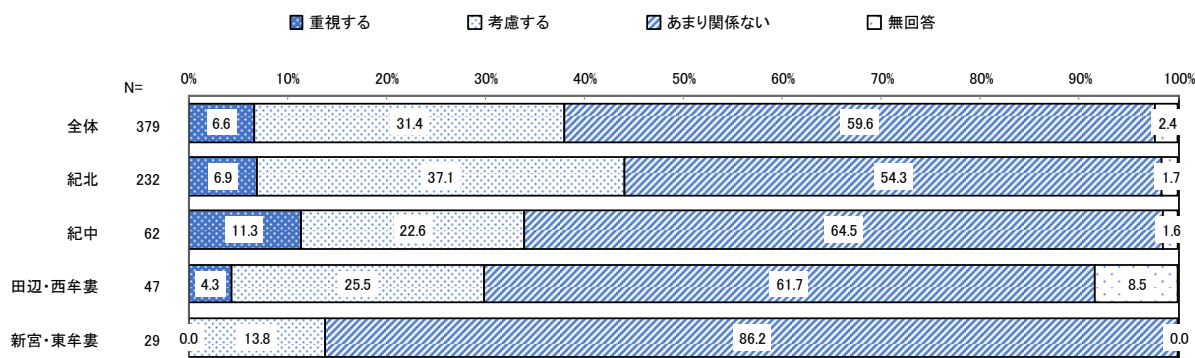
①相手の学歴

相手の学歴について、「あまり関係ない」が59.6%で最も高く、次いで「考慮する」が31.4%、「重視する」が6.6%となった。



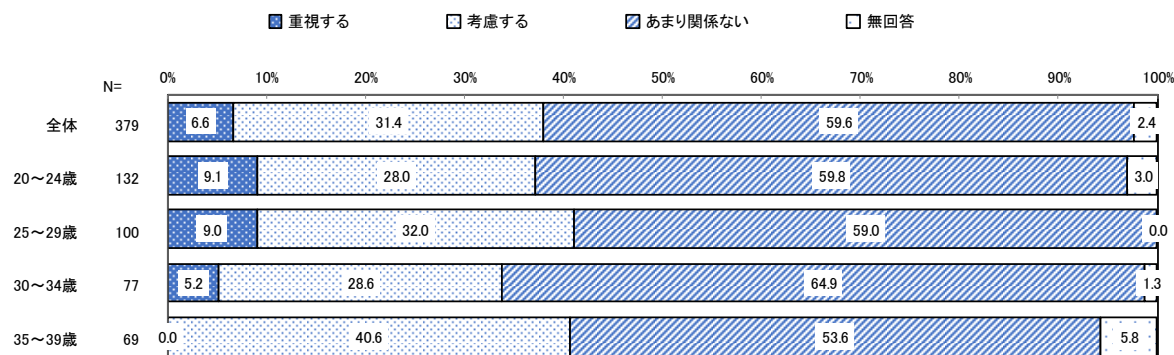
【地域別】

地域別にみると、〈紀北〉では「考慮する」が全体よりも5.7ポイント高くなっている。一方、「あまり関係ない」が全体よりも5.3ポイント低くなっている。〈紀中〉では「考慮する」が全体よりも8.8ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「考慮する」が全体よりも5.9ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「重視する」が全体よりも6.6ポイント、「考慮する」が全体よりも17.6ポイント低くなっている。一方、「あまり関係ない」が全体よりも26.6ポイント高くなっている。



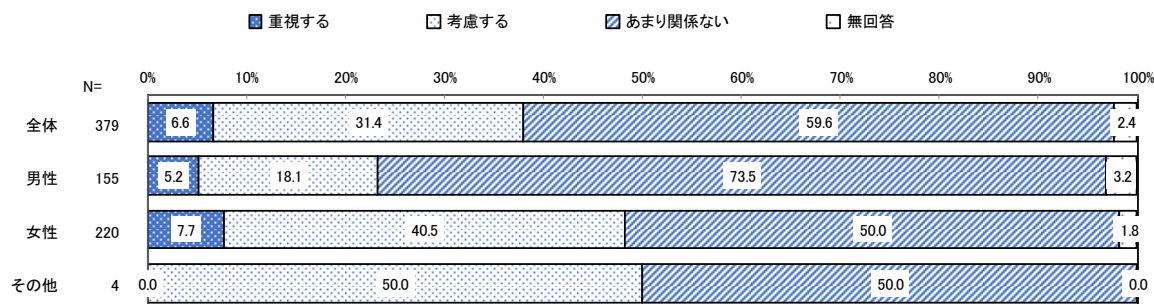
【年代別】

年代別にみると、〈30～34 歳〉では「あまり関係ない」が全体よりも 5.3 ポイント高くなっている。〈35～39 歳〉では「重視する」が全体よりも 6.6 ポイント、「あまり関係ない」が全体よりも 6.0 ポイント低くなっている。一方、「考慮する」が全体よりも 9.2 ポイント高くなっている。



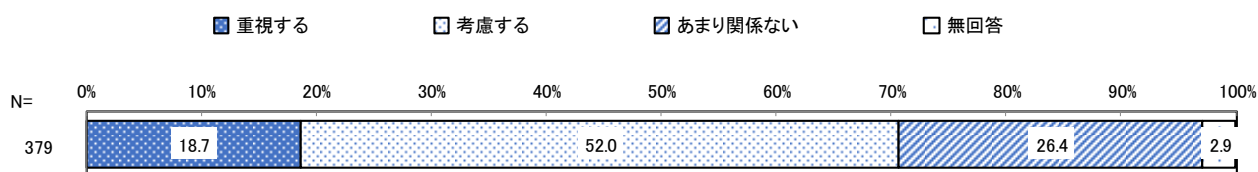
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「考慮する」が全体よりも 13.3 ポイント低く、「あまり関係ない」が全体よりも 13.9 ポイント高くなっている。〈女性〉では「考慮する」が全体よりも 9.1 ポイント高く、「あまり関係ない」が全体よりも 9.6 ポイント低くなっている。



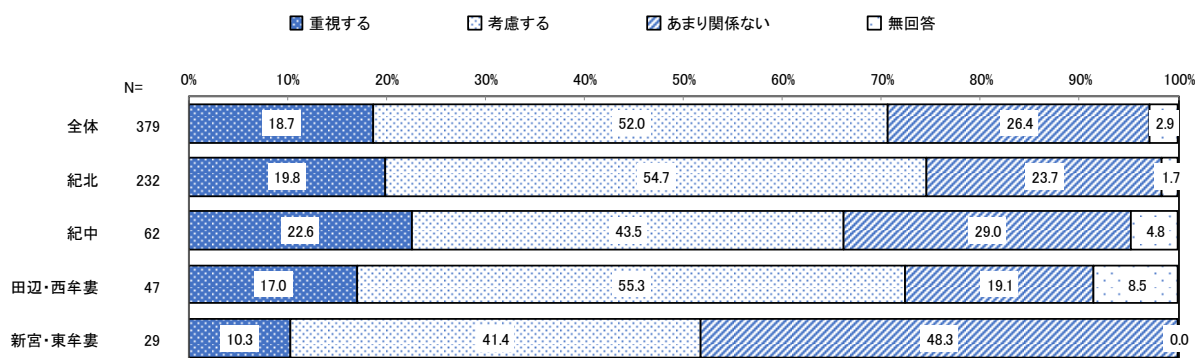
②相手の職業

相手の職業について、「考慮する」が52.0%で最も高く、次いで「あまり関係ない」が26.4%、「重視する」が18.7%となった。



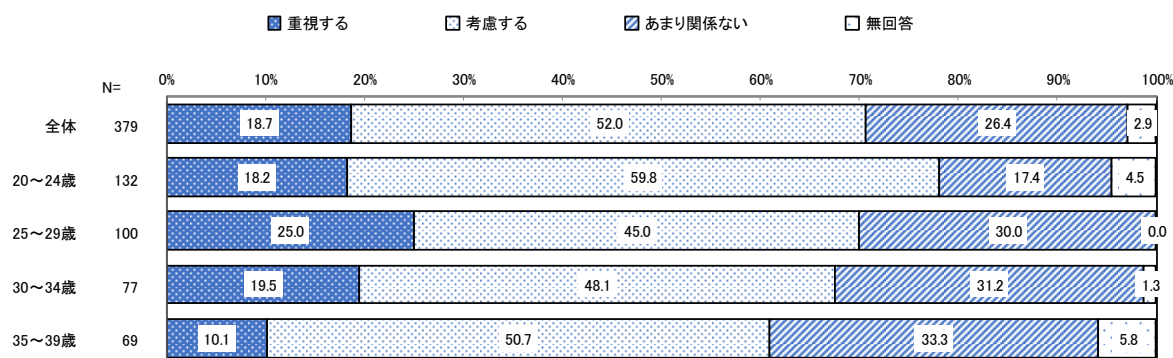
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「考慮する」が全体よりも8.5ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「あまり関係ない」が全体よりも7.3ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「重視する」が全体よりも8.4ポイント、「考慮する」が全体よりも10.6ポイント低くなっている。一方、「あまり関係ない」が全体よりも21.9ポイント高くなっている。



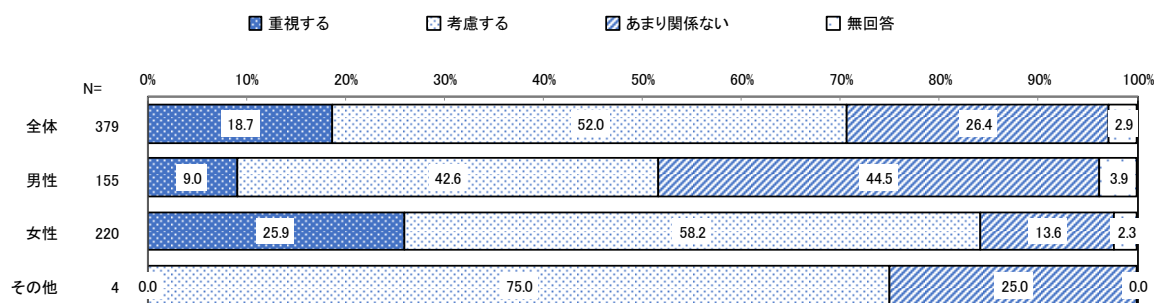
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「考慮する」が全体よりも7.8ポイント高く、「あまり関係ない」が全体よりも9.0ポイント低くなっている。〈25～29歳〉では「重視する」が全体よりも6.3ポイント高く、「考慮する」が全体よりも7.0ポイント低くなっている。〈35～39歳〉では「重視する」が全体よりも8.6ポイント低く、「あまり関係ない」が全体よりも6.9ポイント高くなっている。



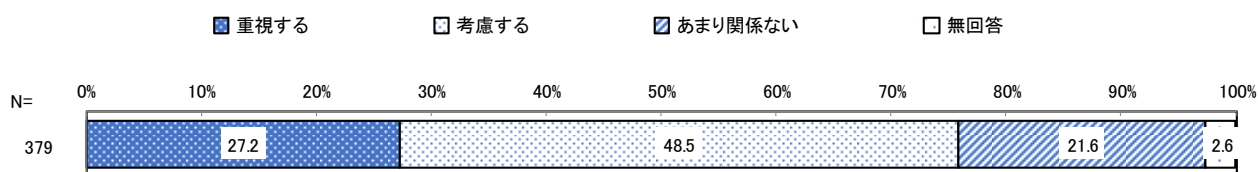
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「重視する」が全体よりも9.7ポイント、「考慮する」が全体よりも9.4ポイント低くなっている。一方、「あまり関係ない」が全体よりも18.1ポイント高くなっている。〈女性〉では「重視する」が全体よりも7.2ポイント、「考慮する」が全体よりも6.2ポイント高くなっている。一方、「あまり関係ない」が全体よりも12.8ポイント低くなっている。



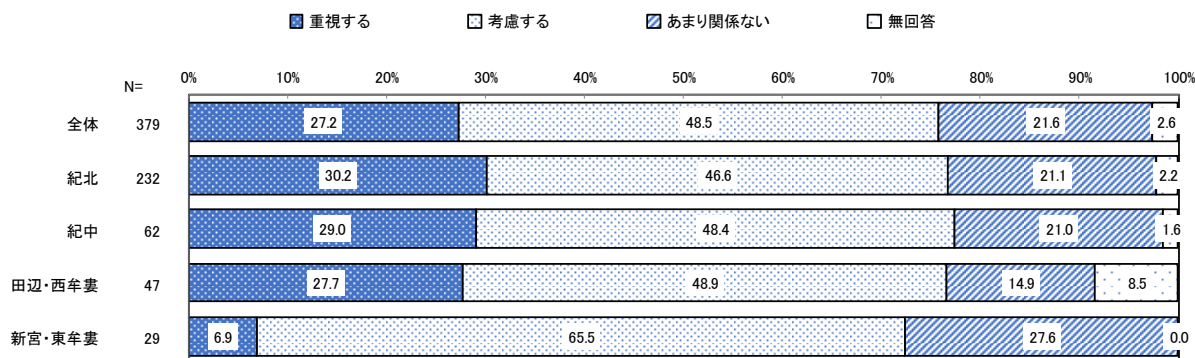
③相手の収入などの経済力

相手の収入などの経済力について、「考慮する」が48.5%で最も高く、次いで「重視する」が27.2%、「あまり関係ない」が21.6%となった。



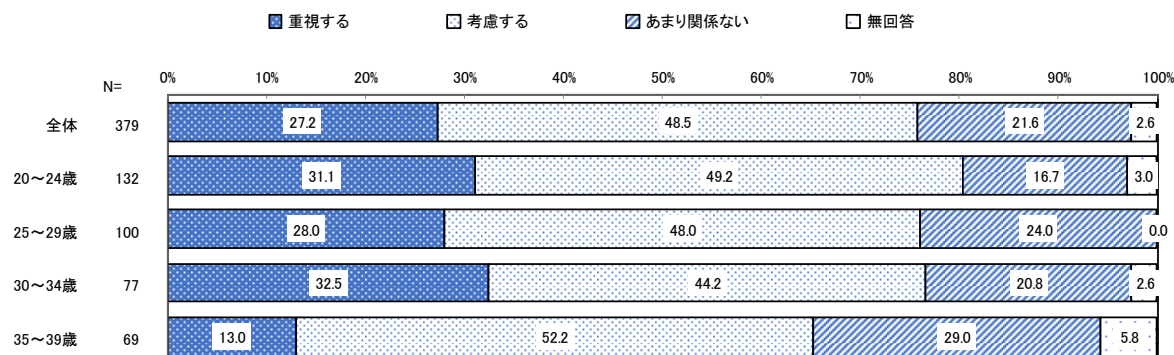
【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「あまり関係ない」が全体よりも6.7ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「重視する」が全体よりも20.3ポイント低くなっている。一方、「考慮する」が全体よりも17.0ポイント、「あまり関係ない」が全体よりも6.0ポイント高くなっている。



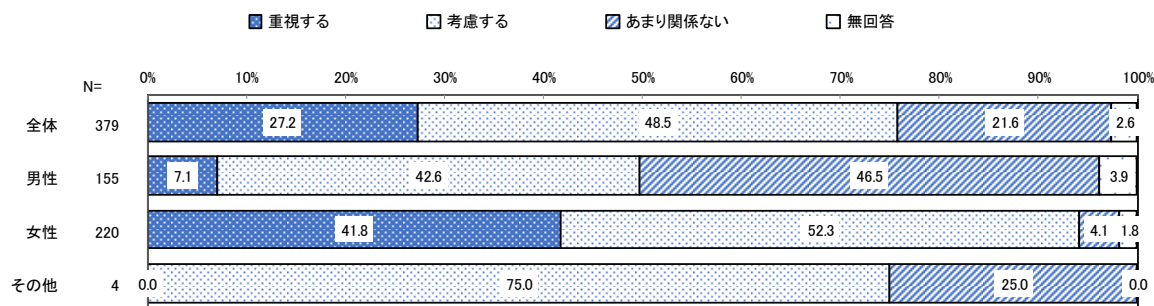
【年代別】

年代別にみると、〈30～34歳〉では「重視する」が全体よりも5.3ポイント高くなっている。〈35～39歳〉では「重視する」が全体よりも14.2ポイント低く、「あまり関係ない」が全体よりも7.4ポイント高くなっている。



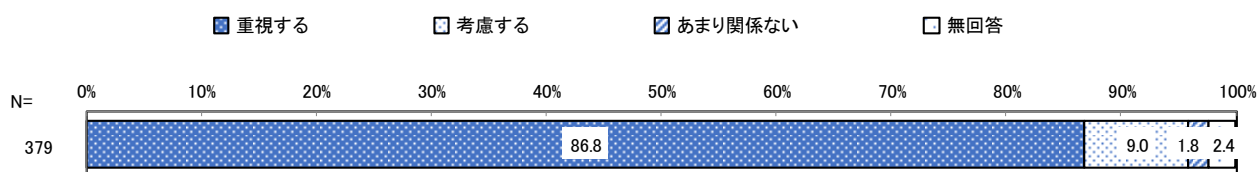
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「重視する」が全体よりも20.1ポイント、「考慮する」が全体よりも5.9ポイント低くなっている。一方、「あまり関係ない」が全体よりも24.9ポイント高くなっている。〈女性〉では「重視する」が全体よりも14.6ポイント高く、「あまり関係ない」が全体よりも17.5ポイント低くなっている。



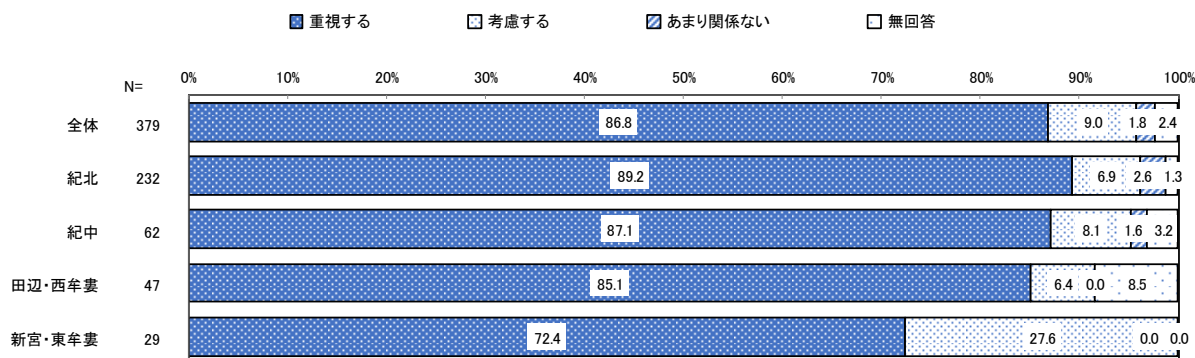
④相手の人柄

相手の人柄について、「重視する」が86.8%で最も高く、次いで「考慮する」が9.0%、「あまり関係ない」が1.8%となった。



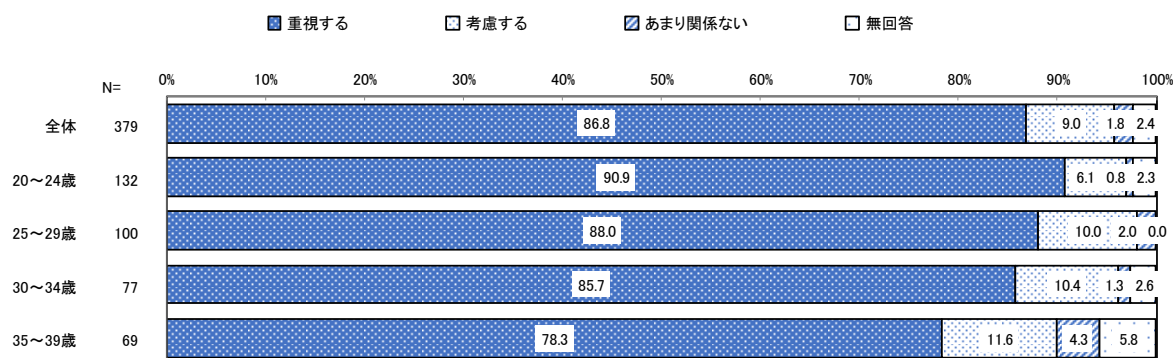
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「重視する」が全体よりも14.4ポイント低く、「考慮する」が全体よりも18.6ポイント高くなっている。



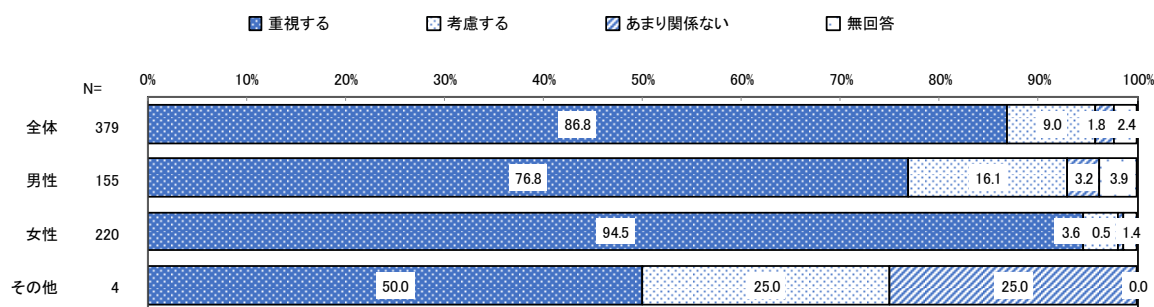
【年代別】

年代別にみると、〈35～39歳〉では「重視する」が全体よりも8.5ポイント低くなっている。



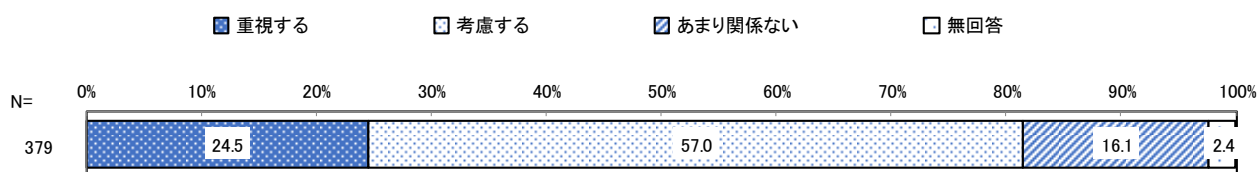
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「重視する」が全体よりも10.0ポイント低く、「考慮する」が全体よりも7.1ポイント高くなっている。〈女性〉では「重視する」が全体よりも7.7ポイント高く、「考慮する」が全体よりも5.4ポイント低くなっている。



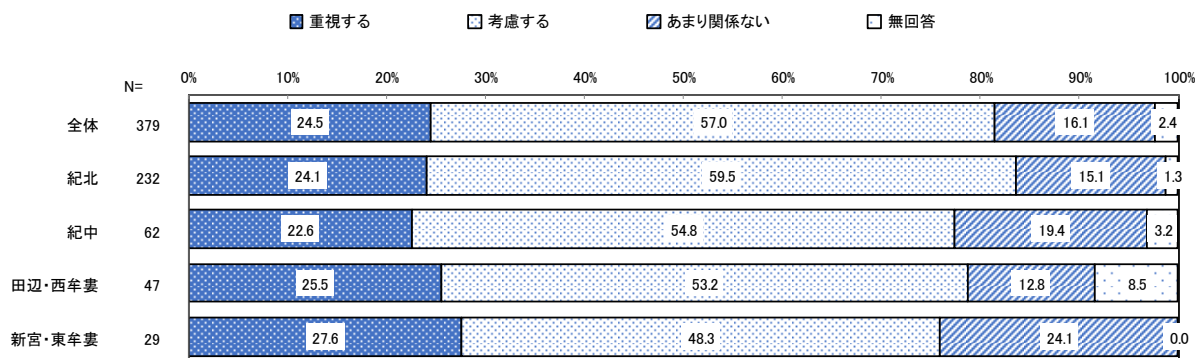
⑤相手の容姿

相手の容姿について、「考慮する」が57.0%で最も高く、次いで「重視する」が24.5%、「あまり関係ない」が16.1%となった。



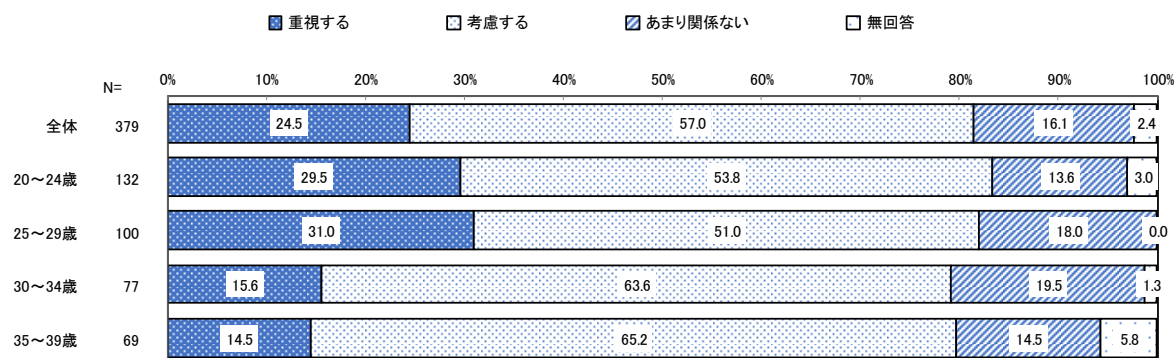
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「考慮する」が全体よりも8.7ポイント低く、「あまり関係ない」が全体よりも8.0ポイント高くなっている。



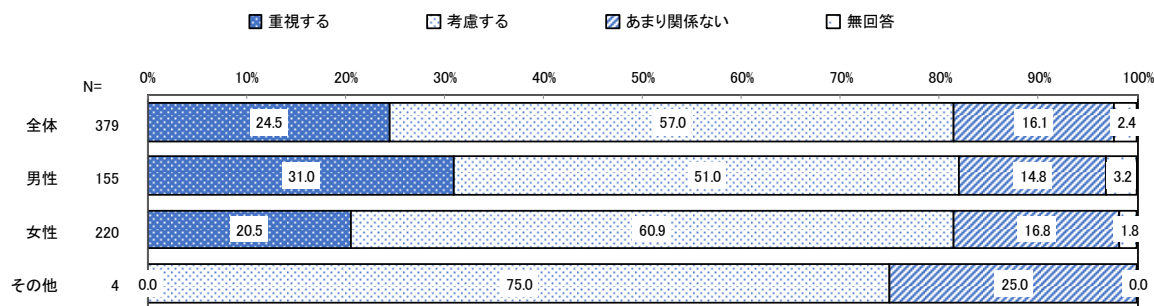
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「重視する」が全体よりも5.0ポイント高くなっている。〈25～29歳〉では「重視する」が全体よりも6.5ポイント高く、「考慮する」が全体よりも6.0ポイント低くなっている。〈30～34歳〉では「重視する」が全体よりも8.9ポイント低く、「考慮する」が全体よりも6.6ポイント高くなっている。〈35～39歳〉では「重視する」が全体よりも10.0ポイント低く、「考慮する」が全体よりも8.2ポイント高くなっている。



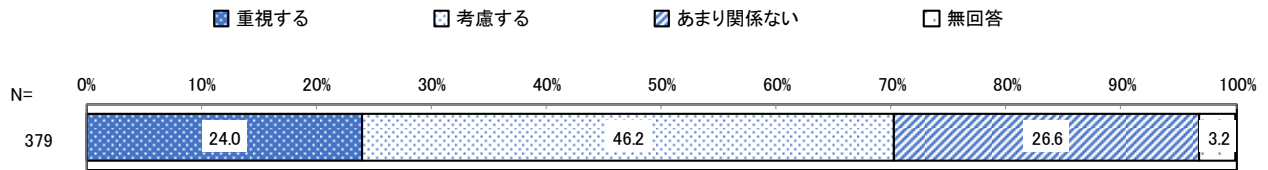
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「重視する」が全体よりも6.5ポイント高く、「考慮する」が全体よりも6.0ポイント低くなっている。



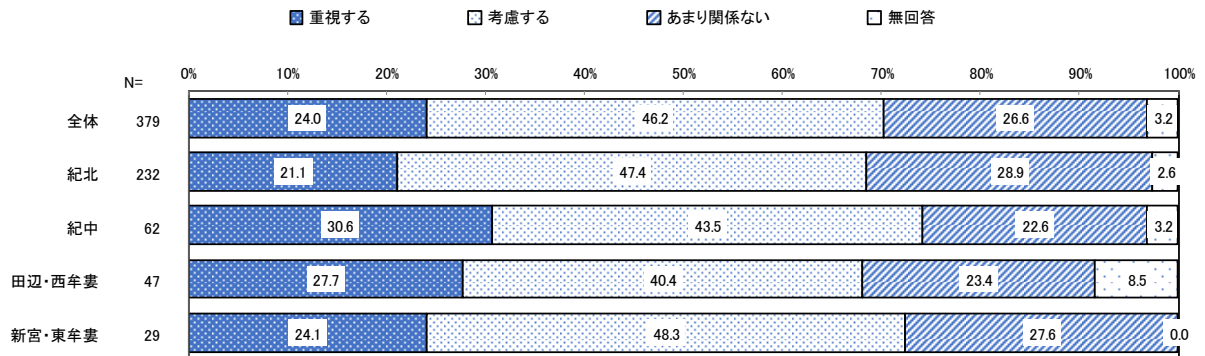
⑥共通の趣味の有無

共通の趣味の有無について、「考慮する」が46.2%で最も高く、次いで「あまり関係ない」が26.6%、「重視する」が24.0%となった。



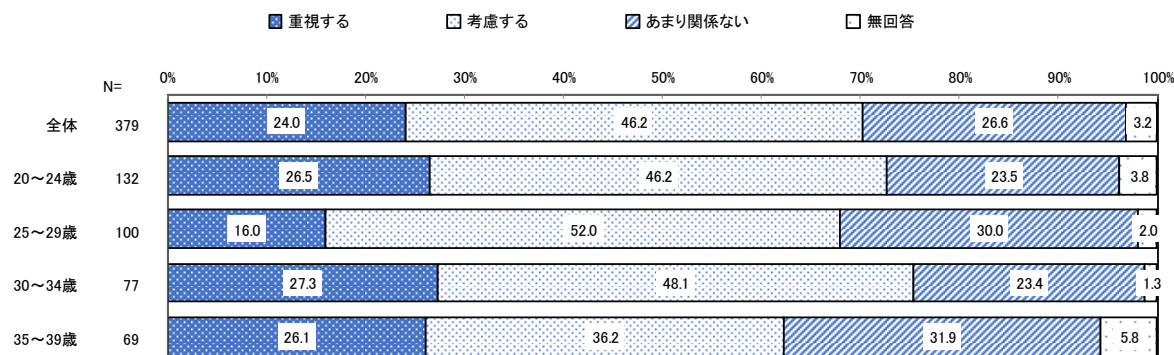
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「重視する」が全体よりも6.6ポイント高くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「考慮する」が全体よりも5.8ポイント低くなっている。



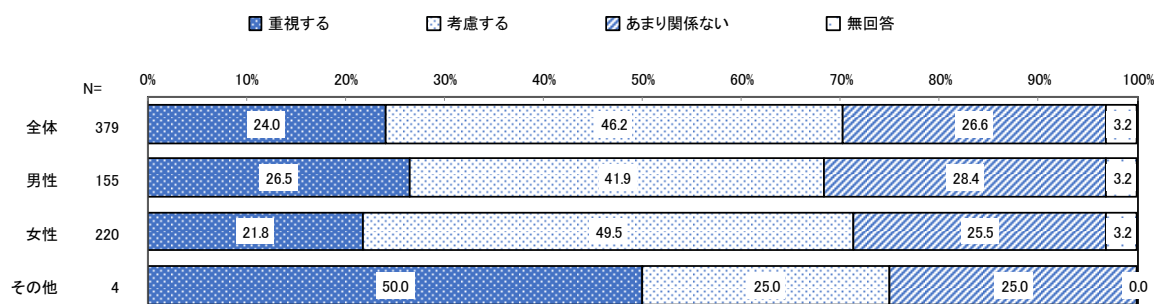
【年代別】

年代別にみると、〈25～29歳〉では「重視する」が全体よりも8.0ポイント低く、「考慮する」が全体よりも5.8ポイント高くなっている。〈35～39歳〉では「考慮する」が全体よりも10.0ポイント低く、「あまり関係ない」が全体よりも5.3ポイント高くなっている。



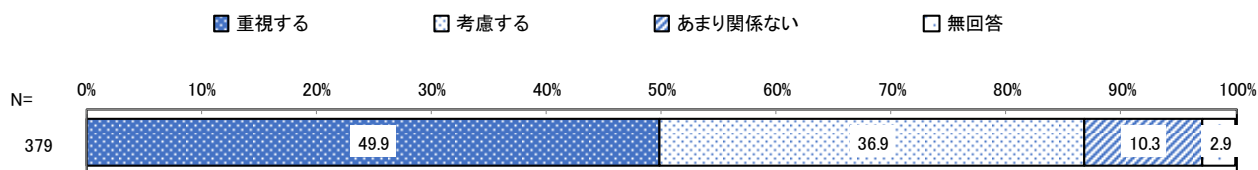
【性別】

性別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



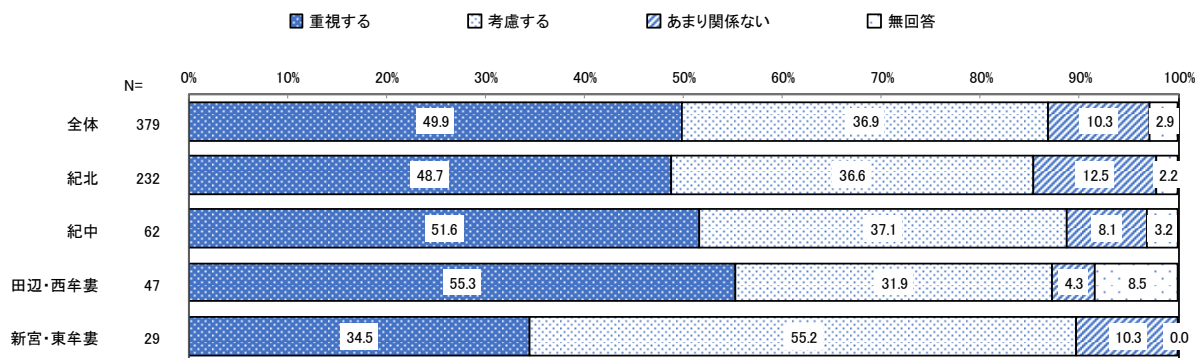
⑦自分の仕事に対する理解と協力

自分の仕事に対する理解と協力について、「重視する」が 49.9%で最も高く、次いで「考慮する」が 36.9%、「あまり関係ない」が 10.3%となった。



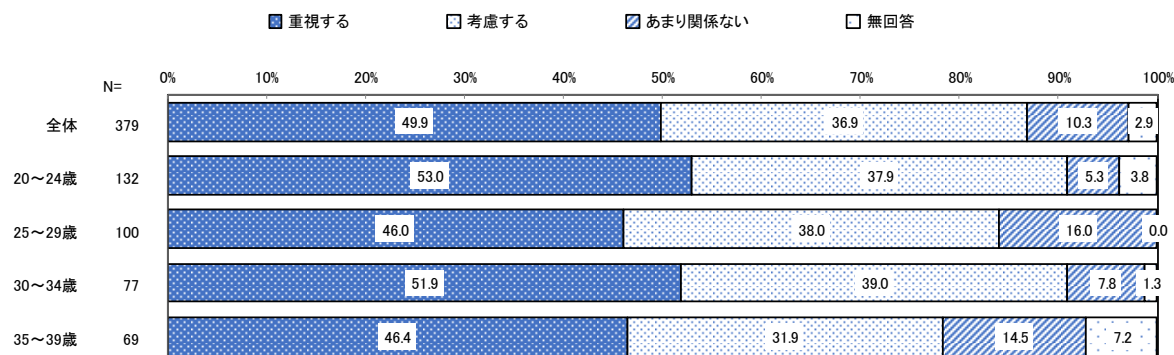
【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「重視する」が全体よりも 5.4 ポイント高くなっている。一方、「考慮する」が全体よりも 5.0 ポイント、「あまり関係ない」が全体よりも 6.0 ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「重視する」が全体よりも 15.4 ポイント低く、「考慮する」が全体よりも 18.3 ポイント高くなっている。



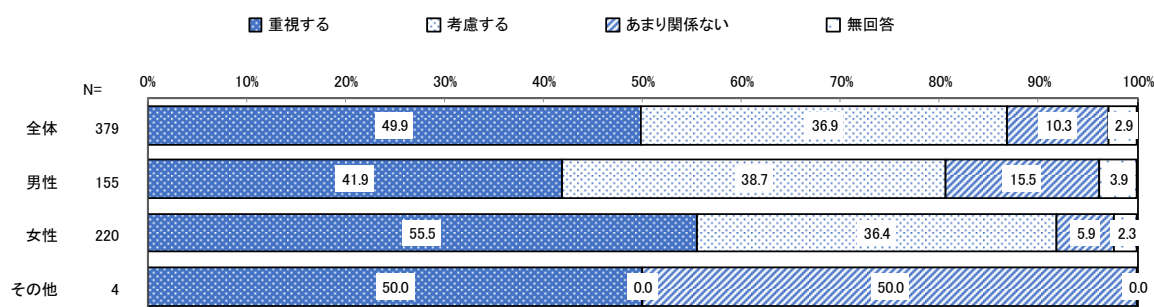
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「あまり関係ない」が全体よりも5.0ポイント低くなっている。〈25～29歳〉では「あまり関係ない」が全体よりも5.7ポイント高くなっている。〈35～39歳〉では「考慮する」が全体よりも5.0ポイント低くなっている。



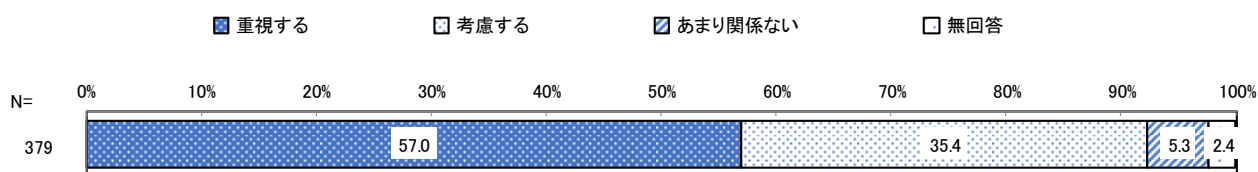
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「重視する」が全体よりも8.0ポイント低く、「あまり関係ない」が全体よりも5.2ポイント高くなっている。〈女性〉では「重視する」が全体よりも5.6ポイント高くなっている。



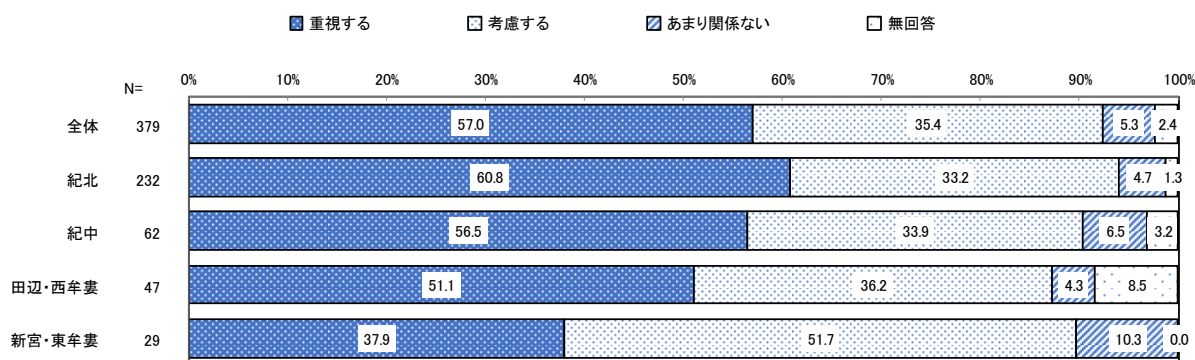
⑧家事・育児に対する能力や姿勢

家事・育児に対する能力や姿勢について、「重視する」が 57.0%で最も高く、次いで「考慮する」が 35.4%、「あまり関係ない」が 5.3%となった。



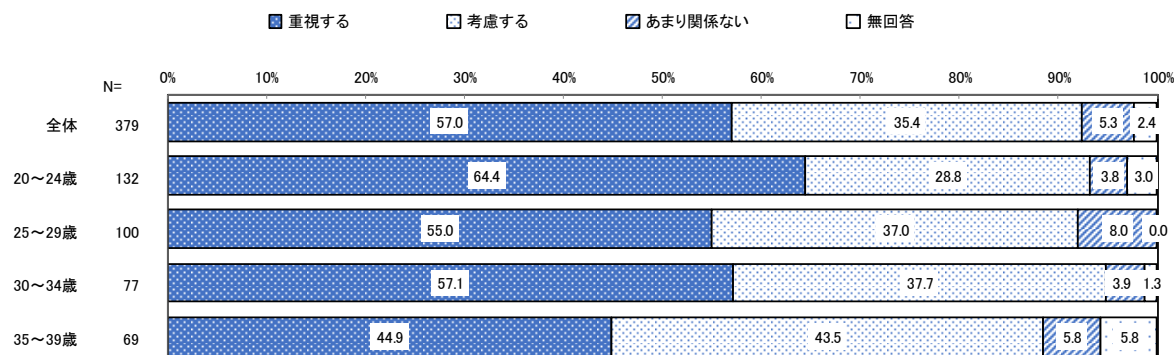
【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「重視する」が全体よりも 5.9 ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「重視する」が全体よりも 19.1 ポイント低くなっている。一方、「考慮する」が全体よりも 16.3 ポイント、「あまり関係ない」が全体よりも 5.0 ポイント高くなっている。



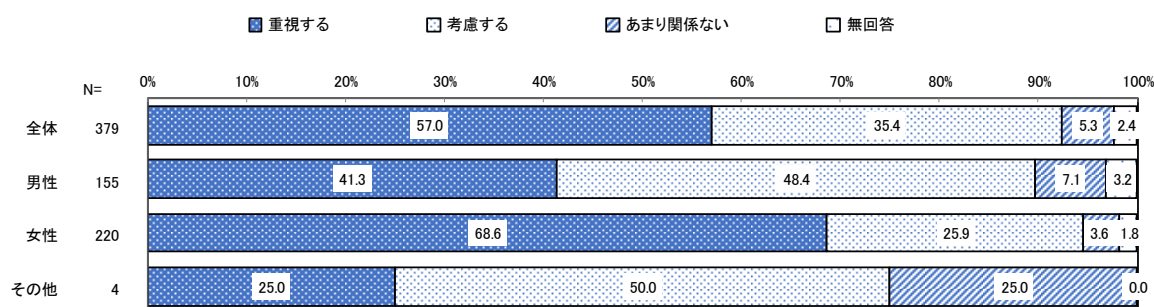
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「重視する」が全体よりも7.4ポイント高く、「考慮する」が全体よりも6.6ポイント低くなっている。〈35～39歳〉では「重視する」が全体よりも12.1ポイント低く、「考慮する」が全体よりも8.1ポイント高くなっている。



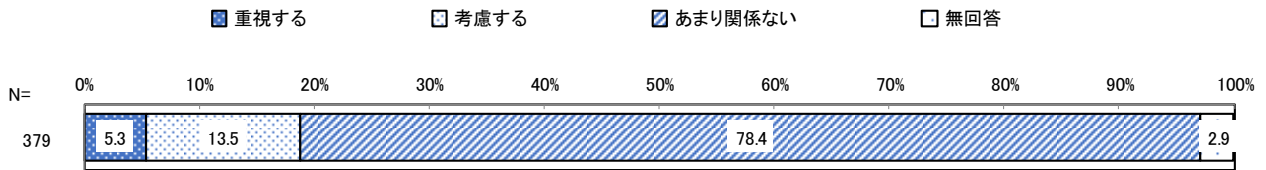
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「重視する」が全体よりも15.7ポイント低く、「考慮する」が全体よりも13.0ポイント高くなっている。〈女性〉では「重視する」が全体よりも11.6ポイント高く、「考慮する」が全体よりも9.5ポイント低くなっている。



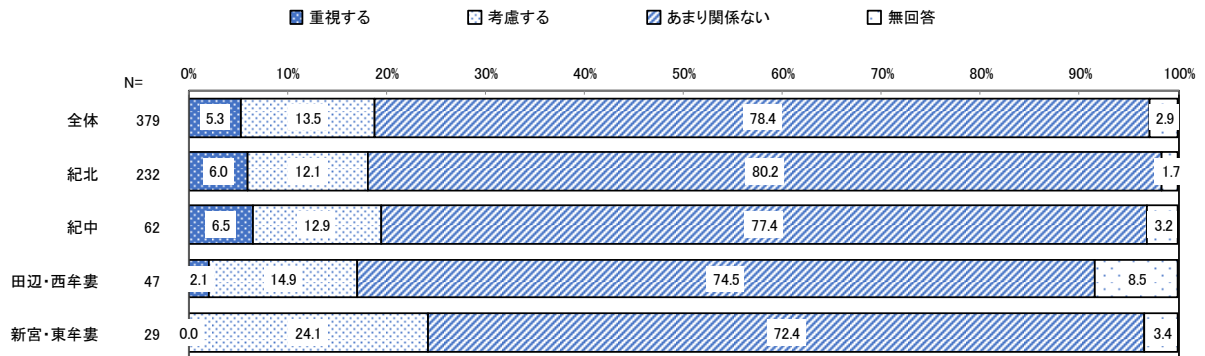
⑨地元出身者

地元出身者について、「あまり関係ない」が78.4%で最も高く、次いで「考慮する」が13.5%、「重視する」が5.3%となった。



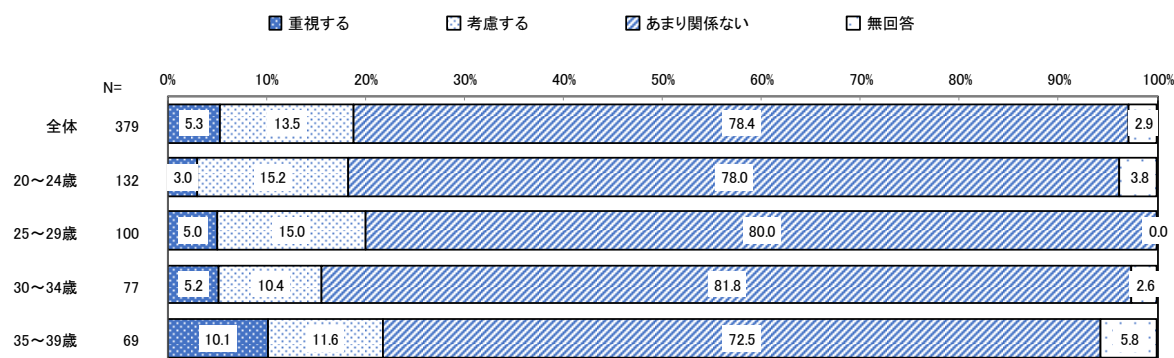
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「重視する」が全体よりも5.3ポイント、「あまり関係ない」が全体よりも6.0ポイント低くなっている。一方、「考慮する」が全体よりも10.6ポイント高くなっている。



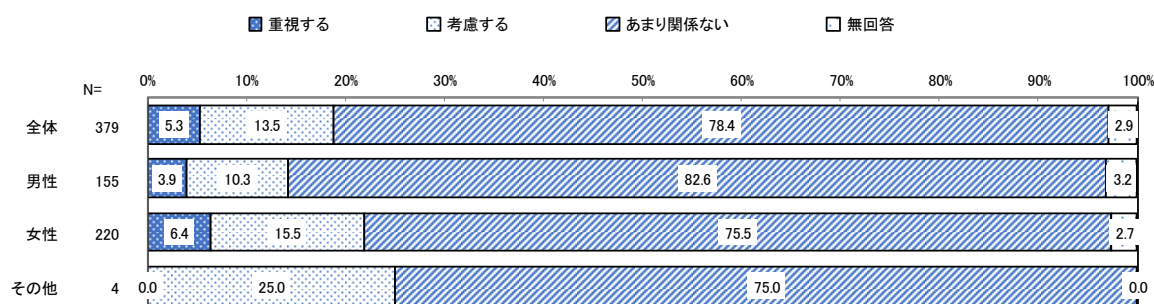
【年代別】

年代別にみると、〈35～39歳〉では「あまり関係ない」が全体よりも5.9ポイント低くなっている。



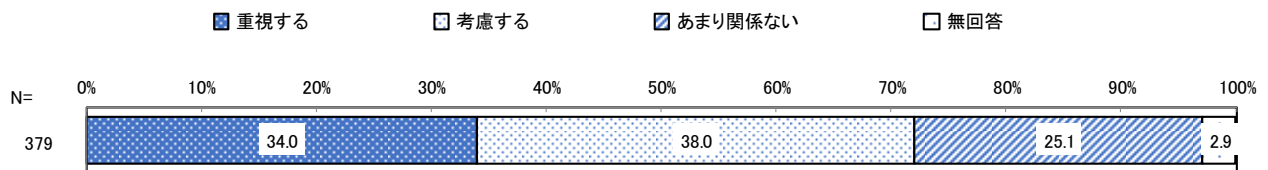
【性別】

性別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



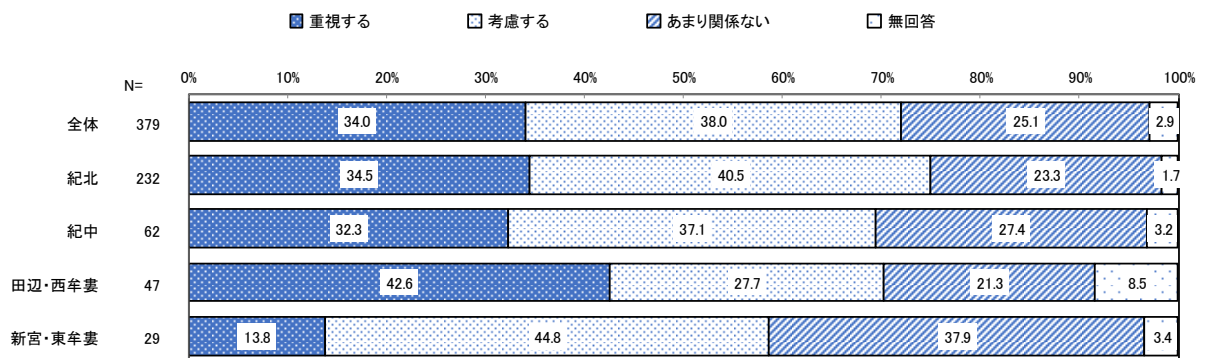
⑩相手の親との同居

相手の親との同居について、「考慮する」が38.0%で最も高く、次いで「重視する」が34.0%、「あまり関係ない」が25.1%となった。



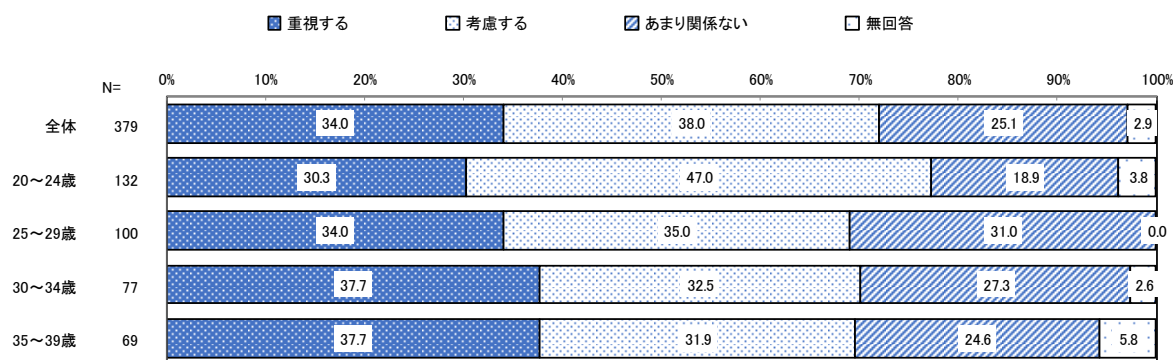
【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「重視する」が全体よりも8.6ポイント高く、「考慮する」が全体よりも10.3ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「重視する」が全体よりも20.2ポイント低くなっている。一方、「考慮する」が全体よりも6.8ポイント、「あまり関係ない」が全体よりも12.8ポイント高くなっている。



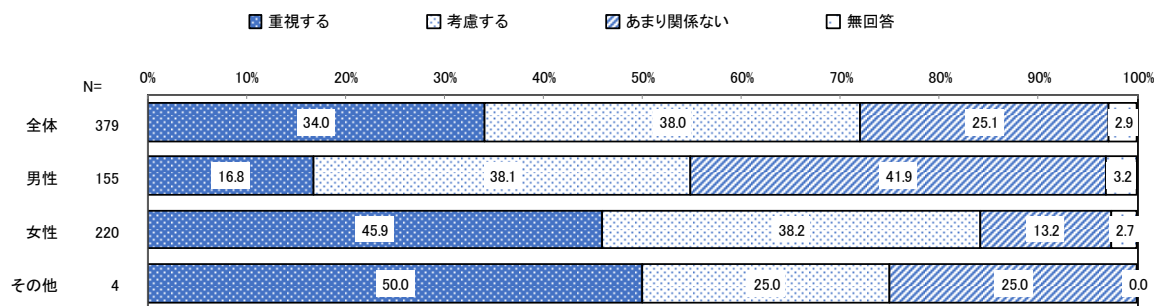
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「考慮する」が全体よりも9.0ポイント高く、「あまり関係ない」が全体よりも6.2ポイント低くなっている。〈25～29歳〉では「あまり関係ない」が全体よりも5.9ポイント高くなっている。〈30～34歳〉では「考慮する」が全体よりも5.5ポイント低くなっている。〈35～39歳〉では「考慮する」が全体よりも6.1ポイント低くなっている。



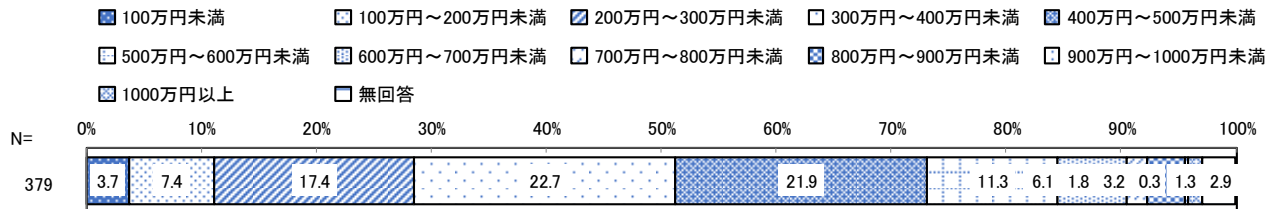
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「重視する」が全体よりも17.2ポイント低く、「あまり関係ない」が全体よりも16.8ポイント高くなっている。〈女性〉では「重視する」が全体よりも11.9ポイント高く、「あまり関係ない」が全体よりも11.9ポイント低くなっている。



(29) 結婚生活を送るに当たって相手に求める年収（税込）は、どのくらいですか。【〇は1つ】

相手に求める年収について、「300万円～400万円未満」が22.7%で最も高く、次いで「400万円～500万円未満」が21.9%、「200万円～300万円未満」が17.4%となった。



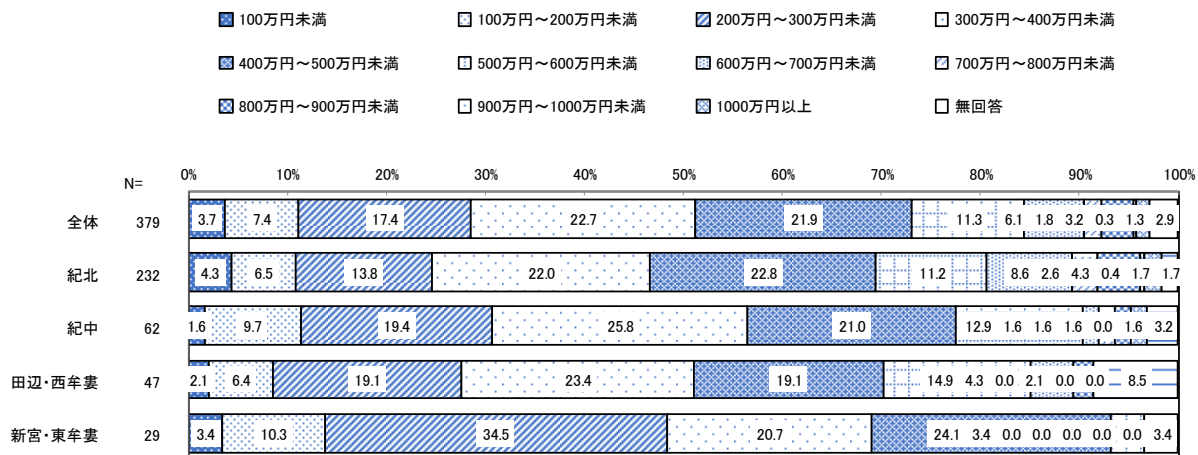
【全国値】

少子化社会対策に関する調査をみると、相手に求める年収は「300万円～400万円未満」が14.8%で最も高く、次いで「400万円～500万円未満」が13.0%、「200万円～300万円未満」が12.4%となっている。ただし、「収入は関係ない」が15.9%で最多であることから、本調査と比較して求める年収額の回答割合は、比較的低めの数値が出ている可能性がある（本調査にも「収入は関係ない」の選択肢があれば、こちらを回答したケースが少なからず発生したと思われる）。

そうした観点を踏まえてみると、上位の項目が一致していることから、和歌山県・全国でおおむね類似した傾向となっていると考えられる。

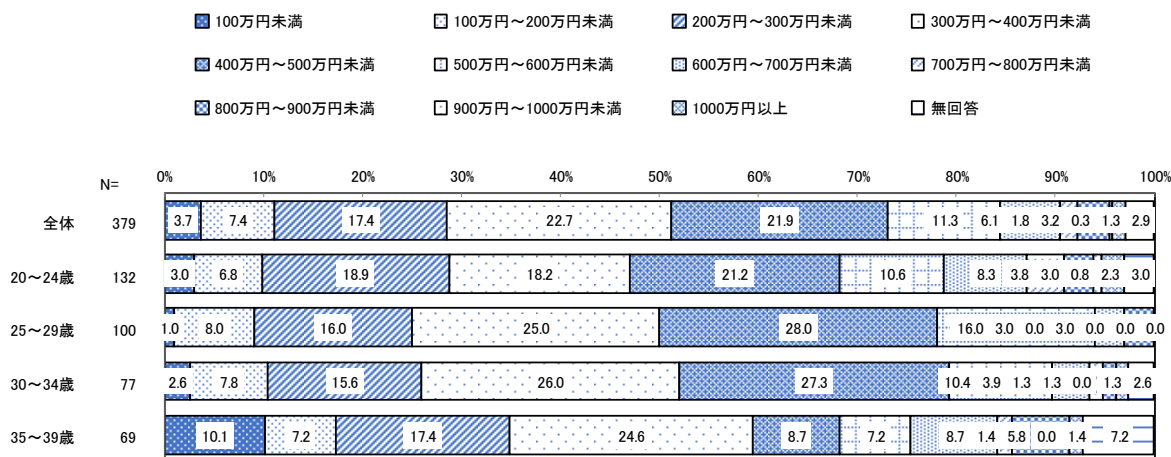
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「200万円～300万円未満」が全体よりも17.1ポイント高くなっている。一方、「500万円～600万円未満」が全体よりも7.9ポイント、「600万円～700万円未満」が全体よりも6.1ポイント低くなっている。



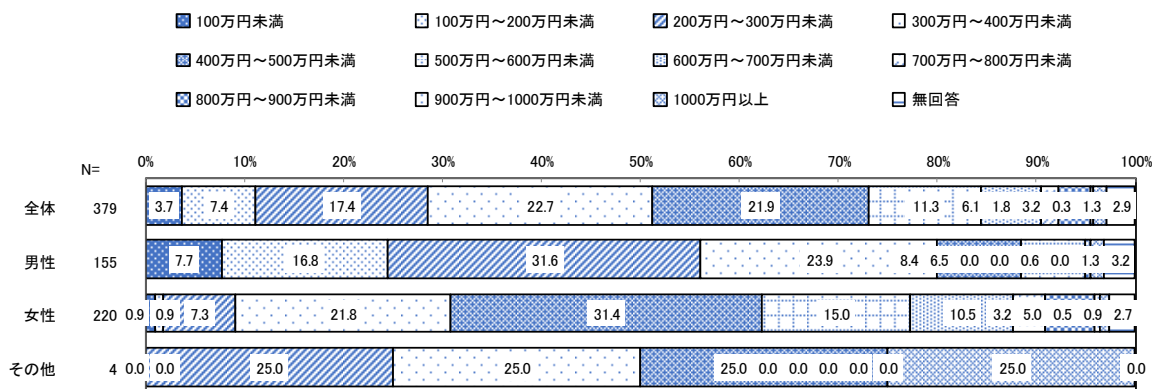
【年代別】

年代別にみると、〈25～29歳〉では「400万円～500万円未満」が全体よりも6.1ポイント高くなって
いる。〈30～34歳〉では「400万円～500万円未満」が全体よりも5.4ポイント高くなっている。〈35～
39歳〉では「100万円未満」が全体よりも6.4ポイント高く、「400万円～500万円未満」が全体よりも
13.2ポイント低くなっている。



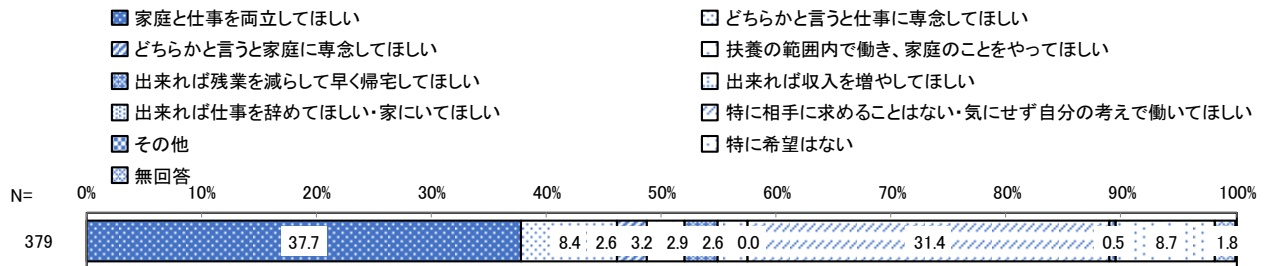
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「100万円～200万円未満」が全体よりも9.4ポイント、「200万円～300万円未満」が全体よりも14.2ポイント高くなっている。一方、「400万円～500万円未満」が全体よりも13.5ポイント、「600万円～700万円未満」が全体よりも6.1ポイント低くなっている。〈女性〉では「100万円～200万円未満」が全体よりも6.5ポイント、「200万円～300万円未満」が全体よりも10.1ポイント低くなっている。一方、「400万円～500万円未満」が全体よりも9.5ポイント高くなっている。



(30) 結婚後、子供がいない時、配偶者にはどのような形で仕事に向き合ってほしいかお答えください。【最もあてはまるものに○を1つ】

結婚後、子供がいない時、配偶者にはどのような形で仕事に向き合ってほしいかについて、「家庭と仕事を両立してほしい」が37.7%で最も高く、次いで「特に相手に求めることはない・気にせず自分の考えで働いてほしい」が31.4%、「どちらかと言うと仕事に専念してほしい」が8.4%となった。一方で「特に希望はない」でも8.7%の回答があった。



【全国値】

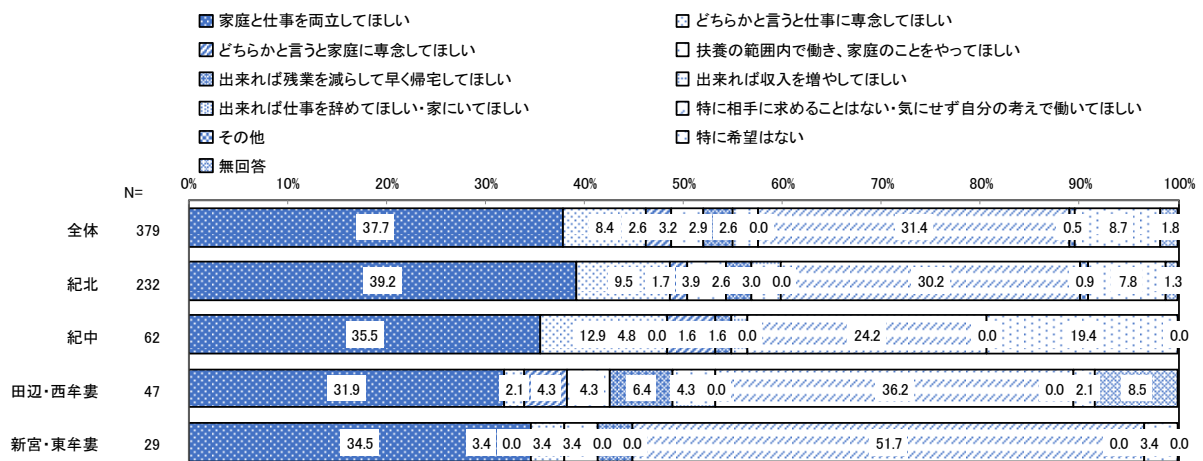
人生100年時代における結婚・仕事・収入に関する調査をみると、独身で結婚意思がある人の配偶者の働き方への望みについては、20-39歳をみみると、女性では「家庭と仕事を両立してほしい」が41.2%で最も高い。男性では、「特に希望はない」が28.6%、次いで「家庭と仕事を両立してほしい」が25.6%となっている。

男女ともに本調査も全国調査と同様の傾向がみられる。ただし、本調査では男性は「特に相手に求めることはない・気にせず自分の考えで働いてほしい」が38.1%でより顕著に高い。また、男女ともに、全国では「特に希望はない」が家庭と仕事の両立に次いで高いが、和歌山県では「特に相手に求めることはない・気にせず自分の考えで働いてほしい」が高くなっている。

※人生100年時代における結婚・仕事・収入に関する調査結果は、男女・年代別の結果のみ報告書に掲載されている

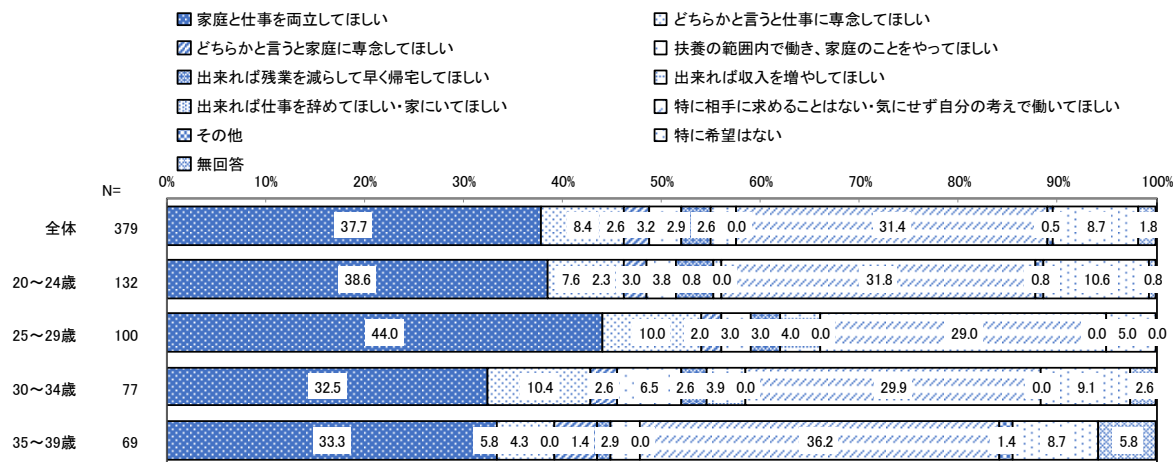
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「特に相手に求めることはない・気にせず自分の考えで働いてほしい」が全体よりも7.2ポイント低く、「特に希望はない」が全体よりも10.7ポイント高くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「家庭と仕事を両立してほしい」が全体よりも5.8ポイント、「どちらかと言うと仕事に専念してほしい」が全体よりも6.3ポイント、「特に希望はない」が全体よりも6.6ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「どちらかと言うと仕事に専念してほしい」が全体よりも5.0ポイント、「特に希望はない」が全体よりも5.3ポイント低くなっている。一方、「特に相手に求めることはない・気にせず自分の考えで働いてほしい」が全体よりも20.3ポイント高くなっている。



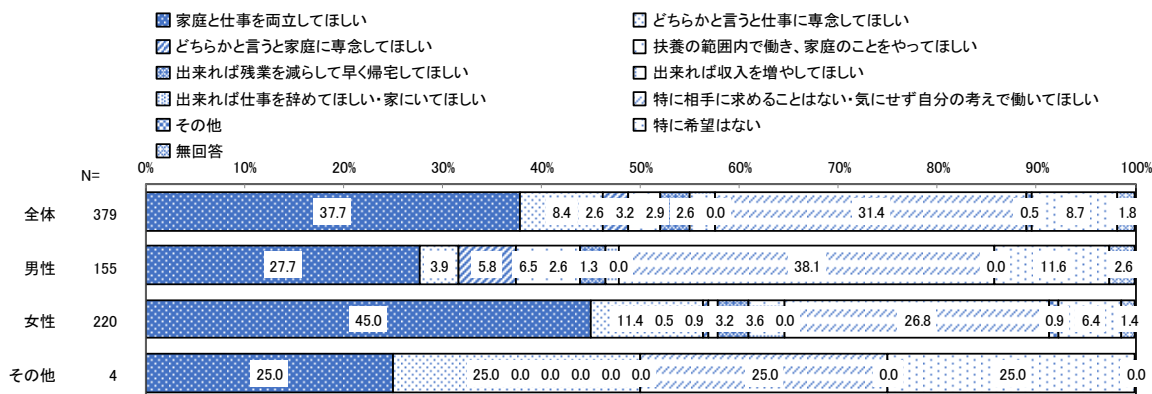
【年代別】

年代別にみると、〈25～29 歳〉では「家庭と仕事を両立してほしい」が全体よりも 6.3 ポイント高く、〈30～34 歳〉では「家庭と仕事を両立してほしい」が全体よりも 5.2 ポイント低くなっている。



【性別】

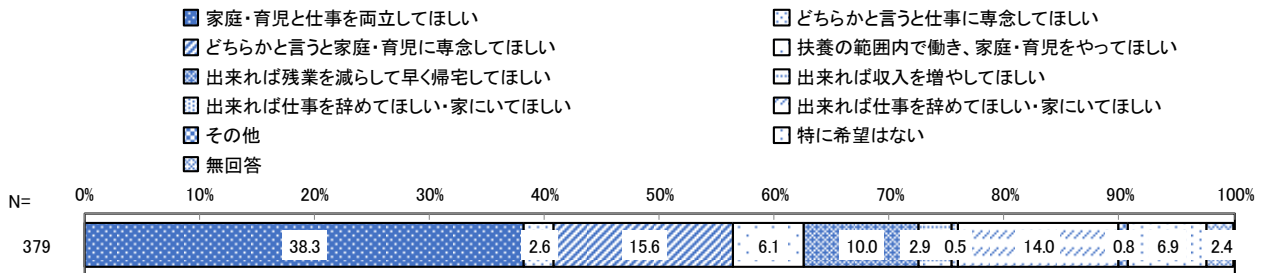
性別にみると、〈男性〉では「家庭と仕事を両立してほしい」が全体よりも 10.0 ポイント低く、「特に相手に求めることはない・気にせず自分の考えで働いてほしい」が全体よりも 6.7 ポイント高くなっている。〈女性〉では「家庭と仕事を両立してほしい」が全体よりも 7.3 ポイント高くなっている。



(31) 第1子が生まれた後、子供が2～3歳の頃、配偶者にはどのような形で仕事に向き合ってほしいかお答えください。【最もあてはまるものに○を1つ】

第1子が2～3歳の頃、配偶者にはどのような形で仕事に向き合ってほしいかについて、「家庭・育児と仕事を両立してほしい」が38.3%で最も高く、次いで「どちらかと言うと家庭・育児に専念してほしい」が15.6%、「出来れば仕事を辞めてほしい・家にいてほしい」が14.0%となった。

問30の子供がいない時の配偶者への希望と比較すると、どちらも家庭と仕事の両立が最も高くなっているものの、第1子の誕生後は、家庭・育児への参加希望が10ポイント以上高くなっている。また、仕事に関しては、残業を減らしてほしいとの声や仕事を辞めてほしいという回答が多くなっている。



【全国値】

人生100年時代における結婚・仕事・収入に関する調査をみると、実際に子供がいる方の回答は、配偶者への働き方への望みについては、「家庭・育児と仕事を両立してほしい」が男女とも最も高く、男性は41.7%、女性は30.0%となっている。次いで、女性では「どちらかと言うと仕事に専念してほしい」が15.8%、男性では「どちらかと言うと家庭・育児に専念してほしい」が22.2%となっている。

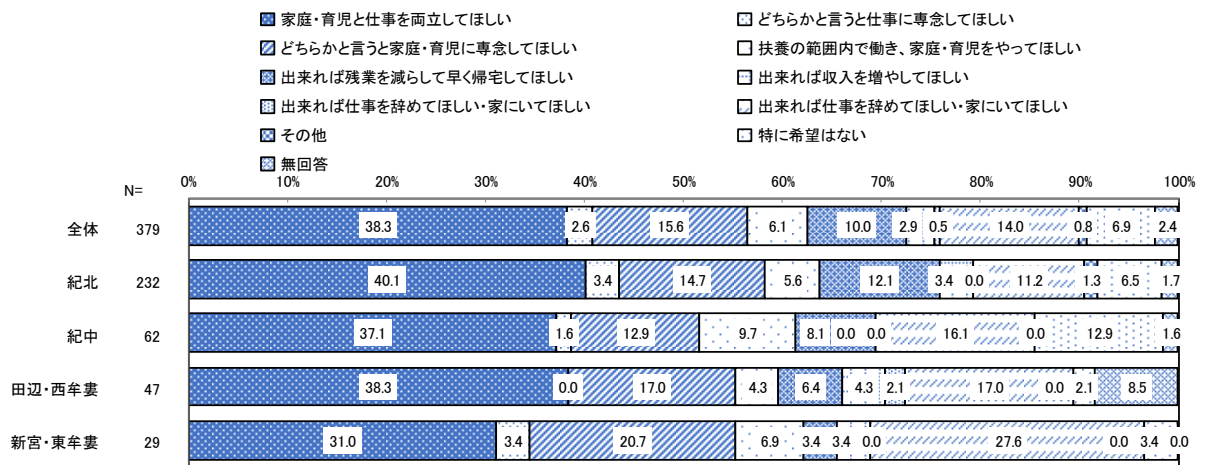
また、現在は子供がいないが今後子供を持つ意思がある人では、同様に「家庭・育児と仕事を両立してほしい」が男女とも最も高いが、女性は43.7%、男性は25.2%と大きな差が出ている。

和歌山県の結果と比較すると、全国と比べ、県では男女差がより顕著に表れている傾向がある。男性は「どちらかと言うと家庭・育児に専念してほしい」が29.7%で最も高く、次いで「出来れば仕事を辞めてほしい・家にいてほしい」が26.5%となっている。女性は「家庭・育児と仕事を両立してほしい」が55.9%で全国結果以上に顕著に高くなった。

【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「特に希望はない」が全体よりも6.0ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「家庭・育児と仕事を両立してほしい」が全体よりも7.3ポイント、「出来れば残業を減らして早く帰宅してほしい」が全体よりも6.6ポイント低くなっている。一方、「どちらかと言うと家庭・育児に専念してほしい」が全体よりも5.1ポイント、「出来れば仕事を辞めてほしい・家にいてほしい」が全体よりも13.6ポイント高くなっている。

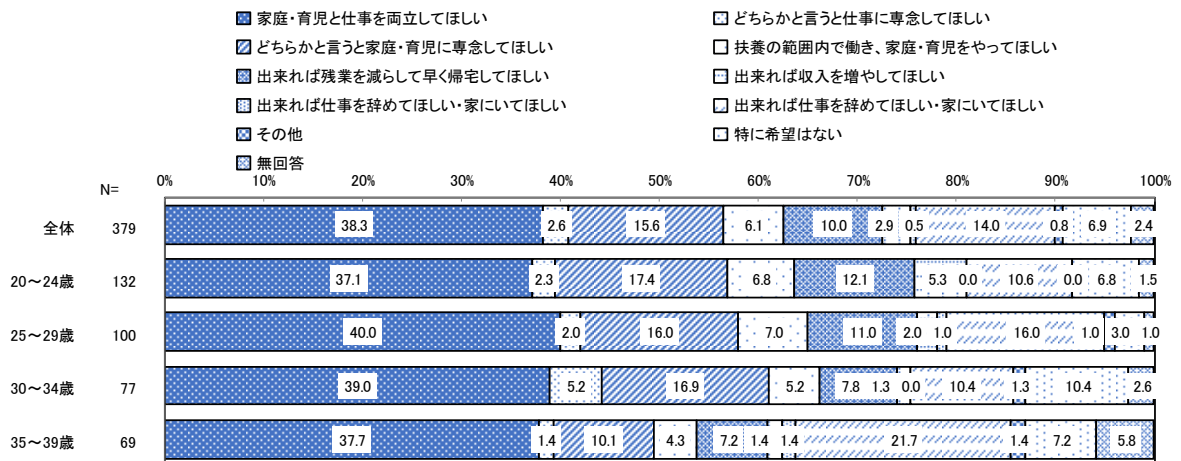
問30との比較では、全体的な傾向は各地域同様となっている。ただし、〈新宮・東牟婁〉については、子供が生まれる前は、相手に求めることはないという回答が5割を超えて顕著に高い一方、子供が生まれた後は、家庭に専念してほしい、仕事を辞めてほしいという声が多くなっており、両者に大きな差が出ている。



【年代別】

年代別にみると、〈35～39歳〉では「どちらかと言うと家庭・育児に専念してほしい」が全体よりも5.5ポイント低く、「出来れば仕事を辞めてほしい・家にいてほしい」が全体よりも7.7ポイント高くなっている。

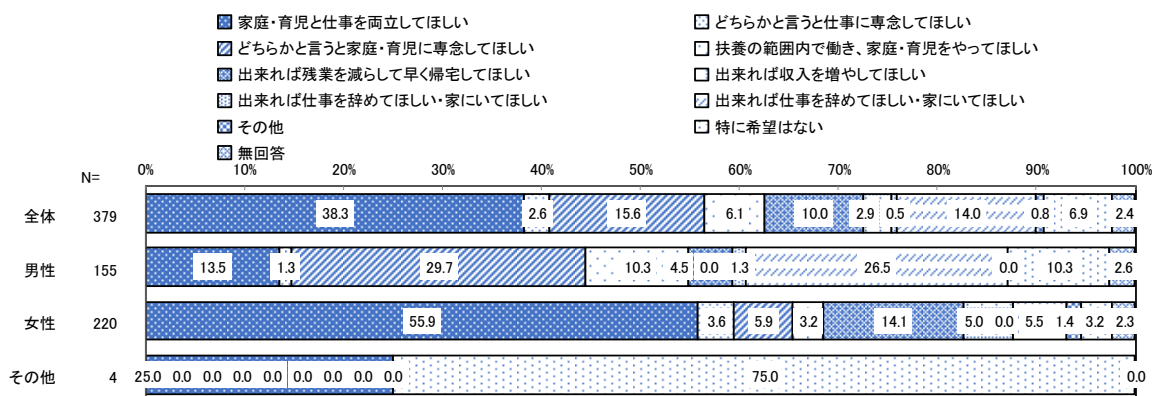
問30との比較では、35～40歳では、子供が生まれる前は相手に求めることがないという回答が3割半ばで高い一方、子供が生まれた後は「できれば仕事を辞めてほしい・家にいてほしい」をはじめ、具体的な要望が多くなっており、両者のギャップが大きくあらわれている。



【性別】

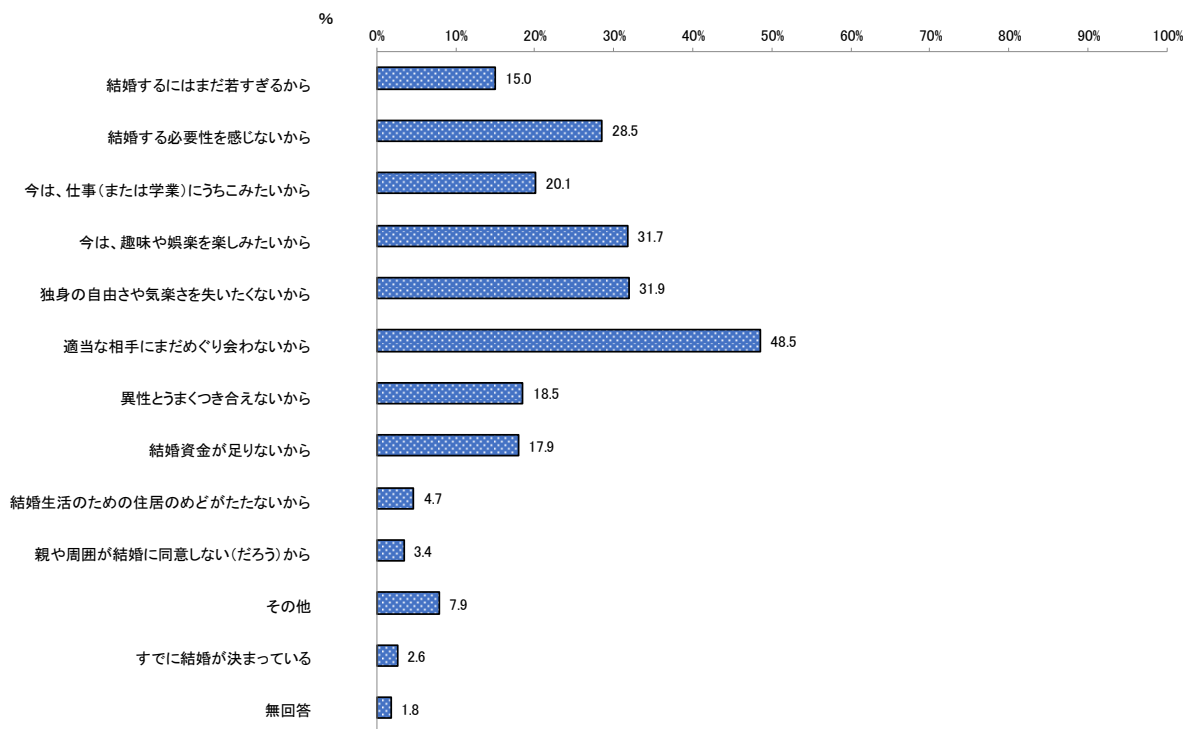
性別にみると、〈男性〉では「家庭・育児と仕事を両立してほしい」が全体よりも 24.8 ポイント、「出来れば残業を減らして早く帰宅してほしい」が全体よりも 5.5 ポイント低くなっている。一方、「どちらかと言うと家庭・育児に専念してほしい」が全体よりも 14.1 ポイント、「出来れば仕事を辞めてほしい・家にいてほしい」が全体よりも 12.5 ポイント高くなっている。〈女性〉では「家庭・育児と仕事を両立してほしい」が全体よりも 17.6 ポイント高くなっている。一方、「どちらかと言うと家庭・育児に専念してほしい」が全体よりも 9.7 ポイント、「出来れば仕事を辞めてほしい・家にいてほしい」が全体よりも 8.5 ポイント低くなっている。

問 30 との比較では、男女いずれも子供が生まれる前は要望が少なく、生まれた後は要望が多いという特徴は一致している。一方でその内容は異なり、男性は配偶者に仕事を辞め、家庭・育児に専念してほしいという声が多く、女性は配偶者に仕事と家庭の両立を求める声が過半数を占めて顕著に高くなっている。



(32) 現在独身でいる理由は何ですか。【当てはまる上位3つに○】

現在独身でいる理由について、「適当な相手にまだめぐり合わないから」が48.5%で最も高く、次いで「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が31.9%、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」が31.7%となった。



【全国値】

第16回出生動向基本調査をみると、現在独身でいる理由は「適当な相手にまだめぐり合わないから」が47.2%で最も高く、次いで「結婚する必要性をまだ感じないから」が38.6%、「今は、仕事(または学業)にうちこみたいから」が32.5%となっている。

全国と和歌山県の結果を比較すると、「今は、仕事(または学業)にうちこみたいから」が全国結果のほうが10ポイント以上高く、県との仕事(学業)に対する意識の差がみられた。

【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最も高くなっている。

【年代別】

年代別にみると、すべての年代で「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最も高くなっている。

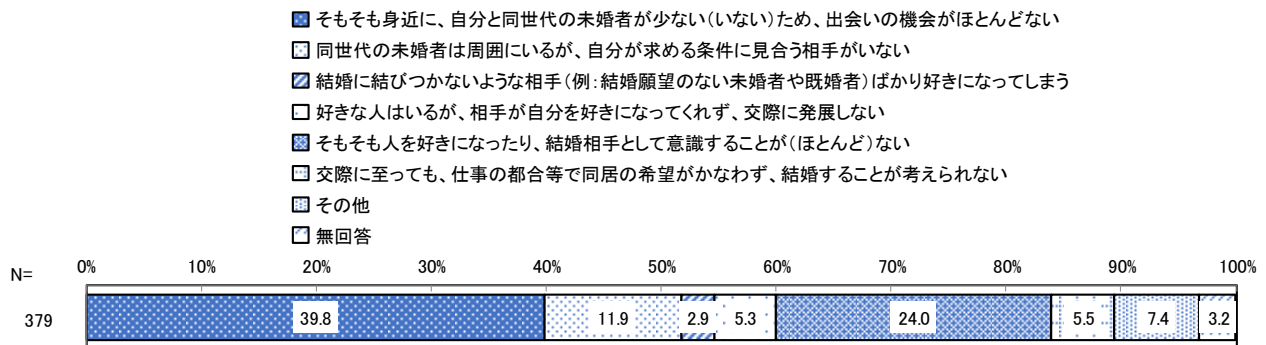
【性別】

性別にみると、男女ともに「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最も高くなっている。

	全体	現在独身でいる理由は何ですか													
		結婚するにはまだ若すぎるから	結婚する必要性を感じないから	今は、仕事(または学業)にうちこみたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手にまだめぐり会わないから	異性とうまくつき合えないから	結婚資金が足りないから	結婚生活のための住居のめどがたないから	親や周囲が結婚に同意しない(だろ)うから	その他	すでに結婚が決まっている	無回答	
全体	379 100.0	57 15.0	108 28.5	76 20.1	120 31.7	121 31.9	184 48.5	70 18.5	68 17.9	18 4.7	13 3.4	30 7.9	10 2.6	7 1.8	
地域別	紀北	232 100.0	36 15.5	76 32.8	53 22.8	78 33.6	77 33.2	112 48.3	42 18.1	46 19.8	12 5.2	5 2.2	19 8.2	5 2.2	2 0.9
	紀中	62 100.0	6 9.7	11 17.7	11 17.7	15 24.2	20 32.3	34 54.8	12 19.4	8 12.9	4 6.5	2 3.2	5 8.1	2 3.2	1 1.6
	田辺・西牟婁	47 100.0	9 19.1	12 25.5	7 14.9	17 36.2	18 38.3	21 44.7	8 17.0	5 10.6	-	2 4.3	3 6.4	-	3 6.4
	新宮・東牟婁	29 100.0	4 13.8	5 17.2	4 13.8	8 27.6	4 13.8	12 41.4	7 24.1	7 24.1	1 3.4	3 10.3	3 10.3	3 10.3	1 3.4
	20～24歳	132 100.0	46 34.8	27 20.5	48 36.4	46 34.8	31 23.5	63 47.7	16 12.1	31 23.5	4 3.0	5 3.8	6 4.5	1 0.8	2 1.5
年代別	25～29歳	100 100.0	9 9.0	25 25.0	14 14.0	29 29.0	40 40.0	42 42.0	15 15.0	15 15.0	6 6.0	4 4.0	11 11.0	5 5.0	-
	30～34歳	77 100.0	2 2.6	33 42.9	9 11.7	28 36.4	23 29.9	37 48.1	22 28.6	14 18.2	4 5.2	1 1.3	5 6.5	3 3.9	2 2.6
	35～39歳	69 100.0	-	23 33.3	5 7.2	17 24.6	27 39.1	41 59.4	17 24.6	8 11.6	4 5.8	3 4.3	8 11.6	1 1.4	3 4.3
	男性	155 100.0	27 17.4	41 26.5	26 16.8	47 30.3	36 23.2	73 47.1	38 24.5	38 24.5	8 5.2	5 3.2	6 3.9	3 1.9	3 1.9
性別	女性	220 100.0	30 13.6	65 29.5	50 22.7	71 32.3	95 43.2	110 50.0	29 13.2	30 13.6	10 4.5	8 3.6	24 10.9	7 3.2	4 1.8
	その他	4 100.0	-	2 50.0	-	2 50.0	-	1 25.0	3 75.0	-	-	-	-	-	-

(33) 結婚相手との出会いについて、どのような課題を感じていますか。最もあてはまるものをお答えください。【〇は1つ】

結婚相手との出会いについて、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」が39.8%で最も高く、次いで「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」が24.0%、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいらない」が11.9%となった。



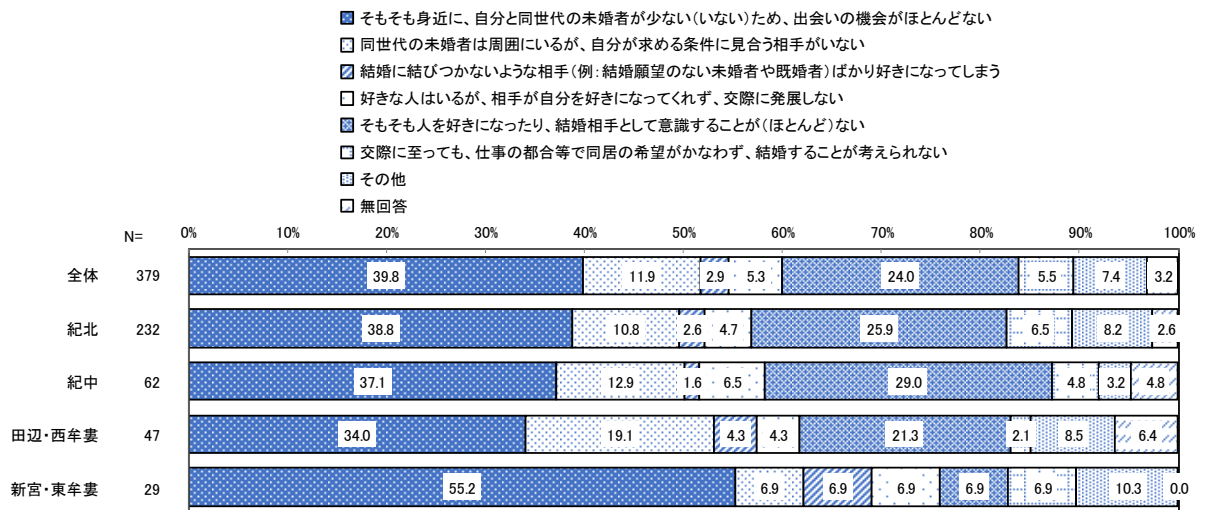
【全国値】

少子化社会対策に関する意識調査をみると、全体では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」が42.6%で最も高く、本調査と同様の傾向となった。

また、男女別にみても全国・和歌山県で傾向が一致している。最も高いのは、同様に「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」であり、全国結果では、男性44.2%、女性40.6%となり、和歌山県では男性40.6%、女性39.5%となっている。

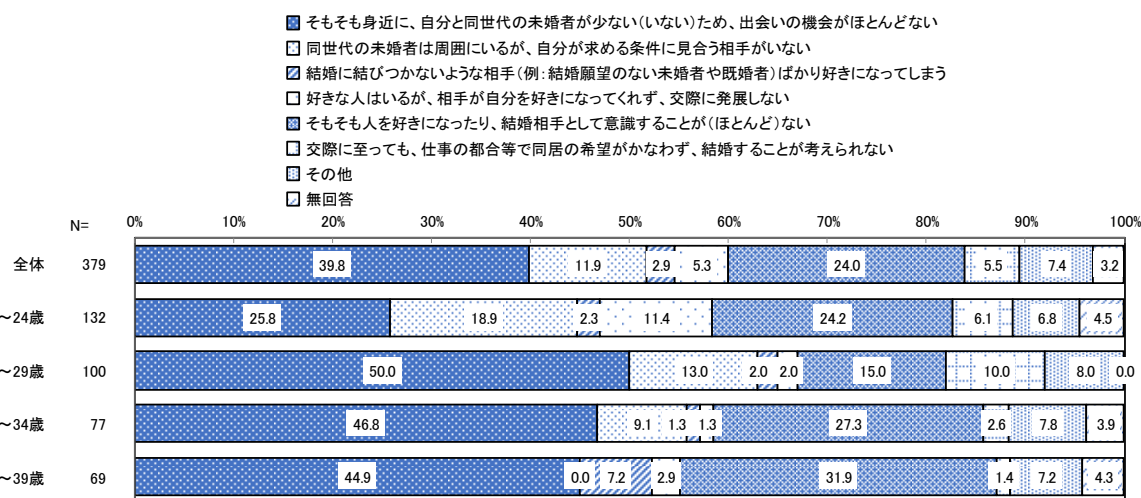
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない」が全体よりも5.0ポイント高くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が全体よりも5.8ポイント低く、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」が全体よりも7.2ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が全体よりも15.4ポイント高くなっている。一方、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」が全体よりも5.0ポイント、「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない」が全体よりも17.1ポイント低くなっている。



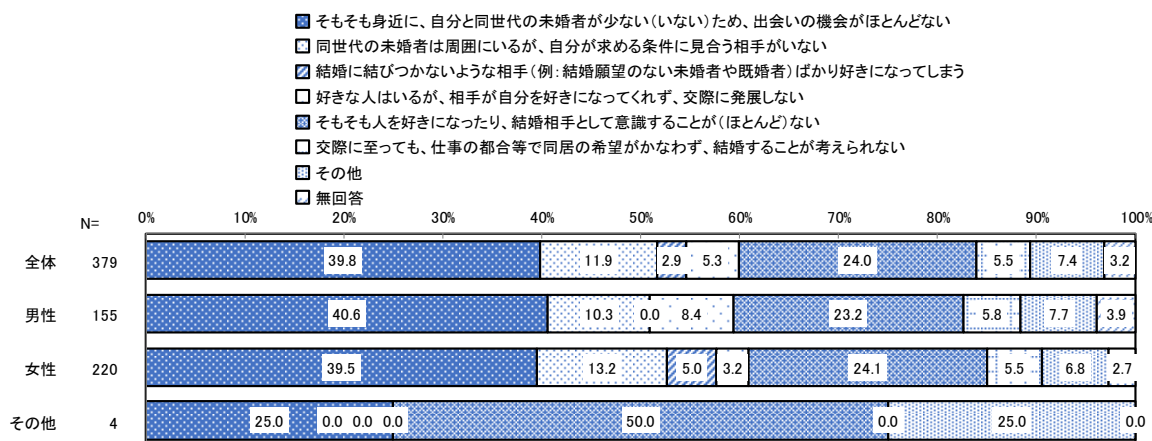
【年代別】

年代別にみると、〈20～24 歳〉では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」が全体よりも 14.0 ポイント低くなっている。一方、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」が全体よりも 7.0 ポイント、「好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない」が全体よりも 6.1 ポイント高くなっている。〈25～29 歳〉では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」が全体よりも 10.2 ポイント高く、「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」が全体よりも 9.0 ポイント低くなっている。〈30～34 歳〉では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」が全体よりも 7.0 ポイント高くなっている。〈35～39 歳〉では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」が全体よりも 5.1 ポイント、「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」が全体よりも 7.9 ポイント高くなっている。一方、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」が全体よりも 11.9 ポイント低くなっている。



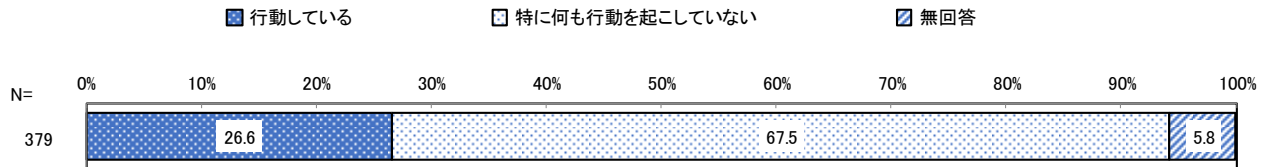
【性別】

性別にみると、全体との比較では、いずれも 5 ポイント未満の差にとどまっている。



(34) 具体的な相手を探すため、何か行動を起こしましたか。【〇は1つ】

具体的な相手を探すため、何か行動を起こしたかについて、「行動している」が26.6%、「特に何も行動を起こしていない」が67.5%となった。

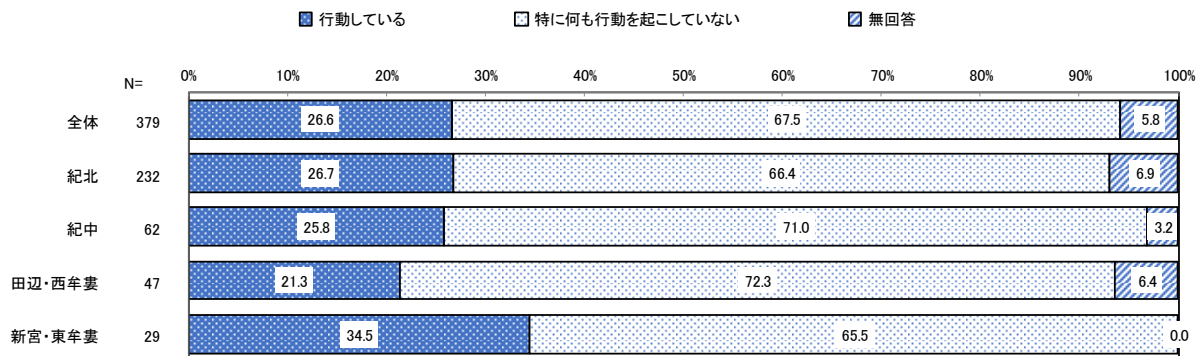


【全国値】

少子化社会対策に関する意識調査をみても、和歌山県の結果と同様に「特に何も行動を起こしていない」が61.4%で最も高くなっている。

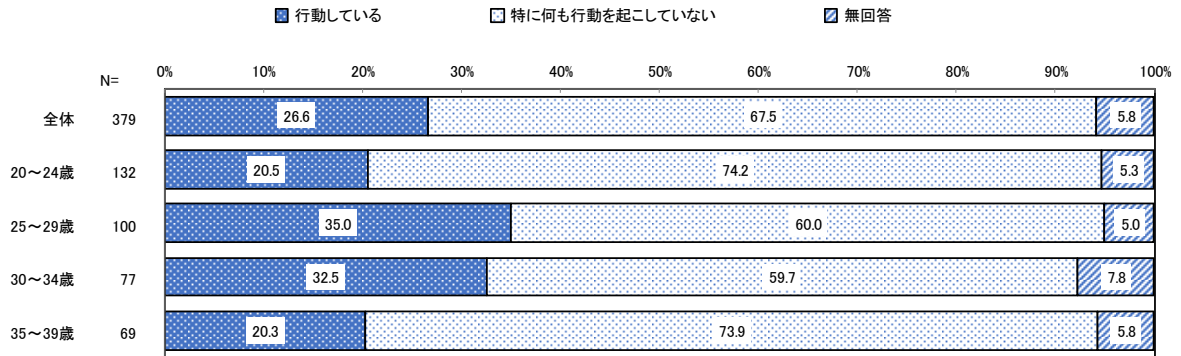
【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「行動している」が全体よりも5.3ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「行動している」が全体よりも7.9ポイント高くなっている。



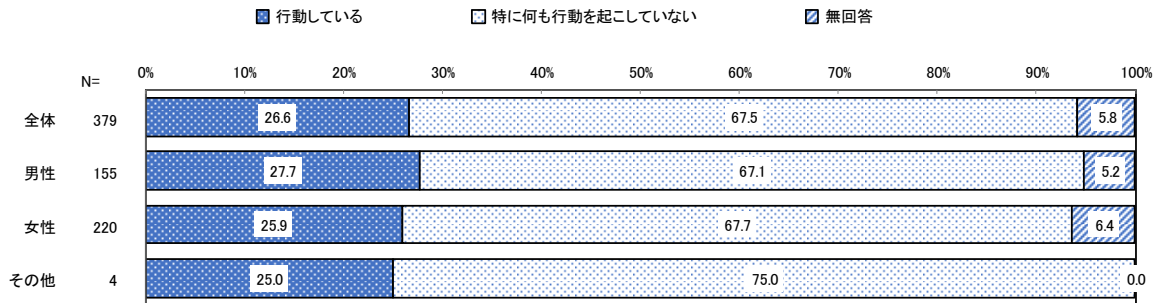
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「行動している」が全体よりも6.1ポイント低く、「特に何も行動を起こしていない」が全体よりも6.7ポイント高くなっている。〈25～29歳〉では「行動している」が全体よりも8.4ポイント高く、「特に何も行動を起こしていない」が全体よりも7.5ポイント低くなっている。〈30～34歳〉では「行動している」が全体よりも5.9ポイント高く、「特に何も行動を起こしていない」が全体よりも7.8ポイント低くなっている。〈35～39歳〉では「行動している」が全体よりも6.3ポイント低く、「特に何も行動を起こしていない」が全体よりも6.4ポイント高くなっている。



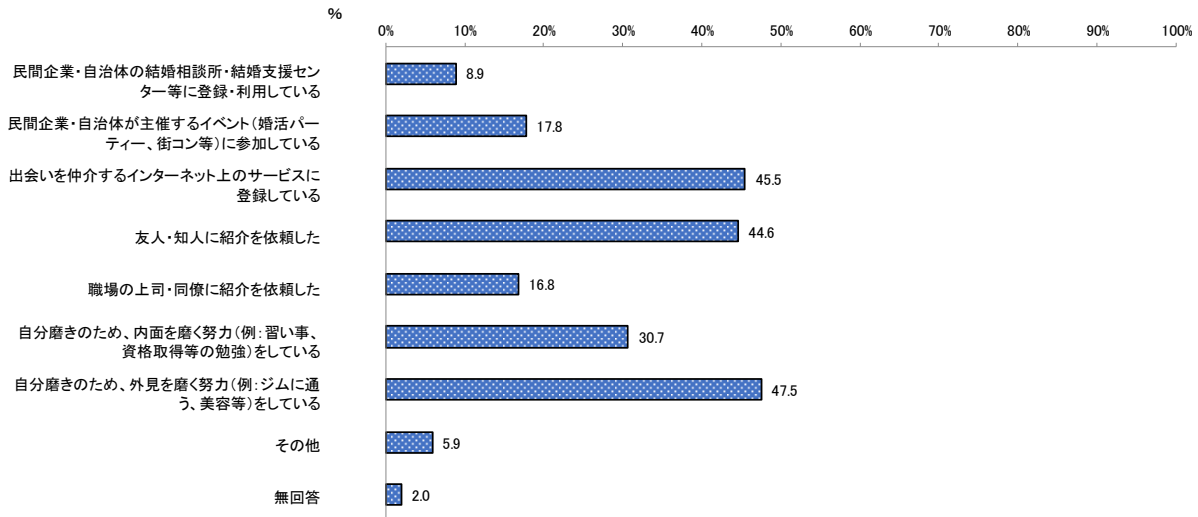
【性別】

性別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



(35) (34) で「1. 行動している」を選択した方にうかがいます。具体的にはどのような行動を起きましたか。【当てはまる上位3つに○】

具体的に起こした行動について、「自分磨きのため、外見を磨く努力（例：ジムに通う、美容等）をしている」が47.5%で最も高く、次いで「出会いを仲介するインターネット上のサービスに登録している」が45.5%、「友人・知人に紹介を依頼した」が44.6%となった。



【全国値】

少子化社会対策に関する意識調査をみると、「友人・知人に紹介を依頼した」が18.8%で最も高く、次いで「自分磨きのため、外見を磨く努力（例：ジムに通う、美容等）をしている」が12.2%、「自分磨きのため、内面を磨く努力（例・習い事、資格取得等の勉強）している」が9.9%となっている。

和歌山県の結果では「出会いを仲介するインターネット上のサービスに登録している」が2番目に高い結果となっているが、全国では5番目とやや順位が低めとなっている。

※少子化社会対策に関する意識調査では、「特に何も行動を起こしていない」(61.7%)を含む選択式設問となっているため、具体的な選択肢を回答している割合は全体的に低くなっている。そのため、上述の全国・和歌山県の比較箇所では、割合の比較ではなく、割合の大きさ順に着目している。

【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉を除くすべての地域で「自分磨きのため、外見を磨く努力（例：ジムに通う、美容等）をしている」が最も高くなっている。〈紀中〉では「出会いを仲介するインターネット上のサービスに登録している」も同率で最も高くなっている。

【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉及び〈25～29歳〉では「自分磨きのため、外見を磨く努力（例：ジムに通う、美容等）をしている」が最も高くなっている。また、〈30～34歳〉では「友人・知人に紹介を依頼した」、〈35～39歳〉では「出会いを仲介するインターネット上のサービスに登録している」が最も高くなっている。

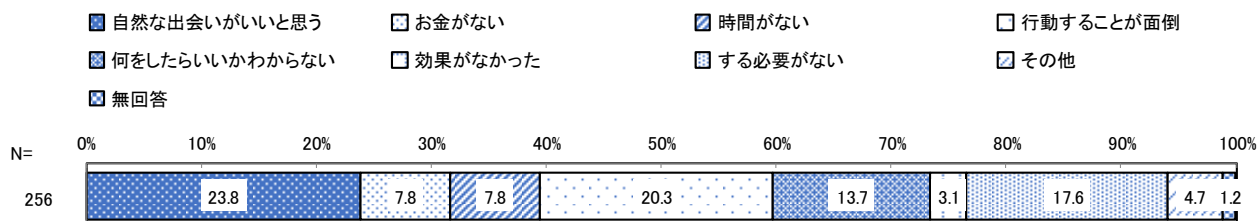
【性別】

性別にみると、〈男性〉では「友人・知人に紹介を依頼した」及び「自分磨きのため、外見を磨く努力（例：ジムに通う、美容等）をしている」が同率で最も高くなっている。一方、〈女性〉では「出会いを仲介するインターネット上のサービスに登録している」が最も高くなっている。

	全体	具体的にはどのような行動を起こしましたか									
		民間企業・自治体の結婚相談所・結婚支援センター等に登録・利用している	民間企業・自治体が主催するイベント(婚活パーティー、街コン等)に参加している	出会いを仲介するインターネット上のサービスに登録している	友人・知人に紹介を依頼した	職場の上司・同僚に紹介を依頼した	自分磨きのため、内面を磨く努力(例:習い事、資格取得等の勉強)をしている	自分磨きのため、外見を磨く努力(例:ジムに通う、美容等)をしている	その他	無回答	
全体	101	9	18	46	45	17	31	48	6	2	
	100.0	8.9	17.8	45.5	44.6	16.8	30.7	47.5	5.9	2.0	
地域別	紀北	62	6	13	27	26	10	19	28	5	1
		100.0	9.7	21.0	43.5	41.9	16.1	30.6	45.2	8.1	1.6
	紀中	16	2	4	9	8	4	2	9	-	1
		100.0	12.5	25.0	56.3	50.0	25.0	12.5	56.3	-	6.3
	田辺・西牟婁	10	-	-	6	6	1	4	7	-	-
	100.0	-	-	60.0	60.0	10.0	40.0	70.0	-	-	
新宮・東牟婁	10	1	1	3	4	2	5	4	1	-	
	100.0	10.0	10.0	30.0	40.0	20.0	50.0	40.0	10.0	-	
年代別	20～24歳	27	-	-	9	12	4	12	14	1	2
		100.0	-	-	33.3	44.4	14.8	44.4	51.9	3.7	7.4
	25～29歳	35	1	3	18	14	6	11	20	3	-
		100.0	2.9	8.6	51.4	40.0	17.1	31.4	57.1	8.6	-
30～34歳	25	5	10	12	13	5	6	10	-	-	
	100.0	20.0	40.0	48.0	52.0	20.0	24.0	40.0	-	-	
35～39歳	14	3	5	7	6	2	2	4	2	-	
	100.0	21.4	35.7	50.0	42.9	14.3	14.3	28.6	14.3	-	
性別	男性	43	4	4	16	20	7	15	20	3	-
		100.0	9.3	9.3	37.2	46.5	16.3	34.9	46.5	7.0	-
	女性	57	4	13	29	25	10	16	28	3	2
	100.0	7.0	22.8	50.9	43.9	17.5	28.1	49.1	5.3	3.5	
その他	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	
	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	

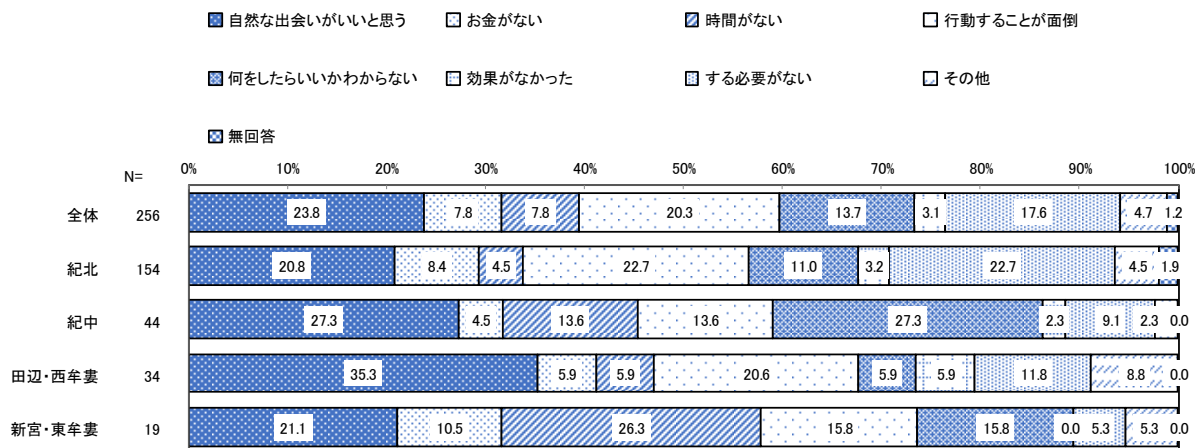
(36) (34) で「2. 特に何も行動を起こしていない」を選択した方にうかがいます。行動しない、または以前は行動していたが今はやめている理由をお答えください。【〇は1つ】

行動しない、または以前は行動していたが今はやめている理由について、「自然な出会いがいいと思う」が23.8%で最も高く、次いで「行動することが面倒」が20.3%、「する必要がない」が17.6%となった。



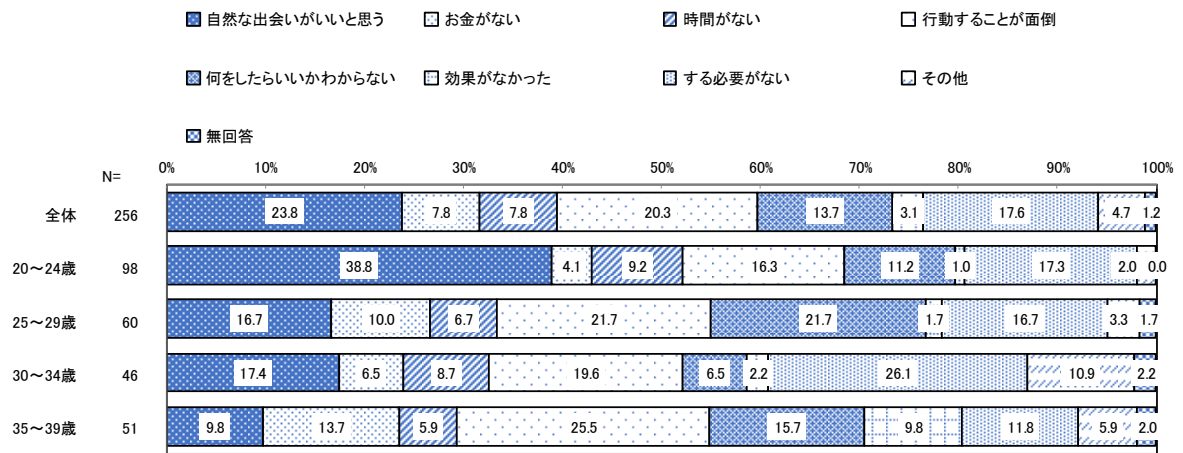
【地域別】

地域別にみると、〈紀北〉では「する必要がない」が全体よりも5.1ポイント高くなっている。〈紀中〉では「時間がない」が全体よりも5.8ポイント、「何をしたらいいかわからない」が全体よりも13.6ポイント高くなっている。一方、「行動することが面倒」が全体よりも6.7ポイント、「する必要がない」が全体よりも8.5ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「自然な出会いがいいと思う」が全体よりも11.5ポイント高くなっている。一方、「何をしたらいいかわからない」が全体よりも7.8ポイント、「する必要がない」が全体よりも5.8ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「時間がない」が全体よりも18.5ポイント高く、「する必要がない」が全体よりも12.3ポイント低くなっている。



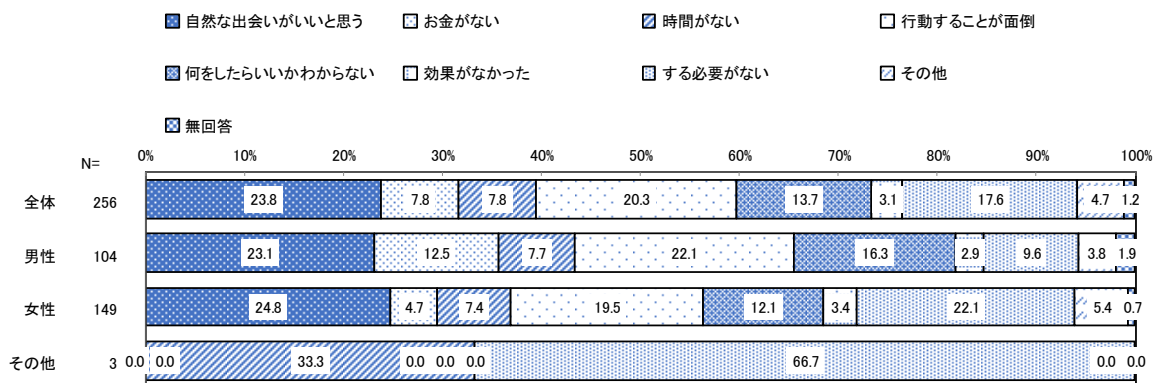
【年代別】

年代別にみると、〈20～24歳〉では「自然な出会いがいいと思う」が全体よりも15.0ポイント高くなっている。〈25～29歳〉では「自然な出会いがいいと思う」が全体よりも7.1ポイント低く、「何をしたらいいかわからない」が全体よりも8.0ポイント高くなっている。〈30～34歳〉では「自然な出会いがいいと思う」が全体よりも6.4ポイント、「何をしたらいいかわからない」が全体よりも7.2ポイント低くなっている。一方、「する必要がない」が全体よりも8.5ポイント、「その他」が全体よりも6.2ポイント高くなっている。〈35～39歳〉では「自然な出会いがいいと思う」が全体よりも14.0ポイント、「する必要がない」が全体よりも5.8ポイント低くなっている。一方、「お金がない」が全体よりも5.9ポイント、「行動することが面倒」が全体よりも5.2ポイント、「効果がなかった」が全体よりも6.7ポイント高くなっている。



【性別】

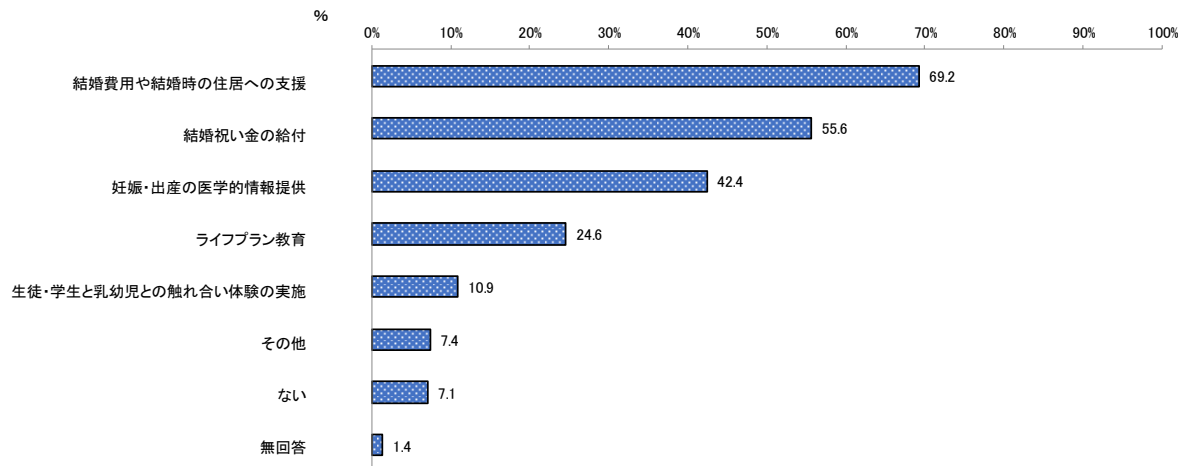
性別にみると、〈男性〉では「する必要がない」が全体よりも8.0ポイント低くなっている。



(37) 公的機関が実施する結婚支援策として、あなたが有効だと思うものをお答えください。

【当てはまるものすべてに○】

公的機関が実施する結婚支援策として、有効だと思うものについて、「結婚費用や結婚時の住居への支援」が69.2%で最も高く、次いで「結婚祝い金の給付」が55.6%、「妊娠・出産の医学的情報提供」が42.4%となった。



【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉を除くすべての地域で「結婚費用や結婚時の住居への支援」が最も高くなっている。一方、〈新宮・東牟婁〉では「結婚祝い金の給付」が最も高くなっている。

【年代別】

年代別にみると、すべての年代で「結婚費用や結婚時の住居への支援」が最も高くなっている。

【性別】

性別にみると、男女ともに「結婚費用や結婚時の住居への支援」が最も高くなっている。

【結婚経験の有無別】

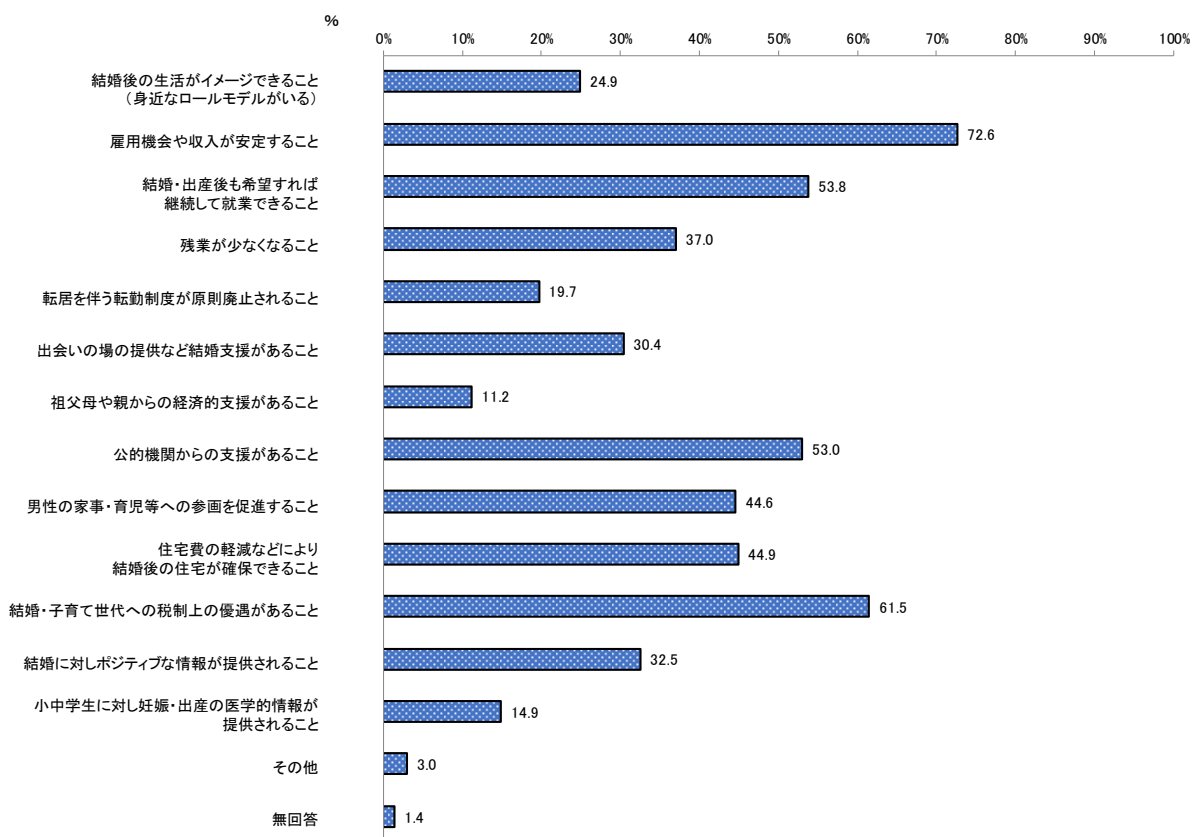
結婚経験の有無別にみると、〈結婚している（事実婚・内縁）〉を除くすべての区分で「結婚費用や結婚時の住居への支援」が最も高くなっている。

		全 体	公的機関が実施する結婚支援策として、あなたが有効だと思うものをお答えください							無回答
			結婚費用や結婚時の住居への支援	結婚祝い金の給付	妊娠・出産の医学的情報提供	ライフプラン教育	生徒・学生と乳幼児との触れ合い体験の実施	その他	ない	
全 体		955	661	531	405	235	104	71	68	13
		100.0	69.2	55.6	42.4	24.6	10.9	7.4	7.1	1.4
地域別	紀北	620	442	351	258	152	68	45	42	6
		100.0	71.3	56.6	41.6	24.5	11.0	7.3	6.8	1.0
	紀中	149	95	75	68	38	17	13	13	2
		100.0	63.8	50.3	45.6	25.5	11.4	8.7	8.7	1.3
	田辺・西牟婁	103	65	47	44	24	11	5	8	4
	100.0	63.1	45.6	42.7	23.3	10.7	4.9	7.8	3.9	
	62	40	41	22	16	5	7	4	1	
	100.0	64.5	66.1	35.5	25.8	8.1	11.3	6.5	1.6	
年代別	20～24歳	150	113	87	67	30	16	6	9	3
		100.0	75.3	58.0	44.7	20.0	10.7	4.0	6.0	2.0
	25～29歳	227	174	154	107	55	23	12	11	1
		100.0	76.7	67.8	47.1	24.2	10.1	5.3	4.8	0.4
	30～34歳	248	174	131	106	63	26	18	17	3
	100.0	70.2	52.8	42.7	25.4	10.5	7.3	6.9	1.2	
	319	193	156	122	85	36	35	28	5	
	100.0	60.5	48.9	38.2	26.6	11.3	11.0	8.8	1.6	
性別	男性	351	261	201	137	98	36	31	22	7
		100.0	74.4	57.3	39.0	27.9	10.3	8.8	6.3	2.0
	女性	597	397	327	265	136	67	40	44	5
	100.0	66.5	54.8	44.4	22.8	11.2	6.7	7.4	0.8	
	5	2	2	2	-	-	-	2	-	
	100.0	40.0	40.0	40.0	-	-	-	40.0	-	
結婚経験の有無別	結婚している（法律婚）	534	356	300	227	152	64	47	32	3
		100.0	66.7	56.2	42.5	28.5	12.0	8.8	6.0	0.6
	結婚している（事実婚・内縁）	4	3	4	4	1	-	-	-	-
		100.0	75.0	100.0	100.0	25.0	-	-	-	-
	結婚していたが、今はしていない（死別）	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由）	35	30	24	13	7	2	3	2	1	
	100.0	85.7	68.6	37.1	20.0	5.7	8.6	5.7	2.9	
結婚したことがない	379	270	202	160	74	36	21	34	9	
	100.0	71.2	53.3	42.2	19.5	9.5	5.5	9.0	2.4	

(38) どのような支援・環境があれば結婚しやすさに影響すると思いますか。

【当てはまるものすべてに○】

どのような支援・環境があれば結婚しやすさに影響すると思いますかについて、「雇用機会や収入が安定すること」が72.6%で最も高く、次いで「結婚・子育て世代への税制上の優遇があること」が61.5%、「結婚・出産後も希望すれば継続して就業できること」が53.8%となった。



【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「雇用機会や収入が安定すること」が最も高くなっている。

【年代別】

年代別にみると、すべての年代で「雇用機会や収入が安定すること」が最も高くなっている。

【性別】

性別にみると、男女ともに「雇用機会や収入が安定すること」が最も高くなっている。

【結婚経験の有無別】

結婚経験の有無別にみると、すべての区分で「雇用機会や収入が安定すること」が最も高くなっている。

	全体	どのような支援・環境があれば結婚しやすさに影響すると考えますか															
		結婚後の生活がイメージできること(身近なロールモデルがいる)	雇用機会や収入が安定すること	結婚・出産後も希望すれば継続して就業できること	残業が少なくなること	転居を伴う転勤制度が原則廃止されること	出会いの場の提供など結婚支援があること	祖父母や親からの経済的支援があること	公的機関からの支援があること	男性の家事・育児等への参画を促進すること	住宅費の軽減などにより結婚後の住宅が確保できること	結婚・子育て世代への税制上の優遇があること	結婚に対しポジティブな情報が提供されること	小中学生に対し妊婦・出産の医学的情報が提供されること	その他	無回答	
全体	955	238	693	514	353	188	290	107	506	426	429	587	310	142	29	13	
地域別	100.0	24.9	72.6	53.8	37.0	19.7	30.4	11.2	53.0	44.6	44.9	61.5	32.5	14.9	3.0	1.4	
	紀北	620	157	456	336	213	127	187	73	335	276	292	387	202	100	5	
	100.0	25.3	73.5	54.2	34.4	20.5	30.2	11.8	54.0	44.5	47.1	62.4	32.6	16.1	3.2	0.8	
	紀中	149	35	108	82	62	22	49	15	70	61	53	84	51	15	3	
	100.0	23.5	72.5	55.0	41.6	41.6	14.8	32.9	10.1	47.0	40.9	35.6	56.4	34.2	10.1	2.0	2.0
田辺・西牟婁	103	27	68	53	42	18	22	8	51	47	42	60	27	15	4		
100.0	26.2	66.0	51.5	40.8	17.5	17.5	21.4	7.8	49.5	45.6	40.8	58.3	26.2	14.6	3.9	3.9	
62	14	45	31	24	13	25	9	34	29	28	38	21	8	2			
100.0	22.6	72.6	50.0	38.7	21.0	40.3	14.5	54.8	46.8	45.2	61.3	33.9	12.9	3.2	1.6		
年代別	150	34	100	68	45	28	37	10	77	63	62	85	40	15	2	3	
	100.0	22.7	66.7	45.3	30.0	18.7	24.7	6.7	51.3	42.0	41.3	56.7	26.7	10.0	1.3	2.0	
	25～29歳	227	47	167	112	94	46	71	23	125	89	115	145	74	29	9	2
	100.0	20.7	73.6	49.3	41.4	20.3	31.3	10.1	55.1	39.2	50.7	63.9	32.6	12.8	4.0	0.9	
	30～34歳	248	63	174	139	98	53	69	31	133	125	106	160	82	37	3	2
100.0	25.4	70.2	56.0	39.5	21.4	27.8	12.5	53.6	50.4	42.7	64.5	33.1	14.9	1.2	0.8		
35～39歳	319	90	246	189	114	59	110	42	166	145	142	191	112	58	15	5	
100.0	28.2	77.1	59.2	35.7	18.5	34.5	13.2	52.0	45.5	44.5	59.9	35.1	18.2	4.7	1.6		
性別	351	96	249	148	109	65	113	39	186	104	155	208	108	31	10	7	
	100.0	27.4	70.9	42.2	31.1	18.5	32.2	11.1	53.0	29.6	44.2	59.3	30.8	8.8	2.8	2.0	
	女性	597	139	440	363	240	120	174	65	317	318	271	375	200	109	19	5
	100.0	23.3	73.7	60.8	40.2	20.1	29.1	10.9	53.1	53.3	45.4	62.8	33.5	18.3	3.2	0.8	
その他	5	2	3	2	3	2	2	2	2	3	2	3	1	1	-	-	
100.0	40.0	60.0	40.0	60.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	60.0	20.0	20.0	-	-	
結婚経験の有無別	534	147	416	314	228	110	153	80	303	262	267	374	185	102	17	3	
	100.0	27.5	77.9	58.8	42.7	20.6	28.7	15.0	56.7	49.1	50.0	70.0	34.6	19.1	3.2	0.6	
	結婚している(法律婚)	4	1	3	3	1	1	-	-	1	2	-	3	2	-	-	
	100.0	25.0	75.0	75.0	25.0	25.0	-	-	25.0	50.0	-	75.0	50.0	-	-	-	
	結婚していたが、今はしていない(死別)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	結婚していたが、今はしていない(死別以外の理由)	35	4	23	22	9	6	13	3	17	21	16	16	9	4	-	1
100.0	11.4	65.7	62.9	25.7	17.1	37.1	8.6	48.6	60.0	45.7	51.4	25.7	11.4	-	2.9		
379	85	249	174	114	70	123	23	184	139	145	191	113	35	12	9		
100.0	22.4	65.7	45.9	30.1	18.5	32.5	6.1	48.5	36.7	38.3	50.4	29.8	9.2	3.2	2.4		

(39) 和歌山県の結婚に関する施策についてご意見ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

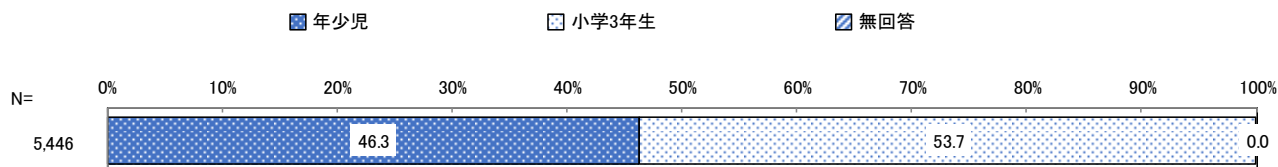
※一部の回答を抜粋して掲載。

- 結婚時住居・生活また子供の出産、育児などに対して、幅広い支援策や助成金をもっと拡充してほしい（金銭面なこと）。このあたりの支援策や助成金が増えると、結婚や出産・育児に対してのハードルが現在よりも少し下がると思う。
- 結婚に対するメリットが年々なくなっているので結婚に対する良いイメージが持てる何か（結婚の費用や子育て支援など）安心できるものがあればいいなと思いました。
- 結婚・出産に対してもっと経済的な支援を充実させてほしい。
- 和歌山県で行っている街コンなどを増やしたら、もっと出会いの場が広がると思います。（コロナ関係で難しいかと思いますが・・・）具体的なことを言うのは難しいですが、結婚したら、何か得になるものを与えてくれるのであれば、結婚する方も増えると思います。
- 若者同士が交流できる、促すイベントの開催を実施してほしいです（大学・専門学校卒業～20代後半までの）。
- 経済的支援に力を入れてほしいと思います。コロナや物価高で、不安定な時代だからこそ、経済的不安が大きいと思う。
- 物価などが高くなっていく一方で収入が上がらず、生活が困難になってきていると思う。結婚して子供ができたとしても生活費（成長ざかりの子供の食費）がかかり、大変だと思う。不妊治療についても、高齢出産が増えてくるのに、保険適応になっても、40才未満移植6回など、決められた枠でできない場合もあると思う。子供ができて生活しにくいし、子供を作るためにも対策が良いようになっていないと、結婚しない方が生活しやすいと思う。老人に回すお金をもっと未来の子供達に費やした方が良くと思う。
- 結婚とは違うかもしれませんが、子供にはお金が結構かかるので義務教育がある、もしくは高校生まで医療費が、かからなくなると助かります。
- 結婚に関する施策があることすら知らなかった。
- 障害者に理解のあるお見合いパーティー結婚相談所を設置していただきたいです。
- 結婚はそんなに必要でしょうか？ “もう歳だし”、“適齢期”など言われたりすると心が痛いです。結婚をしていない人達などのライフスタイルなども発信してほしいです。
- 街コン等の出会いの場を増やす。また“気軽に参加できる会”と“結婚を意識した会”など、それぞれに合わせた街コンがあれば参加しやすい。結婚後の支援・結婚祝い金や子育て支援制度の質向上！
- 結婚の形にとらわれず、充実した人生が送れると良いと思います。行政からの支援があるから結婚するとかそういうものではない。新宮市が取り入れたパートナーシップ、ファミリーシップはとて素晴らしい取り組みだと思います。
- もう少し交通の便をよくしてほしい。それか、田舎も商業施設や病院ができてほしい。安い賃貸物件が増えてほしい。このように色々不便で結婚どころか生活もままならないのをどうにかしてほしいです。
- 市町村によって、結婚、出産、育児の支援格差をなくしてほしい。
- 友達などに結婚しないのかきくと、みんなお金が心配だから結婚にふみだせないと言うので、お金の支援策を考えて欲しい。
- 結婚のイメージがしやすいよう、リアリティのある結婚の生活の動画等を役所などで流してほしい。 ※年間の支出や、受けられる施策等を分かりやすく教えてほしい。
- 結婚をするとお金の負担が大きくなるため、県からの住宅手当や、子供は18歳まで医療費を無料にする等があれば良いと思います。

2. 子育てに関する意識調査

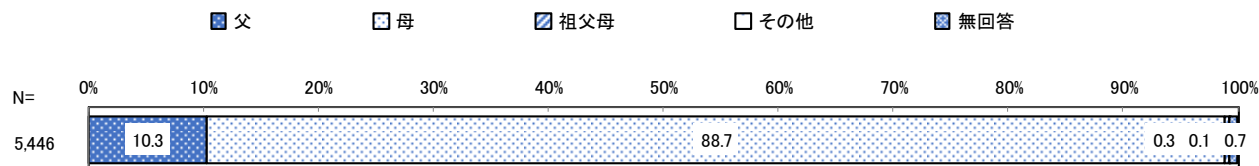
年少児保護者、小学3年生保護者の回答者割合

年少児保護者、小学3年生保護者の回答者割合について、「年少児保護者」が46.3%、「小学3年生保護者」が53.7%となった。



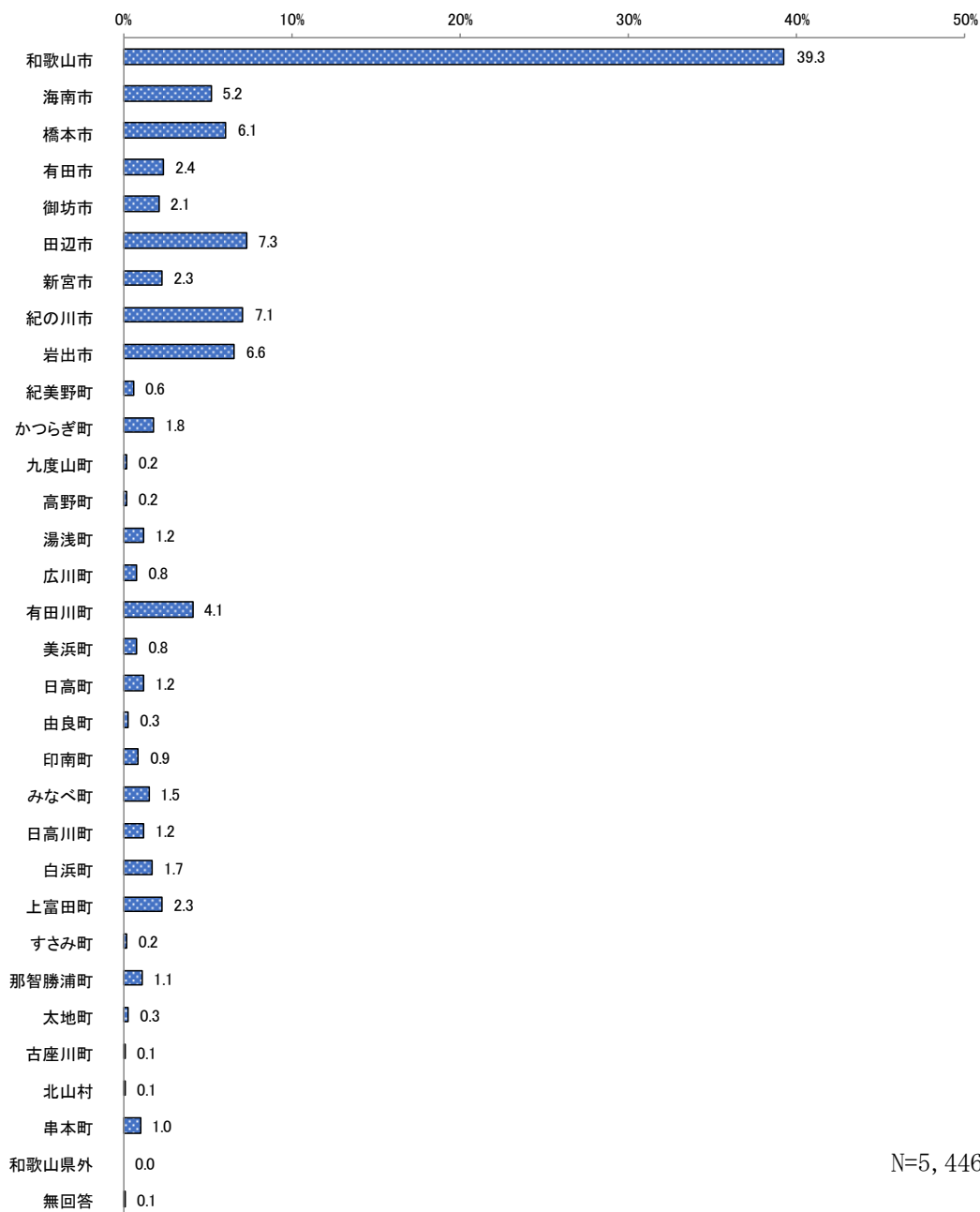
(1) 本アンケートを回答する方について、お子さまからみた続柄をお答えください。【○は1つ】

本アンケートの回答者について、お子さまからみた続柄は、「母」が88.7%で最も高く、次いで「父」が10.3%、「祖父母」が0.3%となった。



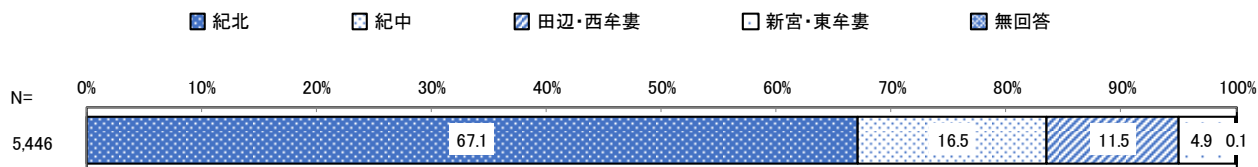
(2) お住まいの市町村名をお答えください。【〇は1つ】

お住まいの市町村について、「和歌山市」が39.3%で最も高く、次いで「田辺市」が7.3%、「紀の川市」が7.1%となった。



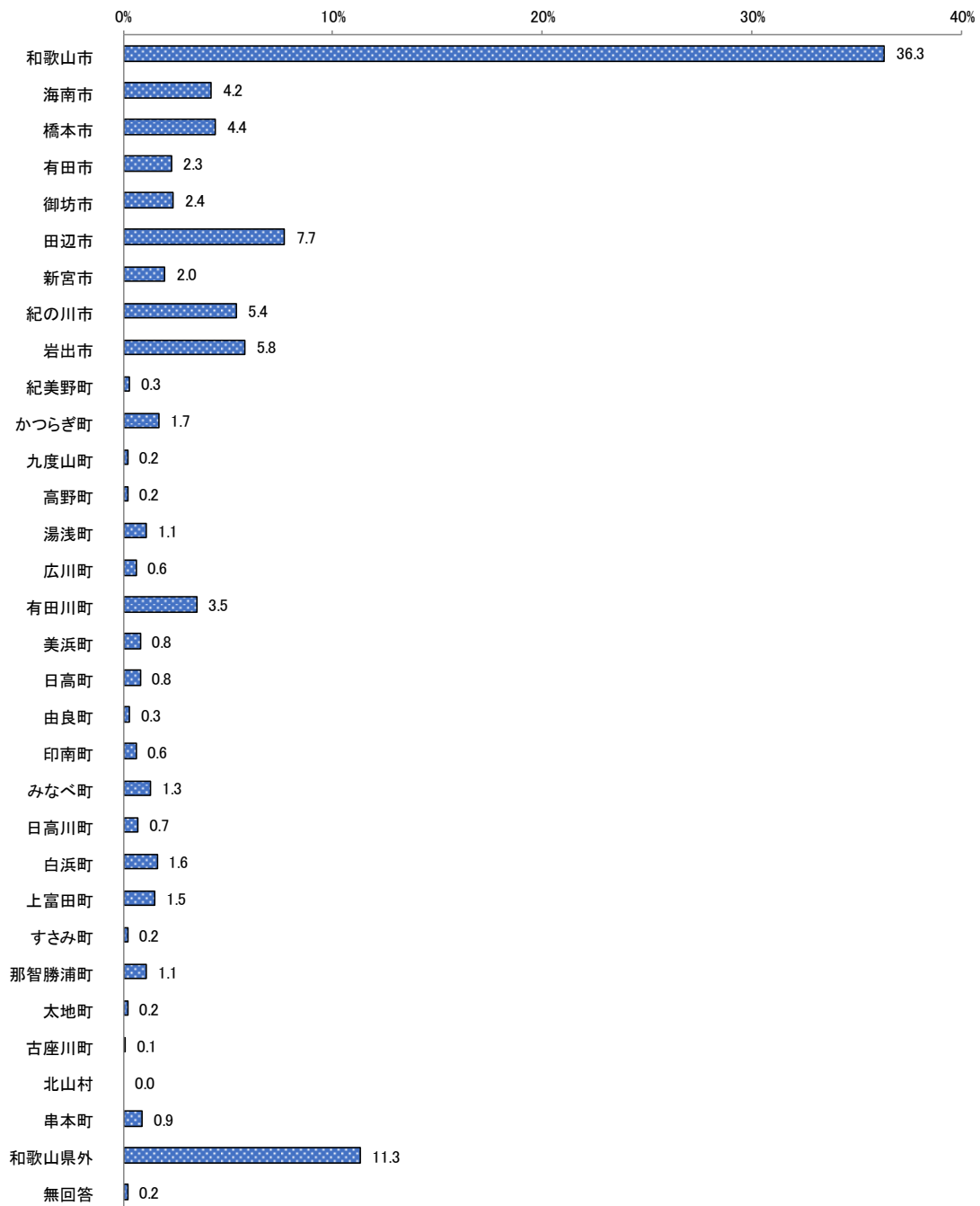
【地域別】

お住まいの市町村について地域別に集計したところ、「紀北」が67.1%で最も高く、次いで「紀中」が16.5%、「田辺・西牟婁」が11.5%となった。



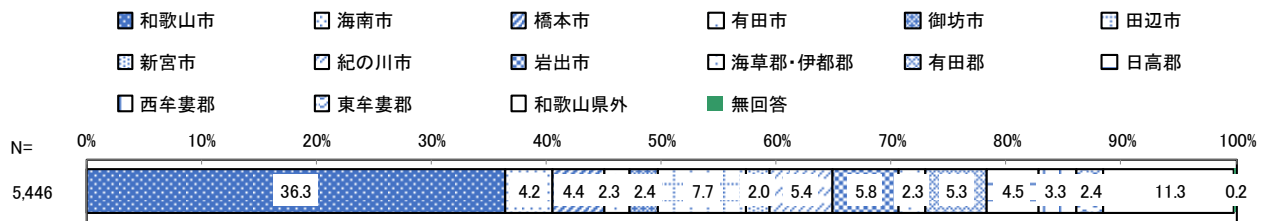
(3) 第1子出生時のお住まいの市町村名をお答えください。【〇は1つ】

第1子出生時のお住まいの市町村について、「和歌山市」が36.3%で最も高く、次いで「和歌山県外」が11.3%、「田辺市」が7.7%となった。



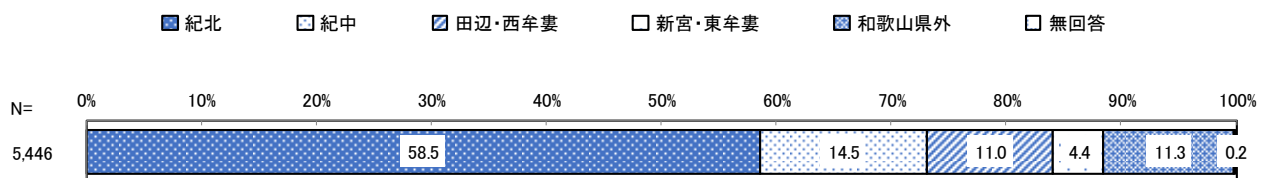
(3) 第1子出生時のお住まいの市町村名をお答えください。【〇は1つ】※市・郡別の集計

第1子出生時のお住まいの市町村について市・郡別に集計したところ、「和歌山市」が36.3%で最も高く、次いで「和歌山県外」が11.3%、「田辺市」が7.7%となった。



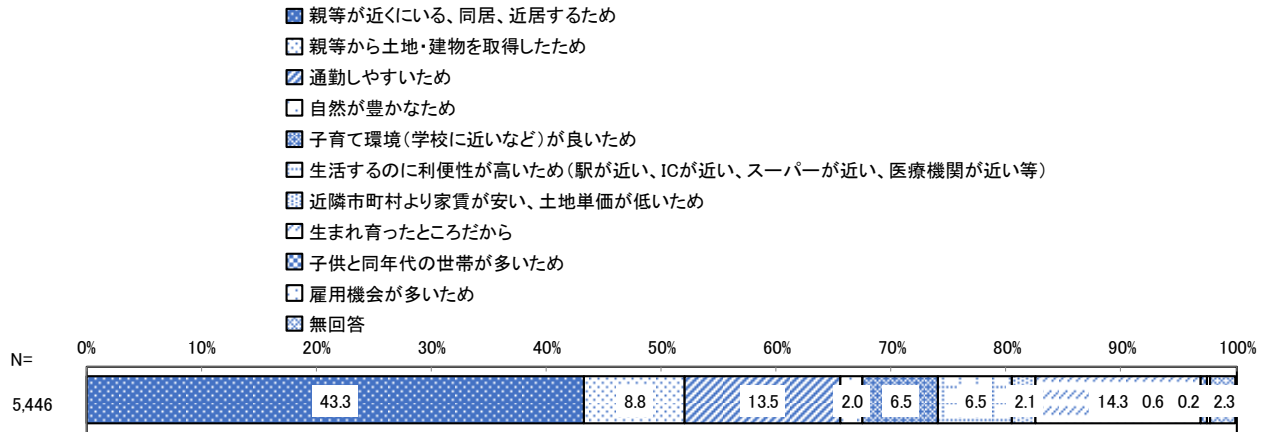
(3) 第1子出生時のお住まいの市町村名をお答えください。【〇は1つ】※地域別の集計

第1子出生時のお住まいの市町村について地域別に集計したところ、「紀北」が58.5%で最も高く、次いで「紀中」が14.5%、「和歌山県外」が11.3%となった。



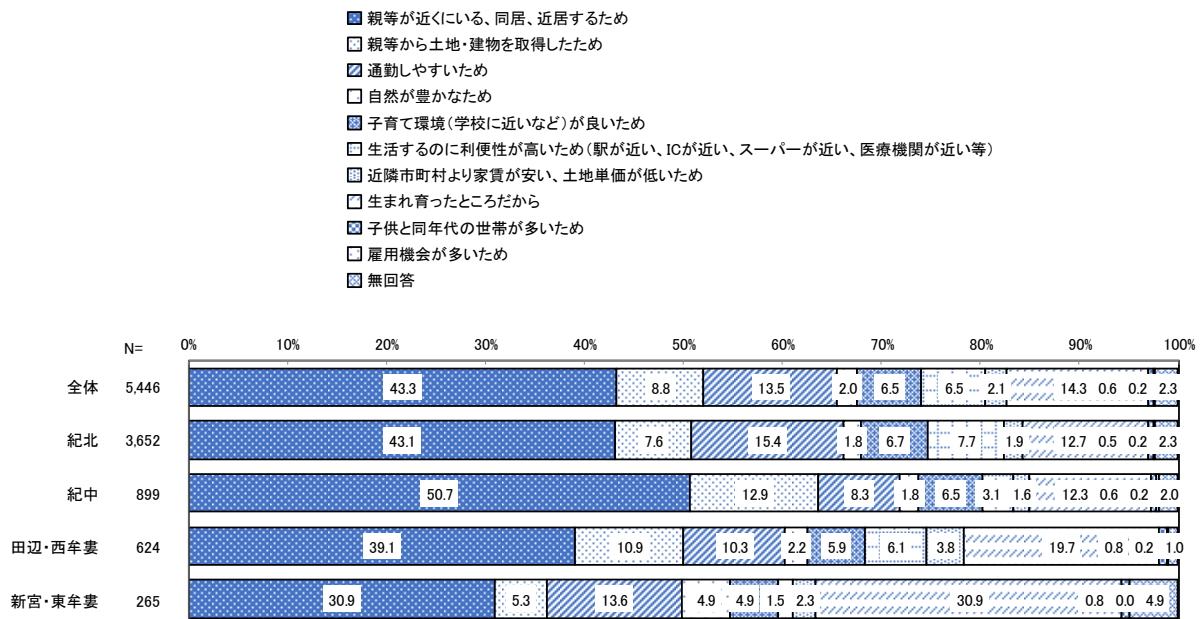
(4) 現住居に住むことを決めた理由をお答えください。【〇は1つ】

現住居に住むことを決めた理由について、「親等が近くにいる、同居、近居するため」が43.3%で最も高く、次いで「生まれ育ったところだから」が14.3%、「通勤しやすいため」が13.5%となった。



【地域別】

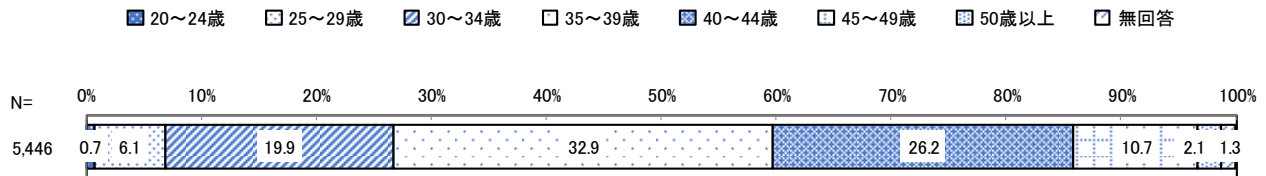
地域別にみると、〈紀中〉では「親等が近くにいる、同居、近居するため」が全体よりも7.4ポイント高く、「通勤しやすいため」が全体よりも5.2ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「生まれ育ったところだから」が全体よりも5.4ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「親等が近くにいる、同居、近居するため」が全体よりも12.4ポイント、「生活するのに利便性が高いため(駅が近い、ICが近い、スーパーが近い、医療機関が近い等)」が全体よりも5.0ポイント低くなっている。一方、「生まれ育ったところだから」が全体よりも16.6ポイント高くなっている。



(5) お子さまのご両親の年齢をお答えください。(令和5年10月1日現在) ※母子家庭・父子家庭の場合は、該当の項目のみ回答をお願いいたします。

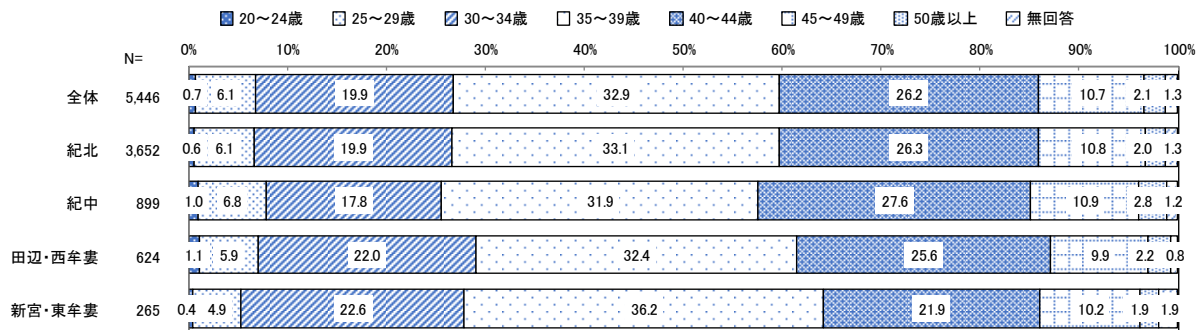
【母親】

母親年齢について、「35～39歳」が32.9%で最も高く、次いで「40～44歳」が26.2%、「30～34歳」が19.9%となった。



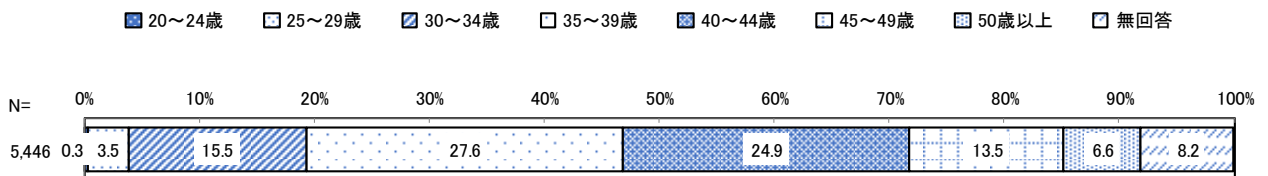
【地域別】

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



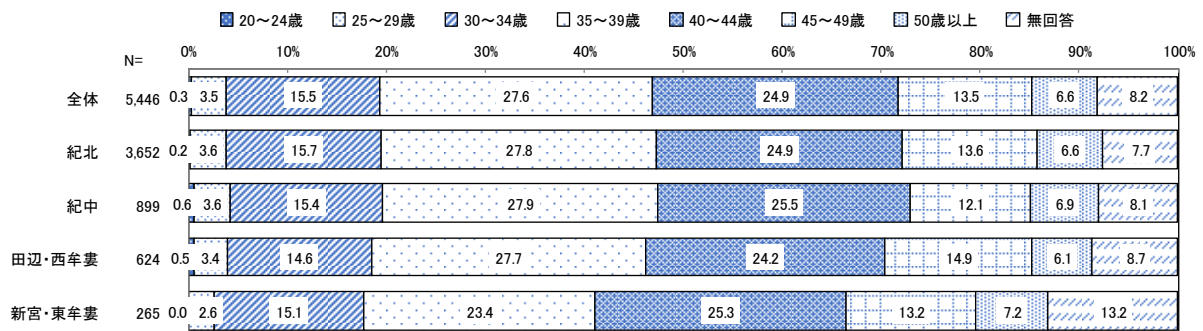
【父親】

父親年齢について、「35～39歳」が27.6%で最も高く、次いで「40～44歳」が24.9%、「30～34歳」が15.5%となった。



【地域別】

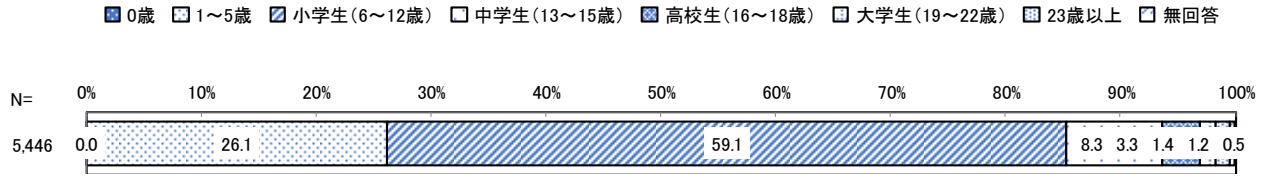
地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



(6) 第1子と末子の年齢（令和5年4月1日 現在）をお答えください。※お子さまがおひとりの場合は「第1子」のみの回答でかまいません。

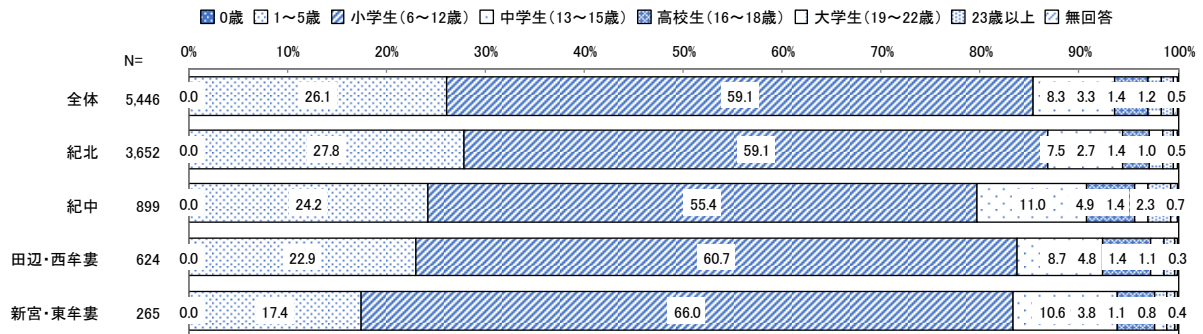
【第1子】

第1子の年齢について、「小学生（6～12歳）」が59.1%で最も高く、次いで「1～5歳」が26.1%、「中学生（13～15歳）」が8.3%となった。



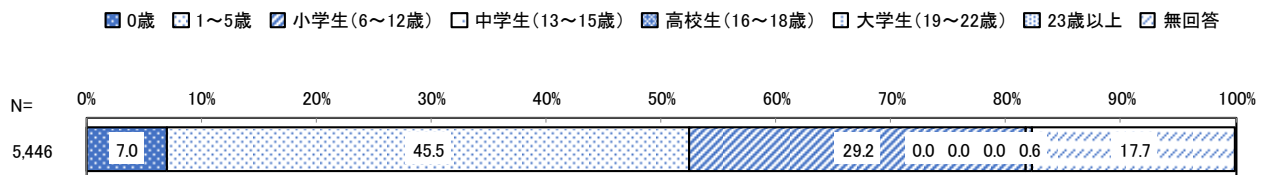
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「1～5歳」が全体よりも8.7ポイント低く、「小学生（6～12歳）」が全体よりも6.9ポイント高くなっている。



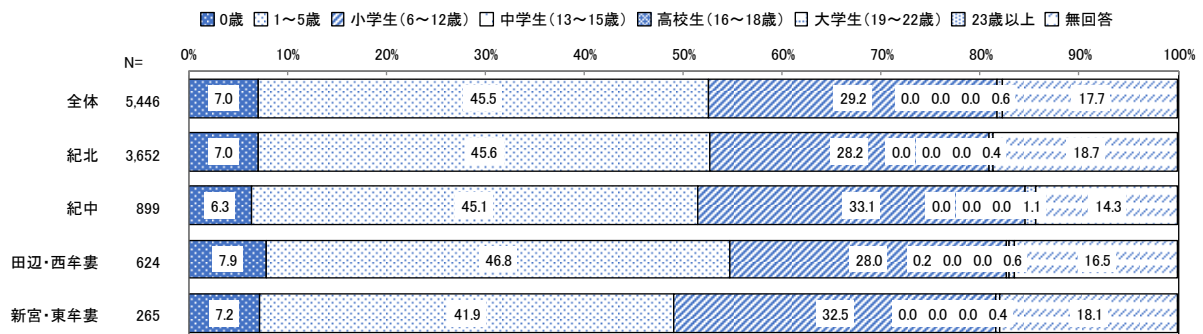
【末子】

末子の年齢について、「1～5歳」が45.5%で最も高く、次いで「小学生（6～12歳）」が29.2%、「0歳」が7.0%となった。



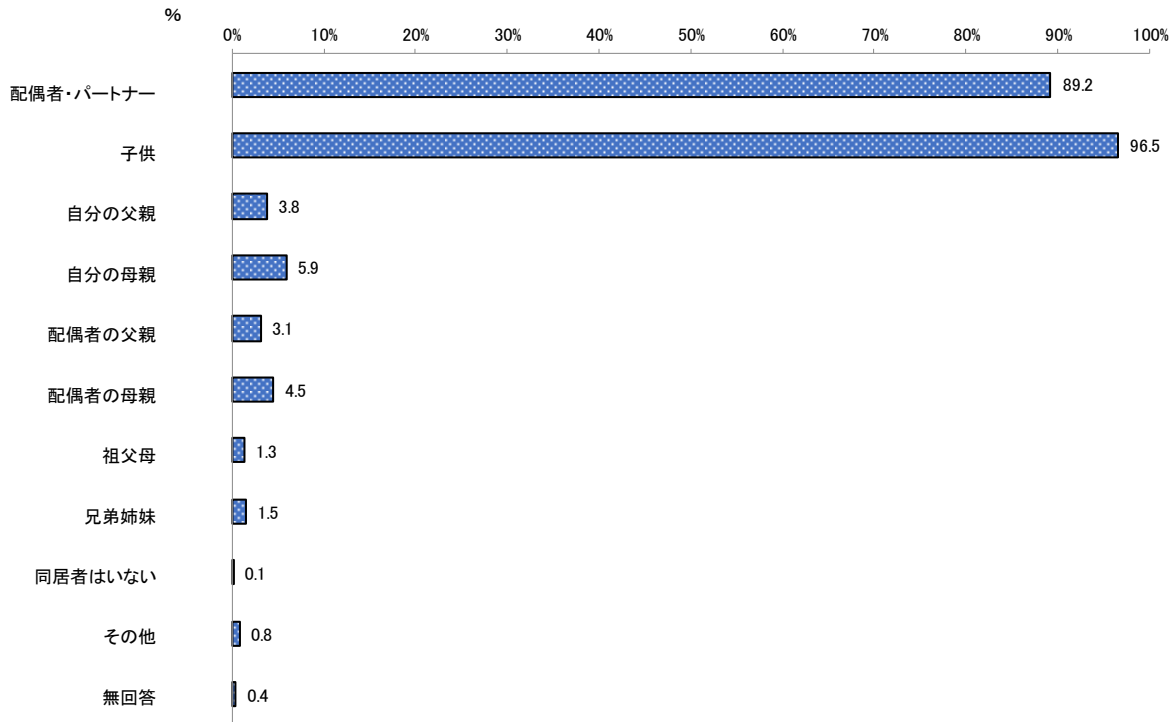
【地域別】

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



(7) あなたと同居されている方をお答えください。【該当する方、全てに○】

同居されている方について、「子供」が96.5%で最も高く、次いで「配偶者・パートナー」が89.2%、「自分の母親」が5.9%となった。



【全国値】

仕事と育児等の両立に関する実態把握のための調査は、子持ちの方を対象にした調査であり、離職者調査・労働者調査の2種類の調査に分かれているが、いずれも「配偶者・パートナー」及び「子ども」が非常に高く、上位2項目を占めている。具体的な数値は、労働者調査が「配偶者・パートナー」98.8%、「子ども」97.9%、離職者調査が「配偶者・パートナー」96.4%、「子ども」97.9%となった。

全国・和歌山県いずれも、子持ち家庭は配偶者・パートナーや子供との同居が最も高い状況がわかった。

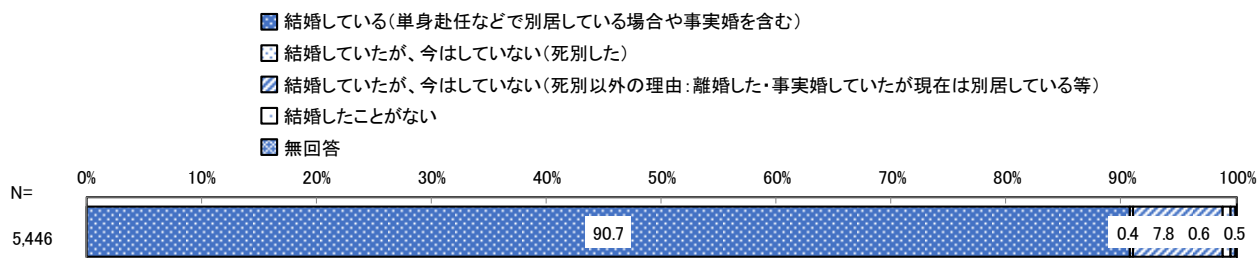
【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「子供」が最も高くなっている。

	全体	あなたと同居されている方をお答えください											
		配偶者・パートナー	子供	自分の父親	自分の母親	配偶者の父親	配偶者の母親	祖父母	兄弟姉妹	同居者はいない	その他	無回答	
全体	5446	4859	5256	208	324	170	246	72	82	8	44	22	
	100.0	89.2	96.5	3.8	5.9	3.1	4.5	1.3	1.5	0.1	0.8	0.4	
地域別	紀北	3652	3278	3538	123	205	88	140	32	54	4	26	14
		100.0	89.8	96.9	3.4	5.6	2.4	3.8	0.9	1.5	0.1	0.7	0.4
	紀中	899	808	868	54	61	60	80	24	14	-	9	6
		100.0	89.9	96.6	6.0	6.8	6.7	8.9	2.7	1.6	-	1.0	0.7
	田辺・西牟婁	624	552	595	22	41	16	20	14	10	2	8	-
	100.0	88.5	95.4	3.5	6.6	2.6	3.2	2.2	1.6	0.3	1.3	-	
新宮・東牟婁	265	217	250	9	17	6	6	2	4	2	1	1	
	100.0	81.9	94.3	3.4	6.4	2.3	2.3	0.8	1.5	0.8	0.4	0.4	

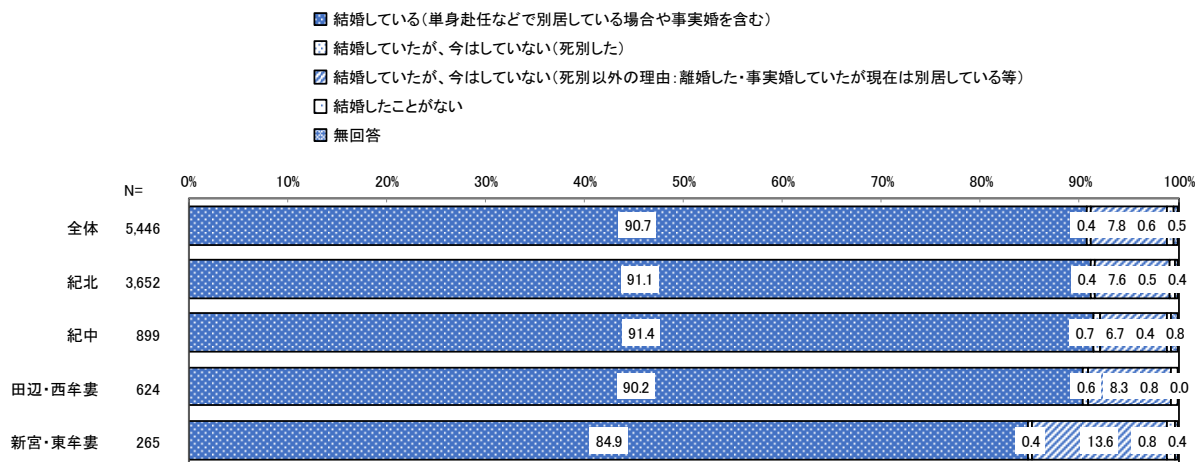
(8) 現在、結婚しているかお答えください。【〇は1つ】

現在、結婚しているかについて、「結婚している（単身赴任などで別居している場合や事実婚を含む）」が90.7%で最も高く、次いで「結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由：離婚した・事実婚していたが現在は別居している等）」が7.8%、「結婚したことがない」が0.6%となった。



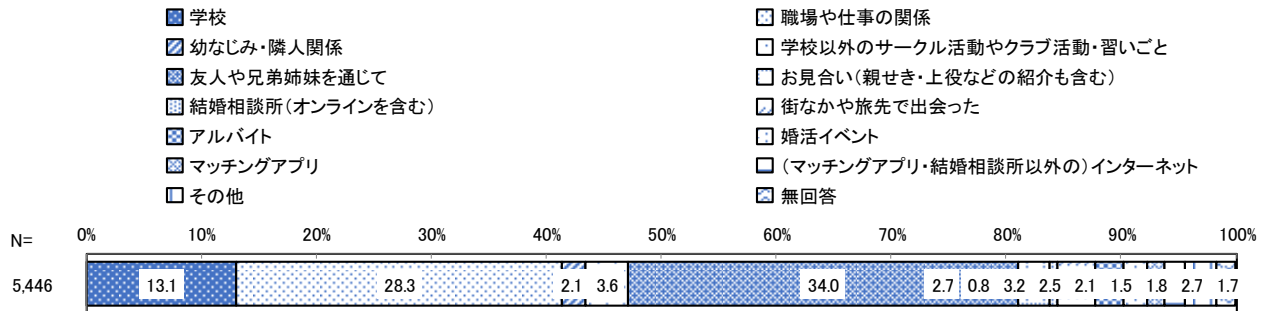
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「結婚している（単身赴任などで別居している場合や事実婚を含む）」が全体よりも5.8ポイント低く、「結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由：離婚した・事実婚していたが現在は別居している等）」が全体よりも5.8ポイント高くなっている。



(9) どのようなきっかけで配偶者・パートナーと知り合いましたか。【○は1つ】

どのようなきっかけで配偶者・パートナーと知り合ったかについて、「友人や兄弟姉妹を通じて」が34.0%で最も高く、次いで「職場や仕事の関係」が28.3%、「学校」が13.1%となった。



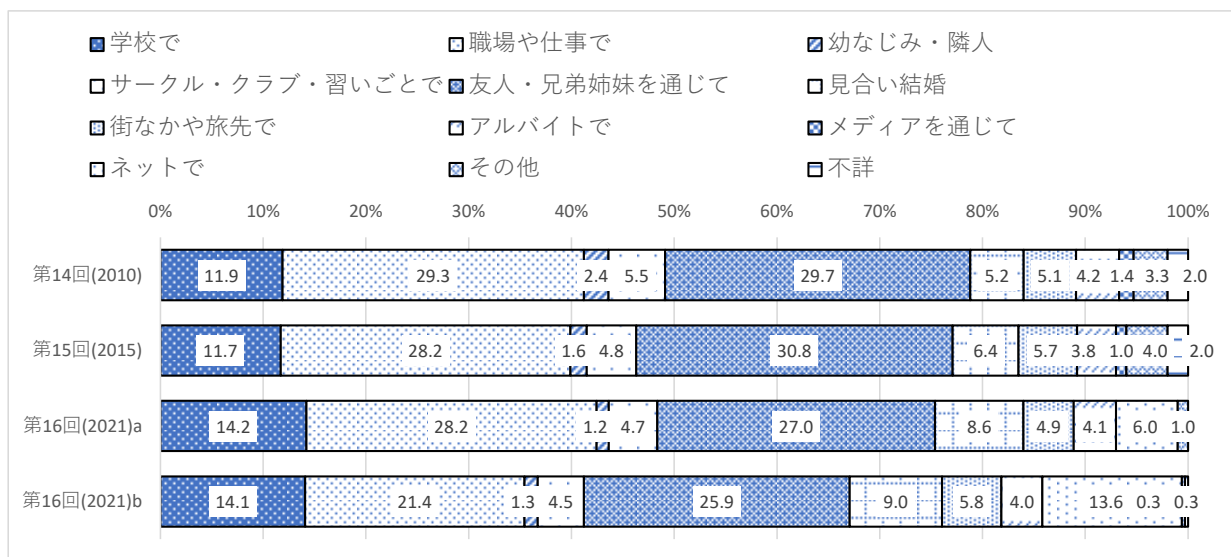
【全国値】

出生動向基本調査で配偶者と知り合ったきっかけをみると、上位を占めている「職場や仕事で」(第14回29.3%、第16回b21.4%)「友人・兄弟姉妹を通じて」(第14回29.7%、第16回b25.9%)の割合が、直近4回(第16回は2回に分けて実施)を通して減少傾向にある。また、第16回より追加された「ネットで」が13.6%と増加傾向がみられる点が特徴といえる。

本調査においては、「職場や仕事の関係」が3割弱(結婚28.0%、子育て28.3%)で、出生動向基本調査よりも比較的高い数値となっている。また、「友人や兄弟姉妹を通じて」は、結婚調査では24.7%だが、子育て調査では34.0%と全国よりも高い。全国に比べ、本県においては従来のお会い方が多い可能性がうかがえる。

また、インターネットを通じての出会い(※)については、結婚に関する意識調査で10.1%、子育てに関する意識調査で4.5%となった。子育てに関する意識調査は比較的低くなっているが、結婚に関する意識調査のほうが対象者が若いことを考えると、若い世代ではインターネットを通じての出会いが増えてきている可能性がある。

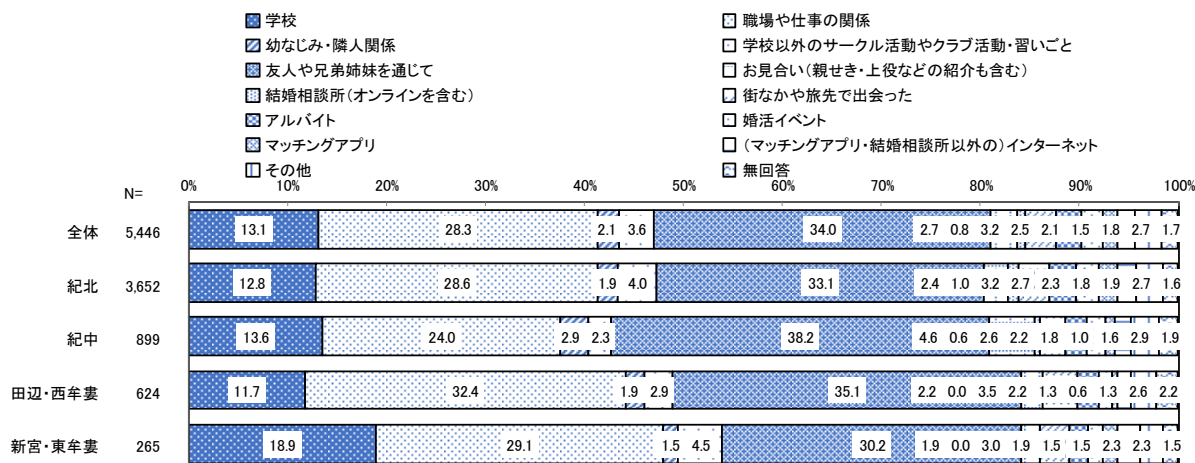
※「マッチングアプリ」「(マッチングアプリ・結婚相談所以外の)インターネット」の合計値



出典：第16回出生動向基本調査

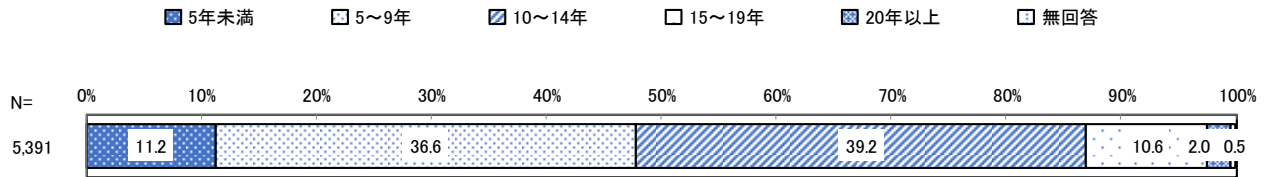
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「学校」が全体よりも5.8ポイント高くなっている。



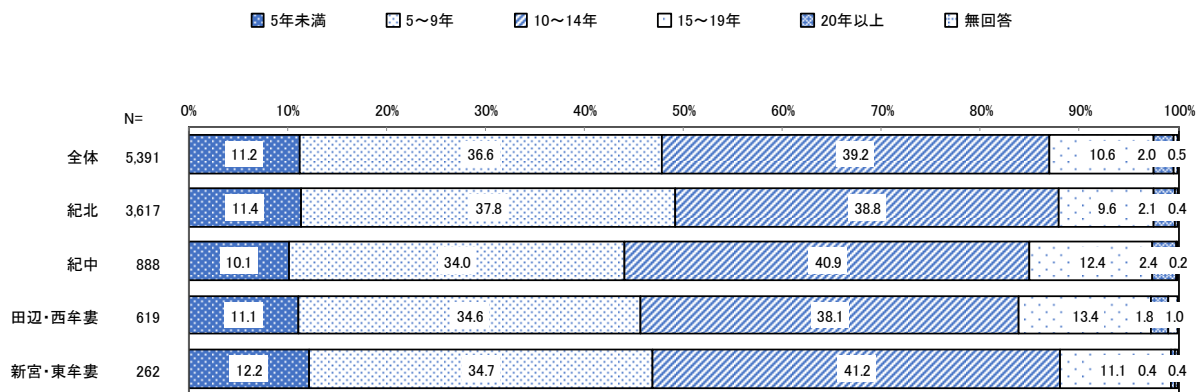
(10) 結婚して何年かお答えください。(令和5年10月1日現在)【〇は1つ】※現在は離婚(事実婚の解消)をしている場合、結婚から離婚までの期間をご回答ください。

結婚して何年か(令和5年10月1日現在)について、「10~14年」が39.2%で最も高く、次いで「5~9年」が36.6%、「5年未満」が11.2%となった。



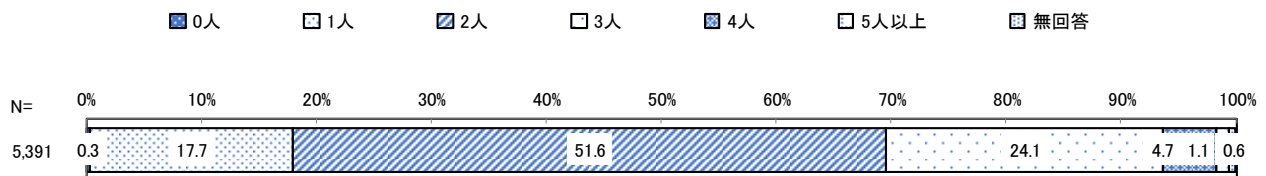
【地域別】

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



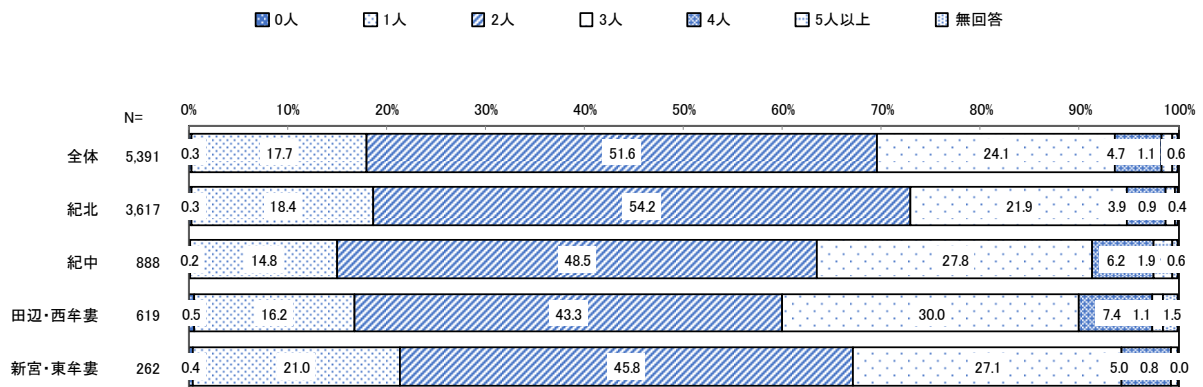
(11) あなた方ご夫婦の間に生まれた子供は何人ですか(死産は含めずご回答ください)。

子供の人数について、「2人」が51.6%で最も高く、次いで「3人」が24.1%、「1人」が17.7%となった。



【地域別】

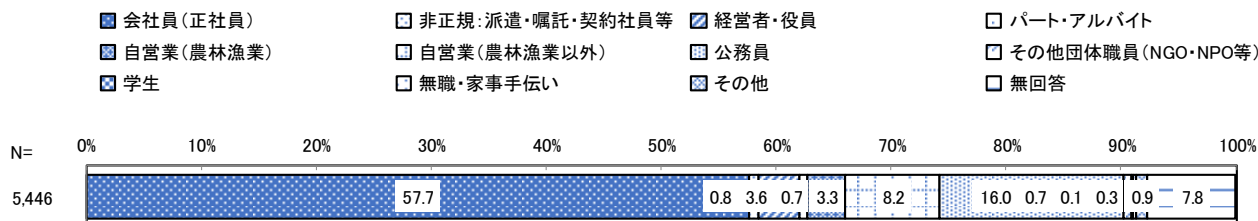
地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「2人」が全体よりも8.3ポイント低く、「3人」が全体よりも5.9ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「2人」が全体よりも5.8ポイント低くなっている。



(12) 現在の就労状況をお答えください。【○は1つ】

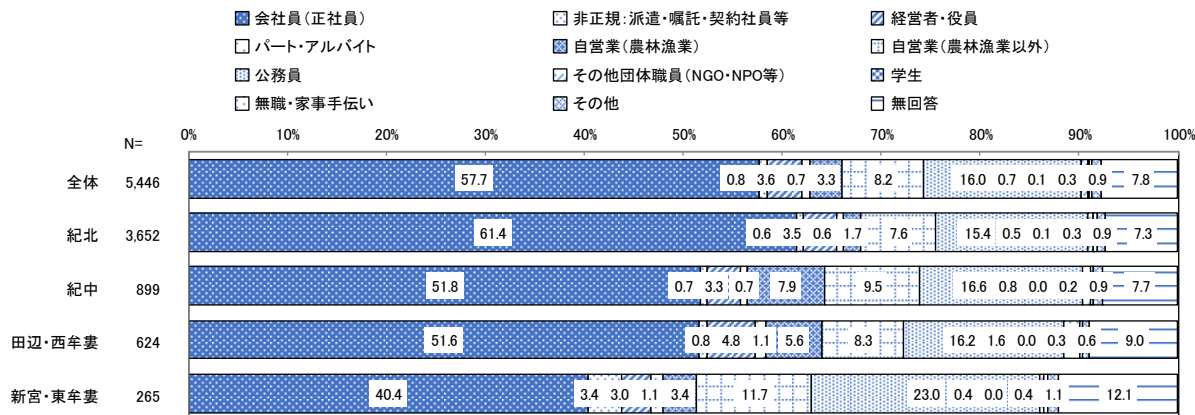
【父親】

現在の就労状況について、「会社員（正社員）」が 57.7% で最も高く、次いで「公務員」が 16.0%、「自営業（農林漁業以外）」が 8.2% となった。



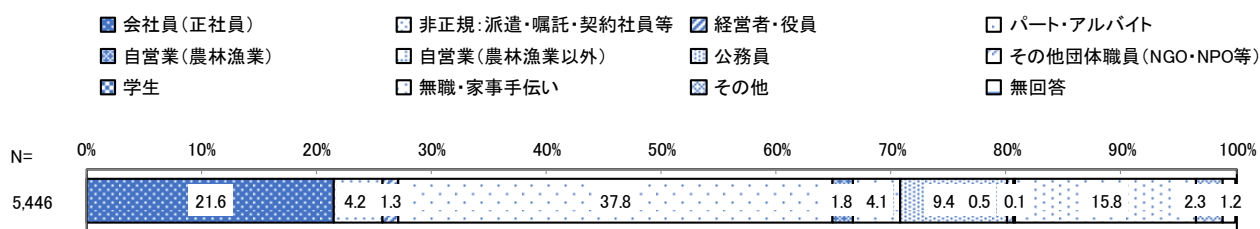
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「会社員（正社員）」が全体よりも 5.9 ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「会社員（正社員）」が全体よりも 6.1 ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「会社員（正社員）」が全体よりも 17.3 ポイント低く、「公務員」が全体よりも 7.0 ポイント高くなっている。



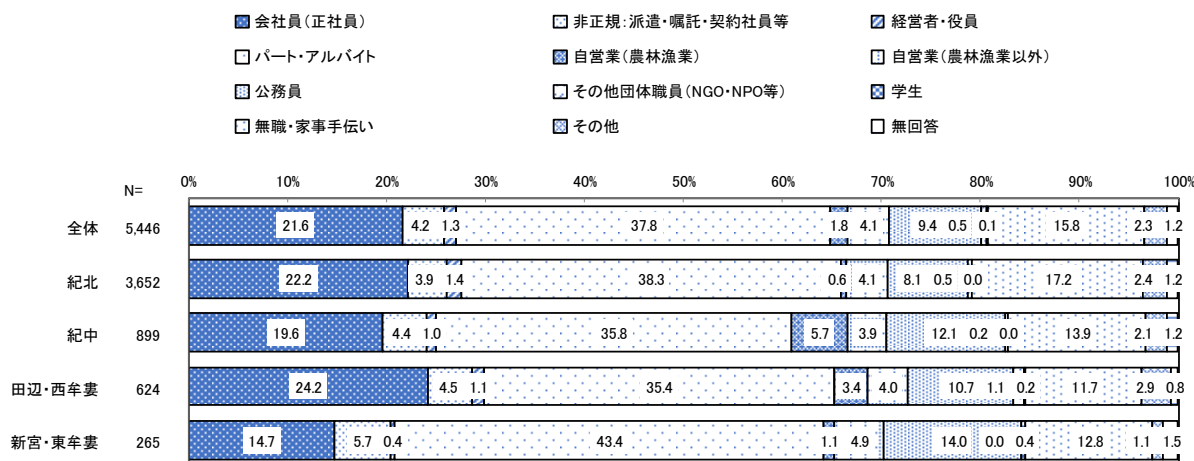
【母親】

現在の就労状況について、「パート・アルバイト」が 37.8%で最も高く、次いで「会社員（正社員）」が 21.6%、「無職・家事手伝い」が 15.8%となった。



【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「会社員（正社員）」が全体よりも 6.9 ポイント低く、「パート・アルバイト」が全体よりも 5.6 ポイント高くなっている。



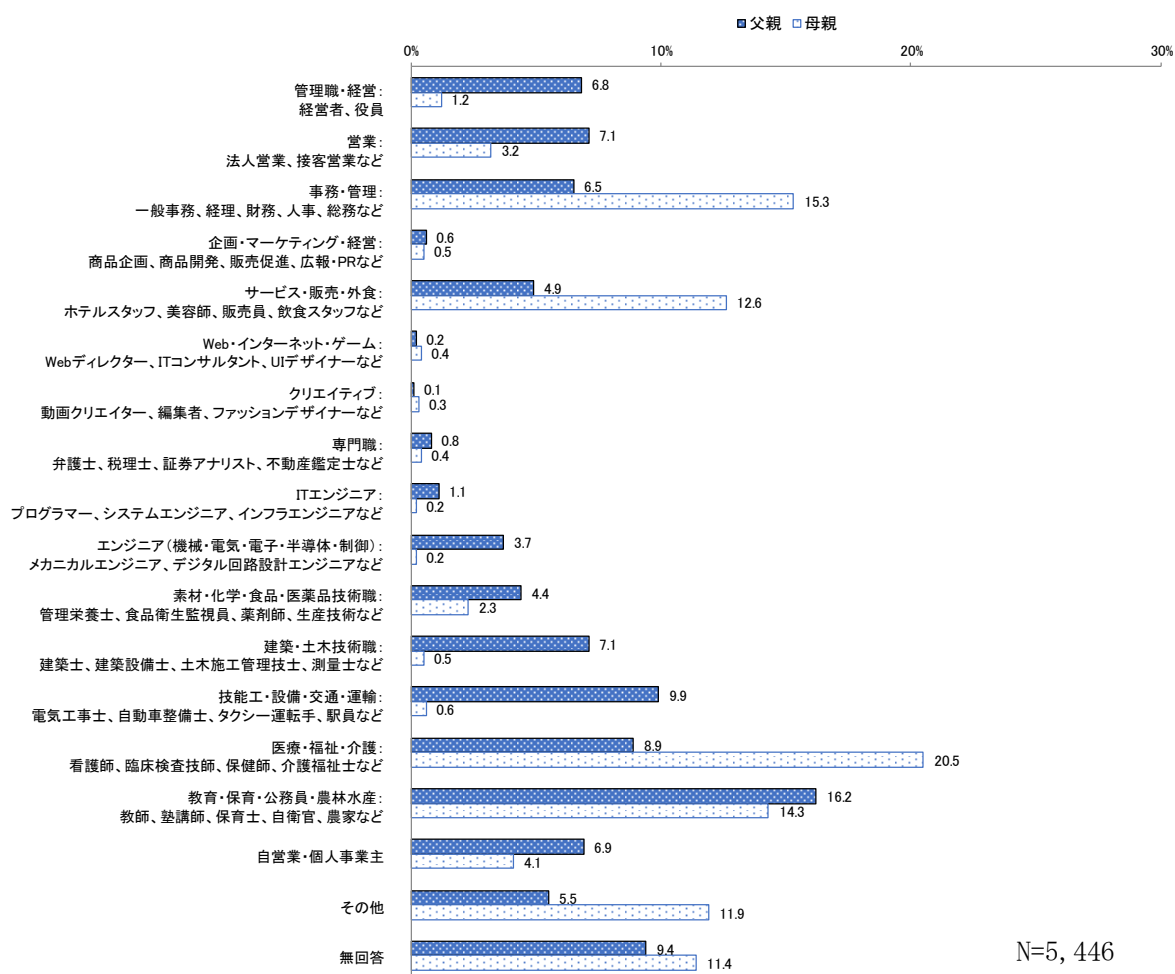
(13) 現在のご職業での職種をお答えください。【〇は1つ】

【父親】

現在のご職業での職種について、「教育・保育・公務員・農林水産：教師、塾講師、保育士、自衛官、農家など」が16.2%で最も高く、次いで「技能工・設備・交通・運輸：電気工事士、自動車整備士、タクシー運転手、駅員など」が9.9%、「医療・福祉・介護：看護師、臨床検査技師、保健師、介護福祉士など」が8.9%となった。

【母親】

現在のご職業での職種について、「医療・福祉・介護：看護師、臨床検査技師、保健師、介護福祉士など」が20.5%で最も高く、次いで「事務・管理：一般事務、経理、財務、人事、総務など」が15.3%、「教育・保育・公務員・農林水産：教師、塾講師、保育士、自衛官、農家など」が14.3%となった。



【父親・地域別】

地域別にみると、すべての地域で「教育・保育・公務員・農林水産：教師、塾講師、保育士、自衛官、農家など」が最も高くなっている。

	全体	現在のご職業での職種をお答えください【父親】																			
		管理職・経営：経営者、役員	営業：法人営業、接客営業など	人事・総務など	事務・管理：一般事務、経理、財務、	など	企画・マーケティング、販売促進、広報・PR	企画・マーケティング、販売促進、広報・PR	など	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ
全体	5446	371	386	356	33	266	10	7	43	60	201	237	384	541	483	882	378	297	511		
	100.0	6.8	7.1	6.5	0.6	4.9	0.2	0.1	0.8	1.1	3.7	4.4	7.1	8.9	16.2	6.9	5.5	9.4			
地域別	紀北	3652	250	275	255	22	179	8	4	29	49	166	182	247	400	325	535	205	196	325	
		100.0	6.8	7.5	7.0	0.6	4.9	0.2	0.1	0.8	1.3	4.5	5.0	6.8	11.0	8.9	14.6	5.6	5.4	8.9	
	紀中	899	49	49	61	6	29	-	1	6	9	26	32	69	86	68	174	99	49	86	
		100.0	5.5	5.5	6.8	0.7	3.2	-	0.1	0.7	1.0	2.9	3.6	7.7	9.6	7.6	19.4	11.0	5.5	9.6	
	田辺・西牟婁	624	54	49	29	3	40	2	1	6	2	7	19	50	36	65	116	49	34	62	
	100.0	8.7	7.9	4.6	0.5	6.4	0.3	0.2	1.0	0.3	1.1	3.0	8.0	5.8	10.4	18.6	7.9	5.4	9.9		
新宮・東牟婁	265	16	13	10	2	18	-	1	2	-	2	4	17	17	25	57	25	18	38		
	100.0	6.0	4.9	3.8	0.8	6.8	-	0.4	0.8	-	0.8	1.5	6.4	6.4	21.5	9.4	6.8	14.3			

【母親・地域別】

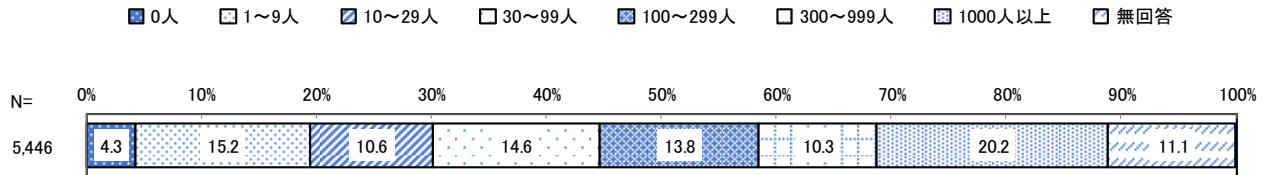
地域別にみると、すべての地域で「医療・福祉・介護：看護師、臨床検査技師、保健師、介護福祉士など」が最も高くなっている。

	全体	現在のご職業での職種をお答えください【母親】																			
		管理職・経営：経営者、役員	営業：法人営業、接客営業など	人事・総務など	事務・管理：一般事務、経理、財務、	など	企画・マーケティング、販売促進、広報・PR	企画・マーケティング、販売促進、広報・PR	など	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	フ・美容師、販売員、飲食スタスタ	
全体	5446	67	176	831	28	685	22	18	20	11	12	123	29	34	1116	779	223	650	622		
	100.0	1.2	3.2	15.3	0.5	12.6	0.4	0.3	0.4	0.2	0.2	2.3	0.5	0.6	20.5	14.3	4.1	11.9	11.4		
地域別	紀北	3652	51	114	571	19	442	18	12	13	10	87	20	27	745	476	129	455	453		
		100.0	1.4	3.1	15.6	0.5	12.1	0.5	0.3	0.4	0.3	2.4	0.5	0.7	20.4	13.0	3.5	12.5	12.4		
	紀中	899	6	28	124	4	100	2	3	4	-	2	16	6	4	179	176	59	102	84	
		100.0	0.7	3.1	13.8	0.4	11.1	0.2	0.3	0.4	-	0.2	1.8	0.7	0.4	19.9	19.6	6.6	11.3	9.3	
	田辺・西牟婁	624	9	25	95	4	98	-	2	1	1	-	15	3	3	126	92	26	70	54	
	100.0	1.4	4.0	15.2	0.6	15.7	-	0.3	0.2	0.2	-	2.4	0.5	0.5	20.2	14.7	4.2	11.2	8.7		
新宮・東牟婁	265	1	9	40	1	44	2	1	2	-	-	5	-	-	66	33	9	22	30		
	100.0	0.4	3.4	15.1	0.4	16.6	0.8	0.4	0.8	-	-	1.9	-	-	24.9	12.5	3.4	8.3	11.3		

(14) 勤務先の従業員数をお答えください。(本社・支社を含む)【○は1つ】※正規雇用者および非正規雇用者(パート・アルバイト等)の合計値を回答ください。※経営者・取締役等の役員は除いてください。

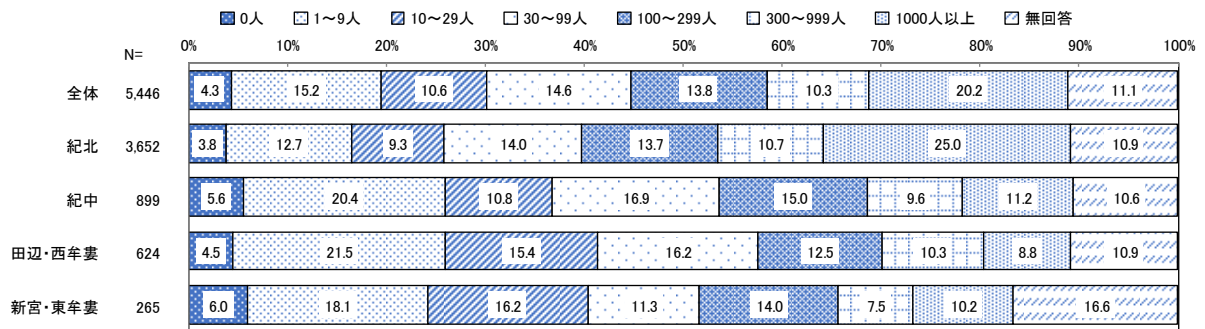
【父親】

勤務先の従業員数について、「1000人以上」が20.2%で最も高く、次いで「1~9人」が15.2%、「30~99人」が14.6%となった。



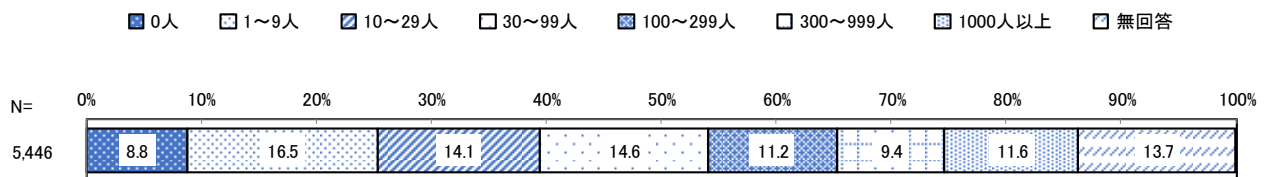
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「1~9人」が全体よりも5.2ポイント高く、「1000人以上」が全体よりも9.0ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「1~9人」が全体よりも6.3ポイント高く、「1000人以上」が全体よりも11.4ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「10~29人」が全体よりも5.6ポイント高く、「1000人以上」が全体よりも10.0ポイント低くなっている。



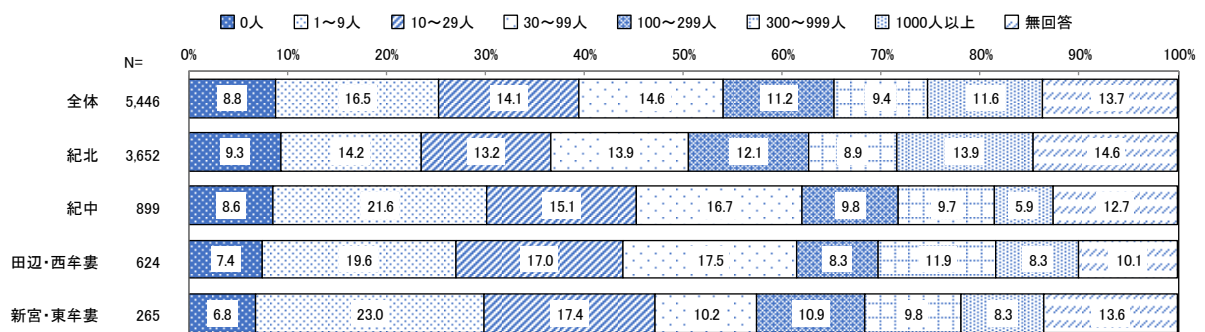
【母親】

勤務先の従業員数について、「1~9人」が16.5%で最も高く、次いで「30~99人」が14.6%、「10~29人」が14.1%となった。



【地域別】

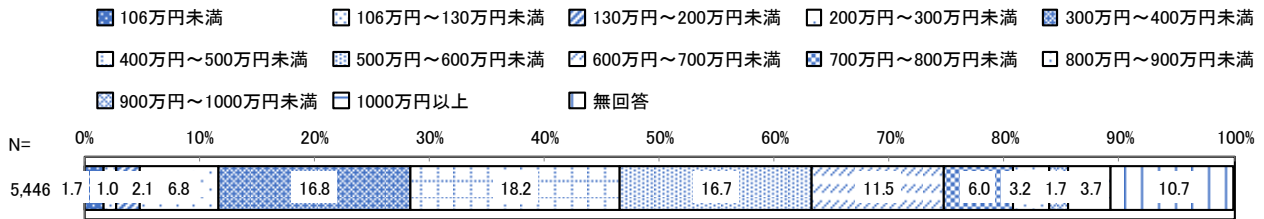
地域別にみると、〈紀中〉では「1~9人」が全体よりも5.1ポイント高く、「1000人以上」が全体よりも5.7ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「1~9人」が全体よりも6.5ポイント高くなっている。



(15) 前年（令和4年1月～12月）の年収をお答えください。【○は1つ】

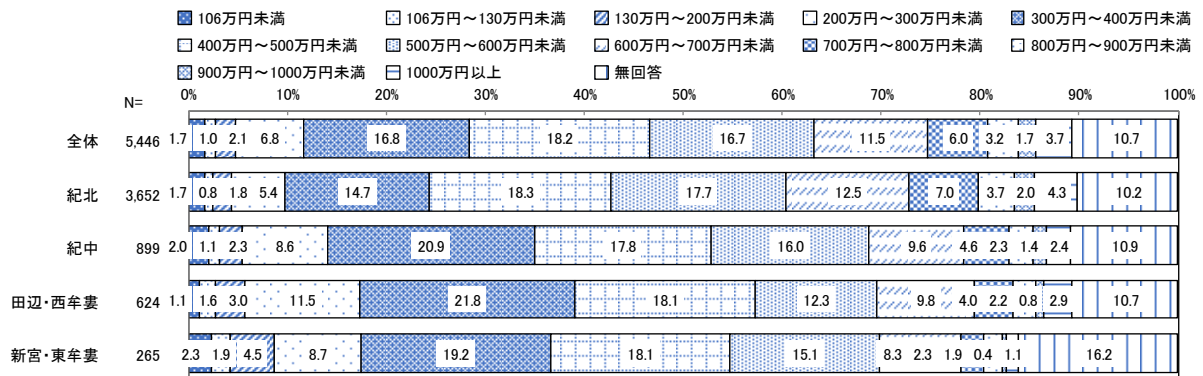
【父親】

前年（令和4年1月～12月）の年収について、「400万円～500万円未満」が18.2%で最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が16.8%、「500万円～600万円未満」が16.7%となった。



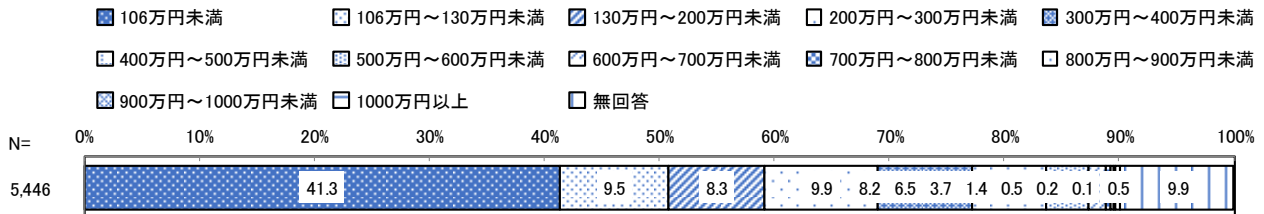
【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「300万円～400万円未満」が全体よりも5.0ポイント高くなっている。



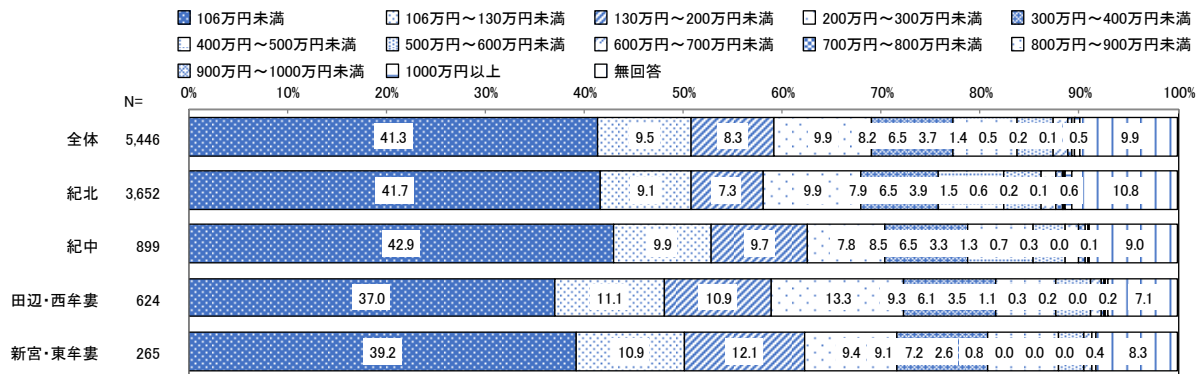
【母親】

前年（令和4年1月～12月）の年収について、「106万円未満」が41.3%で最も高く、次いで「200万円～300万円未満」が9.9%、「106万円～130万円未満」が9.5%となった。



【地域別】

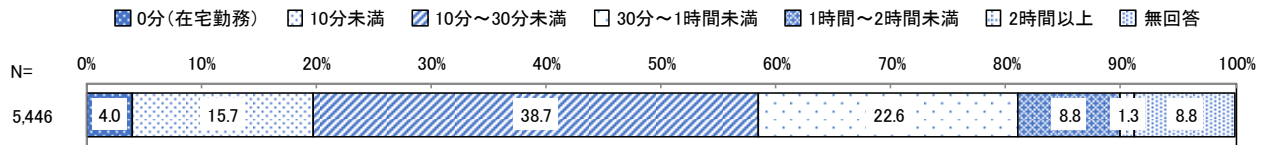
地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



(16) 普段の交通手段での通勤時間をお答えください。【〇は1つ】

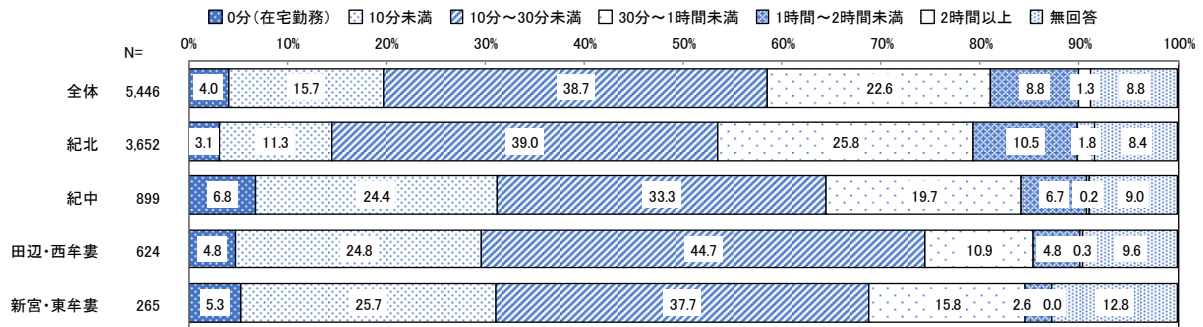
【父親】

普段の交通手段での通勤時間について、「10分～30分未満」が38.7%で最も高く、次いで「30分～1時間未満」が22.6%、「10分未満」が15.7%となった。



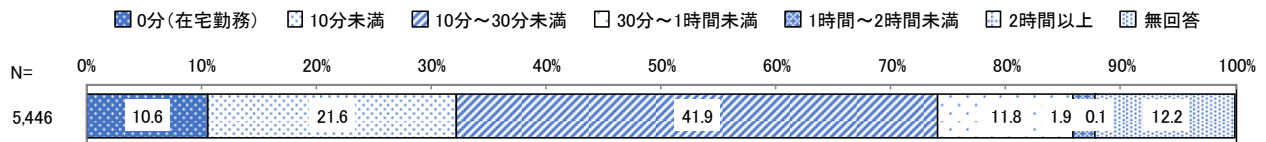
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「10分未満」が全体よりも8.7ポイント高く、「10分～30分未満」が全体よりも5.4ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「10分未満」が全体よりも9.1ポイント、「10分～30分未満」が全体よりも6.0ポイント高くなっている。一方、「30分～1時間未満」が全体よりも11.7ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「10分未満」が全体よりも10.0ポイント高くなっている。一方、「30分～1時間未満」が全体よりも6.8ポイント、「1時間～2時間未満」が全体よりも6.2ポイント低くなっている。



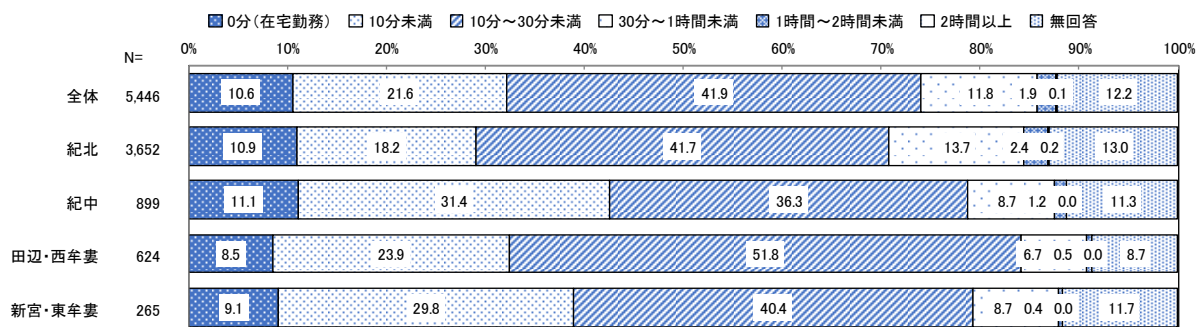
【母親】

普段の交通手段での通勤時間について、「10分～30分未満」が41.9%で最も高く、次いで「10分未満」が21.6%、「30分～1時間未満」が11.8%となった。



【地域別】

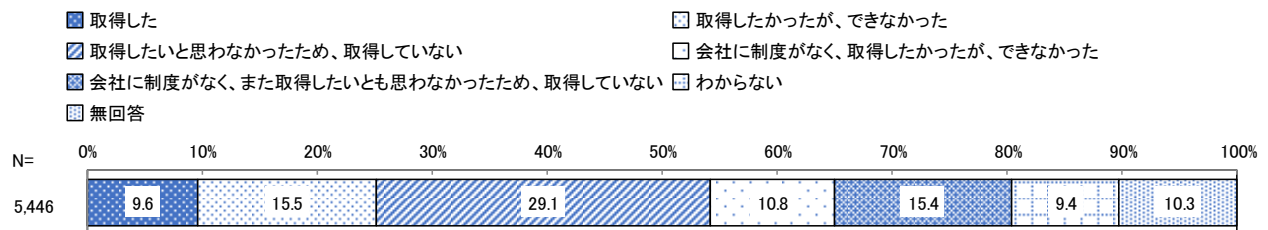
地域別にみると、〈紀中〉では「10分未満」が全体よりも9.8ポイント高く、「10分～30分未満」が全体よりも5.6ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「10分～30分未満」が全体よりも9.9ポイント高く、「30分～1時間未満」が全体よりも5.1ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「10分未満」が全体よりも8.2ポイント高くなっている。



(17) 育児休業（産後パパ育休（出生時育児休業）を含む）を取得したことがありますか。【〇は1つ】

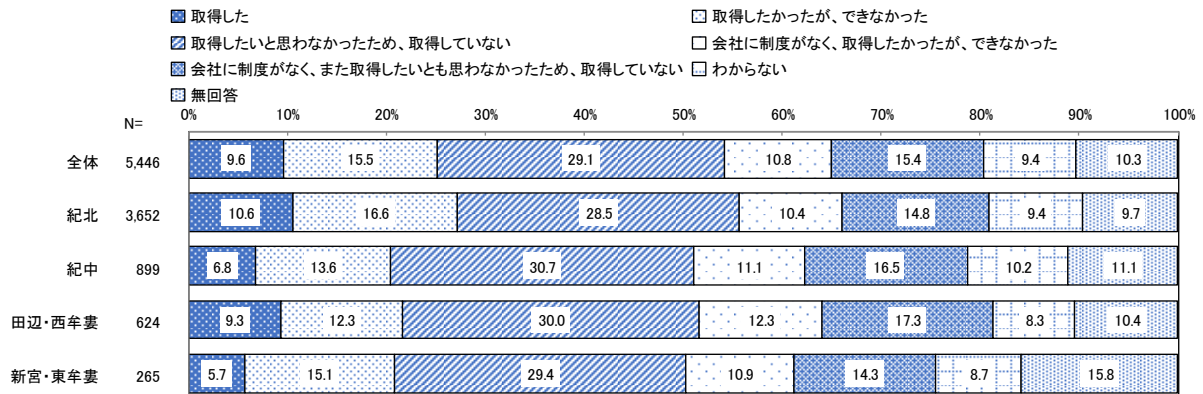
【父親】

育児休業を取得したことがあるかについて、「取得したいと思わなかったため、取得していない」が29.1%で最も高く、次いで「取得したかったが、できなかった」が15.5%、「会社に制度がなく、また取得したいと思わなかったため、取得していない」が15.4%となった。



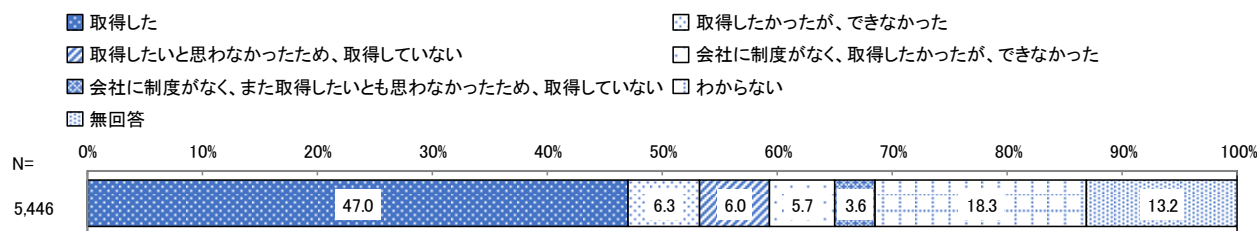
【地域別】

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



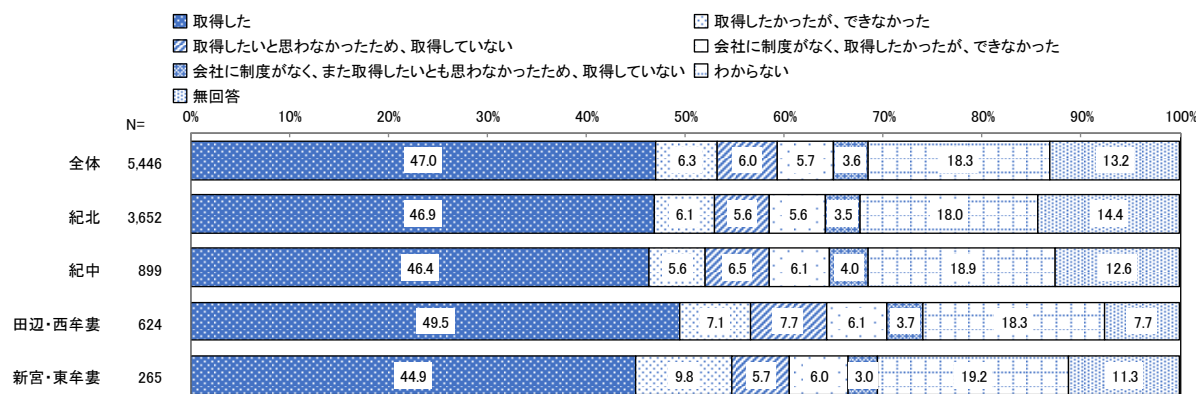
【母親】

育児休業を取得したことがあるかについて、「取得した」が47.0%で最も高く、次いで「わからない」が18.3%、「取得したかったが、できなかった」が6.3%となった。



【地域別】

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



【父母比較】

父親・母親の結果を比較すると、育児休業の取得率が、父親は約1割、母親は約5割と大きな差が出ている。

【全国値】

仕事と育児等の両立に関する実態把握のための調査の「労働者調査」では、男性・正社員、女性・正社員、女性・非正社員の3分類で調査・分析を行っている。

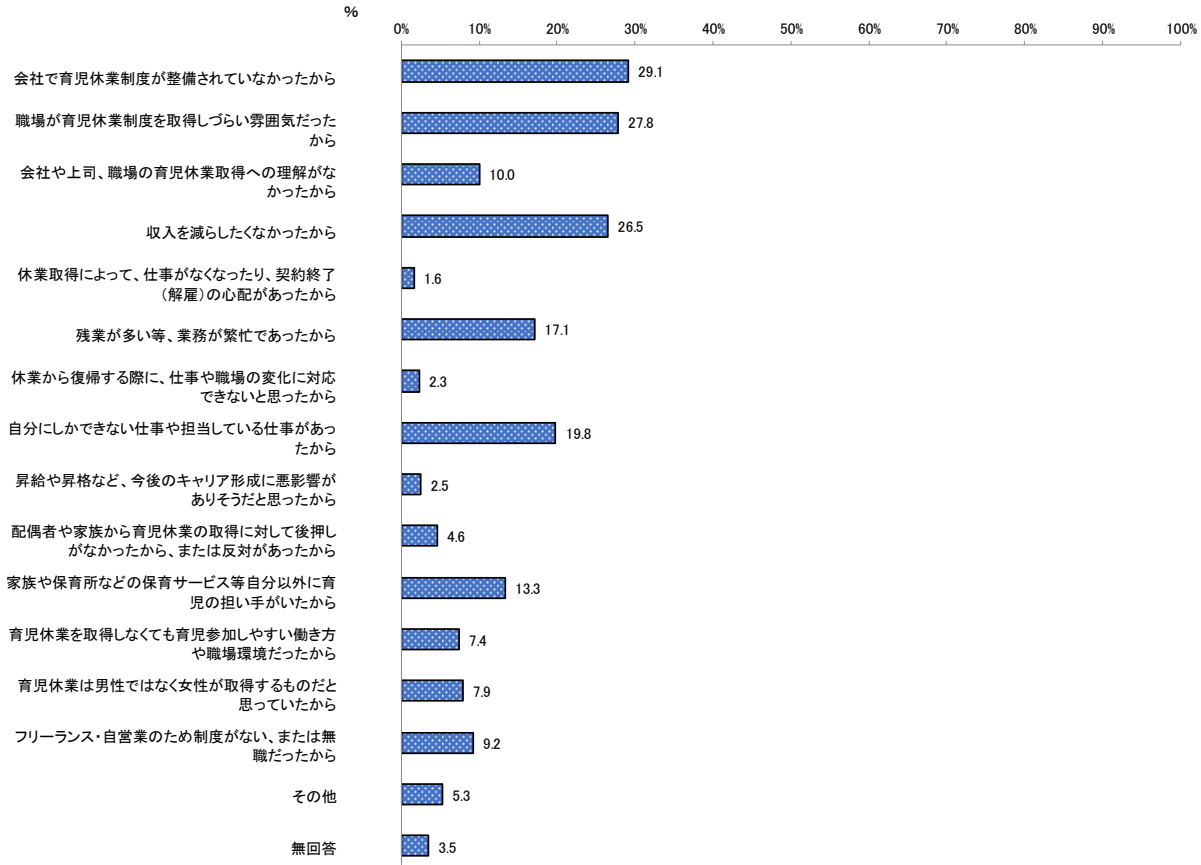
結果をみると、男性・正社員では、「制度を利用しておらず、利用したいと思わなかった」が28.0%で最も高く、次いで「制度を利用しなかったが、利用したかった」が22.4%となっている。女性・正社員では、「制度を利用した」が75.8%で最も高く、次いで「わからない」が2.8%となっている。女性・非正社員では、「制度を利用した」が60.6%で最も高く、次いで「制度を利用したかった」が8.8%となっている。

総じて、男性のほうが制度を利用した割合が低く、女性の方が制度を利用した割合が高い点は、和歌山県・全国の結果で共通している。

(18) 育児休業を取得しなかった理由をお答えください。【当てはまる上位3つに○】

【父親】

育児休業を取得しなかった理由について、「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」が29.1%で最も高く、次いで「職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから」が27.8%、「収入を減らしたくなかったから」が26.5%となった。



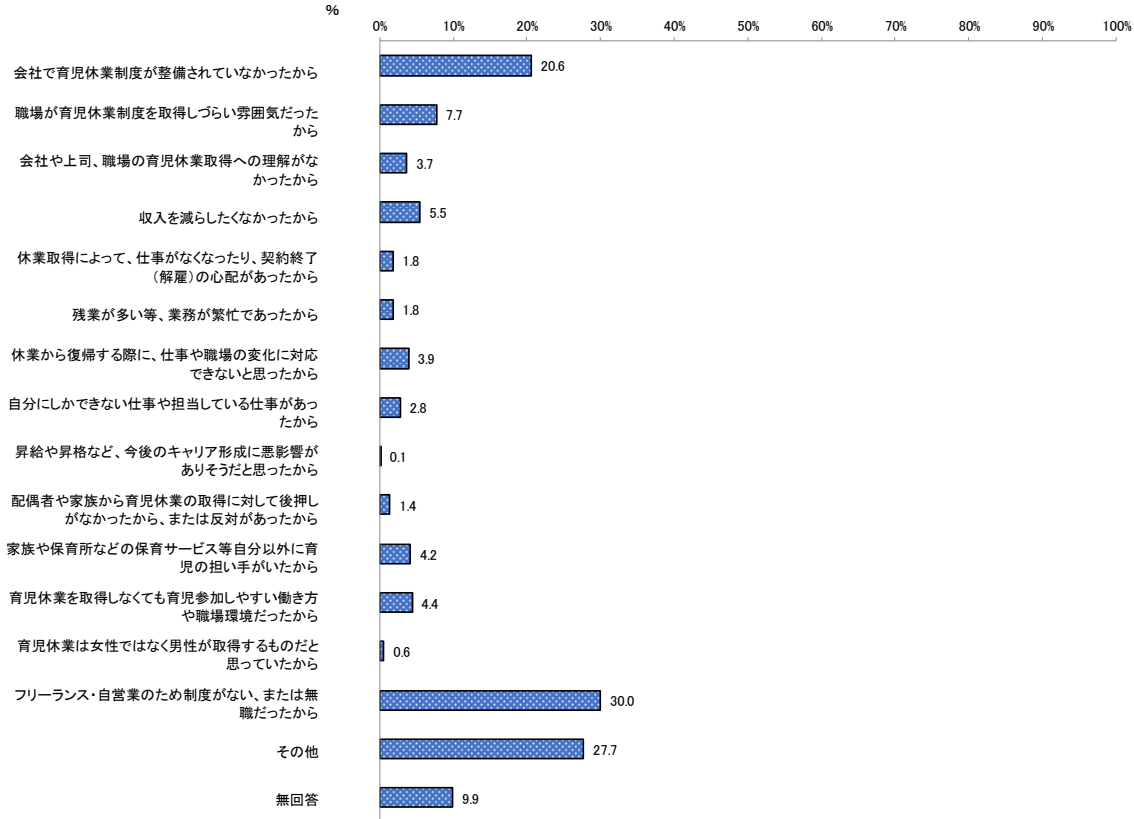
【地域別】

地域別にみると、〈紀北〉を除くすべての地域で「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」が最も高くなっている。一方、〈紀北〉では「職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから」が最も高くなっている。

		育児休業を取得しなかった理由をお答えください【父親】																
		会社で育児休業制度が整備されていなかったから	職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから	会社や上司、職場の育児休業取得への理解がなかったから	収入を減らしたくなかったから	休業取得によって、仕事(解雇)の心配があったから	残業が多い等、業務が繁忙であったから	休業から復帰する際に、仕事や職場の変化に対応できないと思ったから	自分にしかできない仕事や担当している仕事があったから	昇給や昇格など、今後のキャリア形成に悪影響がありそうだったから	対して後押しがなかったから、または反対があったから	配偶者や家族から育児休業の取得に反対があったから	家族や保育所などの保育サービス等自分以外に育児の担い手がいたから	育児休業を取得しなくても育児参加しやすい働き方や職場環境だったから	育児休業は男性ではなく女性が取得するものだと思っていたから	フリーランス・自営業のため制度がない、または無職だったから	その他	無回答
全体	全体	4363	1271	1213	437	1157	70	744	100	862	111	199	581	325	344	402	230	153
		100.0	29.1	27.8	10.0	26.5	1.6	17.1	2.3	19.8	2.5	4.6	13.3	7.4	7.9	9.2	5.3	3.5
地域別	紀北	2911	868	869	328	791	55	522	69	575	83	131	369	202	230	222	152	99
		100.0	29.8	29.9	11.3	27.2	1.9	17.9	2.4	19.8	2.9	4.5	12.7	6.9	7.9	7.6	5.2	3.4
	紀中	738	203	170	50	176	10	111	16	136	14	35	111	55	60	87	41	35
		100.0	27.5	23.0	6.8	23.8	1.4	15.0	2.2	18.4	1.9	4.7	15.0	7.5	8.1	11.8	5.6	4.7
	田辺・西牟婁	501	142	120	45	141	4	73	12	108	13	26	71	49	38	68	25	12
	100.0	28.3	24.0	9.0	28.1	0.8	14.6	2.4	21.6	2.6	5.2	14.2	9.8	7.6	13.6	5.0	2.4	
新宮・東牟婁	208	57	54	14	48	1	37	3	42	1	6	28	18	16	25	12	6	
	100.0	27.4	26.0	6.7	23.1	0.5	17.8	1.4	20.2	0.5	2.9	13.5	8.7	7.7	12.0	5.8	2.9	

【母親】

育児休業を取得しなかった理由について、「フリーランス・自営業のため制度がない、または無職だったから」が30.0%で最も高く、次いで「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」が20.6%、「職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから」が7.7%となった。



【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉を除くすべての地域で「フリーランス・自営業のため制度がない、または無職だったから」が最も高くなっている。一方、〈新宮・東牟婁〉では「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」が最も高くなっている。

	全体	育児休業を取得しなかった理由をお答えください【母親】																
		会社で育児休業制度が整備されていなかったから	職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから	会社や上司、職場の育児休業取得への理解がなかったから	収入を減らしたくなかったから	休業取得によって、仕事や職場の変化に対応できないと思ったから	自分にしかできない仕事や担当している仕事があったから	昇給や昇格など、今後のキャリア形成に悪影響がありそうだったから	配偶者や家族から育児休業の取得に対して後押しがなかったから、または反対があったから	家族や保育所などの保育サービス等自分以外に育児の担い手がいたから	育児休業を取得しなくても育児参加しやすい働き方や職場環境だったから	育児休業は女性ではなく男性が取得するものだと思っていたから	フリーランス・自営業のため制度がない、または無職だったから	その他	無回答			
全体	2171	448	168	81	119	40	38	85	60	2	30	91	96	12	652	602	214	
	100.0	20.6	7.7	3.7	5.5	1.8	1.8	3.9	2.8	0.1	1.4	4.2	4.4	0.6	30.0	27.7	9.9	
地域別	紀北	1415	269	115	49	75	30	24	60	47	2	22	59	62	5	422	404	149
		100.0	19.0	8.1	3.5	5.3	2.1	1.7	4.2	3.3	0.1	1.6	4.2	4.4	0.4	29.8	28.6	10.5
	紀中	369	85	24	11	18	3	5	14	5	-	6	13	12	3	122	93	36
		100.0	23.0	6.5	3.0	4.9	0.8	1.4	3.8	1.4	-	1.6	3.5	3.3	0.8	33.1	25.2	9.8
	田辺・西牟婁	267	60	18	15	18	4	7	7	7	-	2	13	15	3	76	73	23
	100.0	22.5	6.7	5.6	6.7	1.5	2.6	2.6	2.6	-	0.7	4.9	5.6	1.1	28.5	27.3	8.6	
新宮・東牟婁	116	32	11	6	8	3	2	4	1	-	-	5	7	1	31	31	5	
	100.0	27.6	9.5	5.2	6.9	2.6	1.7	3.4	0.9	-	-	4.3	6.0	0.9	26.7	26.7	4.3	

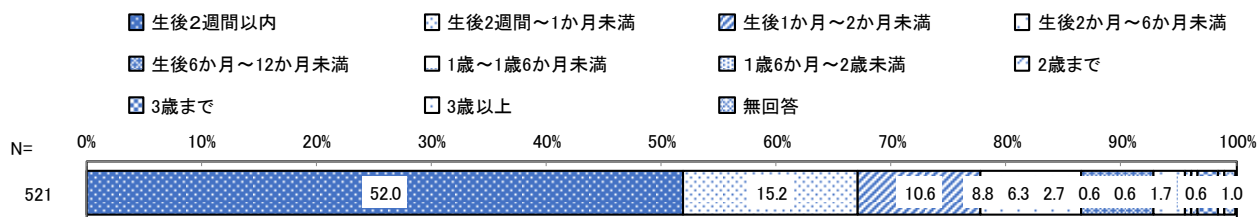
【父母比較】

父親・母親の結果を比較すると、父親は職場の環境や収入面の懸念など、仕事に関する事情が多くなっている。一方、母親は仕事と関連しない項目が多くなった。また、両者とも「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」が高くなっている点は課題といえる。

(19) 育児休業を取得した時期はいつですか。【直近で当てはまる1つに○】

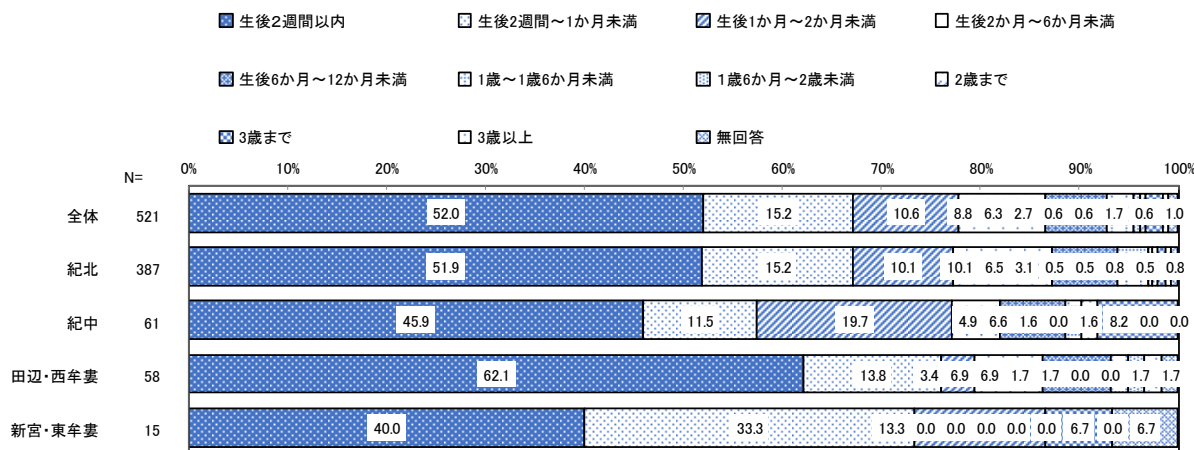
【父親】

育児休業を取得した時期について、「生後2週間以内」が52.0%で最も高く、次いで「生後2週間～1か月未満」が15.2%、「生後1か月～2か月未満」が10.6%となった。



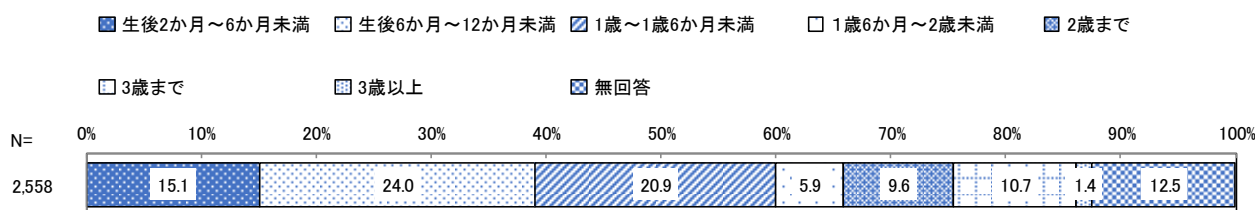
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「生後2週間以内」が全体よりも6.1ポイント低くなっている。一方、「生後1か月～2か月未満」が全体よりも9.1ポイント、「3歳まで」が全体よりも6.5ポイント高くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「生後2週間以内」が全体よりも10.1ポイント高く、「生後1か月～2か月未満」が全体よりも7.2ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「生後2週間以内」が全体よりも12.0ポイント、「生後2か月～6か月未満」が全体よりも8.8ポイント、「生後6か月～12か月未満」が全体よりも6.3ポイント低くなっている。一方、「生後2週間～1か月未満」が全体よりも18.1ポイント、「3歳まで」が全体よりも5.0ポイント高くなっている。



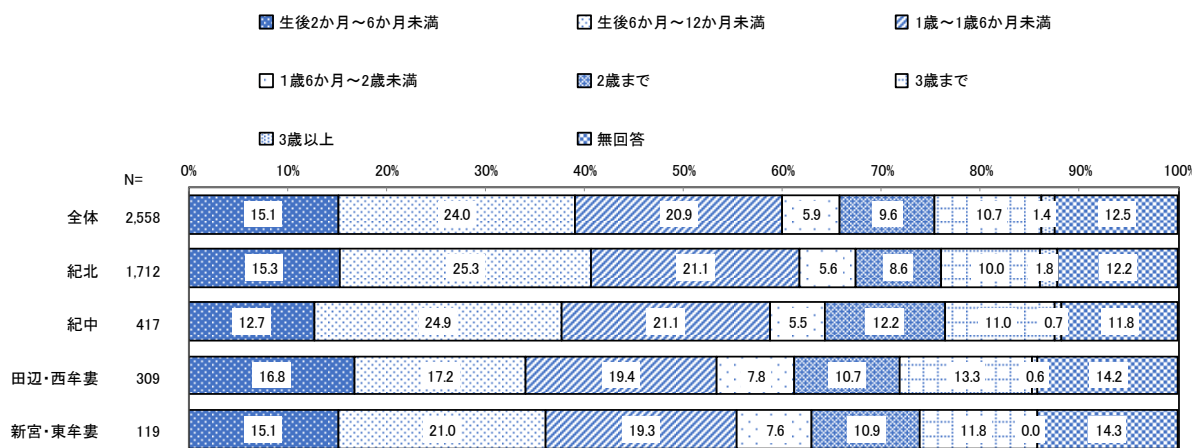
【母親】

育児休業を取得した時期について、「生後6か月～12か月未満」が24.0%で最も高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」が20.9%、「生後2か月～6か月未満」が15.1%となった。



【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「生後6か月～12か月未満」が全体よりも6.8ポイント低くなっている。



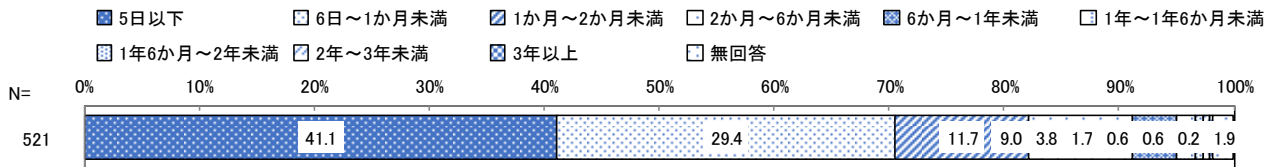
【父母比較】

父親・母親の結果を比較すると、父親は「生後2週間以内」が過半数を占め多くっており、2か月未満までをみると8割弱となり、父親のほとんどは2か月未満の取得状況となっている。一方で、母親は生後2か月から1歳6か月までで6割を占め、「3歳まで」の割合も約1割と長期にわたるケースも少なくない。

(20) 育児休業の取得期間をお答えください。【最も直近で当てはまる1つに○】

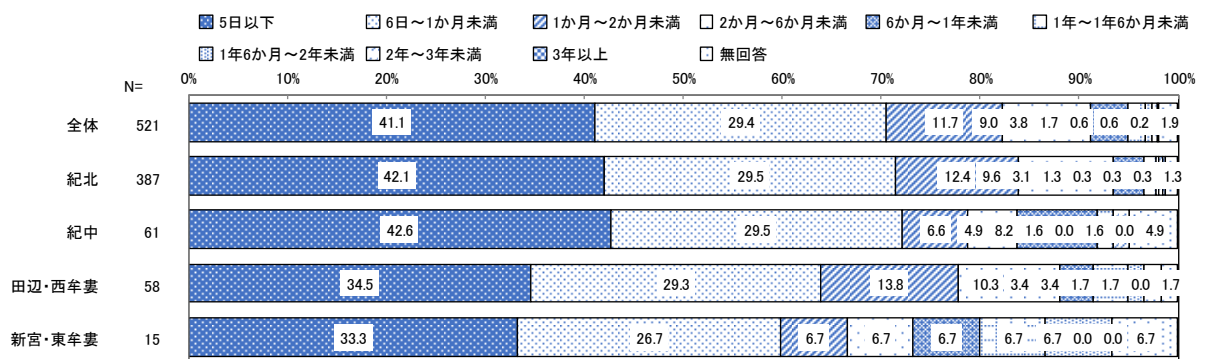
【父親】

育児休業の取得期間について、「5日以下」が41.1%で最も高く、次いで「6日～1か月未満」が29.4%、「1か月～2か月未満」が11.7%となった。



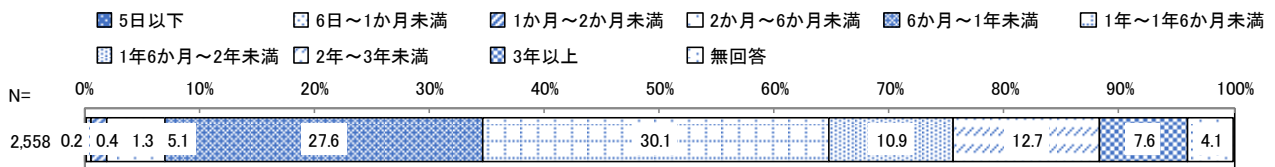
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「1か月～2か月未満」が全体よりも5.1ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「5日以下」が全体よりも6.6ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「5日以下」が全体よりも7.8ポイント低くなっている。一方、「1年～1年6か月未満」が全体よりも5.0ポイント、「1年6か月～2年未満」が全体よりも6.1ポイント高くなっている。



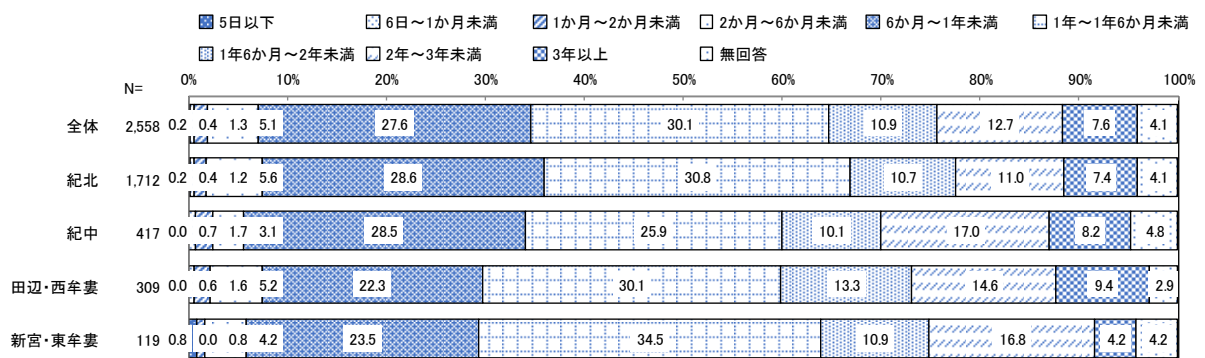
【母親】

育児休業の取得期間について、「1年～1年6か月未満」が30.1%で最も高く、次いで「6か月～1年未満」が27.6%、「2年～3年未満」が12.7%となった。



【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「6か月～1年未満」が全体よりも5.3ポイント低くなっている。



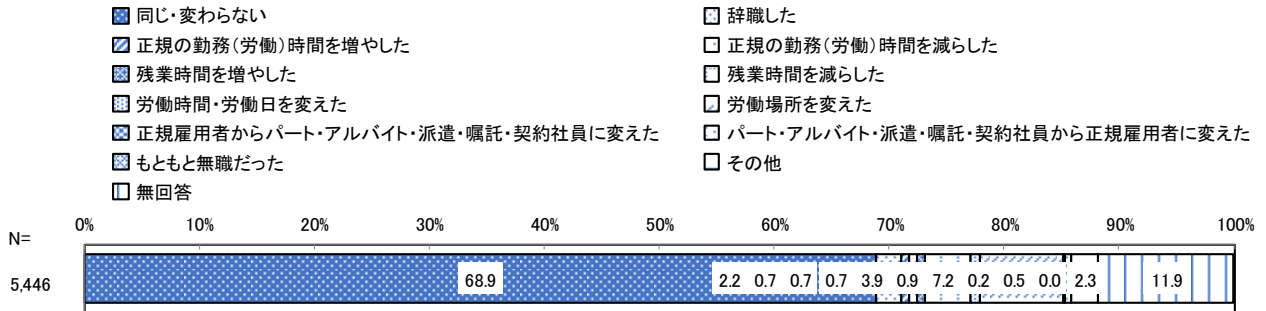
【父母比較】

父親・母親の結果を比較すると、父親は6か月未満までが約9割を占めている一方、母親は6か月未満が合計10%を下回り、大きな差が出ている。

(21) 第1子が産まれる前と現在の働き方を比較し近いものをお答えください。(産休・育休取得者は育休復帰後の状況)【○は1つ】

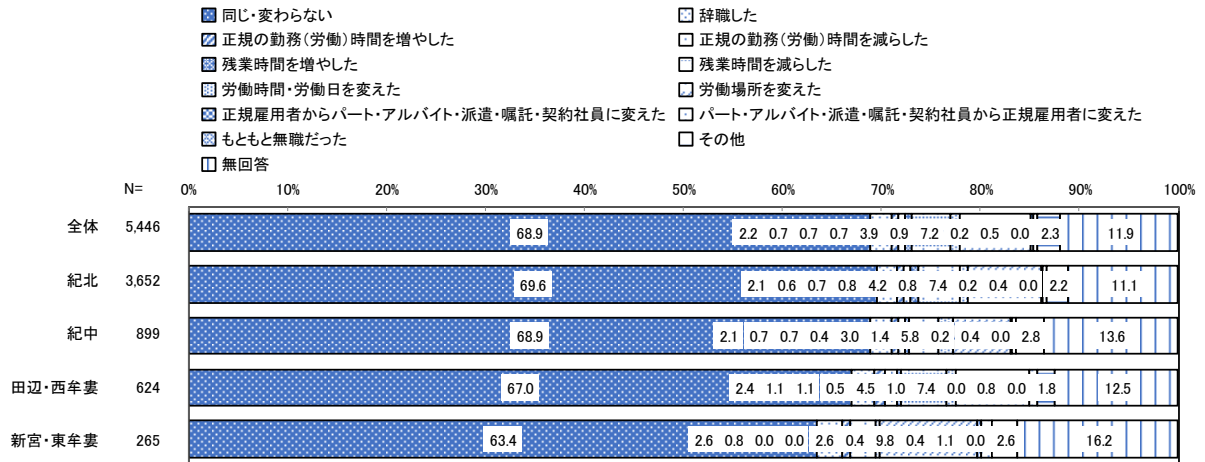
【父親】

第1子が産まれる前と現在の働き方について、「同じ・変わらない」が68.9%で最も高く、次いで「労働場所を変えた」が7.2%、「残業時間を減らした」が3.9%となった。



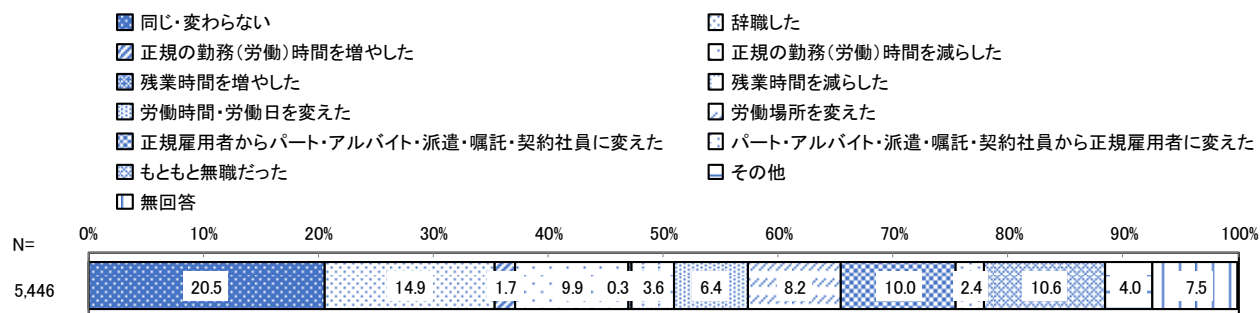
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「同じ・変わらない」が全体よりも5.5ポイント低くなっている。



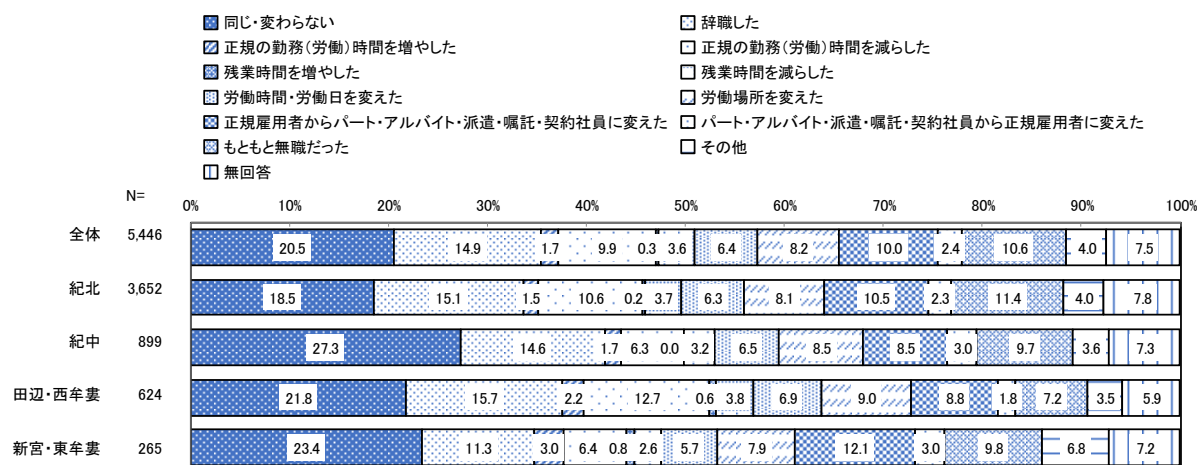
【母親】

第1子が産まれる前と現在の働き方について、「同じ・変わらない」が20.5%で最も高く、次いで「辞職した」が14.9%、「もともと無職だった」が10.6%となった。



【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「同じ・変わらない」が全体よりも6.8ポイント高くなっている。

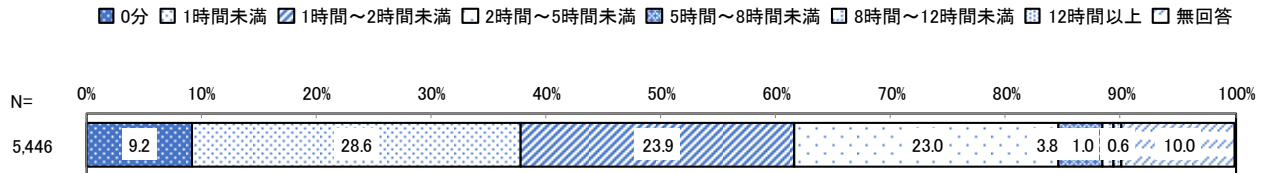


(22) 同居しているお子さま全員の世話に係る1日の配分時間を平日・休日それぞれお答えください。

【各項目〇は1つつつ】

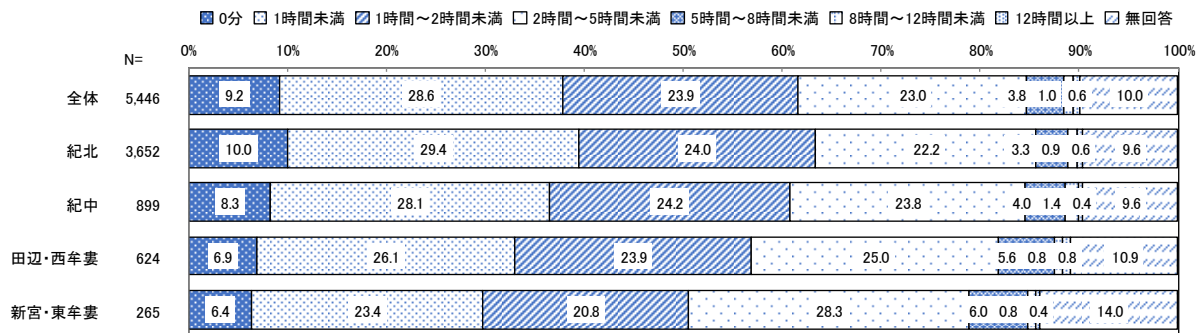
【父親/平日】

同居しているお子さま全員の世話に係る1日の配分時間について、「1時間未満」が28.6%で最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が23.9%、「2時間～5時間未満」が23.0%となった。
母親に比べていずれも短い時間の回答が多く、「0分」も約1割と少なくない結果となった。



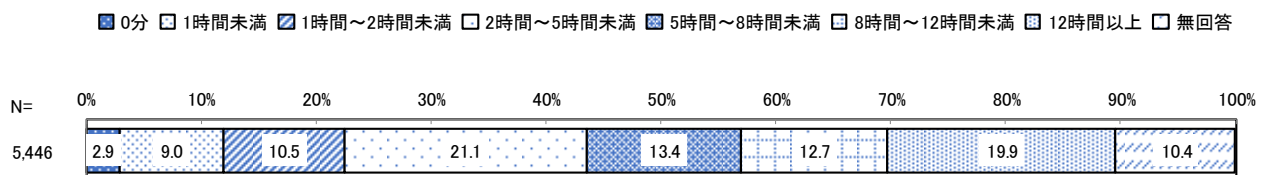
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「1時間未満」が全体よりも5.2ポイント低く、「2時間～5時間未満」が全体よりも5.3ポイント高くなっている。



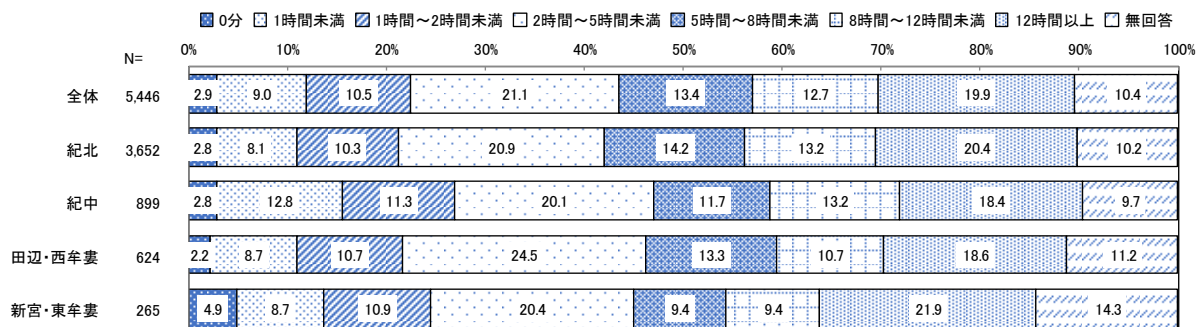
【父親/休日】

同居しているお子さま全員の世話に係る1日の配分時間について、「2時間～5時間未満」が21.1%で最も高く、次いで「12時間以上」が19.9%、「5時間～8時間未満」が13.4%となった。
母親の結果と比べると、母親は「12時間以上」が5割を超えており、顕著に差が表れている。



【地域別】

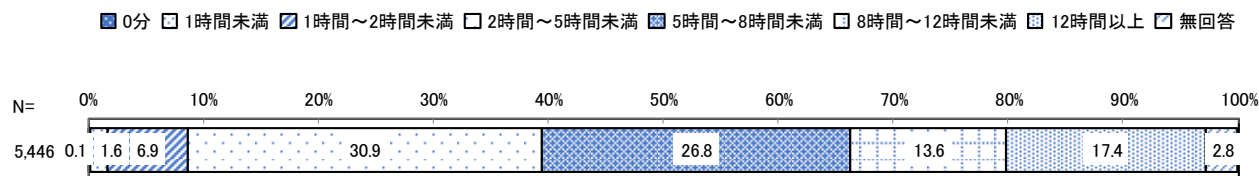
地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



【母親/平日】

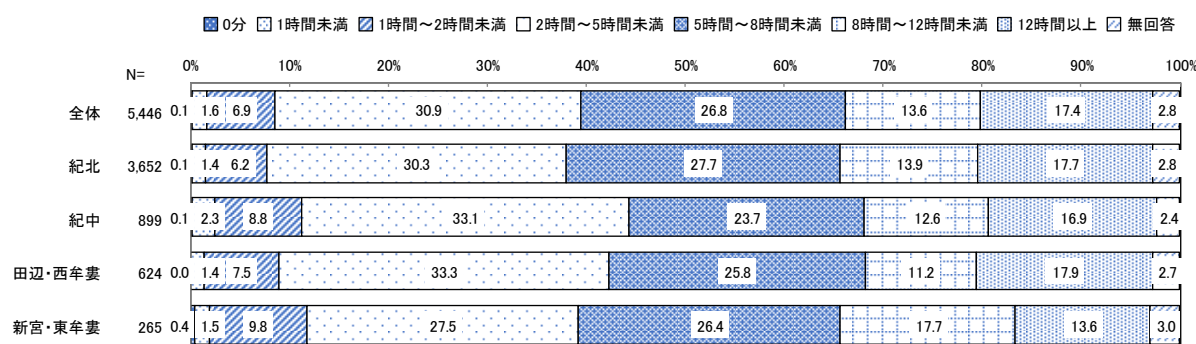
同居しているお子さま全員の世話に係る1日の配分時間について、「2時間～5時間未満」が30.9%で最も高く、次いで「5時間～8時間未満」が26.8%、「12時間以上」が17.4%となった。

父親の結果と比べ、より長時間子供の世話をしている傾向がある。父親では2時間未満までで6割を占めているが、母親は2時間以上が9割を占めており対照的な結果となった。



【地域別】

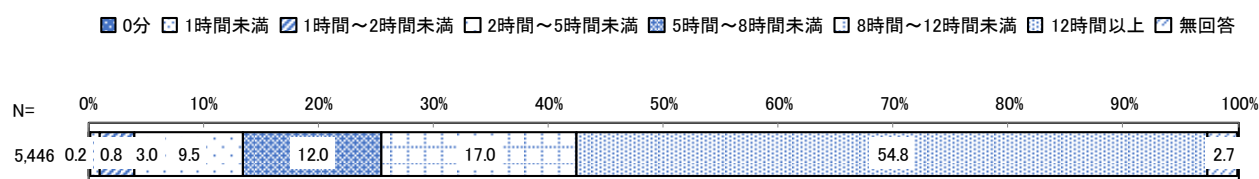
地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



【母親/休日】

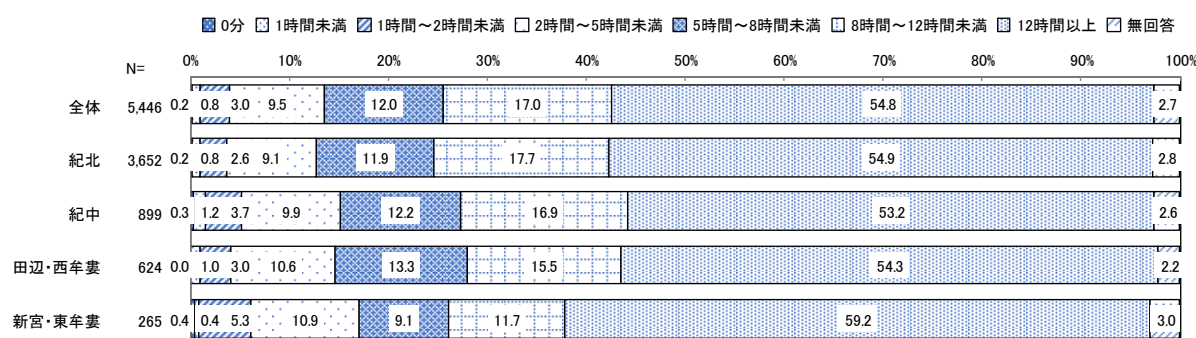
同居しているお子さま全員の世話に係る1日の配分時間について、「12時間以上」が54.8%で最も高く、次いで「8時間～12時間未満」が17.0%、「5時間～8時間未満」が12.0%となった。

父親の結果は比較的分散しており、人によって子供の世話をしている時間が異なる傾向がみられるが、母親は「12時間以上」が過半数で顕著に高く、多くの場合は長時間子供の世話をしていることがわかった。



【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「8時間～12時間未満」が全体よりも5.3ポイント低くなっている。

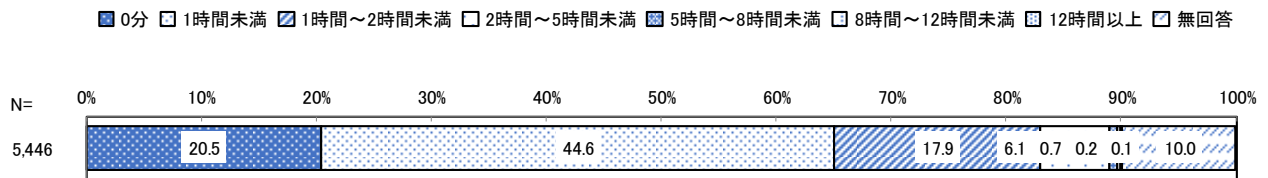


(23) 家事に係る1日の配分時間を平日・休日それぞれお答えください。【各項目〇は1つずつ】

【父親/平日】

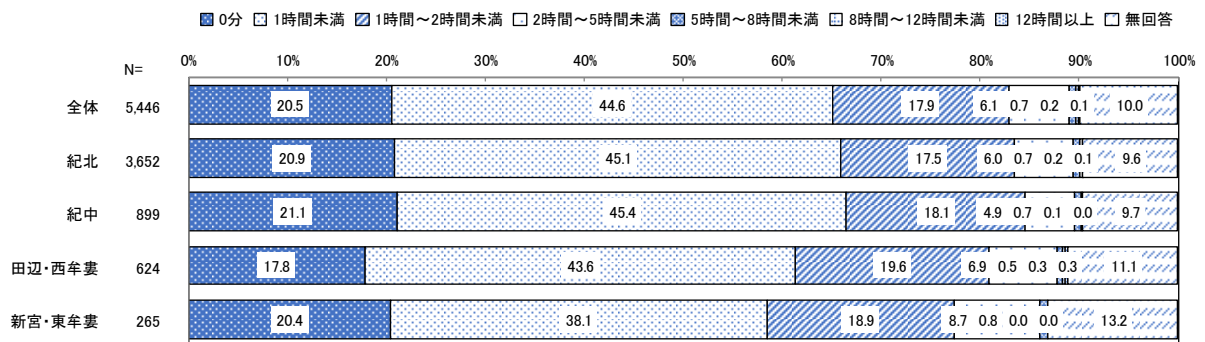
家事に係る1日の配分時間について、「1時間未満」が44.6%で最も高く、次いで「0分」が20.5%、「1時間～2時間未満」が17.9%となった。

母親の結果をみると、「0分」は0.1%、「1時間未満」は2.2%であり、対照的な結果となっている。



【地域別】

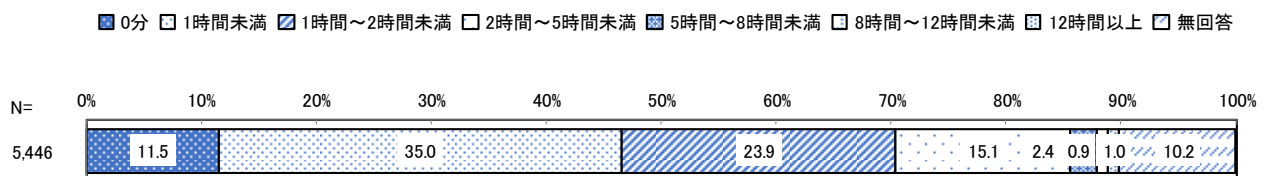
地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「1時間未満」が全体よりも6.5ポイント低くなっている。



【父親/休日】

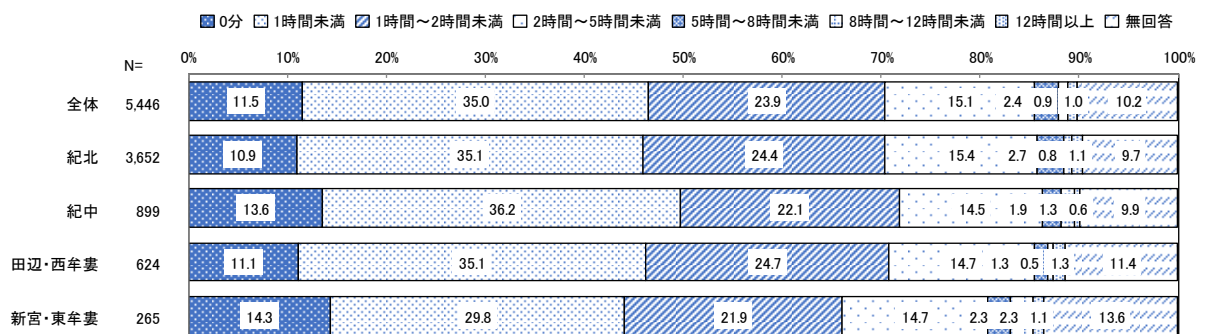
家事に係る1日の配分時間について、「1時間未満」が35.0%で最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が23.9%、「2時間～5時間未満」が15.1%となった。

母親の結果をみると、「0分」は0.1%、「1時間未満」は1.4%で、平日と同様に対照的な結果となっている。



【地域別】

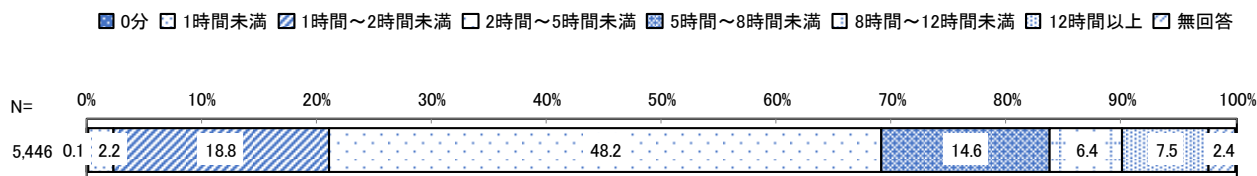
地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「1時間未満」が全体よりも5.2ポイント低くなっている。



【母親/平日】

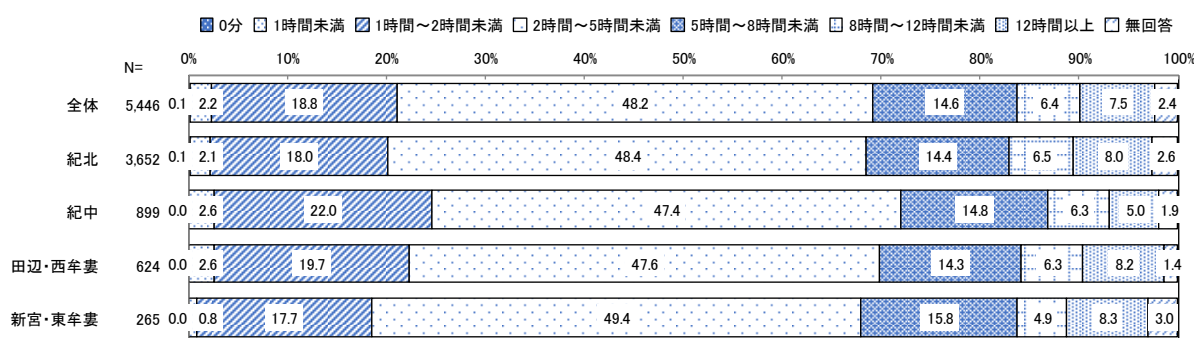
家事に係る1日の配分時間について、「2時間～5時間未満」が48.2%で最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が18.8%、「5時間～8時間未満」が14.6%となった。

父親の結果をみると、2時間以上との回答は合計しても1割未満であり、母親のほうが多く家事を行っている状況がみられた。



【地域別】

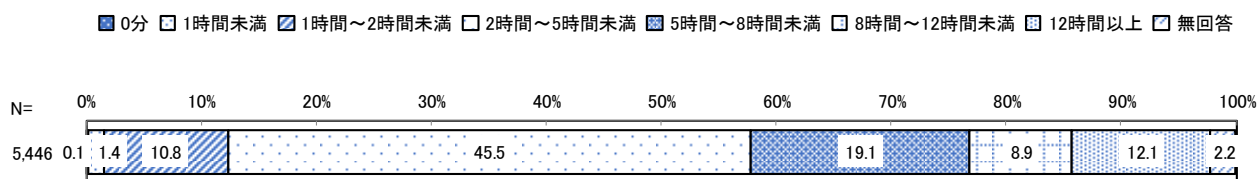
地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



【母親/休日】

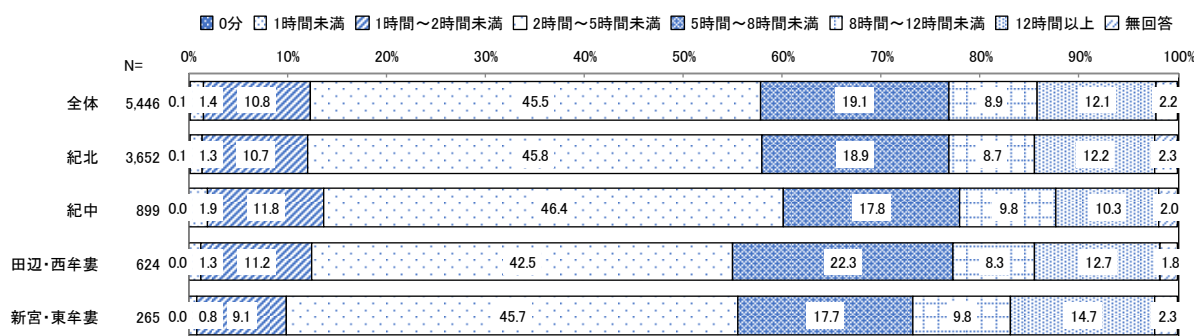
家事に係る1日の配分時間について、「2時間～5時間未満」が45.5%で最も高く、次いで「5時間～8時間未満」が19.1%、「12時間以上」が12.1%となった。

父親の結果をみると、2時間未満の回答が約7割を占めており、2時間以上が9割弱を占める母親と対照的な結果となった。



【地域別】

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。

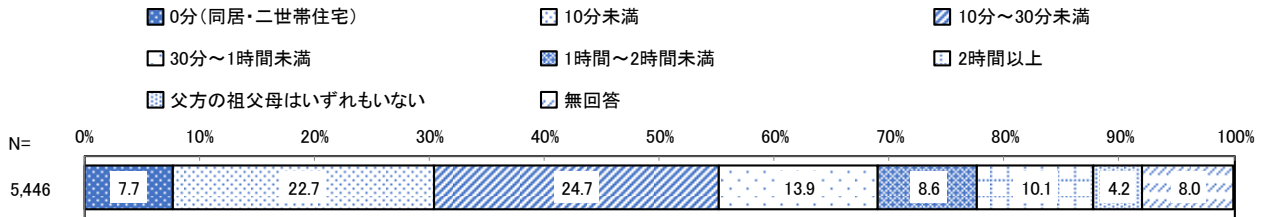


(24) お子さまの祖父母世帯の住居とあなたの住居とは、普段の交通手段でどのくらいかかりますか。

【○は1つ】

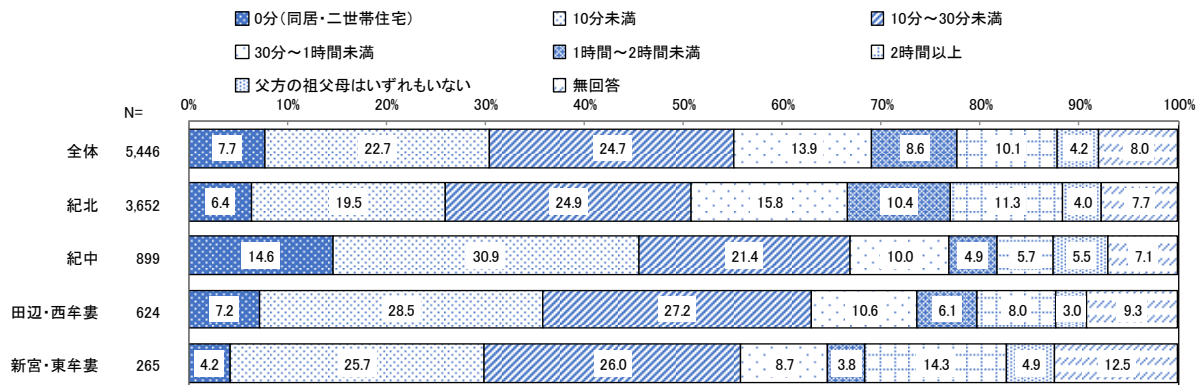
【父方の祖父母】

お子さまの祖父母世帯の住居とあなたの住居とでかかる交通手段の時間について、「10分～30分未満」が24.7%で最も高く、次いで「10分未満」が22.7%、「30分～1時間未満」が13.9%となった。



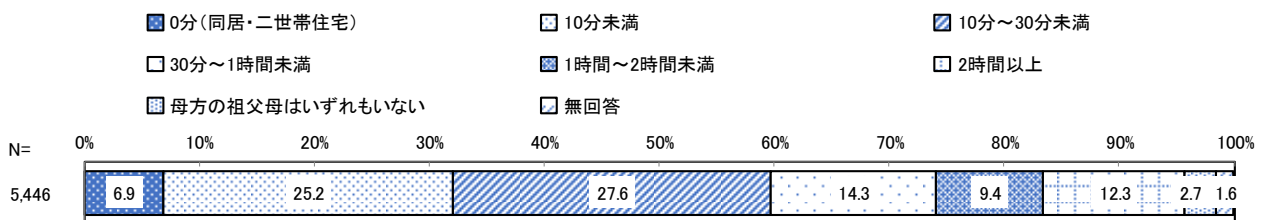
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「0分(同居・二世帯住宅)」が全体よりも6.9ポイント、「10分未満」が全体よりも8.2ポイント高くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「10分未満」が全体よりも5.8ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「30分～1時間未満」が全体よりも5.2ポイント低くなっている。



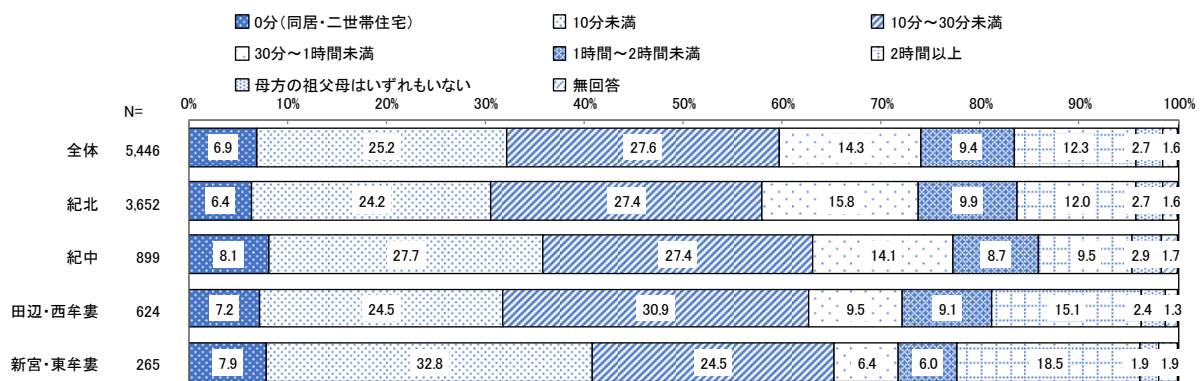
【母方の祖父母】

お子さまの祖父母世帯の住居とあなたの住居とでかかる交通手段の時間について、「10分～30分未満」が27.6%で最も高く、次いで「10分未満」が25.2%、「30分～1時間未満」が14.3%となった。



【地域別】

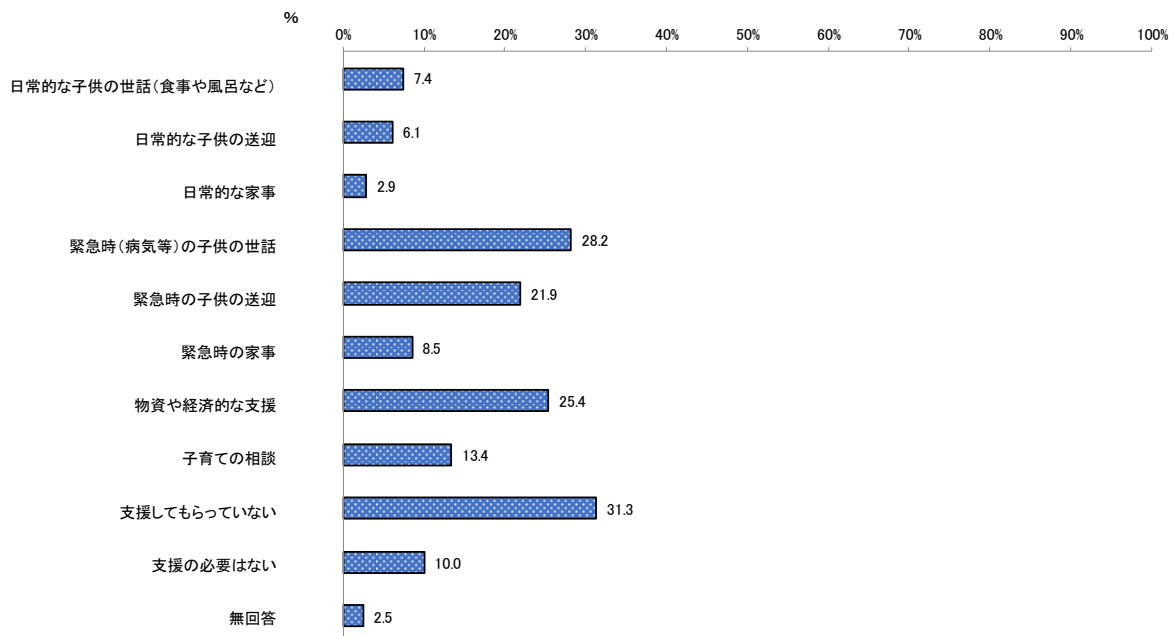
地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「10分未満」が全体よりも7.6ポイント、「2時間以上」が全体よりも6.2ポイント高くなっている。一方、「30分～1時間未満」が全体よりも7.9ポイント低くなっている。



(25) お子さまの祖父母世帯から子育て支援を受けていますか。受けている場合は具体的な支援の内容をお答えください。【当てはまる上位3つに○】

【父方の祖父母】

父方の祖父母から受けている支援について、「支援してもらっていない」が31.3%で最も高く、次いで「緊急時（病気等）の子供の世話」が28.2%、「物資や経済的な支援」が25.4%となった。



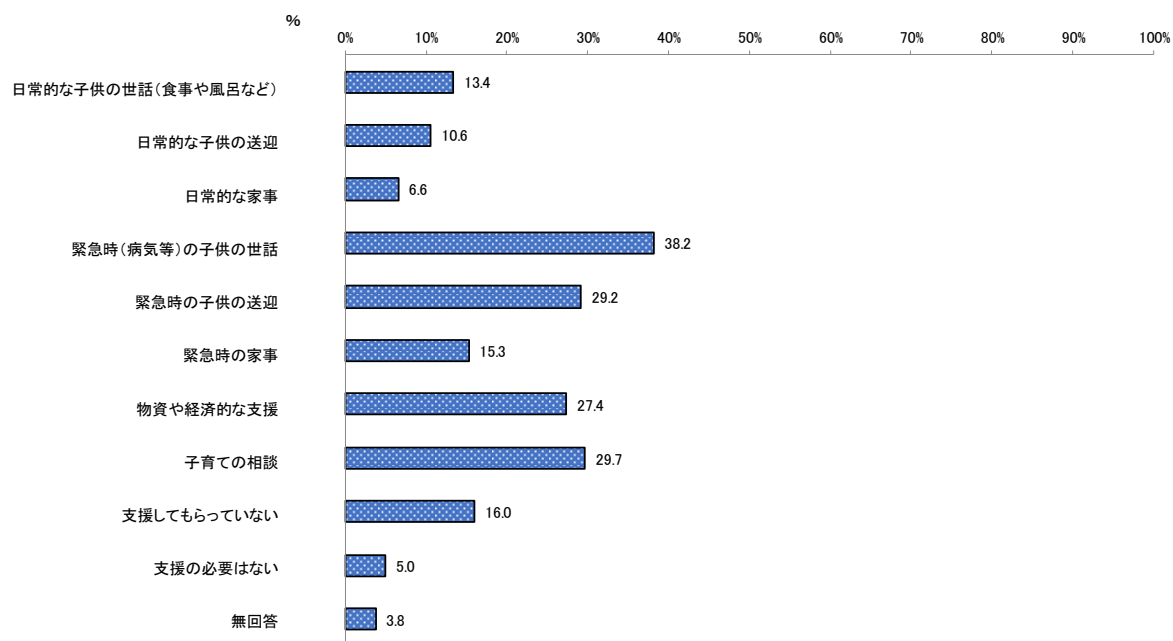
【地域別】

地域別にみると、〈紀北〉及び〈新宮・東牟婁〉では「支援してもらっていない」が最も高くなっている。一方、〈紀中〉及び〈田辺・西牟婁〉では「緊急時（病気等）の子供の世話」が最も高くなっている。

	全体	子育て支援を受けているか。受けている場合は具体的な支援の内容【父方の祖父母】											
		日常的な子供の世話(食事や風呂など)	日常的な子供の送迎	日常的な家事	緊急時(病気等)の子供の世話	緊急時の子供の送迎	緊急時の家事	物資や経済的な支援	子育ての相談	支援してもらっていない	支援の必要はない	無回答	
全体	4781	352	291	138	1348	1048	405	1213	640	1495	477	120	
	100.0	7.4	6.1	2.9	28.2	21.9	8.5	25.4	13.4	31.3	10.0	2.5	
地域別	紀北	3225	200	149	84	865	644	246	855	437	1073	311	78
	100.0	6.2	4.6	2.6	26.8	20.0	7.6	26.5	13.6	33.3	9.6	2.4	
	紀中	786	94	89	33	235	214	77	183	102	208	77	25
	100.0	12.0	11.3	4.2	29.9	27.2	9.8	23.3	13.0	26.5	9.8	3.2	
	田辺・西牟婁	547	42	37	13	187	142	58	127	75	156	51	10
100.0	7.7	6.8	2.4	34.2	26.0	10.6	23.2	13.7	28.5	9.3	1.8		
新宮・東牟婁	219	16	16	8	57	46	24	47	25	58	38	7	
100.0	7.3	7.3	3.7	26.0	21.0	11.0	21.5	11.4	26.5	17.4	3.2		

【母方の祖父母】

母方の祖父母から受けている支援について、「緊急時（病気等）の子供の世話」が38.2%で最も高く、次いで「子育ての相談」が29.7%、「緊急時の子供の送迎」が29.2%となった。



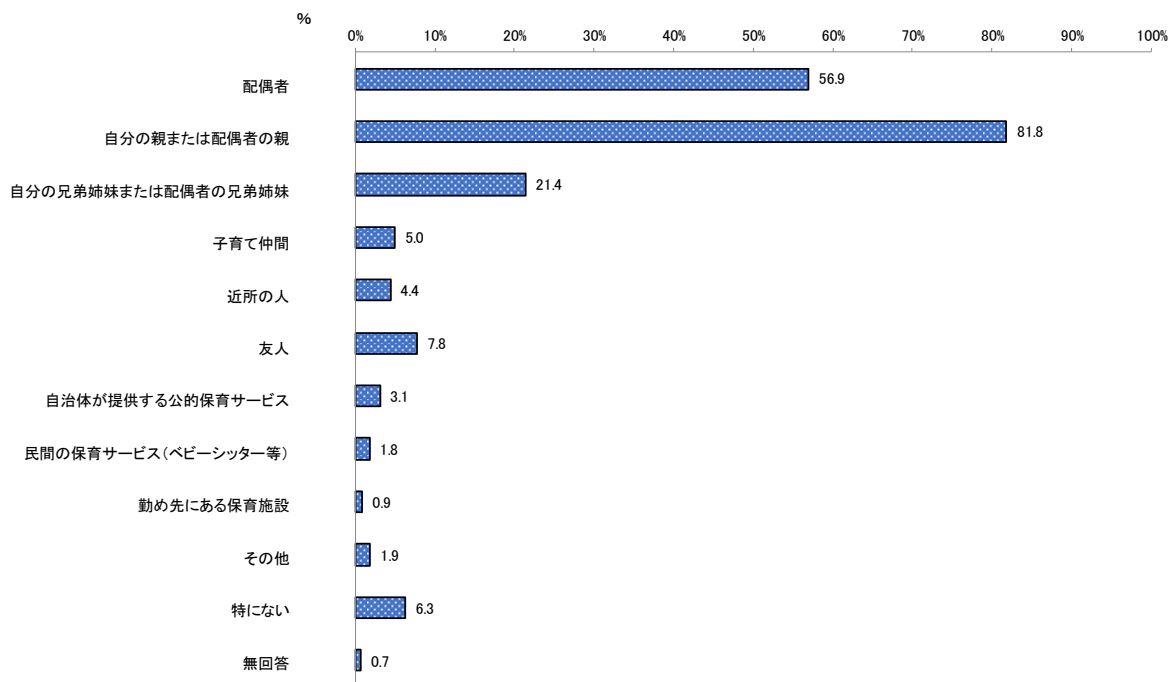
【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「緊急時（病気等）の子供の世話」が最も高くなっている。また、〈新宮・東牟婁〉では「緊急時の子供の送迎」も同率で最も高くなっている。

	全体	子育て支援を受けているか。受けている場合は具体的な支援の内容【母方の祖父母】											
		日常的な子供の世話(食事や風呂など)	日常的な子供の送迎	日常的な家事	緊急時(病気等)の子供の世話	緊急時の子供の送迎	緊急時の家事	物資や経済的な支援	子育ての相談	支援してもらっていない	支援の必要はない	無回答	
全体	5213	701	553	346	1990	1520	795	1427	1547	833	259	199	
	100.0	13.4	10.6	6.6	38.2	29.2	15.3	27.4	29.7	16.0	5.0	3.8	
地域別	紀北	3495	457	358	229	1376	1015	550	998	1053	557	167	117
		100.0	13.1	10.2	6.6	39.4	29.0	15.7	28.6	30.1	15.9	4.8	3.3
	紀中	858	111	112	53	301	260	111	230	271	134	36	46
		100.0	12.9	13.1	6.2	35.1	30.3	12.9	26.8	31.6	15.6	4.2	5.4
	田辺・西牟婁	601	90	56	49	233	166	96	139	163	99	31	24
	100.0	15.0	9.3	8.2	38.8	27.6	16.0	23.1	27.1	16.5	5.2	4.0	
新宮・東牟婁	255	42	27	15	77	77	37	60	60	43	24	12	
	100.0	16.5	10.6	5.9	30.2	30.2	14.5	23.5	23.5	16.9	9.4	4.7	

(26) 急用の際などに、子供を預けることができる人はいますか。【該当するものすべてに○】

急用の際などに、子供を預けることができる人がいるかについて、「自分の親または配偶者の親」が81.8%で最も高く、次いで「配偶者」が56.9%、「自分の兄弟姉妹または配偶者の兄弟姉妹」が21.4%となった。



【全国値】

少子化社会に関する意識調査をみると、「自分の親または配偶者（パートナー）の親」が59.1%で最も高く、次いで「配偶者（パートナー）」が39.2%、「自分の兄弟姉妹または配偶者（パートナー）の兄弟姉妹」が12.0%となった（ただし、割合としては「特になし」が19.9%で3番目に高い）。

全国と和歌山県で上位3項目は同様だが、和歌山県では「自分の親または配偶者の親」が81.8で全国結果に比べて顕著に高くなっている。また、県では「配偶者（パートナー）」が56.9%でこちらも全国よりも20ポイント弱高い。

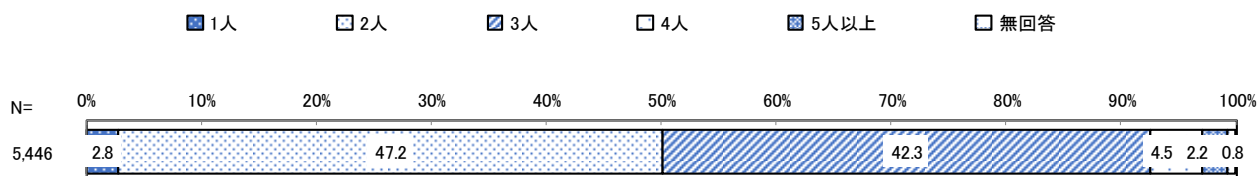
【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「自分の親または配偶者の親」が最も高くなっている。

	全体	急用の際などに、子供を預けることができる人はいますか												
		配偶者	自分の親または配偶者の親	自分の兄弟姉妹または配偶者の兄弟姉妹	子育て仲間	近所の人	友人	自治体が提供する公的保育サービス	民間の保育サービス(ベビーシッター等)	勤め先にある保育施設	その他	特になし	無回答	
全体	5446	3099	4457	1168	275	240	425	170	96	50	106	343	40	
	100.0	56.9	81.8	21.4	5.0	4.4	7.8	3.1	1.8	0.9	1.9	6.3	0.7	
地域別	紀北	3652	2059	2967	752	192	179	295	89	70	35	74	246	22
		100.0	56.4	81.2	20.6	5.3	4.9	8.1	2.4	1.9	1.0	2.0	6.7	0.6
	紀中	899	541	770	236	31	23	49	42	9	9	17	33	12
		100.0	60.2	85.7	26.3	3.4	2.6	5.5	4.7	1.0	1.0	1.9	3.7	1.3
	田辺・西牟婁	624	349	505	129	37	24	50	23	17	5	6	49	3
	100.0	55.9	80.9	20.7	5.9	3.8	8.0	3.7	2.7	0.8	1.0	7.9	0.5	
新宮・東牟婁	265	147	211	50	15	13	29	16	-	-	9	15	2	
	100.0	55.5	79.6	18.9	5.7	4.9	10.9	6.0	-	-	3.4	5.7	0.8	

(27) 理想的だと思う子供の数は何人ですか。【〇は1つ】

理想的だと思う子供の数について、「2人」が47.2%で最も高く、次いで「3人」が42.3%、「4人」が4.5%となった。

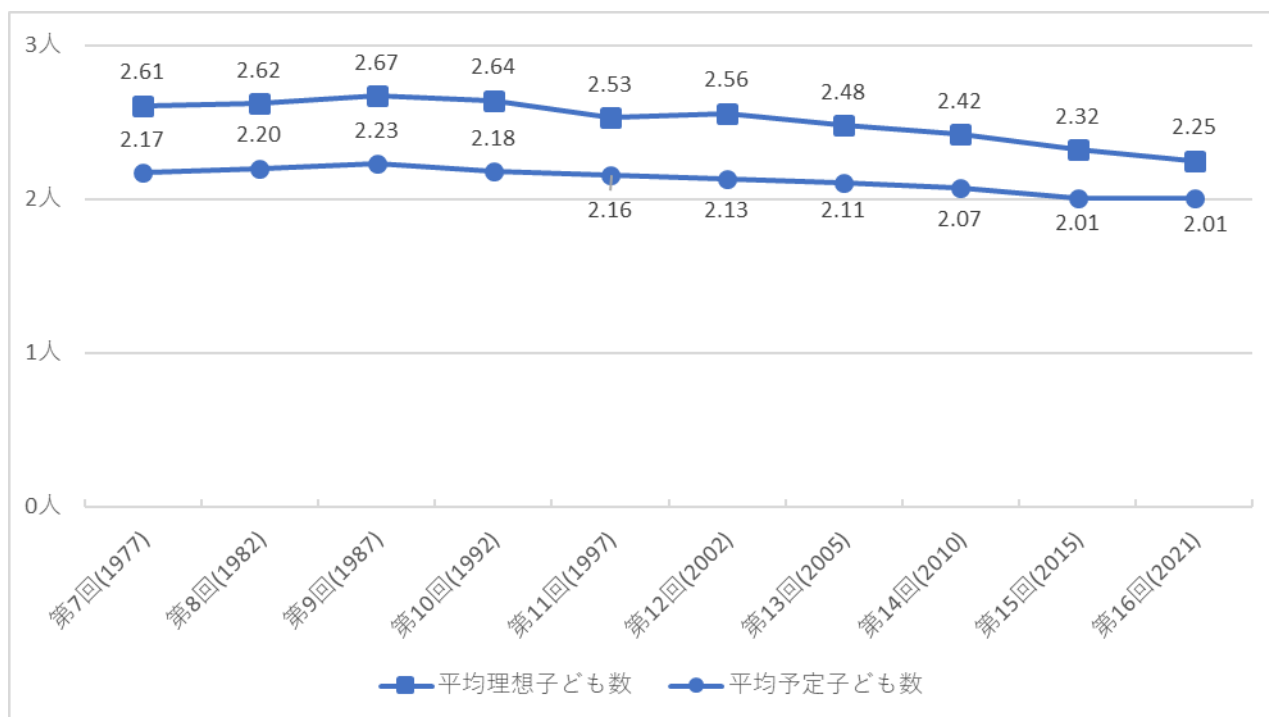


【全国値】

出生動向基本調査において、夫婦の平均理想子供数は2000年代以降、ゆるやかに低下してきている。前回調査との比較でも、平均理想子供数は前回調査の2.32人から2.25人へと小幅な低下がみられた。一方、1990年代以降、漸減傾向が続いてきた平均予定子供数については、今回調査は前回と同じ2.01人であった。

本調査においては、結婚に関する意識調査／子育てに関する意識調査いずれも、理想的だと思う子供の数は「2人」が最も高い(※)。また、「3人」との回答も比較的高いことから、本県においては、全国調査に比べてより多くの子供をもちたいと考えている人が多い可能性がある。

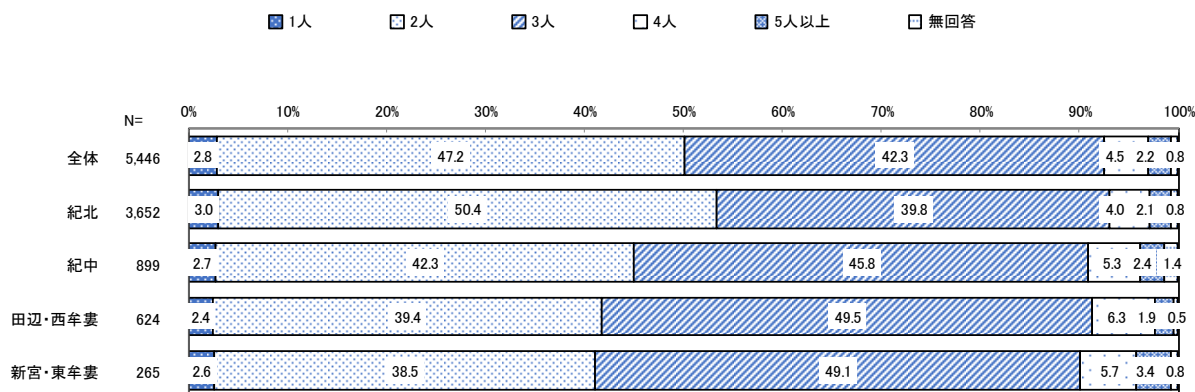
※: 出生動向基本調査と異なり、本調査は選択式の設問



出典：第16回出生動向基本調査

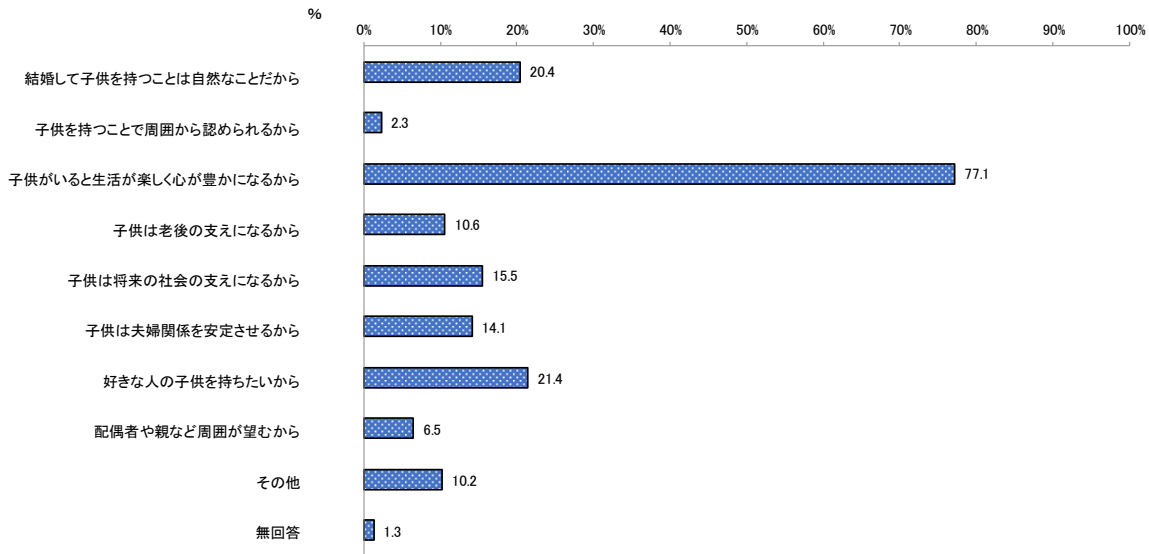
【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「2人」が全体よりも7.8ポイント低く、「3人」が全体よりも7.2ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「2人」が全体よりも8.7ポイント低く、「3人」が全体よりも6.8ポイント高くなっている。



(28) 問27で回答いただいた理想的な子供の数について、そう考える理由は何ですか。【該当するものすべてに○】

理想的な子供の数について、そう考える理由は、「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が77.1%で最も高く、次いで「好きな人の子供を持ちたいから」が21.4%、「結婚して子供を持つことは自然なことだから」が20.4%となった。

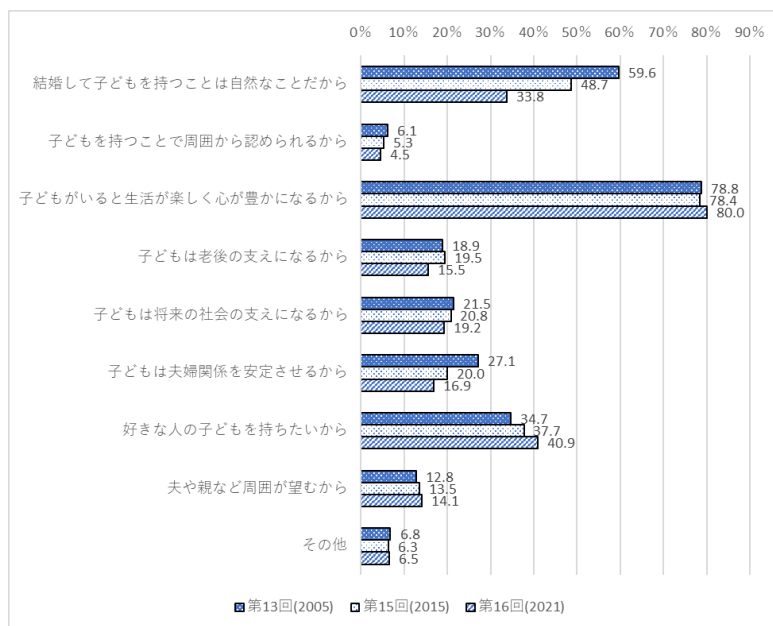


【全国値】

出生動向基本調査において子供を持つ理由の結果をみると、一貫して最も選択されているのは「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」であり、どの調査回でも8割程度の夫婦が選択している。一方、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」「子どもは夫婦関係を安定させるから」といった考え方については、近年ほど選択率が下がっている。

本調査でも同様に「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」が最も高く、結婚に関する意識調査では77.4%、子育てに関する意識調査では77.1%となった。

また、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」は、第16回出生動向基本調査が33.8%に対し、結婚に関する意識調査が19.2%、子育てに関する意識調査が20.4%と、和歌山県のほうがより顕著に低い結果が出ている。こうした考え方の変化は、本県においてより進んでいる可能性がある。(ただし、第16回出生動向基本調査は2021年実施、本調査が2023年実施と、年度の違いによる要因にも留意が必要と思われる)



出典：第16回出生動向基本調査

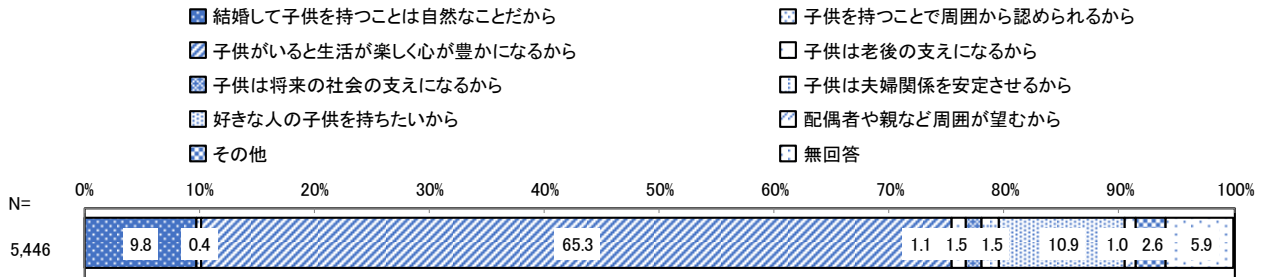
【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が最も高くなっている。

	全 体	問27で回答いただいた理想的な子供の数について、そう考える理由は何ですか										
		結婚して子供を持つことは自然なことだから	子供を持つことで周囲から認められるから	子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから	子供は老後の支えになるから	子供は将来の社会の支えになるから	子供は夫婦関係を安定させるから	好きな人の子供を持ちたいから	配偶者や親など周囲が望むから	その他	無回答	
全 体	5446	1113	125	4197	577	846	768	1164	354	554	72	
	100.0	20.4	2.3	77.1	10.6	15.5	14.1	21.4	6.5	10.2	1.3	
地域別	紀北	3652	739	84	2833	378	571	507	793	245	368	41
		100.0	20.2	2.3	77.6	10.4	15.6	13.9	21.7	6.7	10.1	1.1
	紀中	899	202	22	685	111	144	144	184	64	84	21
		100.0	22.5	2.4	76.2	12.3	16.0	16.0	20.5	7.1	9.3	2.3
	田辺・西牟婁	624	123	15	474	60	80	85	137	29	69	6
		100.0	19.7	2.4	76.0	9.6	12.8	13.6	22.0	4.6	11.1	1.0
	新宮・東牟婁	265	46	4	201	25	48	31	47	15	33	4
		100.0	17.4	1.5	75.8	9.4	18.1	11.7	17.7	5.7	12.5	1.5

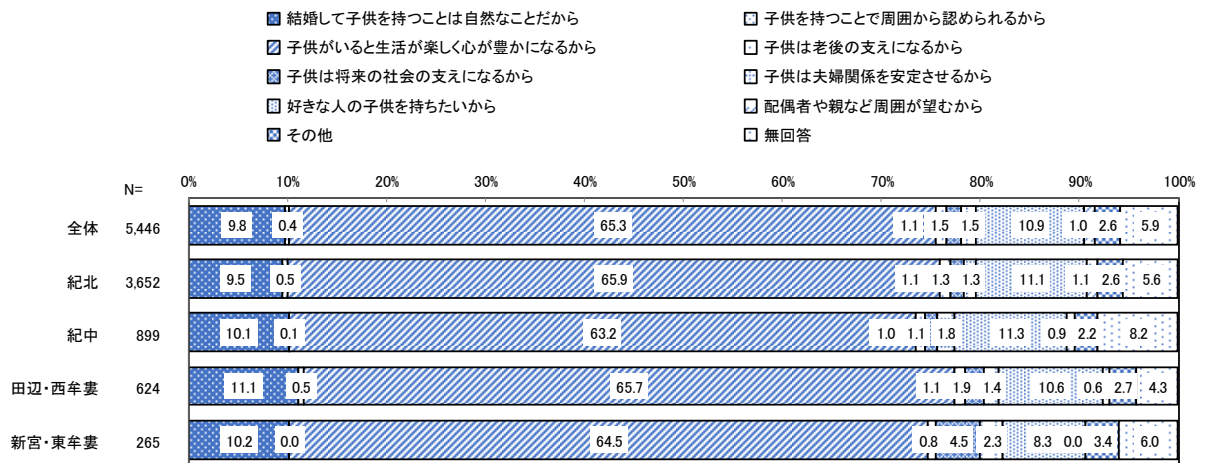
(29) 子供を持ちたいと思う最も大きな理由は何ですか。【〇は1つ】

子供を持ちたいと思う最も大きな理由について、「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」が65.3%で最も高く、次いで「好きな人の子供を持ちたいから」が10.9%、「結婚して子供を持つことは自然なことだから」が9.8%となった。



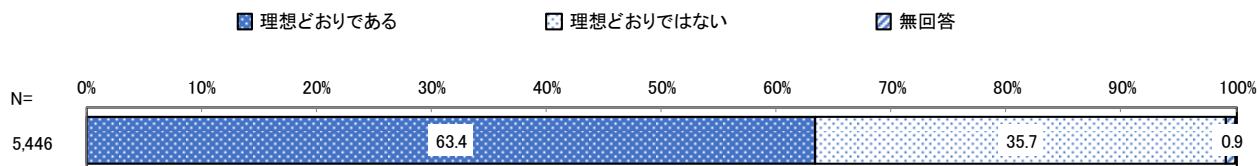
【地域別】

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



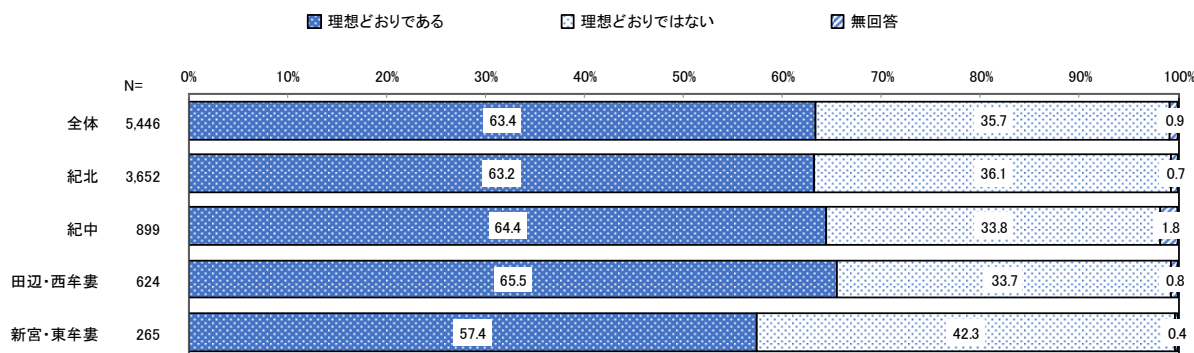
(30) 理想的な子供の数を、現実を持つことができますか。

理想的な子供の数を、現実を持つことができるかについて、「理想どおりである」が63.4%、「理想どおりではない」が35.7%となった。



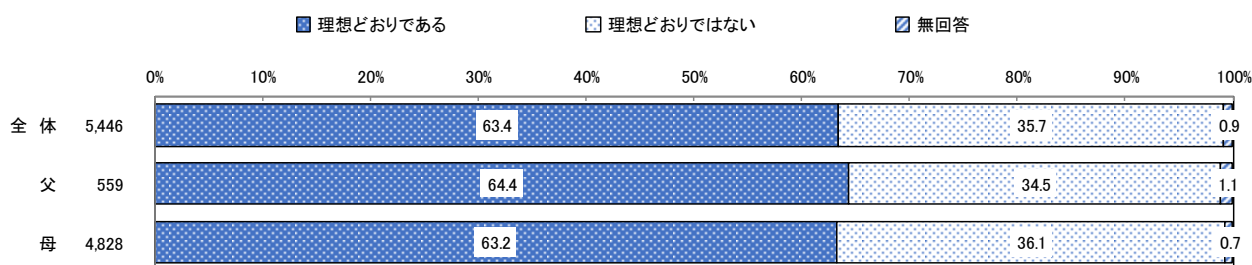
【地域別】

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「理想どおりである」が全体よりも6.0ポイント低く、「理想どおりではない」が全体よりも6.6ポイント高くなっている。



【父母別】

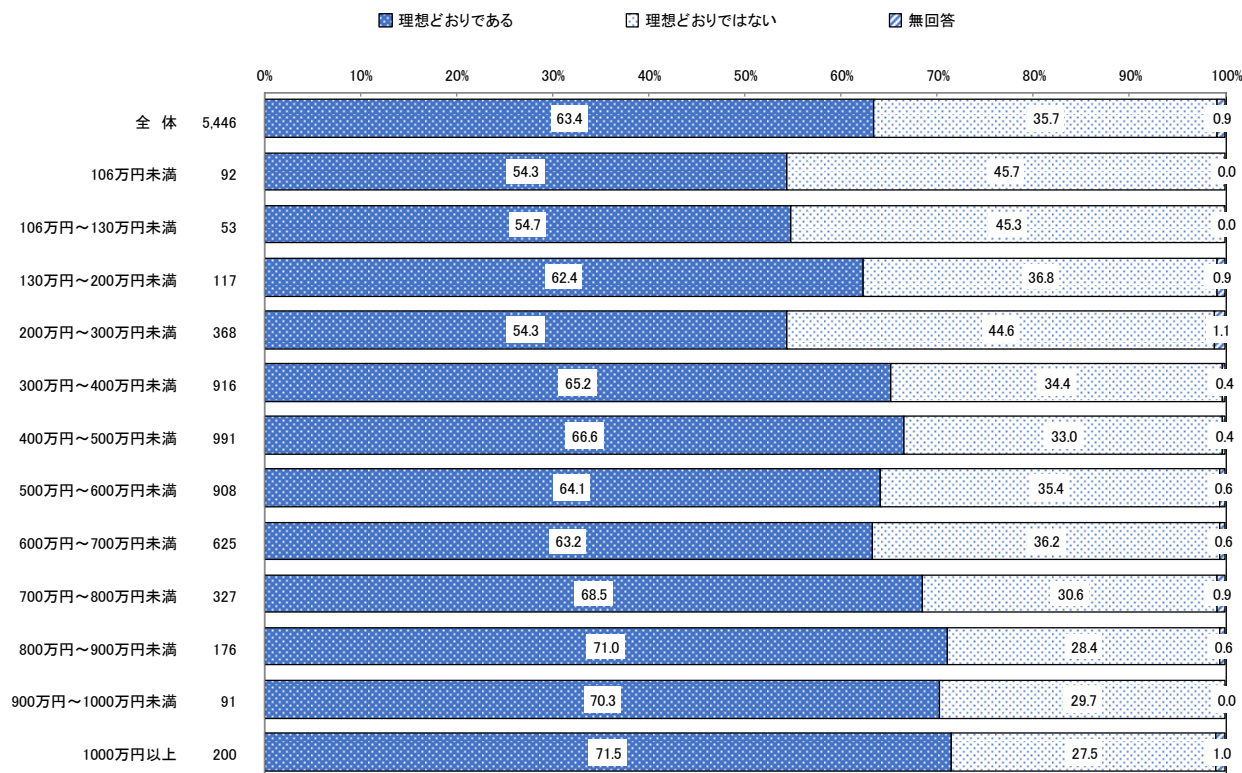
父母別（※）にみると、父親・母親で大きな傾向の差はみられない。



※ 「問(1)子供からみたアンケート回答者の続柄」を問う設問において、「1.父」「2.母」と回答した方を対象に集計した結果

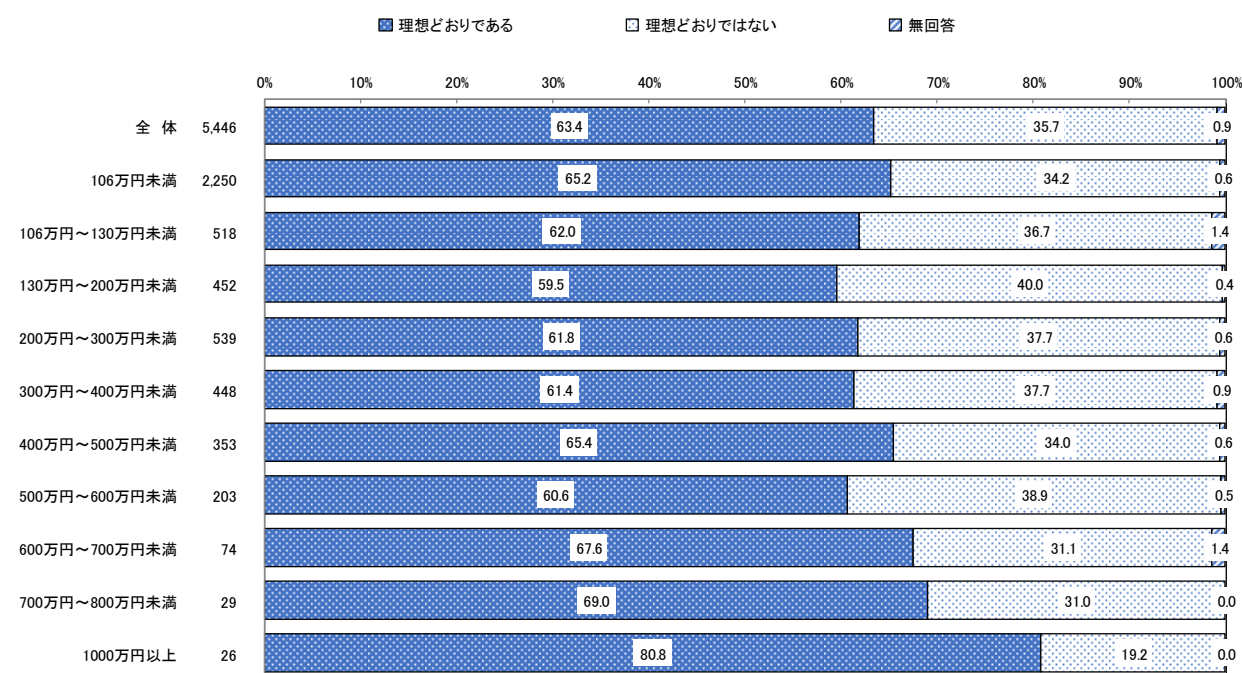
【父親年収別】

父親の年収別にみると、年収が高いほうが「理想どおりである」と回答する割合が高い傾向がある。年収 700 万円以上では 7 割前後と高いが、年収 300 万円未満では 6 割に満たないケースもみられる。



【母親年収別】

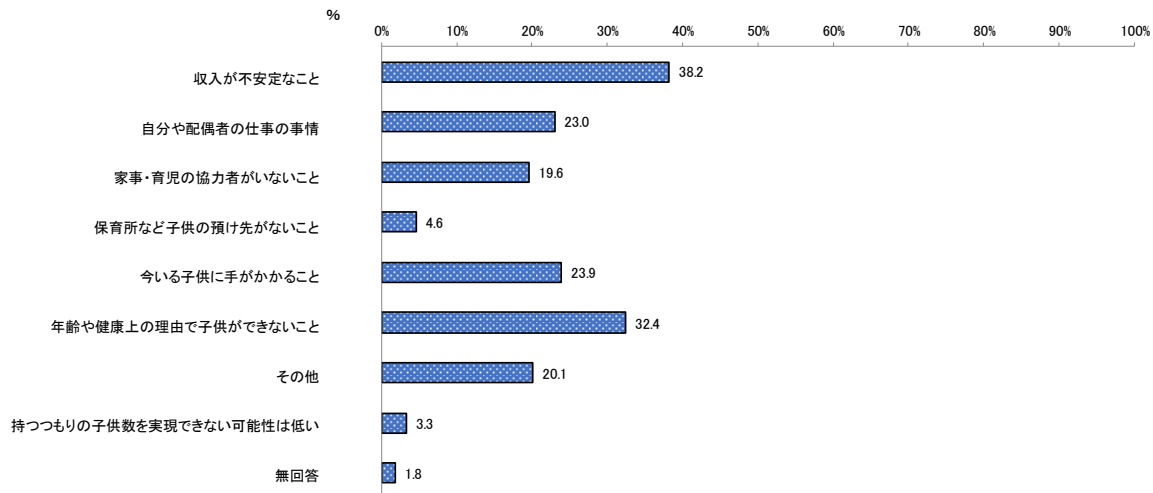
母親の年収別では、「1000 万円以上」は 8 割を超えているが、そのほかは 6 割台で「全体」の結果と大きな差はみられなかった。(※サンプル数 10 件以下の項目は極端な結果が出ている可能性があるため分析対象から除外した)



※母親年収別の結果について、「800 万円～900 万円未満」「900 万円～1000 万円未満」は、サンプル数 10 件以下のため非掲載。

(31) 理想的な子供の数が現実に持てていない原因は何ですか。【該当するものすべてに○】

理想的な子供の数が現実に持てていない原因について、「収入が不安定なこと」が38.2%で最も高く、次いで「年齢や健康上の理由で子供ができないこと」が32.4%、「今いる子供に手がかかること」が23.9%となった。



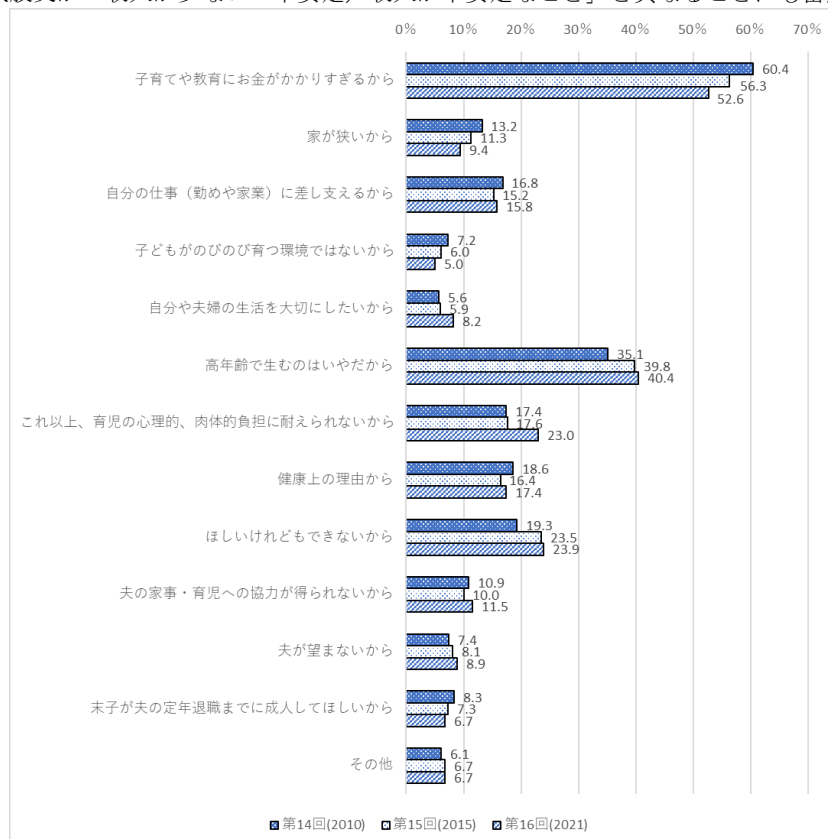
【全国値】

出生動向基本調査において、理想の数の子供を実際には持たない理由として最も選択率が高いのは「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」という経済的理由で、選択率は52.6%であった。

本調査も経済的な理由が最も割合が高いという点が共通しており（※）、全国・和歌山県いずれも子育てにおける大きな課題となっていることがわかる。ただし、和歌山県の子育て調査では38.2%と比較的低い数値のため、実際の子育て家庭では経済的な課題は比較的小さい可能性がある。

また、結婚調査は、調査対象者が比較的若いことからか、69.3%と全国値より高い結果になっている。

※和歌山県では、選択肢文が「収入が少ない・不安定／収入が不安定なこと」と異なることにも留意が必要



出典：第16回出生動向基本調査

【地域別】

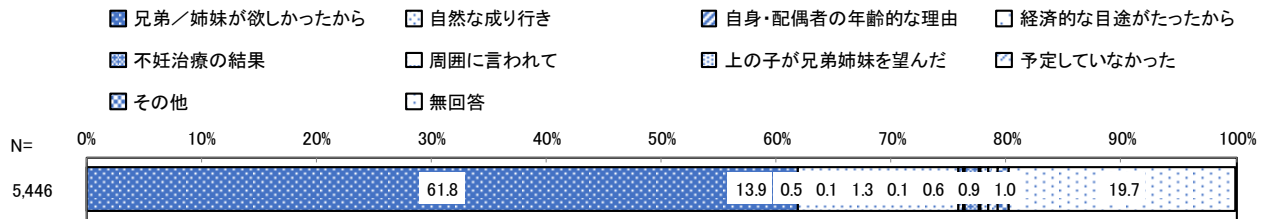
地域別にみると、すべての地域で「収入が不安定なこと」が最も高くなっている。

	全 体	理想的な子供の数が現実に持てていない原因は何ですか									
		収入が不安定なこと	自分や配偶者の仕事の事情	家事・育児の協力者がいないこと	保育所など子供の預け先がないこと	今いる子供に手がかかること	年齢や健康上の理由で子供ができないこと	その他	持つつもりの子供数を実現できない可能性は低い	無回答	
全 体	1946	743	448	382	90	466	631	392	65	35	
	100.0	38.2	23.0	19.6	4.6	23.9	32.4	20.1	3.3	1.8	
地域別	紀北	1318	509	304	275	71	326	432	273	38	21
		100.0	38.6	23.1	20.9	5.4	24.7	32.8	20.7	2.9	1.6
	紀中	304	119	67	48	7	73	95	47	11	10
		100.0	39.1	22.0	15.8	2.3	24.0	31.3	15.5	3.6	3.3
	田辺・西牟婁	210	76	49	35	6	43	70	45	12	3
		100.0	36.2	23.3	16.7	2.9	20.5	33.3	21.4	5.7	1.4
	新宮・東牟婁	112	38	26	24	6	23	34	27	4	1
		100.0	33.9	23.2	21.4	5.4	20.5	30.4	24.1	3.6	0.9

(32) 第2子・第3子をご出産されたきっかけをお答えください。【最も当てはまる1つに○】

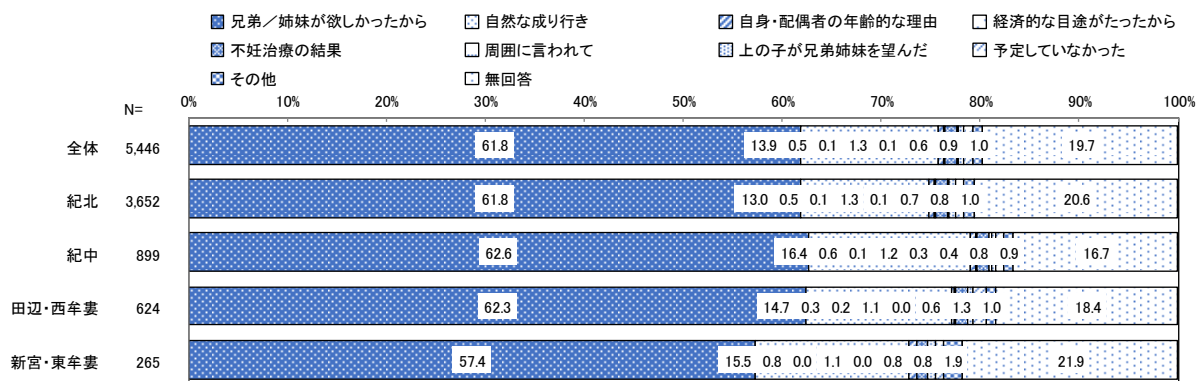
【第2子】

第2子をご出産されたきっかけについて、「兄弟／姉妹が欲しかったから」が61.8%で最も高く、次いで「自然な成り行き」が13.9%、「不妊治療の結果」が1.3%となった。



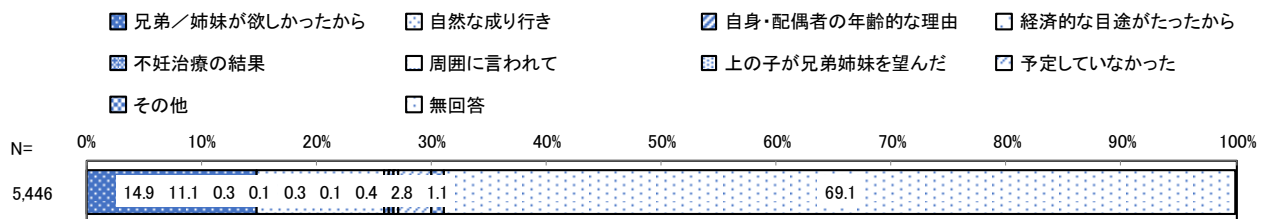
【地域別】

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



【第3子】

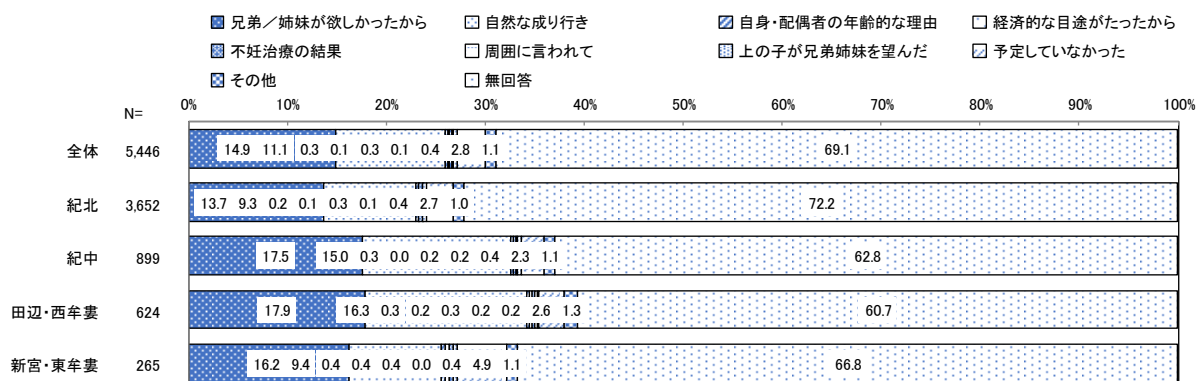
第3子をご出産されたきっかけについて、「兄弟／姉妹が欲しかったから」が14.9%で最も高く、次いで「自然な成り行き」が11.1%、「予定していなかった」が2.8%となった。



※「無回答」の割合が比較的多くなっているが、第2子・第3子がない対象者が回答しなかったためと考えられる。

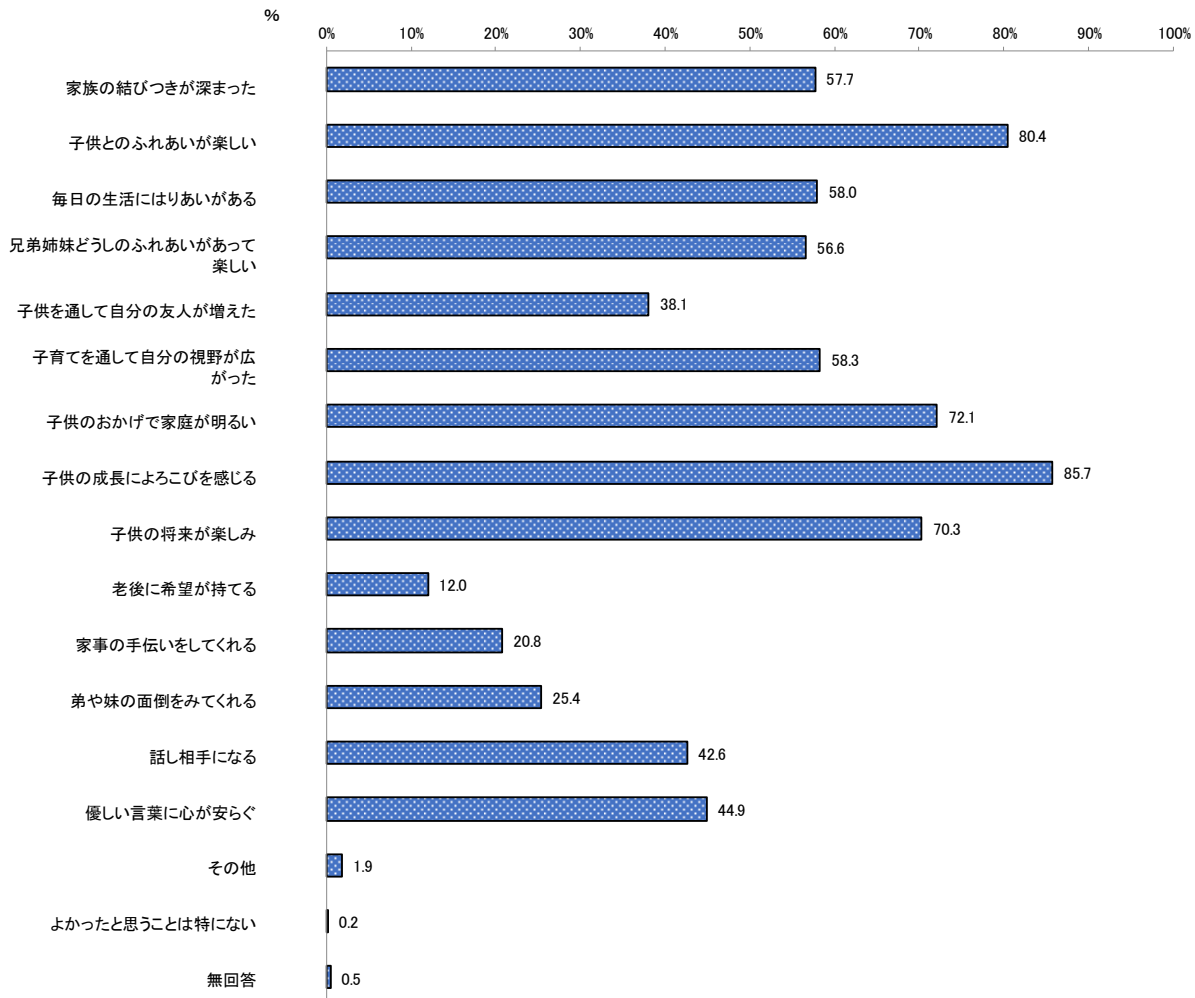
【地域別】

地域別にみると、〈田辺・西牟婁〉では「自然な成り行き」が全体よりも5.2ポイント高くなっている。



(33) 子供がいてよかったと思うことは何ですか。【該当するものすべてに○】

子供がいてよかったと思うことについて、「子供の成長によるこびを感じる」が 85.7%で最も高く、次いで「子供とのふれあいが楽しい」が 80.4%、「子供のおかげで家庭が明るい」が 72.1%となった。



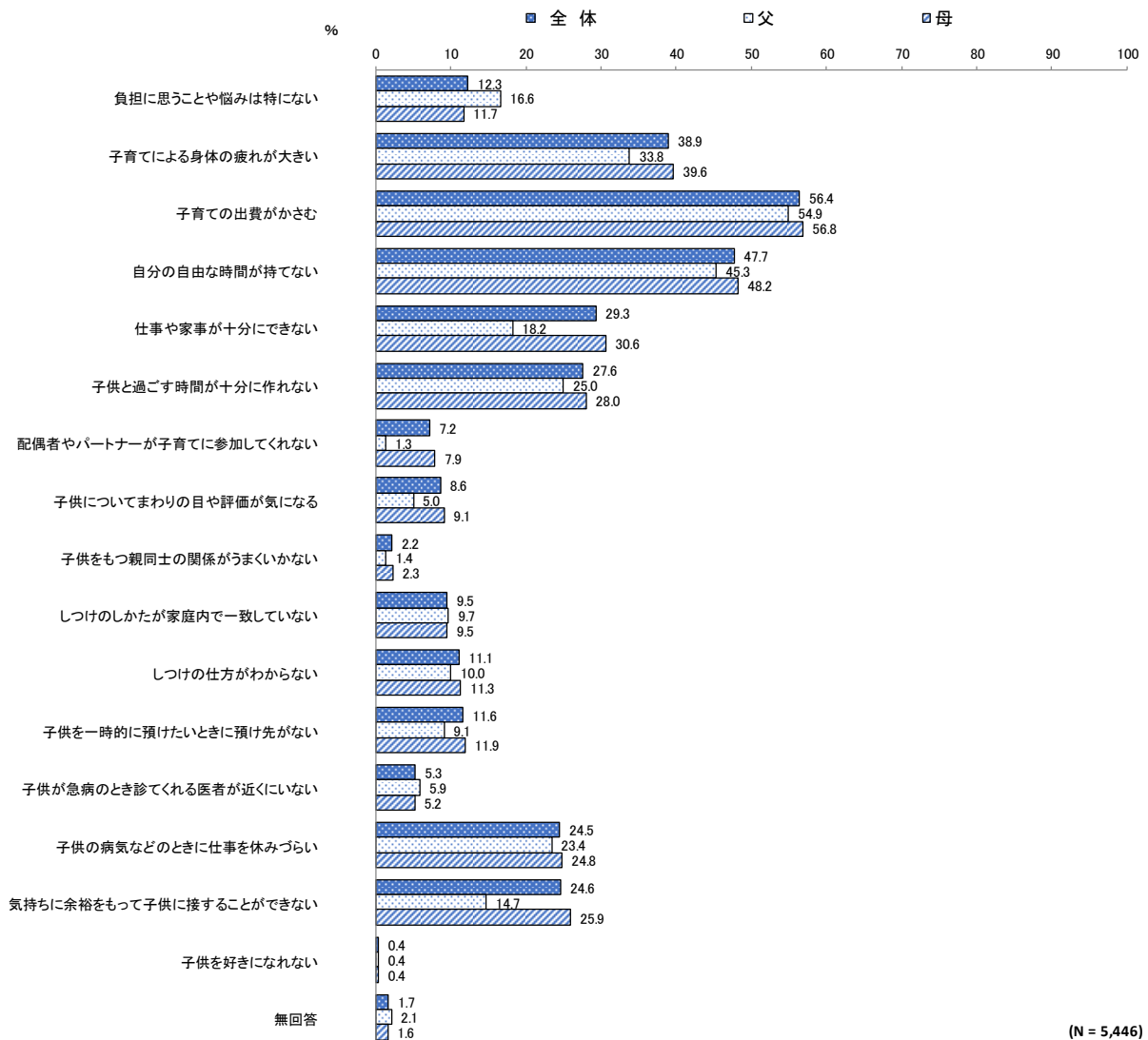
【全国値】

21世紀出生時縦断調査をみると、「子どもの成長によるこびを感じる」が 84.0%で最も高く、次いで「子どもとのふれあいが楽しい」が 77.0%、「子どものおかげで家庭が明るい」が 73.8%となっている。全国と和歌山県で、それぞれ上位3項目が同様であり、また構成比も類似した結果となった。

(34) 子供を育てていて負担に思うことや悩みはありますか。【該当するものすべてに○】

子供を育てていて負担に思うことや悩みについて、「子育ての出費がかさむ」が56.4%で最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」が47.7%、「子育てによる身体の疲れが大きい」が38.9%となった。

父母別にみると、父親は「仕事や家事が十分にできない」「気持ちに余裕をもって子供に接することができない」の割合が比較的低くなっている。



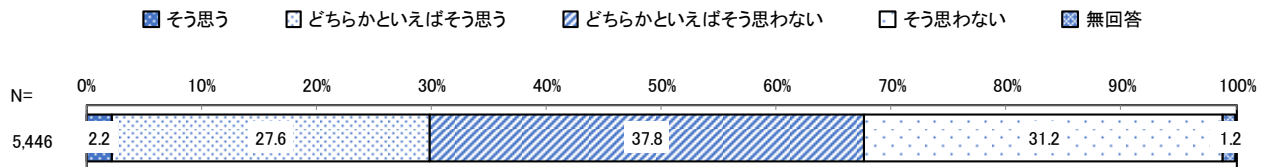
【全国値】

21世紀出生時縦断調査をみると、「子育ての出費がかさむ」が42.7%で最も高く、次いで「子どもと過ごす時間が十分に作れない」が22.2%、「自分の自由な時間が持てない」が16.6%となっている。また、和歌山県で3番目に高い「子育てによる身体の疲れが大きい」は、全国では14.3%で4番目に高い項目となった。

全国と和歌山県の結果を比較すると、上位に入っている項目は同様だが、全体的に、県のほうが全国に比べ、より多くの負担や悩みを回答している結果となった。

(35) あなたは日本の社会は結婚、妊娠、子供・子育てにやさしい社会だと思いますか。【○は1つ】

日本の社会は結婚、妊娠、子供・子育てにやさしい社会だと思うかについて、「どちらかといえばそう思わない」が37.8%で最も高く、次いで「そう思わない」が31.2%、「どちらかといえばそう思う」が27.6%となった。



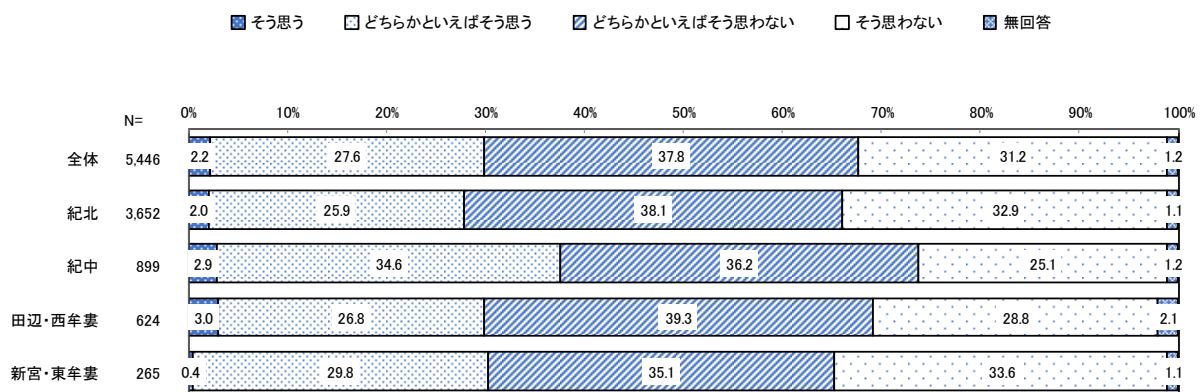
【全国値】

少子化社会対策に関する意識調査をみると、日本の社会が、結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会の実現に向かっていると考えるか、という設問に対し、「どちらかといえばそう思わない」が44.1%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.4%、「そう思わない」が26.2%となっている。

全国と和歌山県の結果を比較すると、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計がどちらも約7割と近い割合になっている。個別の選択肢をみると、やや和歌山県のほうが「そう思わない」の割合が高いが、いずれにしても、日本の社会がやさしい社会と感じていない傾向は類似している。

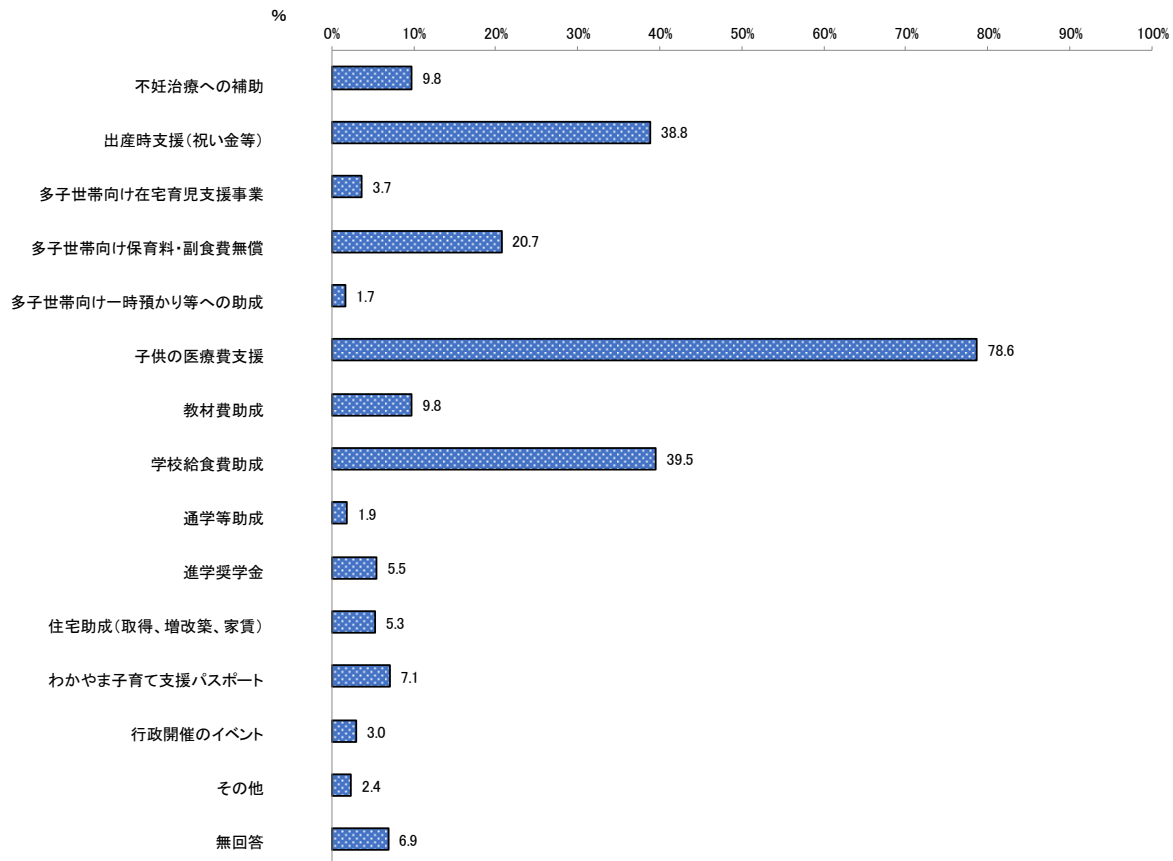
【地域別】

地域別にみると、〈紀中〉では「どちらかといえばそう思う」が全体よりも7.0ポイント高く、「そう思わない」が全体よりも6.1ポイント低くなっている。



(36) 和歌山県、県内市町村が実施している子育て支援で役立ったもの、役に立つと思うものをお答えください。【当てはまる上位3つに○】※全国一律の支援ではなく、和歌山県、県内市町村が実施している支援に限定してご回答ください。

和歌山県、県内市町村が実施している子育て支援で役立ったもの、役に立つと思うものについて、「子供の医療費支援」が78.6%で最も高く、次いで「学校給食費助成」が39.5%、「出産時支援（祝い金等）」が38.8%となった。



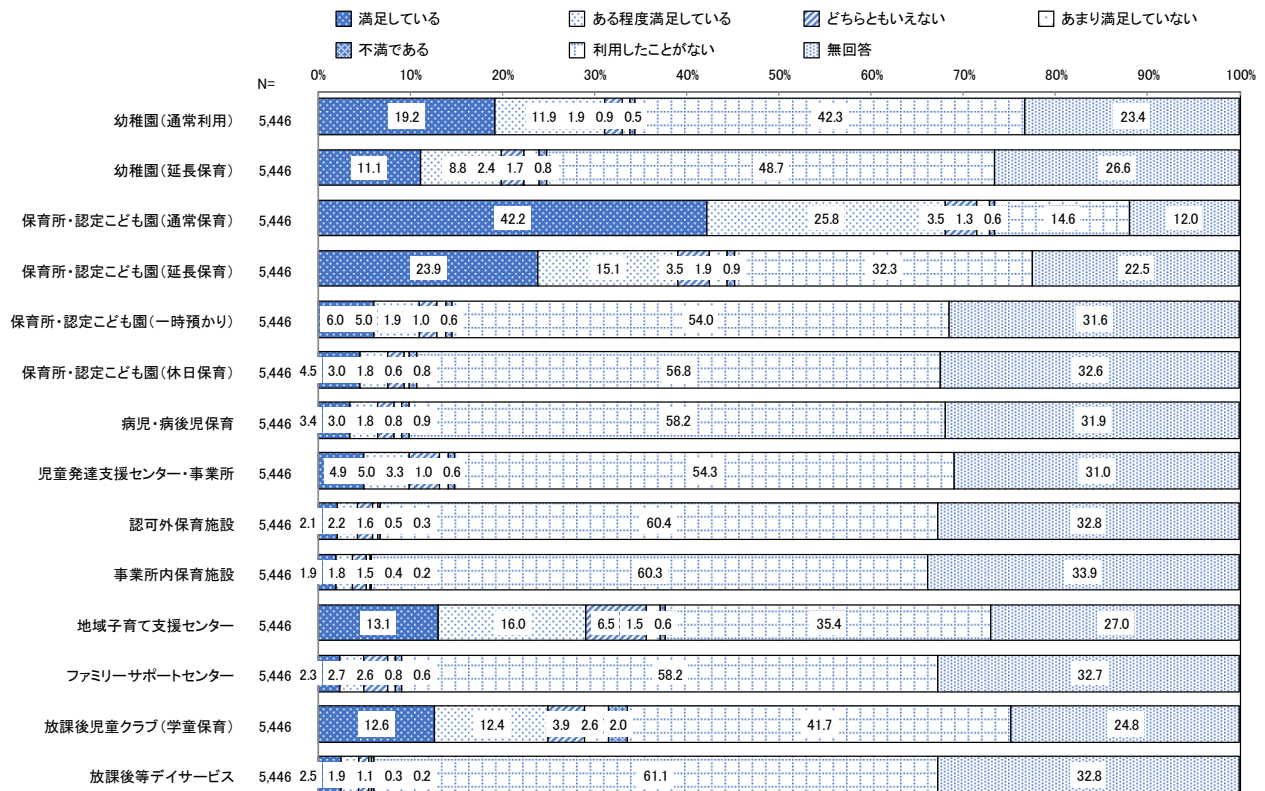
【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「子供の医療費支援」が最も高くなっている。

	全体	和歌山県、県内市町村が実施している子育て支援で役立ったもの、役に立つと思うもの															
		不妊治療への補助	出産時支援(祝い金等)	多子世帯向け在宅育児支援事業	多子世帯向け保育料・副食費無償	多子世帯向け一時預かり等への助成	子供の医療費支援	教材費助成	学校給食費助成	通学等助成	進学奨学金	住宅助成(取得、増改築、家賃)	わかやま子育て支援パスポート	行政開催のイベント	その他	無回答	
全体	5446	534	2111	201	1125	90	4282	532	2150	105	301	289	389	165	133	377	
	100.0	9.8	38.8	3.7	20.7	1.7	78.6	9.8	39.5	1.9	5.5	5.3	7.1	3.0	2.4	6.9	
地域別	紀北	3652	345	1326	123	641	66	2854	373	1566	59	188	197	301	113	93	255
		100.0	9.4	36.3	3.4	17.6	1.8	78.1	10.2	42.9	1.6	5.1	5.4	8.2	3.1	2.5	7.0
	紀中	899	92	430	39	233	9	722	70	271	20	56	54	53	27	17	62
		100.0	10.2	47.8	4.3	25.9	1.0	80.3	7.8	30.1	2.2	6.2	6.0	5.9	3.0	1.9	6.9
	田辺・西牟婁	624	77	255	31	194	15	493	62	173	16	30	32	29	17	14	35
	100.0	12.3	40.9	5.0	31.1	2.4	79.0	9.9	27.7	2.6	4.8	5.1	4.6	2.7	2.2	5.6	
新宮・東牟婁	265	19	98	8	56	-	208	27	137	10	27	5	6	8	9	24	
	100.0	7.2	37.0	3.0	21.1	-	78.5	10.2	51.7	3.8	10.2	1.9	2.3	3.0	3.4	9.1	

(37) これまで利用したことがある（利用中）サービスのうち次の①～⑭の項目について、満足度合いに最も近いものをお答えください。【①～⑭各項目に○は1つ】

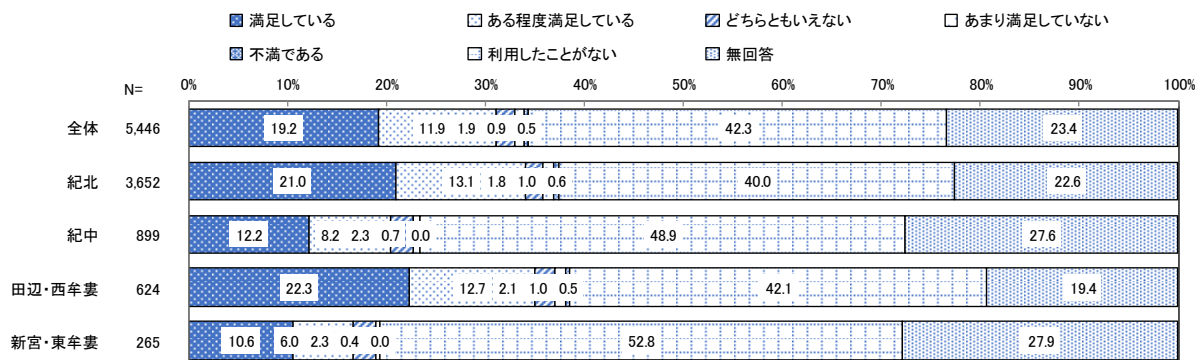
- ①幼稚園（通常利用）：「利用したことがない」が42.3%で最も高く、次いで「満足している」が19.2%、「ある程度満足している」が11.9%となった。
- ②幼稚園（延長保育）：「利用したことがない」が48.7%で最も高く、次いで「満足している」が11.1%、「ある程度満足している」が8.8%となった。
- ③保育所・認定こども園（通常保育）：「満足している」が42.2%で最も高く、次いで「ある程度満足している」が25.8%、「利用したことがない」が14.6%となった。
- ④保育所・認定こども園（延長保育）：「利用したことがない」が32.3%で最も高く、次いで「満足している」が23.9%、「ある程度満足している」が15.1%となった。
- ⑤保育所・認定こども園（一時預かり）：「利用したことがない」が54.0%で最も高く、次いで「満足している」が6.0%、「ある程度満足している」が5.0%となった。
- ⑥保育所・認定こども園（休日保育）：「利用したことがない」が56.8%で最も高く、次いで「満足している」が4.5%、「ある程度満足している」が3.0%となった。
- ⑦病児・病後児保育：「利用したことがない」が58.2%で最も高く、次いで「満足している」が3.4%、「ある程度満足している」が3.0%となった。
- ⑧児童発達支援センター・事業所：「利用したことがない」が54.3%で最も高く、次いで「ある程度満足している」が5.0%、「満足している」が4.9%となった。
- ⑨認可外保育施設：「利用したことがない」が60.4%で最も高く、次いで「ある程度満足している」が2.2%、「満足している」が2.1%となった。
- ⑩事業所内保育施設：「利用したことがない」が60.3%で最も高く、次いで「満足している」が1.9%、「ある程度満足している」が1.8%となった。
- ⑪地域子育て支援センター：「利用したことがない」が35.4%で最も高く、次いで「ある程度満足している」が16.0%、「満足している」が13.1%となった。
- ⑫ファミリーサポートセンター：「利用したことがない」が58.2%で最も高く、次いで「ある程度満足している」が2.7%、「どちらともいえない」が2.6%となった。
- ⑬放課後児童クラブ（学童保育）：「利用したことがない」が41.7%で最も高く、次いで「満足している」が12.6%、「ある程度満足している」が12.4%となった。
- ⑭放課後等デイサービス：「利用したことがない」が61.1%で最も高く、次いで「満足している」が2.5%、「ある程度満足している」が1.9%となった。



【地域別】

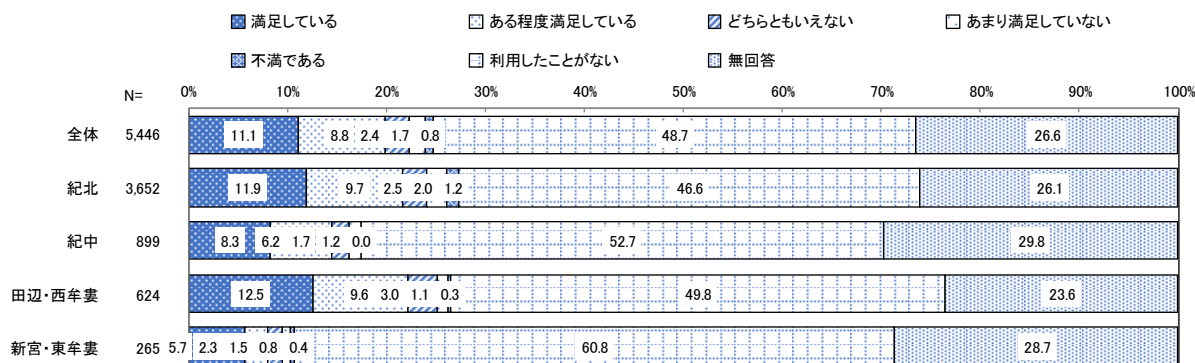
①幼稚園（通常利用）

地域別にみると、〈紀中〉では「満足している」が全体よりも7.0ポイント低く、「利用したことがない」が全体よりも6.6ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「満足している」が全体よりも8.6ポイント、「ある程度満足している」が全体よりも5.9ポイント低くなっている。一方、「利用したことがない」が全体よりも10.5ポイント高くなっている。



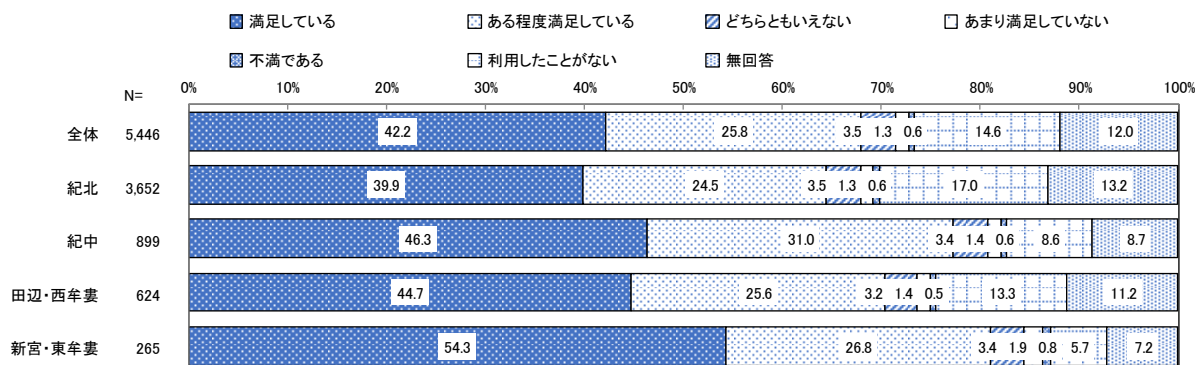
②幼稚園（延長保育）

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「満足している」が全体よりも5.4ポイント、「ある程度満足している」が全体よりも6.5ポイント低くなっている。一方、「利用したことがない」が全体よりも12.1ポイント高くなっている。



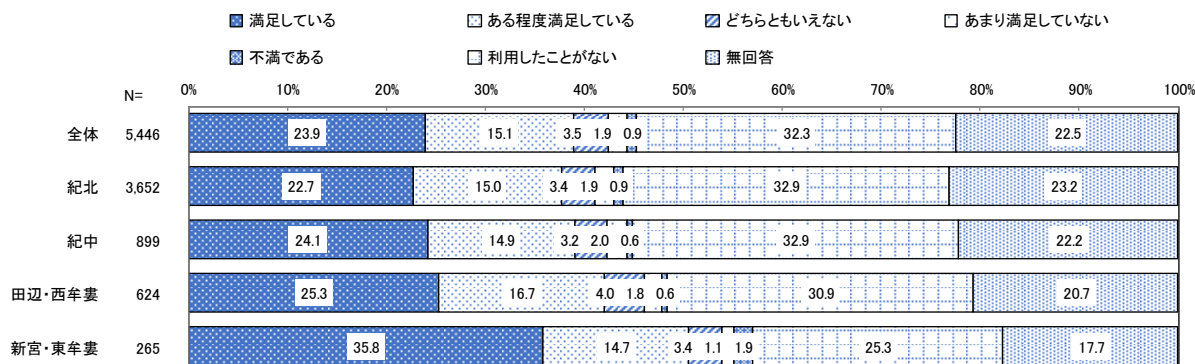
③保育所・認定こども園（通常保育）

地域別にみると、〈紀中〉では「ある程度満足している」が全体よりも5.2ポイント高く、「利用したことがない」が全体よりも6.0ポイント低くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「満足している」が全体よりも12.1ポイント高く、「利用したことがない」が全体よりも8.9ポイント低くなっている。



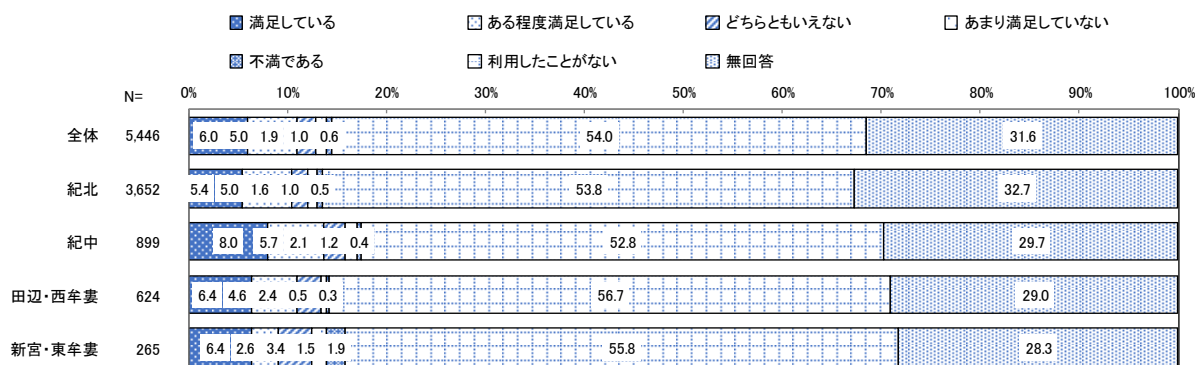
④保育所・認定こども園（延長保育）

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「満足している」が全体よりも 11.9 ポイント高く、「利用したことがない」が全体よりも 7.0 ポイント低くなっている。



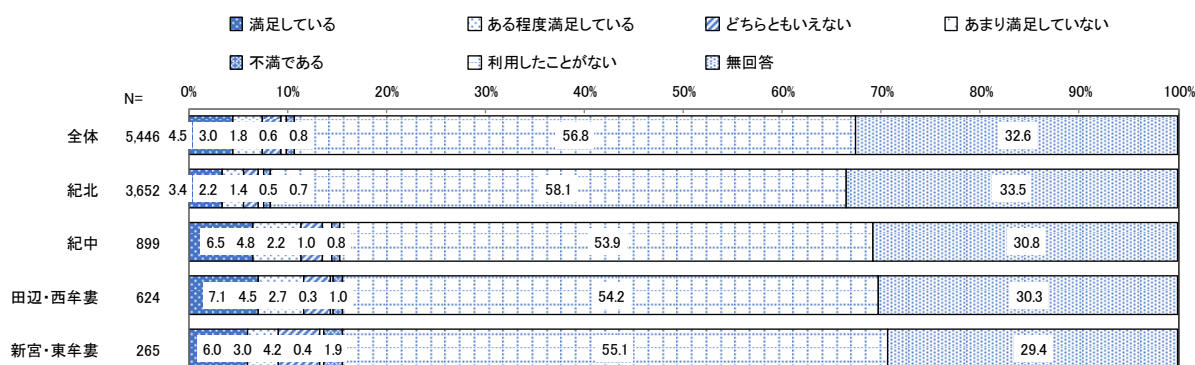
⑤保育所・認定こども園（一時預かり）

地域別にみると、全体との比較では、いずれも 5 ポイント未満の差にとどまっている。



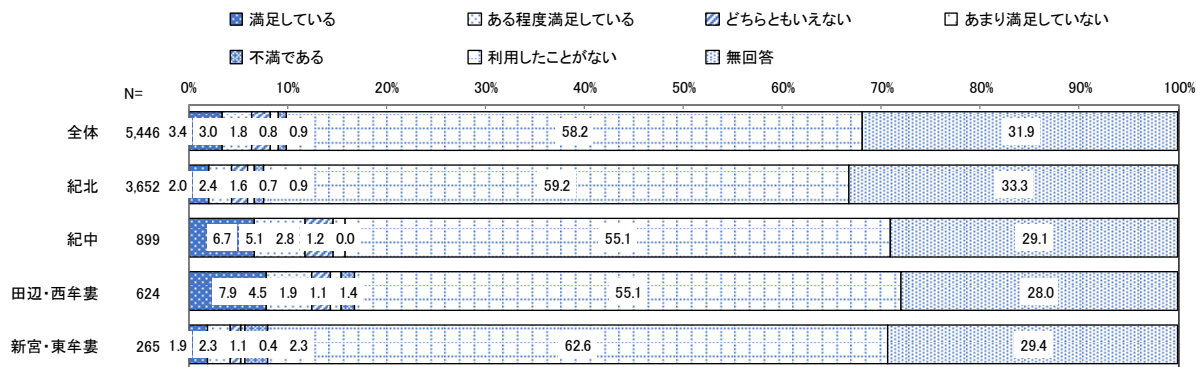
⑥保育所・認定こども園（休日保育）

地域別にみると、全体との比較では、いずれも 5 ポイント未満の差にとどまっている。



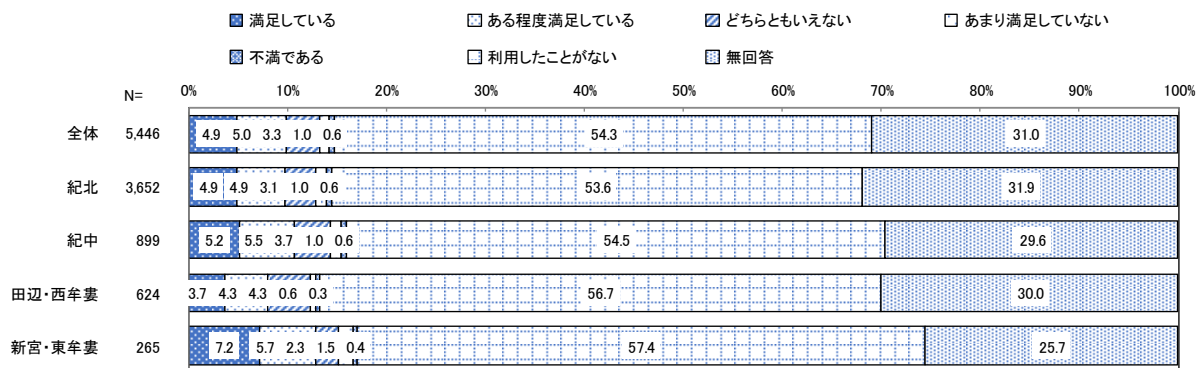
⑦病児・病後児保育

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



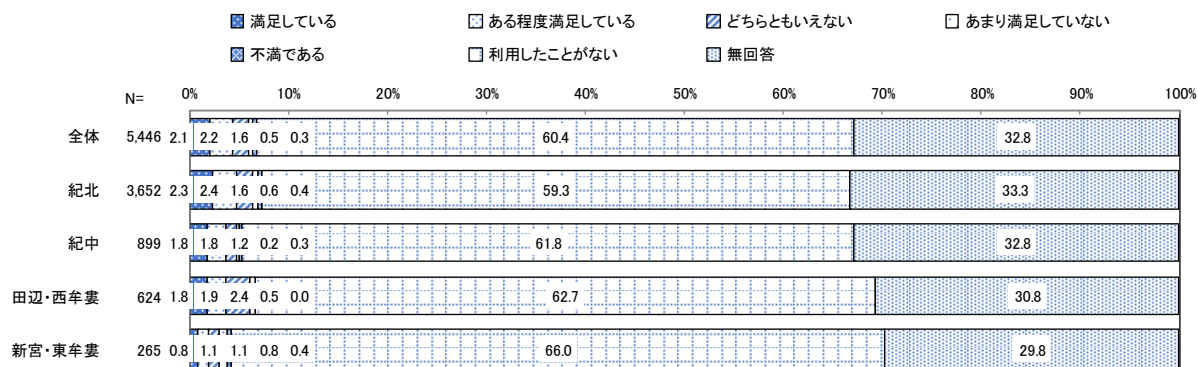
⑧児童発達支援センター・事業所

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



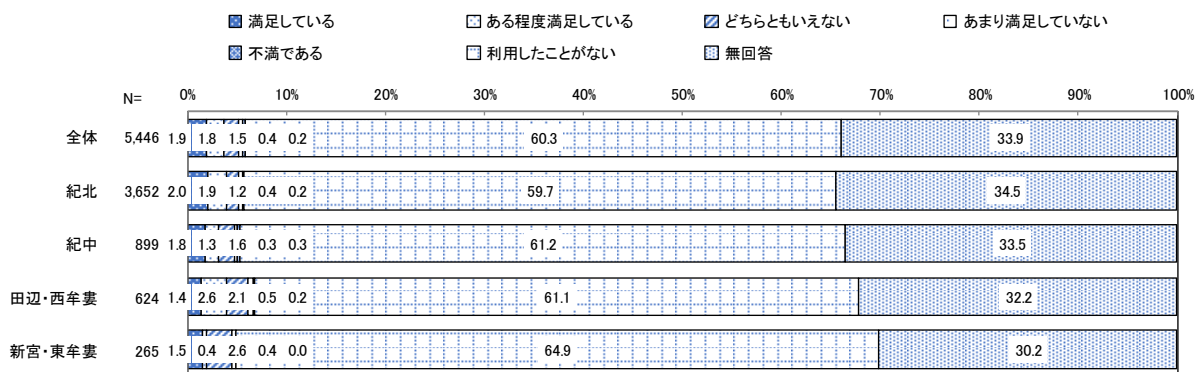
⑨認可外保育施設

地域別にみると、〈新宮・東牟婁〉では「利用したことがない」が全体よりも5.6ポイント高くなっている。



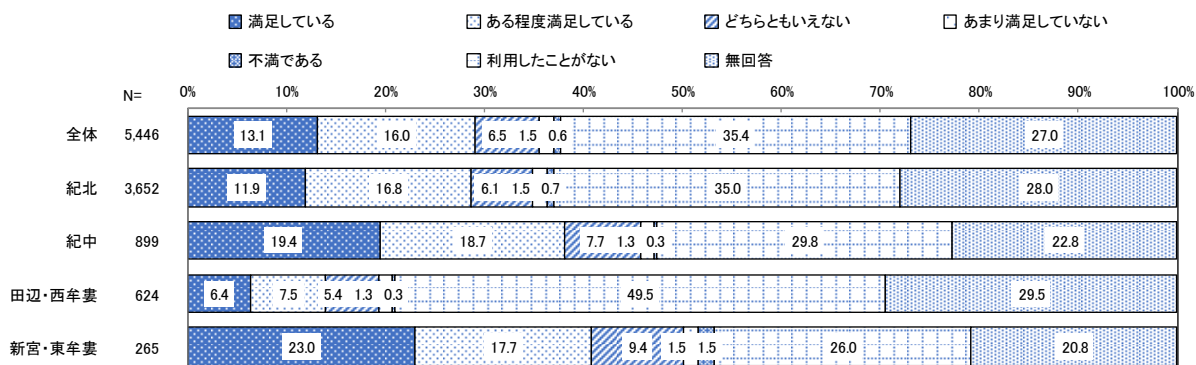
⑩事業所内保育施設

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



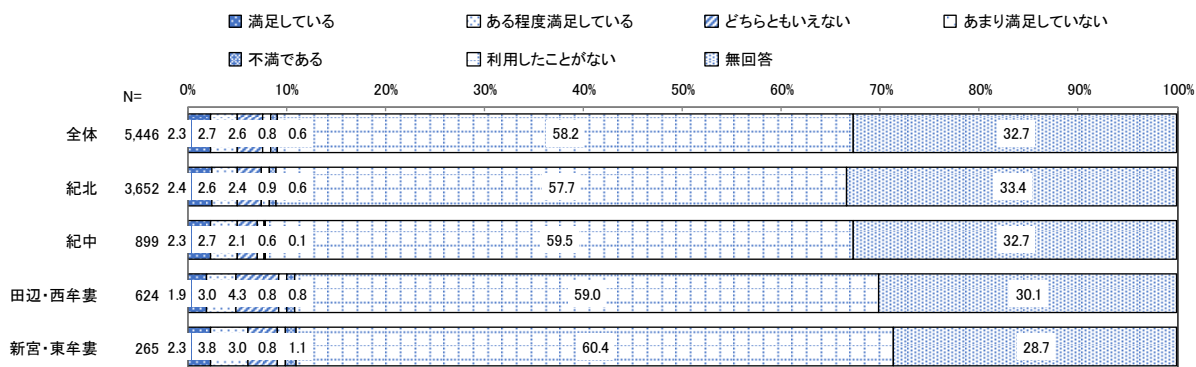
⑪地域子育て支援センター

地域別にみると、〈紀中〉では「満足している」が全体よりも6.3ポイント高く、「利用したことがない」が全体よりも5.6ポイント低くなっている。〈田辺・西牟婁〉では「満足している」が全体よりも6.7ポイント、「ある程度満足している」が全体よりも8.5ポイント低くなっている。一方、「利用したことがない」が全体よりも14.1ポイント高くなっている。〈新宮・東牟婁〉では「満足している」が全体よりも9.9ポイント高く、「利用したことがない」が全体よりも9.4ポイント低くなっている。



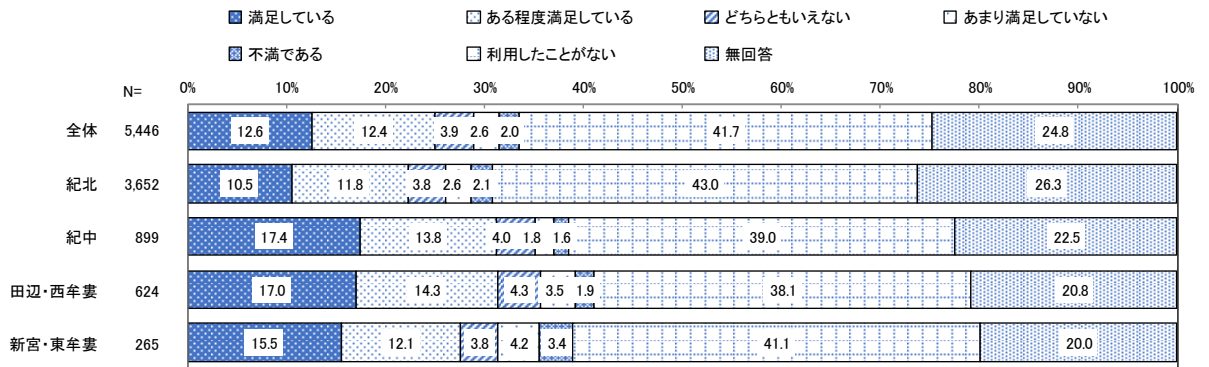
⑫ファミリーサポートセンター

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



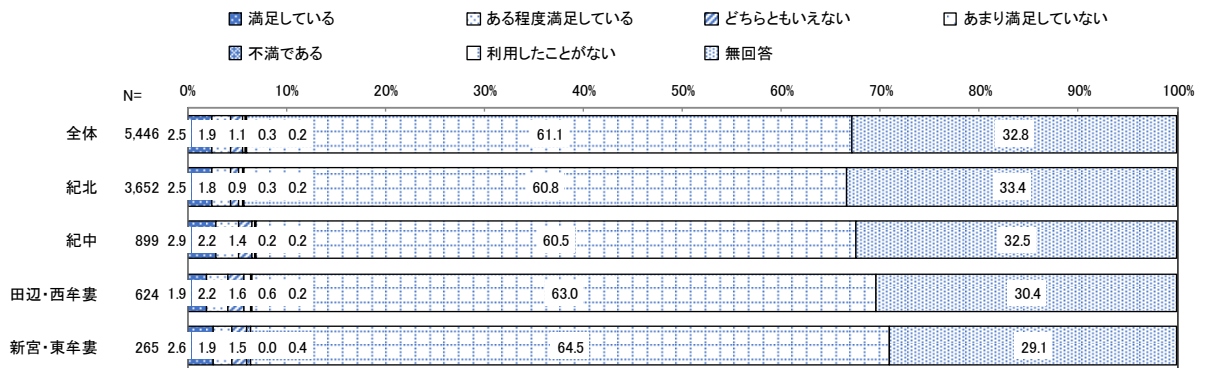
⑬放課後児童クラブ（学童保育）

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



⑭放課後等デイサービス

地域別にみると、全体との比較では、いずれも5ポイント未満の差にとどまっている。



【38】 次の①～⑭の項目について、満足できない点はありますか。【①～⑭各項目に○は2つまで】

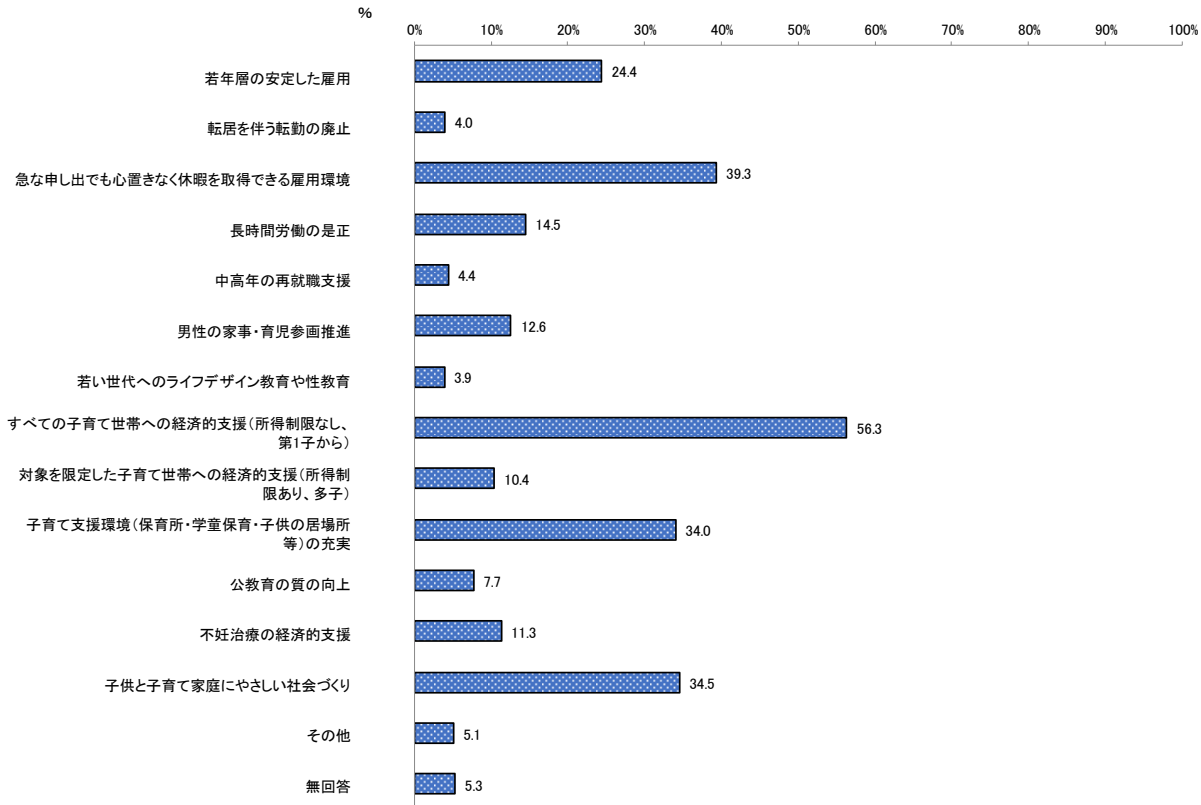
- ①幼稚園（通常利用）：「時間・期間が短い」が13.2%、「利用料金が高い」が3.3%となった。
 ②幼稚園（延長保育）：「時間・期間が短い」が6.4%、「利用料金が高い」が3.5%となった。
 ③保育所・認定こども園（通常保育）：「利用料金が高い」が6.7%、「時間・期間が短い」が4.3%となった。
 ④保育所・認定こども園（延長保育）：「利用料金が高い」が4.3%、「時間・期間が短い」が3.0%となった。
 ⑤保育所・認定こども園（一時預かり）：「利用料金が高い」が2.5%、「時間・期間が短い」が1.2%となった。
 ⑥保育所・認定こども園（休日保育）：「時間・期間が短い」が2.2%、「利用料金が高い」が1.1%となった。
 ⑦病児・病後児保育：「利用料金が高い」が3.0%、「自宅から遠い」が2.7%となった。
 ⑧児童発達支援センター・事業所：「自宅から遠い」が1.4%、「時間・期間が短い」が1.3%となった。
 ⑨認可外保育施設：「利用料金が高い」が2.0%、「自宅から遠い」が0.6%となった。
 ⑩事業所内保育施設：「利用料金が高い」が0.7%、「時間・期間が短い」及び「自宅から遠い」が0.3%となった。
 ⑪地域子育て支援センター：「自宅から遠い」が1.6%、「時間・期間が短い」が1.5%となった。
 ⑫ファミリーサポートセンター：「利用料金が高い」が2.8%、「自宅から遠い」が0.7%となった。
 ⑬放課後児童クラブ（学童保育）：「利用料金が高い」が6.6%、「世話や指導が行き届いていない」が3.5%となった。
 ⑭放課後等デイサービス：「利用料金が高い」が0.9%、「時間・期間が短い」及び「自宅から遠い」が0.6%となった。

（上段：人数、下段：割合）

	調査数	時間・期間が短い	世話や指導が行き届いていない	利用料金が高い	自宅から遠い	子供がなじめない	他の親との交流が上手くない	特になし	その他	無回答
幼稚園（通常利用）	5446	718	73	178	83	13	38	2553	98	1855
	100.0	13.2	1.3	3.3	1.5	0.2	0.7	46.9	1.8	34.1
幼稚園（延長保育）	5446	349	38	192	49	12	11	2640	90	2125
	100.0	6.4	0.7	3.5	0.9	0.2	0.2	48.5	1.7	39.0
保育所・認定こども園（通常保育）	5446	232	197	365	78	30	92	3147	175	1280
	100.0	4.3	3.6	6.7	1.4	0.6	1.7	57.8	3.2	23.5
保育所・認定こども園（延長保育）	5446	165	91	236	32	14	23	2908	105	1935
	100.0	3	1.7	4.3	0.6	0.3	0.4	53.4	1.9	35.5
保育所・認定こども園（一時預かり）	5446	68	20	135	25	10	5	2634	130	2449
	100.0	1.2	0.4	2.5	0.5	0.2	0.1	48.4	2.4	45.0
保育所・認定こども園（休日保育）	5446	120	17	61	20	5	3	2590	123	2527
	100.0	2.2	0.3	1.1	0.4	0.1	0.1	47.6	2.3	46.4
病児・病後児保育	5446	53	8	164	146	10	4	2394	250	2483
	100.0	1	0.1	3	2.7	0.2	0.1	44.0	4.6	45.6
児童発達支援センター・事業所	5446	69	32	20	78	11	5	2668	114	2474
	100.0	1.3	0.6	0.4	1.4	0.2	0.1	49.0	2.1	45.4
認可外保育施設	5446	16	23	110	31	9	3	2618	102	2558
	100.0	0.3	0.4	2	0.6	0.2	0.1	48.1	1.9	47.0
事業所内保育施設	5446	19	13	38	18	4	3	2653	108	2601
	100.0	0.3	0.2	0.7	0.3	0.1	0.1	48.7	2.0	47.8
地域子育て支援センター	5446	80	23	19	85	25	69	2813	128	2243
	100.0	1.5	0.4	0.3	1.6	0.5	1.3	51.7	2.4	41.2
ファミリーサポートセンター	5446	17	13	153	40	13	1	2554	161	2523
	100.0	0.3	0.2	2.8	0.7	0.2	0	46.9	3.0	46.3
放課後児童クラブ（学童保育）	5446	141	192	358	28	47	12	2540	223	2040
	100.0	2.6	3.5	6.6	0.5	0.9	0.2	46.6	4.1	37.5
放課後等デイサービス	5446	30	20	49	34	14	7	2648	349	2460
	100.0	0.6	0.4	0.9	0.6	0.3	0.1	48.6	6.4	45.2

(39) 有効だと思う少子化対策をお答えください。【当てはまる上位3つに○】

有効だと思う少子化対策について、「すべての子育て世帯への経済的支援（所得制限なし、第1子から）」が56.3%で最も高く、次いで「急な申し出でも心置きなく休暇を取得できる雇用環境」が39.3%、「子供と子育て家庭にやさしい社会づくり」が34.5%となった。



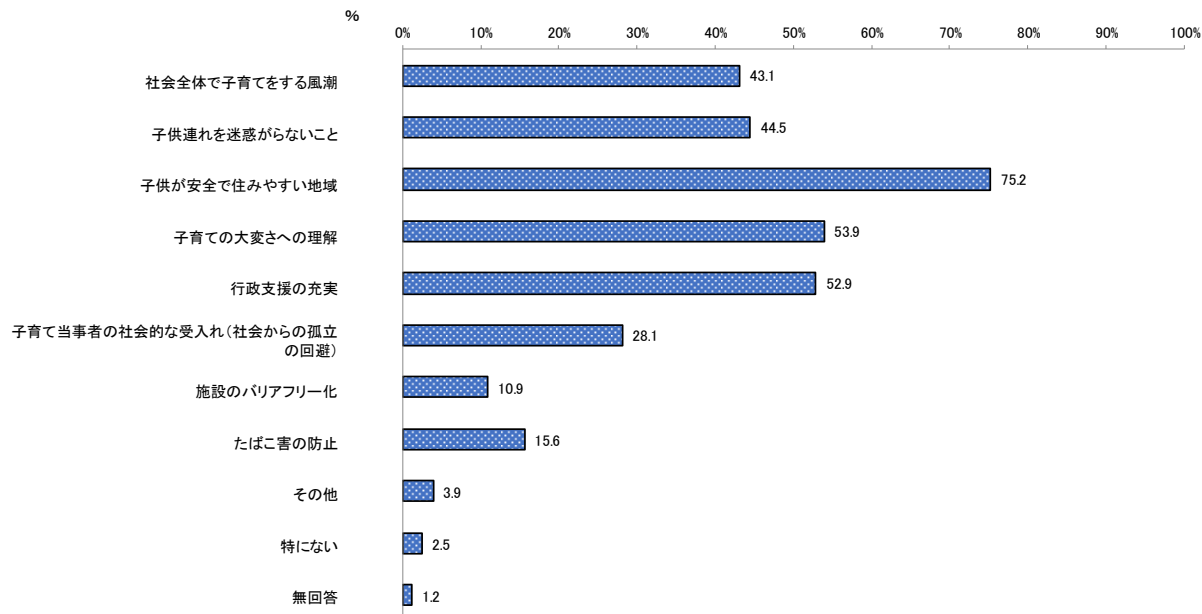
【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「すべての子育て世帯への経済的支援（所得制限なし、第1子から）」が最も高くなっている。

	全体	有効だと思う少子化対策をお答えください															
		若年層の安定した雇用	転居を伴う転勤の廃止	急な申し出でも心置きなく休暇を取得できる雇用環境	長時間労働の是正	中高年の再就職支援	男性の家事・育児参画推進	若い世代へのライフデザイン教育や性教育	すべての子育て世帯への経済的支援(所得制限なし、第1子から)	対象を限定した子育て世帯への経済的支援(所得制限あり、多子)	子育て支援環境(保育所・学童保育・子供の居場所等)の充実	公教育の質の向上	不妊治療の経済的支援	子供と子育て家庭にやさしい社会づくり	その他	無回答	
全体	5446	1328	219	2143	792	241	686	213	3065	564	1853	422	617	1877	279	287	
	100.0	24.4	4.0	39.3	14.5	4.4	12.6	3.9	56.3	10.4	34.0	7.7	11.3	34.5	5.1	5.3	
地域別	紀北	3652	852	166	1433	515	153	463	137	2088	365	1258	289	393	1264	203	186
		100.0	23.3	4.5	39.2	14.1	4.2	12.7	3.8	57.2	10.0	34.4	7.9	10.8	34.6	5.6	5.1
	紀中	899	234	20	340	126	46	113	39	482	95	289	72	116	306	38	56
		100.0	26.0	2.2	37.8	14.0	5.1	12.6	4.3	53.6	10.6	32.1	8.0	12.9	34.0	4.2	6.2
田辺・西牟婁	624	142	19	268	103	28	84	26	356	76	224	42	83	209	26	29	
	100.0	22.8	3.0	42.9	16.5	4.5	13.5	4.2	57.1	12.2	35.9	6.7	13.3	33.5	4.2	4.6	
新宮・東牟婁	265	98	13	100	47	14	25	10	137	27	81	19	25	97	12	15	
	100.0	37.0	4.9	37.7	17.7	5.3	9.4	3.8	51.7	10.2	30.6	7.2	9.4	36.6	4.5	5.7	

(40) 子育てにおける周囲や社会環境に期待することはありますか。【当てはまるもの全てに○】

子育てにおける周囲や社会環境に期待することについて、「子供が安全で住みやすい地域」が75.2%で最も高く、次いで「子育ての大変さへの理解」が53.9%、「行政支援の充実」が52.9%となった。



【地域別】

地域別にみると、すべての地域で「子供が安全で住みやすい地域」が最も高くなっている。

	全体	子育てにおける周囲や社会環境に期待することはありますか											
		社会全体で子育てをす風潮	子供連れを迷惑がらないこと	子供が安全で住みやすい地域	子育ての大変さへの理解	行政支援の充実	子育て当事者の社会的な受入れ(社会からの孤立の回避)	施設のバリアフリー化	たばこ害の防止	その他	特にない	無回答	
全体	5446	2348	2423	4097	2935	2883	1531	593	847	214	135	67	
	100.0	43.1	44.5	75.2	53.9	52.9	28.1	10.9	15.6	3.9	2.5	1.2	
地域別	紀北	3652	1584	1647	2748	1955	1932	1034	393	587	150	84	41
		100.0	43.4	45.1	75.2	53.5	52.9	28.3	10.8	16.1	4.1	2.3	1.1
	紀中	899	374	376	657	493	473	240	100	111	27	23	18
		100.0	41.6	41.8	73.1	54.8	52.6	26.7	11.1	12.3	3.0	2.6	2.0
	田辺・西牟婁	624	269	284	480	337	325	172	69	103	28	19	8
		100.0	43.1	45.5	76.9	54.0	52.1	27.6	11.1	16.5	4.5	3.0	1.3
新宮・東牟婁	265	117	114	208	148	151	84	31	46	9	9	-	
	100.0	44.2	43.0	78.5	55.8	57.0	31.7	11.7	17.4	3.4	3.4	-	

(41) 和歌山県の子育てに関する施策についてご意見ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

※一部の回答を抜粋して掲載。

- 紀美野町は、子育てに対し、手当てがすごく良くありがたいです。
- 障害児を預けたり、相談出来る場所が大きな市に行かなければなさすぎる。本宮町など、通勤に1時間以上かかる(田辺・新宮)人にとっては、子育てする上において非常に困る。(父親・母親)どちらかが、仕事に行けない。もっと障害児を抱えている家庭に支援をお願いします！！
- 岩出市に住んでいますが、休日や、夜中などの急な病気に対応してくれる病院がなく、これまでずっと、困っています。「今日の先生はお子さんを診られません。」と何度も断られたことがあります。40度近い高熱が何日も続いた時も、へろへろの子供を和歌山市まで車で連れていくのがとても不安でした。いざというときの医療体制が整っている気がしません。#8000に電話したりしたこともあります。それだけでは子供を守れません。和歌山市以外にも、休日診てもらえる所を作って欲しいです。
- 県内全域で医療費支援を統一して下さい。(特に岩出市の支援が短いです)。孤立してつらい思いをしたり、心の病気になってしまう親の支援をしっかりと行っていてもらいたいです。保健師さんの過重労働がなくなるよう、スタッフの増員や担当地域の細分化など。
- 小学生3年で学童が終わりますが、4年からの放課後の過ごし方も心配です。学校で残って教室で友達と宿題や遊びをしても良い(4時45分ごろまで)などして欲しいです。公立小・中・高と学費はかかりませんが、月々いろいろお金がかかります。(教材・育友会・給食・積立・・・)すべて無償にしてほしいです。大学進学も経済的に不安です。子供の遊び場所(体育館や室内の集会所)を増やして欲しい。
- 和歌山県の中でも田辺市は幼稚園等で一時保育されている所もなく、ファミリーサポート等も利用料金が高く、子供を預けられる機関が少ないと思います。児童館も他県とはかなり施設の充実度が異なり、利用する未就園児も少ないと思います。就園前の子供たちの、遊び場や親の交流する場の少なさを周囲の方とも悩みを共有することが多いです。
- 今の時代、学校外での習い事を利用している方が多いと思うし、1人の子供がいくつも習っていたり、兄弟がいるとその分、習い事にかかる負担も増えるので、一定額以上になると援助があったりすると助かると思います。お金の面で、やりたくても出来ない子供もいると思うので。
- 休日、夜間診療できる所が遠い。体調不良の子供を車にのせ2時間程かけて行くのは困難である(一人で連れていく不安)。#8000もあまり意味がない。心配なら受診と言われるが心配だから電話している＝受診しかない。休日に自分が子守りできない場合、どこにも預け先がない。ファミリーサポートは日曜ない。夫はシフト制のため土・日・祝日が仕事である事が多い。祖母たちも仕事や高齢であり預けるのが不安。
- 子供の遊ぶ施設がない。
- 和歌山市で一時保育を利用する時の手続きを、各コミュニティーセンターで出来れば、すごく助かります。(去年まで一時保育利用していました)児童手当を子供名義に通帳に入金できるという、システムがほしい。
- 正社員でもフレックスタイムで9:00~15:00勤務。急な子供の体調不良でも安心して預けられる病児保育の受入数を増やしてほしい(いつも断られます)。保育園ではなく、幼稚園の預り保育を公立でもすすめてほしい。土曜、日曜出勤もあるので、預り保育をお願いしたい。朝の送りだけでもサポートしてほしい。

Ⅲ 調査票

1. 結婚に関する意識調査

「令和5年度 和歌山県 結婚に関する意識調査」アンケート票

回答種別	回答方法				
専用WEBサイトからの オンライン回答	下記のURLまたは右の二次元バーコードより本アンケート調査専用サイトに進んでいただき、ID・パスワードを入力の上、画面の内容に従ってご回答ください。 https://www.c-pass.jp/kekkon				
アンケート票(本用紙)に直接記入し郵送	①該当する選択肢の番号を直接○印で囲んでください。 ②記入後は、同封の返信用封筒(切手不要)にてご返送ください。 ※インターネットでご回答いただいた場合、アンケート票のご返送は不要です。				
アンケートご回答の 謝礼品について	本アンケートにご回答いただいた方を対象に、抽選で謝礼品のご用意がございます。ご希望の方は本紙の最後のページにお名前とご連絡先情報を記載ください。				
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">ID</th> <th style="width: 50%;">パスワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		ID	パスワード		
ID	パスワード				



(1) お住まいの市町村名をお答えください。【○は1つ】

1. 和歌山市	2. 海南市	3. 橋本市	4. 有田市	5. 御坊市
6. 田辺市	7. 新宮市	8. 紀の川市	9. 岩出市	10. 紀美野町
11. かつらぎ町	12. 九度山町	13. 高野町	14. 湯浅町	15. 広川町
16. 有田川町	17. 美浜町	18. 日高町	19. 由良町	20. 印南町
21. みなべ町	22. 日高川町	23. 白浜町	24. 上富田町	25. すさみ町
26. 那智勝浦町	27. 太地町	28. 古座川町	29. 北山村	30. 串本町
31. 和歌山県外				

(2) あなたの年齢をお答えください。(令和5年7月1日 現在)

() 歳

(3) あなたの性別をお答えください。【○は1つ】

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

(4) 結婚されていますか。【○は1つ】

1. 結婚している（法律婚）
2. 結婚している（事実婚・内縁 ※）
3. 結婚していたが、今はしていない（死別した）
4. 結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由：法律婚をしていたが離婚した・事実婚の状態だったが現在は別居している 等）
5. 結婚したことがない

※事実婚・内縁：婚姻の意思があり、共同生活の事実があるが、婚姻届けを役所に提出していないカップル

(5) 現在の就労状況をお答えください。【○は1つ】

※学生の方について、学業の傍らアルバイトをしている場合は、「10. 学生」を選択してください。

※会社員・公務員・団体職員等を問わず、非正規雇用の方は「2. 非正規」を選択してください。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 会社員（正社員） | 2. 非正規：派遣・嘱託・契約社員等 |
| 3. 経営者・役員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 自営業（農林漁業） | 6. 自営業（農林漁業以外） |
| 7. 公務員 | 8. その他団体職員（NGO・NPO 等） |
| 9. 学生 | 10. 無職・家事手伝い |
| 11. その他（ | ） |

(6) 現在のご職業での職種をお答えください。【○は1つ】

※複数当てはまる場合は、主要な業務についてお答えください。

1. 管理職・経営：経営者、役員
2. 営業：法人営業、接客営業など
3. 事務・管理：一般事務、経理、財務、人事、総務など
4. 企画・マーケティング・経営：商品企画、商品開発、販売促進、広報・PR など
5. サービス・販売・外食：ホテルスタッフ、美容師、販売員、飲食スタッフなど
6. Web・インターネット・ゲーム：Web ディレクター、IT コンサルタント、UI デザイナーなど
7. クリエイティブ：動画クリエイター、編集者、ファッションデザイナーなど
8. 専門職：弁護士、税理士、証券アナリスト、不動産鑑定士など
9. IT エンジニア：プログラマー、システムエンジニア、インフラエンジニアなど
10. エンジニア（機械・電気・電子・半導体・制御）：メカニカルエンジニア、デジタル回路設計エンジニアなど
11. 素材・化学・食品・医薬品技術職：管理栄養士、食品衛生監視員、薬剤師、生産技術など
12. 建築・土木技術職：建築士、建築設備士、土木施工管理技士、測量士など
13. 技能工・設備・交通・運輸：電気工事士、自動車整備士、タクシー運転手、駅員など
14. 医療・福祉・介護：看護師、臨床検査技師、保健師、介護福祉士など
15. 教育・保育・公務員・農林水産：教師、塾講師、保育士、自衛官、農家など
16. 自営業・個人事業主
17. その他（

(11) あなたの結婚観について、一緒に生活するパートナーに対する考えをお答えください。【○は1つ】

1. 法律婚をしたパートナーと一緒に生活するのがよい
2. 法律婚はしなくても、一緒に生活するパートナーと事実婚はしたほうがよい
3. 結婚（法律婚・事実婚）をしたパートナーはいなくても、恋人はいたほうがよい
4. 結婚や恋人は必ずしも必要でない

(12) 上記（11）で回答した理由をお答えください。【当てはまるものすべてに○】

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 法的保護が受けられる | 2. 親子関係を証明しやすい |
| 3. 将来の安心が得られる | 4. 夫婦別姓が可能 |
| 5. 必要性を感じない | 6. 法的な拘束を受けたくない |
| 7. その他（具体的に： _____） | |

(13) 結婚（事実婚・内縁を含む）することの利点は何だと考えますか。【○は1つ】

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 経済的に余裕がもてる | 2. 社会的信用を得られる |
| 3. 精神的な安らぎの場を得られる | 4. 現在愛情を感じている人と暮らせる |
| 5. 自分の子供や家族をもてる | 6. 性的な充足が得られる |
| 7. 生活上便利になる | 8. 親から独立できる |
| 9. 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる | |
| 10. その他（具体的に： _____） | |
| 11. 利点はない | |

※事実婚・内縁：婚姻の意思があり、共同生活の事実があるが、婚姻届けを役所に提出していないカップル

(14) 結婚（事実婚・内縁を含む）しないことの利点は何だと考えますか。【○は1つ】

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 自分の自由時間が取れる | 2. 家族に対する責任を負わなくてよい |
| 3. 自分で自由に使えるお金ができる | 4. 親戚づきあいをしなくてよい |
| 5. 仕事に制約がかからない | 6. 自由な恋愛ができる |
| 7. 姓を変更しなくてよい | 8. その他（具体的に： _____） |
| 9. 利点はない | |

以下、問 15～22 は、結婚している・結婚していたことのある方（事実婚・内縁を含む）のみご回答ください。

(15) あなたが最初に結婚した年齢をお答えください。

() 歳

(16) どのようなきっかけで結婚相手と知り合いましたか。【○は1つ】

※複数婚姻歴がある場合は直近の婚姻についてお答えください。

1. 学校	
2. 職場や仕事の関係	
3. 幼なじみ・隣人関係	
4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごと	
5. 友人や兄弟姉妹を通じて	
6. 見合い（親せき・上役などの紹介も含む）	
7. 結婚相談所（オンラインを含む）	
8. 街なかや旅先	
9. アルバイト	
10. マッチングアプリ	
11. （結婚相談所・マッチングアプリ以外の）インターネット（具体的に：	）
12. その他（具体的に：	）

(17) 最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。【○は2つまで】

1. 結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用）が用意できた	
2. 収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた	
3. 自分または相手の仕事の事情	
4. できるだけ早く一緒に暮らしたかった	
5. 年齢を考えて、適当な時期だと感じた	
6. できるだけ早く子供がほしかった	
7. 子供ができた	
8. 友人や同年代の人たちの結婚	
9. 親や周囲のすすめ	
10. その他（具体的に：	）

(18) あなた方ご夫婦の子供について、これまでに生まれた子供は何人ですか。(死産は含みません。)

() 人

(19) 理想的だと思う子供の数は何人ですか。【○は1つ】

1. 1人	2. 2人	3. 3人
4. 4人	5. 5人以上	6. 子供は欲しくない

(20) 上記(19)で、理想的な子供の数が1人以上と答えた場合、そう考える理由は何ですか。

【該当するものすべてに○】

1. 結婚して子供を持つことは自然なことだから	2. 子供を持つことで周囲から認められるから
3. 子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから	4. 子供は老後の支えになるから
5. 子供は将来の社会の支えになるから	6. 子供は夫婦関係を安定させるから
7. 好きな人の子供を持ちたいから	8. 配偶者や親など周囲が望むから
9. その他(具体的に:)	

(21) 上記(20)について、子供を持ちたいと思う最も重要な理由は何ですか。【○は1つ】

1. 結婚して子供を持つことは自然なことだから	2. 子供を持つことで周囲から認められるから
3. 子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから	4. 子供は老後の支えになるから
5. 子供は将来の社会の支えになるから	6. 子供は夫婦関係を安定させるから
7. 好きな人の子供を持ちたいから	8. 配偶者や親など周囲が望むから
9. その他(具体的に:)	

(22) 今後、1人以上の子供を生むつもりの場合、理想とする子供の数が、結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか。【該当するものすべてに○】

1. 収入が少ない・不安定	2. 自分や配偶者の仕事の事情
3. 家事・育児の協力者がいないこと	4. 保育所など子供の預け先がないこと
5. 今いる子供に手がかかること	6. 年齢や健康上の理由で子供ができないこと
7. その他(具体的に:)	

⇒P11 問37へ

以下、問 23～36 は、結婚（事実婚・内縁を含む）したことのない方にうかがいます。

(23) 今後の結婚意向についてお答えください。【○は1つ】

- | |
|-----------------------|
| 1. いずれは結婚したい（結婚意欲がある） |
| 2. 理想的な相手が見つければ結婚したい |
| 3. 結婚するつもりはない |

(24) (23) で「3. 結婚するつもりはない」を選択した方にうかがいます。

結婚するつもりがないのはなぜですか。【該当するものすべてに○】

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 結婚に向けて行動を起こすことが面倒だから | 2. 結婚生活そのものが面倒または大変そうだから |
| 3. 結婚しなくても別に困らないから | 4. 一人の方が気楽だから |
| 5. 自分に自信がないから | 6. 人とコミュニケーションをとるのが苦手だから |
| 7. 自分にお金がないから | 8. 時間がないから |
| 9. その他（具体的に： _____） | |

(25) 今後、希望する結婚の時期等をお答えください。【○は1つ】

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 1年以内に結婚したい | 2. 2～3年以内に結婚したい |
| 3. 5年以内に結婚したい | 4. 10年以内に結婚したい |
| 5. 結婚時期については考えていない（いつでもよい） | |

(26) 結婚を希望する場合、あなたは何歳ぐらいのときに何歳ぐらいの相手と結婚したいと思いますか。希望する年齢を下線の欄に記入してください。

あなた _____ 歳

相手 _____ 歳

(27) 中学卒業以降、恋人として交際した人数はありますか。【○は1つ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

(28) 結婚相手を決めるとき、次の①～⑩の項目について、どの程度重視しますか。【各項目に○は1つ】

①相手の学歴	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
②相手の職業	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
③相手の収入などの経済力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
④相手の人柄	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑤相手の容姿	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑥共通の趣味の有無	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑦自分の仕事に対する理解と協力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑧家事・育児に対する能力や姿勢	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑨地元出身者	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑩相手の親との同居	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない

(29) 結婚生活を送るに当たって相手に求める年収（税込）は、どのくらいですか。【○は1つ】

1. 100万円未満	2. 100万円～200万円未満
3. 200万円～300万円未満	4. 300万円～400万円未満
5. 400万円～500万円未満	6. 500万円～600万円未満
7. 600万円～700万円未満	8. 700万円～800万円未満
9. 800万円～900万円未満	10. 900万円～1000万円未満
11. 1000万円以上	

(30) 結婚後、子供がいない時、配偶者にはどのような形で仕事に向き合ってほしいかお答えください。

【最もあてはまるものに○を1つ】

1. 家庭と仕事を両立してほしい	
2. どちらかと言うと仕事に専念してほしい	
3. どちらかと言うと家庭に専念してほしい	
4. 扶養の範囲内で働き、家庭のことをやってほしい	
5. 出来れば残業を減らして早く帰宅してほしい	
6. 出来れば収入を増やしてほしい	
7. 出来れば仕事を辞めてほしい・家にいてほしい	
8. 特に相手に求めることはない・気にせず自分の考えで働いてほしい	
9. その他（具体的に： _____）	
10. 特に希望はない	

(31) 第1子が生まれた後、子供が2～3歳の頃、配偶者にはどのような形で仕事に向き合ってほしいかお答えください。【最もあてはまるものに○を1つ】

1. 家庭・育児と仕事を両立してほしい
2. どちらかと言うと仕事に専念してほしい
3. どちらかと言うと家庭・育児に専念してほしい
4. 扶養の範囲内で働き、家庭・育児をやってほしい
5. 出来れば残業を減らして早く帰宅してほしい
6. 出来れば収入を増やしてほしい
7. 出来れば仕事を辞めてほしい・家にいてほしい
8. 特に相手に求めることはない・気にせず自分の考えで働いてほしい
9. その他（具体的に： _____)
10. 特に希望はない

(32) 現在独身でいる理由は何ですか。【当てはまる上位3つに○】

1. 結婚するにはまだ若すぎるから
2. 結婚する必要性を感じないから
3. 今は、仕事（または学業）にうちこみたいから
4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから
5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
6. 適当な相手にまだめぐり会わないから
7. 異性とうまくつき合えないから
8. 結婚資金が足りないから
9. 結婚生活のための住居のめどがたたないから
10. 親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から
11. その他（具体的に： _____)
12. すでに結婚が決まっている

(33) 結婚相手との出会いについて、どのような課題を感じていますか。最もあてはまるものをお答えください。

【○は1つ】

1. そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない
2. 同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない
3. 結婚に結びつかないような相手（例：結婚願望のない未婚者や既婚者）ばかり好きになってしまう
4. 好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない
5. そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない
6. 交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない
7. その他（具体的に： _____)

(34) 具体的な相手を探すため、何か行動を起こしましたか。【○は1つ】

1. 行動している ⇒ 問 35 へ
2. 特に何も行動を起こしていない ⇒ 問 36 へ

(35) (34) で「1. 行動している」を選択した方にうかがいます。

具体的にはどのような行動を起こしましたか。【当てはまる上位3つに○】

1. 民間企業・自治体の結婚相談所・結婚支援センター等に登録・利用している
2. 民間企業・自治体が主催するイベント（婚活パーティー、街コン等）に参加している
3. 出会いを仲介するインターネット上のサービスに登録している
4. 友人・知人に紹介を依頼した
5. 職場の上司・同僚に紹介を依頼した
6. 自分磨きのため、内面を磨く努力（例：習い事、資格取得等の勉強）をしている
7. 自分磨きのため、外見を磨く努力（例：ジムに通う、美容等）をしている
8. その他（具体的に： _____)

(36) (34) で「2. 特に何も行動を起こしていない」を選択した方にうかがいます。

行動しない、または以前は行動していたが今はやめている理由をお答えください。【○は1つ】

1. 自然な出会いがないと思う
2. お金がない
3. 時間がない
4. 行動することが面倒
5. 何をしたらいいかわからない
6. 効果がなかった
7. する必要がない
8. その他（具体的に： _____)

以下、問 37～39 は、結婚（事実婚・内縁を含む）経験の有無を問わず、すべての方がご回答ください。

(37) 公的機関が実施する結婚支援策として、あなたが有効だと思うものをお答えください。

【当てはまるものすべてに○】

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 結婚費用や結婚時の住居への支援2. 結婚祝い金の給付3. 妊娠・出産の医学的情報提供4. ライフプラン教育5. 生徒・学生と乳幼児との触れ合い体験の実施6. その他（具体的に： _____)7. ない |
|--|

(38) どのような支援・環境があれば結婚しやすさに影響すると思いますか。【当てはまるものすべてに○】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 結婚後の生活がイメージできること（身近なロールモデルがいる）2. 雇用機会や収入が安定すること3. 結婚・出産後も希望すれば継続して就業できること4. 残業が少なくなること5. 転居を伴う転勤制度が原則廃止されること6. 出会いの場の提供など結婚支援があること7. 祖父母や親からの経済的支援があること8. 公的機関からの支援があること9. 男性の家事・育児等への参画を促進すること10. 住宅費の軽減などにより結婚後の住宅が確保できること11. 結婚・子育て世代への税制上の優遇があること12. 結婚に対しポジティブな情報が提供されること13. 小中学生に対し妊娠・出産の医学的情報が提供されること14. その他（具体的に： _____) |
|---|

(39) 和歌山県の結婚に関する施策についてご意見ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

--

最後に、謝礼品の抽選へのご参加をご希望される方は、お名前とご連絡先情報を記載ください。

お名前	
メールアドレス	
住所	〒

※恐れ入りますが、謝礼品は抽選制となります。回答期間内に回答いただいた方を対象に抽選を行います。

※記載いただいた情報は謝礼品の送付にのみ使用し、その他の用途には使用いたしません。

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

2. 子育てに関する意識調査

「令和5年度 和歌山県 子育てに関する意識調査」アンケート票

回答種別	回答方法
専用WEBサイトからの オンライン回答	下記のURLまたは右の二次元バーコードより本アンケート調査専用サイトに進んでいただき、ID・パスワードを入力の上、画面の内容に従ってご回答ください。 https://www.c-pass.jp/kosodate
アンケート票(本用紙) に直接記入し郵送	①該当する選択肢の番号を直接○印で囲んでください。 ②記入後は、同封の返信用封筒(切手不要)にてご返送ください。 ※インターネットでご回答いただいた場合、アンケート票のご返送は不要です。
アンケートご回答の 謝礼品について	本アンケートにご回答いただいた方を対象に、抽選で謝礼品のご用意がございます。ご希望の方は本紙の最後のページにお名前とご連絡先情報を記載ください。
ID	パスワード



(1) 本アンケートを回答する方について、お子さまからみた続柄をお答えください。【○は1つ】

1. 父	2. 母	3. 祖父母
4. その他(具体的に: _____)		

(2) お住まいの市町村名をお答えください。【○は1つ】

1. 和歌山市	2. 海南市	3. 橋本市	4. 有田市	5. 御坊市
6. 田辺市	7. 新宮市	8. 紀の川市	9. 岩出市	10. 紀美野町
11. かつらぎ町	12. 九度山町	13. 高野町	14. 湯浅町	15. 広川町
16. 有田川町	17. 美浜町	18. 日高町	19. 由良町	20. 印南町
21. みなべ町	22. 日高川町	23. 白浜町	24. 上富田町	25. すさみ町
26. 那智勝浦町	27. 太地町	28. 古座川町	29. 北山村	30. 串本町
31. 和歌山県外				

(3) 第1子出生時のお住まいの市町村名をお答えください。【○は1つ】

1. 和歌山市	2. 海南市	3. 橋本市	4. 有田市	5. 御坊市
6. 田辺市	7. 新宮市	8. 紀の川市	9. 岩出市	10. 紀美野町
11. かつらぎ町	12. 九度山町	13. 高野町	14. 湯浅町	15. 広川町
16. 有田川町	17. 美浜町	18. 日高町	19. 由良町	20. 印南町
21. みなべ町	22. 日高川町	23. 白浜町	24. 上富田町	25. すさみ町
26. 那智勝浦町	27. 太地町	28. 古座川町	29. 北山村	30. 串本町
31. 和歌山県外				

(4) 現住居に住むことを決めた理由をお答えください。【○は1つ】

1. 親等が近くにいる、同居、近居するため
2. 親等から土地・建物を取得したため
3. 通勤しやすいため
4. 自然が豊かなため
5. 子育て環境（学校に近いなど）が良いため
6. 生活するのに利便性が高いため（駅が近い、ICが近い、スーパーが近い、医療機関が近い等）
7. 近隣市町村より家賃が安い、土地単価が低い
8. 生まれ育ったところだから
9. 子供と同年代の世帯が多いため
10. 雇用機会が多いため

(5) お子さまのご両親の年齢をお答えください。

(令和5年10月1日現在)

※母子家庭・父子家庭の場合は、該当の項目のみ回答をお願いいたします。

母親	() 歳
父親	() 歳

(6) 第1子と末子の年齢（令和5年4月1日現在）をお答えください。

※お子さまがおひとりの場合は「第1子」のみの回答でかまいません。

第1子	() 歳
末子	() 歳

(7) あなたと同居されている方をお答えください。【該当する方、全てに○】

- | | | |
|---------------|-----------|------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. 子供 | 3. 自分の父親 |
| 4. 自分の母親 | 5. 配偶者の父親 | 6. 配偶者の母親 |
| 7. 祖父母 | 8. 兄弟姉妹 | 9. 同居者はいない |
| 10. その他（具体的に： | | ） |

(8) 現在、結婚しているかをお答えください。【○は1つ】

1. 結婚している（単身赴任などで別居している場合や事実婚を含む）
2. 結婚していたが、今はしていない（死別した）
3. 結婚していたが、今はしていない（死別以外の理由：離婚した・事実婚していたが現在は別居している等）
4. 結婚したことがない ⇒ 問12へ

問9～11は、ご結婚経験のある方（問8で1～3と回答された方）にうかがいます。

(9) どのようなきっかけで配偶者・パートナーと知り合いましたか。【○は1つ】

1. 学校	2. 職場や仕事の関係
3. 幼なじみ・隣人関係	4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごと
5. 友人や兄弟姉妹を通じて	6. お見合い（親せき・上役などの紹介も含む）
7. 結婚相談所（オンラインを含む）	8. 街なかや旅先で出会った
9. アルバイト	10. 婚活イベント
11. マッチングアプリ	
12. （マッチングアプリ・結婚相談所以外の）インターネット（具体的に： _____）	
13. その他（具体的に： _____）	

(10) 結婚して何年かお答えください。（令和5年10月1日現在）【○は1つ】

※現在は離婚（事実婚の解消）をしている場合、結婚から離婚までの期間をご回答ください。

1. 5年未満	2. 5～9年	3. 10～14年
4. 15～19年	5. 20年以上	

(11) あなたご夫婦の間に生まれた子供は何人ですか（死産は含めずご回答ください）。

(_____) 人

問 12～23 は、ご夫婦で暮らしている方は、父親・母親それぞれの回答をお願いいたします。
父子家庭の方は「父親」の回答のみ、母子家庭の方は「母親」の回答のみお答えください。

(12) 現在の就労状況をお答えください。【○は1つ】

※学生の方について、学業の傍らアルバイトをしている場合は、「9. 学生」を選択してください。

※会社員・公務員・団体職員等を問わず、非正規雇用の方は「2. 非正規」を選択してください。

父親	1. 会社員（正社員） 4. パート・アルバイト 7. 公務員 10. 無職・家事手伝い	2. 非正規：派遣・嘱託・契約社員等 5. 自営業（農林漁業） 8. その他団体職員（NGO・NPO等） 11. その他（)	3. 経営者・役員 6. 自営業（農林漁業以外） 9. 学生
母親	1. 会社員（正社員） 4. パート・アルバイト 7. 公務員 10. 無職・家事手伝い	2. 非正規：派遣・嘱託・契約社員等 5. 自営業（農林漁業） 8. その他団体職員（NGO・NPO等） 11. その他（)	3. 経営者・役員 6. 自営業（農林漁業以外） 9. 学生

(13) 現在のご職業での職種をお答えください。【○は1つ】

※複数当てはまる場合は、主要な業務についてお答えください。

父親	1. 管理職・経営：経営者、役員 2. 営業：法人営業、接客営業など 3. 事務・管理：一般事務、経理、財務、人事、総務など 4. 企画・マーケティング・経営：商品企画、商品開発、販売促進、広報・PRなど 5. サービス・販売・外食：ホテルスタッフ、美容師、販売員、飲食スタッフなど 6. Web・インターネット・ゲーム：Webディレクター、ITコンサルタント、UIデザイナーなど 7. クリエイティブ：動画クリエイター、編集者、ファッションデザイナーなど 8. 専門職：弁護士、税理士、証券アナリスト、不動産鑑定士など 9. ITエンジニア：プログラマー、システムエンジニア、インフラエンジニアなど 10. エンジニア（機械・電気・電子・半導体・制御）：メカニカルエンジニア、デジタル回路設計エンジニアなど 11. 素材・化学・食品・医薬品技術職：管理栄養士、食品衛生監視員、薬剤師、生産技術など 12. 建築・土木技術職：建築士、建築設備士、土木施工管理技士、測量士など 13. 技能工・設備・交通・運輸：電気工事士、自動車整備士、タクシー運転手、駅員など 14. 医療・福祉・介護：看護師、臨床検査技師、保健師、介護福祉士など 15. 教育・保育・公務員・農林水産：教師、塾講師、保育士、自衛官、農家など 16. 自営業・個人事業主 17. その他（)
母親	1. 管理職・経営：経営者、役員 2. 営業：法人営業、接客営業など 3. 事務・管理：一般事務、経理、財務、人事、総務など 4. 企画・マーケティング・経営：商品企画、商品開発、販売促進、広報・PRなど 5. サービス・販売・外食：ホテルスタッフ、美容師、販売員、飲食スタッフなど 6. Web・インターネット・ゲーム：Webディレクター、ITコンサルタント、UIデザイナーなど 7. クリエイティブ：動画クリエイター、編集者、ファッションデザイナーなど 8. 専門職：弁護士、税理士、証券アナリスト、不動産鑑定士など 9. ITエンジニア：プログラマー、システムエンジニア、インフラエンジニアなど 10. エンジニア（機械・電気・電子・半導体・制御）：メカニカルエンジニア、デジタル回路設計エンジニアなど 11. 素材・化学・食品・医薬品技術職：管理栄養士、食品衛生監視員、薬剤師、生産技術など 12. 建築・土木技術職：建築士、建築設備士、土木施工管理技士、測量士など 13. 技能工・設備・交通・運輸：電気工事士、自動車整備士、タクシー運転手、駅員など 14. 医療・福祉・介護：看護師、臨床検査技師、保健師、介護福祉士など 15. 教育・保育・公務員・農林水産：教師、塾講師、保育士、自衛官、農家など 16. 自営業・個人事業主 17. その他（)

(14) 勤務先の従業員数をお答えください。(本社・支社を含む)【○は1つ】

※正規雇用者および非正規雇用者(パート・アルバイト等)の合計値を回答ください。

※経営者・取締役等の役員は除いてください。

父親	1. 0人	2. 1～9人	3. 10～29人	4. 30～99人
	5. 100～299人	6. 300～999人	7. 1000人以上	
母親	1. 0人	2. 1～9人	3. 10～29人	4. 30～99人
	5. 100～299人	6. 300～999人	7. 1000人以上	

(15) 前年(令和4年1月～12月)の年収をお答えください。【○は1つ】

父親	1. 106万円未満	2. 106万円～130万円未満
	3. 130万円～200万円未満	4. 200万円～300万円未満
	5. 300万円～400万円未満	6. 400万円～500万円未満
	7. 500万円～600万円未満	8. 600万円～700万円未満
	9. 700万円～800万円未満	10. 800万円～900万円未満
	11. 900万円～1000万円未満	12. 1000万円以上
母親	1. 106万円未満	2. 106万円～130万円未満
	3. 130万円～200万円未満	4. 200万円～300万円未満
	5. 300万円～400万円未満	6. 400万円～500万円未満
	7. 500万円～600万円未満	8. 600万円～700万円未満
	9. 700万円～800万円未満	10. 800万円～900万円未満
	11. 900万円～1000万円未満	12. 1000万円以上

(16) 普段の交通手段での通勤時間をお答えください。【○は1つ】

父親	1. 0分(在宅勤務)	2. 10分未満	3. 10分～30分未満
	4. 30分～1時間未満	5. 1時間～2時間未満	6. 2時間以上
母親	1. 0分(在宅勤務)	2. 10分未満	3. 10分～30分未満
	4. 30分～1時間未満	5. 1時間～2時間未満	6. 2時間以上

(17) 育児休業(産後パパ育休(出生時育児休業)を含む)を取得したことがありますか。【○は1つ】

父親	1. 取得した ⇒ 問19「父親」回答欄へ 2. 取得したかったが、できなかった 3. 取得したいと思わなかったため、取得していない 4. 会社に制度がなく、取得したかったが、できなかった 5. 会社に制度がなく、また取得したいと思わなかったため、取得していない 6. わからない	} 問18 「父親」 回答欄へ
母親	1. 取得した ⇒ 問19「母親」回答欄へ 2. 取得したかったが、できなかった 3. 取得したいと思わなかったため、取得していない 4. 会社に制度がなく、取得したかったが、できなかった 5. 会社に制度がなく、また取得したいと思わなかったため、取得していない 6. わからない	

育児休業を取得しなかった方（問 17「父親・母親」のいずれかで選択肢 2～6 と回答した方）にうかがいます。

(18) 育児休業を取得しなかった理由をお答えください。【当てはまる上位 3 つに○】

父親	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会社で育児休業制度が整備されていなかったから 2. 職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから 3. 会社や上司、職場の育児休業取得への理解がなかったから 4. 収入を減らしたくなかったから 5. 休業取得によって、仕事がなくなったり、契約終了（解雇）の心配があったから 6. 残業が多い等、業務が繁忙であったから 7. 休業から復帰する際に、仕事や職場の変化に対応できないと思ったから 8. 自分にしかできない仕事や担当している仕事があったから 9. 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に悪影響がありそうだったから 10. 配偶者や家族から育児休業の取得に対して後押しがなかったから、または反対があったから 11. 家族や保育所などの保育サービス等自分以外に育児の担い手がいたから 12. 育児休業を取得しなくても育児参加しやすい働き方や職場環境だったから 13. 育児休業は男性ではなく女性が取得するものだと思っていたから 14. フリーランス・自営業のため制度がない、または無職だったから 15. その他（具体的に： _____)
母親	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会社で育児休業制度が整備されていなかったから 2. 職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから 3. 会社や上司、職場の育児休業取得への理解がなかったから 4. 収入を減らしたくなかったから 5. 休業取得によって、仕事がなくなったり、契約終了（解雇）の心配があったから 6. 残業が多い等、業務が繁忙であったから 7. 休業から復帰する際に、仕事や職場の変化に対応できないと思ったから 8. 自分にしかできない仕事や担当している仕事があったから 9. 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に悪影響がありそうだったから 10. 配偶者や家族から育児休業の取得に対して後押しがなかったから、または反対があったから 11. 家族や保育所などの保育サービス等自分以外に育児の担い手がいたから 12. 育児休業を取得しなくても育児参加しやすい働き方や職場環境だったから 13. 育児休業は女性ではなく男性が取得するものだと思っていたから 14. フリーランス・自営業のため制度がない、または無職だったから 15. その他（具体的に： _____)

⇒問 21 にお進みください

育児休業を取得した（問 17「父親・母親」のいずれかで選択肢 1 と回答した）方にうかがいます。

(19) 育児休業を取得した時期はいつですか。【直近で当てはまる 1 つに〇】

父親	1. 生後 2 週間以内	2. 生後 2 週間～1 か月未満	
	3. 生後 1 か月～2 か月未満	4. 生後 2 か月～6 か月未満	
	5. 生後 6 か月～12 か月未満	6. 1 歳～1 歳 6 か月未満	
	7. 1 歳 6 か月～2 歳未満	8. 2 歳まで	
	9. 3 歳まで	10. 3 歳以上	
	母親	1. 生後 1 か月～2 か月未満	2. 生後 2 か月～6 か月未満
		3. 生後 6 か月～12 か月未満	4. 1 歳～1 歳 6 か月未満
		5. 1 歳 6 か月～2 歳未満	6. 2 歳まで
		7. 3 歳まで	8. 3 歳以上

育児休業を取得した（問 17「父親・母親」のいずれかで選択肢 1 と回答した）方にうかがいます。

(20) 育児休業の取得期間をお答えください。【最も直近で当てはまる 1 つに〇】

父親	1. 5 日以下	2. 6 日～1 か月未満	
	3. 1 か月～2 か月未満	4. 2 か月～6 か月未満	
	5. 6 か月～1 年未満	6. 1 年～1 年 6 か月未満	
	7. 1 年 6 か月～2 年未満	8. 2 年～3 年未満	
	9. 3 年以上		
	母親	1. 5 日以下	2. 6 日～1 か月未満
		3. 1 か月～2 か月未満	4. 2 か月～6 か月未満
		5. 6 か月～1 年未満	6. 1 年～1 年 6 か月未満
		7. 1 年 6 か月～2 年未満	8. 2 年～3 年未満
9. 3 年以上			

(21) 第 1 子が産まれる前と現在の働き方を比較し近いものをお答えください。（産休・育休取得者は育休復帰後の状況）【〇は 1 つ】

父親	1. 同じ・変わらない	2. 辞職した	
	3. 正規の勤務（労働）時間を増やした	4. 正規の勤務（労働）時間を減らした	
	5. 残業時間を増やした	6. 残業時間を減らした	
	7. 労働時間・労働日を変えた	8. 労働場所を変えた	
	9. 正規雇用者からパート・アルバイト・派遣・嘱託・契約社員に変えた		
	10. パート・アルバイト・派遣・嘱託・契約社員から正規雇用者に変えた		
	11. もともと無職だった		
	12. その他（具体的に： _____）		
	母親	1. 同じ・変わらない	2. 辞職した
		3. 正規の勤務（労働）時間を増やした	4. 正規の勤務（労働）時間を減らした
		5. 残業時間を増やした	6. 残業時間を減らした
		7. 労働時間・労働日を変えた	8. 労働場所を変えた
9. 正規雇用者からパート・アルバイト・派遣・嘱託・契約社員に変えた			
10. パート・アルバイト・派遣・嘱託・契約社員から正規雇用者に変えた			
11. もともと無職だった			
12. その他（具体的に： _____）			

(22) 同居しているお子さま全員の世話に係る 1 日の配分時間を平日・休日それぞれお答えください。

【各項目○は1つずつ】

父親	平日	1. 0分 3. 1時間～2時間未満 5. 5時間～8時間未満 7. 12時間以上	2. 1時間未満 4. 2時間～5時間未満 6. 8時間～12時間未満
	休日	1. 0分 3. 1時間～2時間未満 5. 5時間～8時間未満 7. 12時間以上	2. 1時間未満 4. 2時間～5時間未満 6. 8時間～12時間未満
母親	平日	1. 0分 3. 1時間～2時間未満 5. 5時間～8時間未満 7. 12時間以上	2. 1時間未満 4. 2時間～5時間未満 6. 8時間～12時間未満
	休日	1. 0分 3. 1時間～2時間未満 5. 5時間～8時間未満 7. 12時間以上	2. 1時間未満 4. 2時間～5時間未満 6. 8時間～12時間未満

(23) 家事に係る 1 日の配分時間を平日・休日それぞれお答えください。**【各項目○は1つずつ】**

父親	平日	1. 0分 3. 1時間～2時間未満 5. 5時間～8時間未満 7. 12時間以上	2. 1時間未満 4. 2時間～5時間未満 6. 8時間～12時間未満
	休日	1. 0分 3. 1時間～2時間未満 5. 5時間～8時間未満 7. 12時間以上	2. 1時間未満 4. 2時間～5時間未満 6. 8時間～12時間未満
母親	平日	1. 0分 3. 1時間～2時間未満 5. 5時間～8時間未満 7. 12時間以上	2. 1時間未満 4. 2時間～5時間未満 6. 8時間～12時間未満
	休日	1. 0分 3. 1時間～2時間未満 5. 5時間～8時間未満 7. 12時間以上	2. 1時間未満 4. 2時間～5時間未満 6. 8時間～12時間未満

(24) お子さまの祖父母世帯の住居とあなたの住居とは、普段の交通手段でどのくらいかかりますか。

【○は1つ】

父方の祖父母	1. 0分（同居・二世帯住宅） 3. 10分～30分未満 5. 1時間～2時間未満 7. 父方の祖父母はいずれもない ⇒ 問26へ	2. 10分未満 4. 30分～1時間未満 6. 2時間以上
母方の祖父母	1. 0分（同居・二世帯住宅） 3. 10分～30分未満 5. 1時間～2時間未満 7. 母方の祖父母はいずれもない ⇒ 問26へ	2. 10分未満 4. 30分～1時間未満 6. 2時間以上

問24で、父方・母方いずれかで1～6を選択した方にうかがいます。

(25) お子さまの祖父母世帯から子育て支援を受けていますか。受けている場合は具体的な支援の内容をお答えください。【当てはまる上位3つに○】

父方の祖父母	1. 日常的な子供の世話（食事や風呂など） 3. 日常的な家事 5. 緊急時の子供の送迎 7. 物資や経済的な支援 9. 支援してもらっていない	2. 日常的な子供の送迎 4. 緊急時（病気等）の子供の世話 6. 緊急時の家事 8. 子育ての相談 10. 支援の必要はない
母方の祖父母	1. 日常的な子供の世話（食事や風呂など） 3. 日常的な家事 5. 緊急時の子供の送迎 7. 物資や経済的な支援 9. 支援してもらっていない	2. 日常的な子供の送迎 4. 緊急時（病気等）の子供の世話 6. 緊急時の家事 8. 子育ての相談 10. 支援の必要はない

(26) 急用の際などに、子供を預けることができる人はいますか。【該当するものすべてに○】

1. 配偶者	2. 自分の親または配偶者の親
3. 自分の兄弟姉妹または配偶者の兄弟姉妹	4. 子育て仲間
5. 近所の人	6. 友人
7. 自治体が提供する公的保育サービス	8. 民間の保育サービス（ベビーシッター等）
9. 勤め先にある保育施設	
10. その他（具体的に： _____）	
11. 特にない	

(27) 理想的だと思う子供の数は何人ですか。【○は1つ】

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | |

(28) 問 27 で回答いただいた理想的な子供の数について、そう考える理由は何ですか。

【該当するものすべてに○】

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 結婚して子供を持つことは自然なことだから | 2. 子供を持つことで周囲から認められるから |
| 3. 子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから | 4. 子供は老後の支えになるから |
| 5. 子供は将来の社会の支えになるから | 6. 子供は夫婦関係を安定させるから |
| 7. 好きな人の子供を持ちたいから | 8. 配偶者や親など周囲が望むから |
| 9. その他（具体的に： _____） | |

(29) 子供を持ちたいと思う最も大きな理由は何ですか。【○は1つ】

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 結婚して子供を持つことは自然なことだから | 2. 子供を持つことで周囲から認められるから |
| 3. 子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから | 4. 子供は老後の支えになるから |
| 5. 子供は将来の社会の支えになるから | 6. 子供は夫婦関係を安定させるから |
| 7. 好きな人の子供を持ちたいから | 8. 配偶者や親など周囲が望むから |
| 9. その他（具体的に： _____） | |

(30) 理想的な子供の数を、現実に持つことができますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 理想どおりである | 2. 理想どおりではない |
|-------------|--------------|

問 30 で「2. 理想どおりではない」と回答された方にうかがいます。

(31) 理想的な子供の数が現実に持てていない原因は何ですか。【該当するものすべてに○】

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 収入が不安定なこと | 2. 自分や配偶者の仕事の事情 |
| 3. 家事・育児の協力者がいないこと | 4. 保育所など子供の預け先がないこと |
| 5. 今いる子供に手がかかること | 6. 年齢や健康上の理由で子供ができないこと |
| 7. その他（具体的に： _____） | |
| 8. 持つつもりの子供数を実現できない可能性は低い | |

(32) 第2子・第3子をご出産されたきっかけをお答えください。【最も当てはまる1つに○】

第2子	1. 兄弟／姉妹が欲しかったから 3. 自身・配偶者の年齢的な理由 5. 不妊治療の結果 7. 上の子が兄弟姉妹を望んだ 9. その他（具体的に：)	2. 自然な成り行き 4. 経済的な目途がたったから 6. 周囲に言われて 8. 予定していなかった
第3子	1. 兄弟／姉妹が欲しかったから 3. 自身・配偶者の年齢的な理由 5. 不妊治療の結果 7. 上の子が兄弟姉妹を望んだ 9. その他（具体的に：)	2. 自然な成り行き 4. 経済的な目途がたったから 6. 周囲に言われて 8. 予定していなかった

(33) 子供がいてよかったと思うことは何ですか。【該当するものすべてに○】

1. 家族の結びつきが深まった 3. 毎日の生活にはりあいがある 5. 子供を通して自分の友人が増えた 7. 子供のおかげで家庭が明るい 9. 子供の将来が楽しみ 11. 家事の手伝いをしてくれる 13. 話し相手になる 15. その他（具体的に：)	2. 子供とのふれあいが楽しい 4. 兄弟姉妹どうしのふれあいがあって楽しい 6. 子育てを通して自分の視野が広がった 8. 子供の成長によるこびを感じる 10. 老後に希望が持てる 12. 弟や妹の面倒をみてくれる 14. 優しい言葉に心が安らぐ
16. よかったと思うことは特にない	

(34) 子供を育てていて負担に思うことや悩みはありますか。【該当するものすべてに○】

1. 負担に思うことや悩みは特にない 3. 子育ての出費がかさむ 5. 仕事や家事が十分にできない 7. 配偶者やパートナーが子育てに参加してくれない 9. 子供をもつ親同士の関係がうまくいかない 11. しつけの仕方がわからない 13. 子供が急病のとき診てくれる医者が近くにいない 15. 気持ちに余裕をもって子供に接することができない	2. 子育てによる身体の疲れが大きい 4. 自分の自由な時間が持てない 6. 子供と過ごす時間が十分に作れない 8. 子供についてまわりの目や評価が気になる 10. しつけのしかたが家庭内で一致していない 12. 子供を一時的に預けたいときに預け先がない 14. 子供の病気などのときに仕事を休みづらい 16. 子供を好きになれない
---	---

(35) あなたは日本の社会は結婚、妊娠、子供・子育てにやさしい社会だと思いますか。【○は1つ】

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

(36) 和歌山県、県内市町村が実施している子育て支援で役立ったもの、役に立つと思うものをお答えください。【当てはまる上位3つに○】

※全国一律の支援ではなく、和歌山県、県内市町村が実施している支援に限定してご回答ください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 不妊治療への補助 | 2. 出産時支援（祝い金等） |
| 3. 多子世帯向け在宅育児支援事業 | 4. 多子世帯向け保育料・副食費無償 |
| 5. 多子世帯向け一時預かり等への助成 | 6. 子供の医療費支援 |
| 7. 教材費助成 | 8. 学校給食費助成 |
| 9. 通学等助成 | 10. 進学奨学金 |
| 11. 住宅助成（取得、増改築、家賃） | 12. わかやま子育て支援パスポート |
| 13. 行政開催のイベント | |
| 14. その他（具体的に： | ） |

(37) これまで利用したことがある（利用中）サービスのうち次の①～⑭の項目について、満足度合いに最も近いものをお答えください。【①～⑭各項目に○は1つ】

	1. 満足している	2. ある程度満足している	3. どちらともいえない	4. あまり満足していない	5. 不満である	6. 利用したことがない
①幼稚園（通常利用）	1	2	3	4	5	6
②幼稚園（延長保育）	1	2	3	4	5	6
③保育所・認定こども園（通常保育）	1	2	3	4	5	6
④保育所・認定こども園（延長保育）	1	2	3	4	5	6
⑤保育所・認定こども園（一時預かり）	1	2	3	4	5	6
⑥保育所・認定こども園（休日保育）	1	2	3	4	5	6
⑦病児・病後児保育	1	2	3	4	5	6
⑧児童発達支援センター・事業所	1	2	3	4	5	6
⑨認可外保育施設	1	2	3	4	5	6
⑩事業所内保育施設	1	2	3	4	5	6
⑪地域子育て支援センター	1	2	3	4	5	6
⑫ファミリーサポートセンター	1	2	3	4	5	6
⑬放課後児童クラブ（学童保育）	1	2	3	4	5	6
⑭放課後等デイサービス	1	2	3	4	5	6

(38) 次の①～⑭の項目について、満足できない点がありますか。【①～⑭各項目に○は2つまで】

	1. 時間 期間が短い	2. 世話や指導が行き届いていない	3. 利用料金が 高い	4. 自宅から遠い	5. 子供がなじめない	6. 他の親との交流が上手くない	7. 特になし	8. その他 具体的に… ()
①幼稚園（通常利用）	1	2	3	4	5	6	7	(8)
②幼稚園（延長保育）	1	2	3	4	5	6	7	(8)
③保育所・認定こども園（通常保育）	1	2	3	4	5	6	7	(8)
④保育所・認定こども園（延長保育）	1	2	3	4	5	6	7	(8)
⑤保育所・認定こども園（一時預かり）	1	2	3	4	5	6	7	(8)
⑥保育所・認定こども園（休日保育）	1	2	3	4	5	6	7	(8)
⑦病児・病後児保育	1	2	3	4	5	6	7	(8)
⑧児童発達支援センター・事業所	1	2	3	4	5	6	7	(8)
⑨認可外保育施設	1	2	3	4	5	6	7	(8)
⑩事業所内保育施設	1	2	3	4	5	6	7	(8)
⑪地域子育て支援センター	1	2	3	4	5	6	7	(8)
⑫ファミリーサポートセンター	1	2	3	4	5	6	7	(8)
⑬放課後児童クラブ（学童保育）	1	2	3	4	5	6	7	(8)
⑭放課後等デイサービス	1	2	3	4	5	6	7	(8)

(39) 有効だと思う少子化対策をお答えください。【当てはまる上位3つに○】

1. 若年層の安定した雇用
2. 転居を伴う転勤の廃止
3. 急な申し出でも心置きなく休暇を取得できる雇用環境
4. 長時間労働の是正
5. 中高年の再就職支援
6. 男性の家事・育児参画推進
7. 若い世代へのライフデザイン教育や性教育
8. すべての子育て世帯への経済的支援（所得制限なし、第1子から）
9. 対象を限定した子育て世帯への経済的支援（所得制限あり、多子）
10. 子育て支援環境（保育所・学童保育・子供の居場所等）の充実
11. 公教育の質の向上
12. 不妊治療の経済的支援
13. 子供と子育て家庭にやさしい社会づくり
14. その他（具体的に： _____)

(40) 子育てにおける周囲や社会環境に期待することはありますか。【当てはまるもの全てに○】

1. 社会全体で子育てをする風潮
2. 子供連れを迷惑がらないこと
3. 子供が安全で住みやすい地域
4. 子育ての大変さへの理解
5. 行政支援の充実
6. 子育て当事者の社会的な受入れ（社会からの孤立の回避）
7. 施設のバリアフリー化
8. たばこ害の防止
9. その他（具体的に： _____)
10. 特にない

(41) 和歌山県の子育てに関する施策についてご意見ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

--

最後に、謝礼品の抽選へのご参加をご希望される方は、お名前とご連絡先情報を記載ください。

お名前	
メールアドレス	
住所	〒

※恐れ入りますが、謝礼品は抽選制となります。回答期間内に回答いただいた方を対象に抽選を行います。

※記載いただいた情報は謝礼品の送付にのみ使用し、その他の用途には使用いたしません。

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。